

土坑一覧表9(9区)

番号	グリッド	深度(→)	遺物図	時代・時期	番号	グリッド	深度(→)	遺物図	時代・時期	番号	グリッド	深度(→)	遺物図	時代・時期		
357	257+277	0.18	〃	近世	418	233	0.1	〃	近世	481	274	0.1	〃	中世		
358	257	0.18	〃	中世か古代	419	233	0.17	〃	中世	482	219	0.26	658	近世		
359	257	0.54	中世か古代か	420	233	0.16	〃	483	175	0.35	〃	〃	〃	〃		
360	257	0.68	〃	421	233	0.27	656	現代	484	195	0.3	〃	〃	〃		
361	257	-	中世	422	213	0.34	〃	485	198-218	0.25	〃	〃	〃	古代		
362	257	-	423	213	0.23	〃	486	294-295	0.1	〃	487	237	0.35	659	現代	
363	257	-	655	中世	424	233	0.54	656	〃	493	237+257	-	659	〃		
364	256+257	0.63	425	212+232	0.55	〃	古代	488	251	0.2	〃	〃	〃	〃		
365	256	0.1	中世	426	211-231	0.41	〃	489	251	0.41	〃	〃	〃	〃		
366	256	0.13	655	〃	427	232	0.5	中世	490	191	0.08	659	古代	〃		
367	256	0.46	近世	428	212	0.11	〃	491	213	0.43	〃	〃	〃	中世か		
368	256+256	0.53	655	16廻立	429	211	0.32	656	〃	492	236	-	659	中世か		
369	256+256	-	近世	430	231	0.61	657	〃	493	237+257	-	659	〃	〃		
370	256+256	0.5	〃	431	233	0.64	16廻立	494	237	-	〃	〃	〃	〃		
371	256+256	0.15	655	中世	432	233	0.52	657	中世	495	237	-	中世か	〃		
372	256	0.26	〃	433	252-253	0.43	〃	496	237	-	〃	〃	〃	〃		
373	257	0.15	〃	434	232	0.25	〃	497	9-240	-	〃	〃	〃	〃		
374	257	-	古代	435	252	0.33	中世か	498	294	0.15	〃	〃	〃	〃		
375	258	0.46	17廻立	436	232	0.63	16廻立	499	250	-	〃	〃	〃	〃		
376	258	0.46	655	438	233	0.44	657	中世	500	176	0.25	古代	〃	〃		
377	218+238	0.19	〃	中世	439	191	0.49	〃	501	217	0.21	659	近世か	〃		
378	258	0.36	近世	441	191	-	〃	古代	502	200-220	0.22	〃	〃	〃		
379	258	0.28	21廻立	442	191	0.09	〃	503	198	0.25	近世	〃	〃	近世		
380	258	0.13	655	近世	443	191	0.12	中世	504	280	0.53	659	中世	〃		
381	258	0.13	655	近世	444	171-191	0.37	657	古代	505	279	0.72	〃	〃		
382	259	0.27	27廻立	445	171	0.08	〃	506	279	0.63	近世	〃	〃	〃		
383	258	0.21	21廻立	446	171	-	近世か	507	278	0.42	〃	〃	〃	〃		
384	258	0.13	近世	447	171	-	657	近世	508	246	0.58	25廻立	〃	〃		
385	258+259	0.43	448	171	0.35	〃	中世	509	232	0.08	659	中世	〃	〃		
386	259	0.37	27廻立	449	151-171	0.33	〃	中世か	511	297	〃	近世	〃	近世		
387	259	0.37	21廻立	450	151-171	-	中世	512	234	0.54	中世	〃	〃	中世か		
388	279	0.42	451	172	0.34	〃	513	214-215	0.37	514	171-191	0.42	660	古代		
389	259	0.11	近世	452	219	0.37	657	古代	515	28	0.33	659	中世前半	〃		
390	259	0.27	655	〃	454	218-238	0.1	近世	517	65	0.17	〃	近世	〃		
391	259	0.45	21廻立	455	218-238	0.17	657	中世	518	150-170	0.13	519	81	0.1		
392	259	0.43	655	近世	456	217-237	0.29	〃	古代か	520	47	0.22	521	203-204	0.33	
393	239	0.16	〃	中世	457	237	0.22	近世	522	187	-	660	古代	中世		
394	240	0.13	古代	458	237	-	古代か	523	209	0.29	521	291	0.1	中世か		
395	-	-	655	459	218	0.3	657	近世	522	187	-	660	古代	中世か		
397	-	-	〃	460	198	0.41	〃	中世	523	209	0.29	521	291	0.1	中世	
398	219+239	0.15	近世	461	215-216	0.26	〃	524	246	0.4	525	205	0.2	661		
399	219+239	0.26	655	462	196-216	0.31	658	〃	526	226	-	527	267	0.1	近世	
400	196+216	0.25	〃	中世	463	216	0.4	〃	528	268	0.1	529	270	0.49	28廻立	
401	196+197	0.32	656	中世	464	216	0.31	658	中世	530	291	0.19	531	291	0.1	古代
402	196	0.3	〃	465	278	0.45	17-27廻立	532	268	0.1	533	314	-	662		
404	176+196	0.3	656	中世	466	317	0.54	658	近世	534	291	0.19	535	290	0.47	19廻立
405	194+195	0.35	〃	467	317-318	0.23	〃	中世	536	290	0.26	537	244	-	662	
406	214+215	0.08	〃	近世	468	317	0.2	〃	538	290	-	539	290	-	近世	
407	174+175	0.24	古代	469	317	0.2	〃	540	267	0.45	541	-	-	662		
408	235	0.17	〃	471	296-297	0.3	古代	542	291	-	543	-	-	28廻立		
409	235+255	0.08	近代	473	253	0.67	16廻立	544	268-288	-	545	-	-	25廻立		
410	235+255	0.08	近世	474	251	0.13	〃	546	290	-	547	-	-	〃		
411	235	0.08	〃	475	251	0.16	〃	548	290	-	549	-	-	〃		
412	255	0.44	656	中世	476	236-237	0.18	658	近世	550	267	0.45	551	-	-	25廻立
413	256	0.21	〃	近世か	477	237	0.19	〃	近世	552	267	0.45	553	-	-	662
414	234+254	0.2	中世	478	237	-	〃	554	291-292	-	555	-	-	古代		
415	234+254	0.2	中世か	479	237	0.02	658	古代	556	290	-	557	-	-	〃	
416	234	0.45	〃	480	240	0.11	544	268-288	-	545	-	-	25廻立	〃		
417	234	0.12	〃	546	-	-	546	-	-	547	-	-	548	-	-	25廻立

遺構計測値・土層説明

土坑一覧表10（9区）

番号	グリッド	深度(ー)	遺物図	時代・時期	番号	グリッド	深度(ー)	遺物図	時代・時期	番号	グリッド	深度(ー)	遺物図	時代・時期
545 267		0.52		25獨立	24	341	0.45	〃	中世	74	381	0.1		中世
546 266		0.5		〃	25	341	0.23	〃	〃	75	361・381	0.24	665	〃
547 266		0.56			26	301・321	0.3		〃	76	361	0.15		〃
548 291		0.1	663	鋼文時代	27	321	0.03		〃	77	361・381	0.37		〃
549 108・109		0.4			28	321	0.32		〃	78	361	0.28	665	〃
550 2		0.13	663	近世	29	343・363	0.08		〃	79	361・381	0.18	〃	近世か
551 297・317		—	〃	古代	30	322・342	0.09		〃	80	361・381	0.13		中世
552 297		—	664		31	343	0.47		〃	81	361・381	0.21		〃
554 1		0.04	〃	古代	32	321	0.49		〃	82	381	0.04		〃
555 1		0.11	〃	〃	34	322・342	0.06		〃	83	362	0.18		〃
556 1		0.15		〃	35	342・355	0.11		〃	84	362	0.31	665	〃
557 6・40		0.17	664		36	342	0.09		〃	85	362	0.13		〃
558 6・20		0.25		〃	37	321	0.33	664	〃	86	362	0.08		〃
559 9・1		0.51	664	〃	38	321	0.28		〃	87	362・382	0.25	665	〃
560 1		0.05		〃	39	321	0.13		〃	88	362・382	0.07		〃
561 1		—		〃	40	321	0.27	664	〃	89	382	—		〃
562 1・2		0.1		〃	41	341	0.26		〃	90	382	0.15		〃
563 1・2		0.05		近世か	42	341	0.32		〃	91	382	0.04		〃
564 2		0.15		近世か	43	342	—		〃	92	362			〃
565 1・2		0.2		〃	44	342	—		〃	93	381	0.1		〃
566 1		0.04		〃	45	362	—	664	〃	94	362・382	0.25		〃
567 2・22		0.11		〃	46	361	0.05		〃	95	363	0.06		〃
568 141		0.43		近世	47	342	0.17		〃	96	363	0.26	665	〃
10区土坑表														
番号	グリッド	深度(ー)	遺物図	時代・時期	番号	グリッド	深度(ー)	遺物図	時代・時期	番号	グリッド	深度(ー)	遺物図	時代・時期
1	363・364	0.13		中世	51	342・362	0.05	665	近世か	106	383	0.31		〃
2	363・364	0.1		〃	52	362	0.2		中世	101	362・363	0.31		〃
3	343・363	0.13	664	〃	53	323・343	0.13	665	〃	102	363	0.32		〃
4	343・363	0.12		〃	54	343	0.04		〃	103	383・384	0.17		〃
5	343	0.1		〃	55	361	0.69	665	〃	104	383・384	0.29		〃
6	323	0.24		〃	56	361	0.11		〃	105	383	0.11		〃
7	323	0.07		〃	57	362	0.15		〃	106	383	0.46		〃
8	343	0.05		〃	58	342・362	0.13	665	〃	107	342	0.42		〃
9	343	0.19		〃	59	361	0.31		〃	109	382	0.13		〃
10	343	0.07		〃	60	361	0.27		〃	110	381・382	0.15		〃
11	342・343	0.2		〃	61	361	0.15		〃	111	381	—		〃
12	342	0.33	664	〃	62	361	0.37		〃	112	364	0.1		〃
13	342	0.38	〃	〃	63	361	0.18		〃	113	363・364	0.07		〃
14	341・342	0.3		〃	64	361	0.32	665	近世か	114	363	0.18		〃
15	341	0.24		〃	65	7-380	0.26		中世	115	363	0.11		〃
16	341・361	0.33		〃	66	362	0.32	665	〃	116	363	0.12		〃
17	361	0.14		〃	67	362	0.34		中世	117	363	0.1		〃
18	361・362	0.34	664	〃	68	361	0.37		〃					
19	362	0.23		〃	69	361	0.15	665	〃					
20	361・362	0.16		〃	70	381	0.09		〃					
21	341	0.21		〃	71	381	0.1	665	〃	1	202-222	0.23	665	中世
22	341	0.07		〃	72	381	0.5		〃	2	202	0.27	〃	〃
23	321	0.09	664	〃	73	7-400	0.18		〃					

11区土坑表

番号	グリッド	深度(ー)	遺物図	時代・時期
1	202-222	0.23	665	中世
2	202	0.27	〃	〃

出土遺物觀察表

出土遺物観察表

1. 溝状遺構

第1号溝状遺構

探査番号	種別	出土位置	度目(cm)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
回収番号	器種	遺存度	量目(g)			
18-1	磁器 蓋	覆土 破片	口・(7.2) 底・(2.7)	還元。緑。胎・淡青、白磁・淡 青白。胎・白	外面に玉と縁の手らしくし、内面に草の葉文 と龍の手らしき染付。高台端をのぞき白磁體。	19・20C 伊万里系
18-2	施釉陶器 施釉か	覆土 破片	厚・0.7	還元。緑。胎・暗黄緑、胎・灰	外面に2~3条の沈線。施釉、内面蠶胎部、 種類目、施釉あり。	18・19C 産不明
18-3	石器 砥石	覆土 1/2	デイサイト 100	長・6.5、幅・3.0	表・裏・側部の4面を使用。小口に削り整形 板。手前小口は旧時欠損。使用面に刃傷あり。	

第2号溝状遺構

探査番号	種別	出土位置	度目(cm)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
回収番号	器種	遺存度	量目(g)			
18-4	土器質土器 皿	覆土 破片	口・(9.0) 底・(6.1)	酸化。硬。明赤褐2.5YR5/8。 並。重い。白粘合・藍物少。	輪転成形(左回転)。底部は回転糸切り。 全体に端正。口縁部は肥厚する。	粘・陶。
18-5	軟質陶器 内耳培培	覆土 破片	口・(43.4) 底・(40.4)	中~還。並。墨5Y2/1。並。硬。 褐色多・他藍物含。	底面に石目状の型磨あり。体部外面は横擦で、 接合痕付着。内面に内耳跡と回転擦。	接・2点

第5号溝状遺構

探査番号	種別	出土位置	度目(cm)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
回収番号	器種	遺存度	量目(g)			
18-6	施釉陶器 碗	覆土 破片	厚・0.4	中。緑。胎・白黄灰(透明調)。 胎・黄灰。	内外面に施釉あり。細買入あり、二重買入気 味。割れ消耗強。	18C 美濃
18-7	瓦 瓦瓦	覆土 破片	厚・1.05	還元。硬。灰5Y5/1。粗、やや軟。 白の瓦、軒瓦裏面に接合剥落あり。色調 白・黒・褐粘合。	巴文の瓦、軒瓦裏面に接合剥落あり。色調 変化があり被熱色変か。割れ消耗少。	小泉・藤 岡か

第7号溝状遺構

探査番号	種別	出土位置	度目(cm)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
回収番号	器種	遺存度	量目(g)			
18-8	磁器	覆土	口・6.6	還元。緑。胎・染付青、白磁色	外面に銅版模様で「寿」と三友の染付文 あり。白。胎・白。	20C 伊万里系
133-1	瓶口	2/3	高・4.6			
18-9	磁器	覆土	口・(14.4)	還元。緑。染付紺、白磁色白。	外面に唐草文、内面に三友文と外方に竜文な ど、外間に唐草文が印判で染付される。	明治印判 瀬戸か
133-2		2/3	高・2.6			
18-10	施釉陶器 便利	覆土	底・8.0	中性。緑。胎・暗緑、淡茶。	外面上方に施釉、下方は酸化気味の鉄釉、内 面は無釉で輪轉目見え。	18・19C 産地不明
133-3		底部分				
18-11	軟質陶器 火入か	覆土 破片	口・(18.6)	還元。並。オリーブ10Y6/1。 粗、やや軟。藍物少。	外間に印文(状か)あり、内面輪轉目あり。 火入か少し焼かれる。	小泉か
18-12	軟質陶器 火鉢	覆土 破片	厚・0.8	還元。並。灰10Y4/1。 粗、軽い。白粗、藍物含。	外間に印文あり。口縁部少し剥落。内面左回 転の糊あり。口縁部付近内外横擦。	18・19C 小泉か
18-13	軟質陶器 植木鉢か	覆土 破片	厚・0.8~1.0	還元。並。灰3.5Y6/10。粗、 絆。白粒・褐粒・黒色鉄物含。	内面無釉あり、側面に葉脈様研磨少し入る。 平縁部研磨。足部付着。	接・2点 小泉か
19-1	軟質陶器 手炉	覆土 破片	口・(36.1)	還元。並。オリーブ10Y3/1。 粗、軽い。白粗、藍物含。	外間に口縁部粘土帯、中位に指などの圧痕。 下方に荒面荒い研磨。	18・19C 小泉か
			底・(33.6)			
19-2	軟質陶器 火鉢	覆土 破片	口・(42.3)	還元。並。黒2.5Y2/1。並、 やや粗。褐粘合、藍物少。	外間に把手頭頃あり、同には吊手穴あり。外 面上方研磨と黒墨。下方に捺状様文あり。	接・2点 小泉か
			高・(11.7)			
19-3	瓦 十能瓦	覆土 1/5か	長・11.0+α	還元。並。黒褐2.5Y3/1。並、 やや粗。灰色円粉多、藍物少。	凹面は荒い単位の横研磨。凸面無釉。焼成は 燃され、断面3層色変。縁は黒色焼成。	19・20C 深谷か
19-4	瓦 十能瓦	覆土 1/5	長・12.0+α	還元。並。灰5Y4/1。 粗、軽い。藍物含。	凹面は無釉。凸面に石目状の型磨と離が焼 成され、断面5層色変。	19・20C 小泉焼
19-5	瓦 十能瓦	覆土 破片	長・19.3+α	還元。並。黄褐2.5Y5/1。 粗、軽い。黒・褐粒、藍物含。	凹面小口部無釉。他は無釉。凸面は石目状の型 磨あり、焼成焼。断面5層色変。	19・20C 小泉焼

第9号溝状遺構

博団番号 國版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘 要
20-1 133-4	須恵器 杯	覆土 3/4	口・(13.5) 底・8.0	中性。並。灰黄2.5Y7/2。 密、やや輕。軽物質。	口縁部は丸みを帯びる。輪轍成形(右回転)。 底部は回転糸切り後、周辺を回転捏整形。	接・3点 笠形

第11号溝状遺構

博団番号 國版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘 要
20-2 133-2	施釉陶器 碗	覆土 口縁部分	厚・0.5	還元。緑。釉・透明調。胎・灰。	内外面に施釉。墨の入った細質入あり。割れ 口の消耗微。	19・20C 差不明

第14号溝状遺構

博団番号 國版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘 要
20-3 133-3	瓦 板瓦か	覆土 破片	長・6.5+α	還元。硬。灰2.5Y4/0。密、 やや輕。黒粒含。他軸物少。	表面研磨状光沢あり。裏面、型状の粗雑感あり。 表・裏面黑色繊かかれる。	腰同か

第19号溝状遺構

博団番号 國版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘 要
20-4 133-5	土師質土器 皿	覆土 3/4	口・8.6 底・5.8	酸化。並。橙2.5YR7/6。 粗、軽い。	輪轍成形(右回転)。底部は回転糸切り。 内面中央を高める特徴あり。	接・2点 粘
20-5 133-6	土師質土器 皿	覆土 3/4	口・9.1 底・5.7	酸化。並。純橙2.5YR7/4。 粗、軽い。軽物質。	輪轍成形(左回転)。底部は回転糸切り。 全体に肉厚。口縁部は肥厚せず。	接・2点 粘
20-6 133-7	磁器 盃	覆土 1/3	口・(6.9) 高・4.5	還元。緑。釉・染付濃紺。白絞 釉・白。胎・白。	外面上にペロ藍による透文あり。白磁軸は高台 端部を除く。	20C 伊万里系
20-7 133-8	磁器 皿	覆土 破片	口・(14.0)	還元。緑。釉・染付濃紺。口継 茶褐。白磁色。白・胎・白。	内面に染付施文あり、口跡あり。白磁軸は全 面。割れ口脱い。	19・20C 伊万里系
20-8 133-9	施釉陶器 碗	覆土 1/2	底・4.5	還元。緑。釉・外面暗め、内面 透明。胎・淡黄灰。	外面上に回転削削と鉄分の鉄釉あり。内面は淡 緑透明質の釉で、輪け分けの観。	18C 美濃
20-9 133-10	施釉陶器 瓶子か	覆土 破片	厚・0.6	還元。緑。釉・淡緑(灰釉)。 胎・灰。	外面上に4条の沈線と灰釉施釉あり。内面に組 作痕と整形条線あり。	14C 瀬戸
20-10 133-11	軟質陶器 火鉢	覆土 底部片	底・(32.0)	還元。硬。暗灰2.5Y5/2。 粗、やや輕。白・褐粒含。他少。	外面上に輪轍の回転条痕あり。底成は煙弱い。 割れ口・器面消耗気象。	19・20C 小泉か
20-11 133-12	石製品 礫石	覆土 一部欠	底石 重・62	遺存長8.2、幅2.8、厚2.7。	前端側に研ぎ減りが頗著、後端側も研ぎ減る が、裏面の使用は殆ど認められない。	中世以降

第20号溝状遺構

博団番号 國版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘 要
20-12 133-9	ガラス 瓶	覆土 底部片	底・6.7	ガラス 色調・濃暗緑。	底面は型壓状の凹凸面があり、外面に統く。 内面は平滑で光沢あり。型合せ部なし。	19・20C
20-13 133-10	施釉陶器 擂鉢	覆土 口縁片	口・(29.4)	中性。緑。釉・暗茶(鉄釉)。 胎・黄灰。	外外面に鉄釉。内面に8+α条を1単位とする 節目あり。	17・18C 美濃
20-14 133-11	瓦 瓦製円盤 一部欠損	覆土 一部欠損	径・7.5	還元。並。暗灰N3/0。 並、軽い。軽物質。	表面側は緻密。裏面は石目状の型壓、難砂付 着。外面に纏かかり、断面5層色変気味。	19・20C 小泉か

第21号溝状遺構

博団番号 國版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘 要
21-1 133-10	施釉陶器 蓋	覆土No14 2/3	口・(8.9) 高・2.0+α	中性。緑。釉・淡黄緑斑・黒絞、 淡黄透明。胎・黄灰。	土瓶蓋。外面天井部のみ黒色絞で、5弁梅花 (か) 邪羅とその弁中央に黄緑斑あり。	19C 益子か
21-2 133-11	瓦 十能瓦	覆土No11 破片	長・9.5+α	還元。硬。灰白2.5Y7/2。 粗、軽い。軽物質。	内面は、耳部に擦痕。裏面に石目状の型壓あり。 燒成は裏面のみ纏かかり。	小泉か

第22号溝状遺構

博団番号 國版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘 要
21-3 133-12	軟質陶器 盤形	覆土No1 口縁片	口・(32.4)	酸化。硬。純黄2.5Y6/4。並。	口縁部外側横無。外側指圧痕。底下部から底 面にかけ型壓、純色黒色で断面3層色変気味。	屋外敷入 か

第24号溝状遺構

辨認番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目(cm) 量目(g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
21-4	軟質陶器 灰	覆土 破片	厚・0.9~1.0	中~混。並。灰灰2.5Y5/1。 やや粗。白粒含、他軽物合。	内外面に細作の凹凸。割れ口にも細作痕見え る。器面少し消耗。	粘・陶

第33号溝状遺構

辨認番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目(cm) 量目(g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
21-5	軟質陶器 内耳培培	覆土 口縁部片	口・(30.0)	中性。灰。灰7.5Y4/1。粗。輕。 褐粒、黑色軽物、他合。	内外に回転痕あり。外面に指などによる凹凸 あり。	

第40号溝状遺構

辨認番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目(cm) 量目(g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
21-6	施釉陶器 灯明皿	40・41溝付近 1/2	D1・(9.0) 底・(4.2)	還元。粘。胎・鉄鉬。胎・灰。	外面上方と内面は全面施釉。外面下方と底面 は横刷毛継に施される。内面輪トナン痕。	18・19C 産不明
21-7	磁器	覆土	口・(7.2)	還元。絆。胎・染付淡い青。	外面に格子目状の染付施文。高台底部を除き 白磁釉で細密入あり。	18・19C 伊万里系
133-12	小鏡	2/3	高・5.7	還元。胎・白。	白磁釉で細密入あり。	
21-8	施釉陶器 灰灰皿	覆土 底部片	底・(7.0)	還元。胎・黄緑(灰灰調)。	外面高台付近から底面は無釉。それを除き施 釉。内面に重ね焼き痕。外面回転削面。	17・18C 窯場?
21-9	磁器 利市	覆土 底部片	底・(6.4)	還元。絆。胎・淡青(染付)、白 磁釉・透明白。胎・白。	外面に斜削側面による軸写染付施文入り。内 面と底面は無釉。内面に挽目あり。	19・20C 伊万里系
21-10	磁器 碗	口縁部片	口・(11.0)	還元。絆。胎・透明調、暗褐色(铁 釉・胎釉)。	外面上方から内面に透明調釉、外面下半の4 条の弦線以下に暗褐色。	18C 美濃
21-11	施釉陶器 花生	覆土 底部片	底・(6.8)	還元。絆。胎・暗青(透明調而 暗い青磁調)。	外面に4分の3種花様の弁間凹みあり。露胎 部が不規則右回転で底面か。下地洗拭、生掛け。	国産か不 明
21-12	軟質陶器 内耳培	覆土 破片	口・(36.0) 底・(34.2)	中性。並。赤黒5R2/1。粗。輕。 白・褐粒含・黑色軽物少。	内面に内耳剥落痕あり。外面下方から底面に かけ石目状の瘤痕。焼成断面5層色変気味。	18・19C 小泉か
21-13	石製品 砥石	覆土 完形	砥沢石 192	遺存長・12.35、幅・2.4、 厚・3.2	主使用は表。裏面と左側部。小口面に磨目、 側部に削目。使用浅い。	20C以降

第42号溝状遺構

辨認番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目(cm) 量目(g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
22-1	陶器	覆土 口縁部片	口・(14.0)	還元。絆。灰白5Y8/1。粗。やや 軽。白粒、白軽物多、他少。	山茶碗か山皿。口縁部周辺に自然釉。胎土は 粗質ながら耐火強。割れ口消耗あり。	東海搬入 13C

第43号溝状遺構

辨認番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目(cm) 量目(g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
22-2	土師器 破片	覆土 底部片	厚・0.3	酸化。硬。橙5YR7/8。並。粗。 白、褐粒含、他少。	内面に不明の墨書。施の中心部にあり。外面 はほとんど剥落。	墨書・2

第45号溝状遺構

辨認番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目(cm) 量目(g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
22-3	土師器 皿	覆土 底部片	底・6.8	酸化。軟。橙5YR6/6。粗。軽。 金青母合、他少。シルト質。	底部は回転糸切りらしき、右回転の痕跡と點 土巻き上げ接合痕。底面板状圧痕。	14・15C 美濃

第46号溝状遺構(1)

辨認番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目(cm) 量目(g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
22-4	陶器 鉢	覆土 口縁部片	厚・1.1	中~酸化。胎 釉・結茶(鉄釉)。胎・黄灰。	内外面に指跡。内面に郭目あり。外面に横刷 毛継目あり。割れ口消耗。	17・18C 美濃
22-5	陶器 碗	覆土 底部片	底・(5.0)	中性。胎・透明調。胎・淡 黄灰。	高台端部を除き胎釉。胎堤は鉄足形に酸化 剝れ口消耗。	18C 美濃
22-6	陶器 皿	覆土 底部片	底・5.2	中性。胎・淡黄緑(透明調)。 胎・黄灰。	外面上方と、内面に施釉あり。側部に打ち欠 きらしき跡あり、円形加工の途中か。	18C 美濃
22-7	軟質陶器 火鉢	覆土 口縁部片	口・(47.0)	酸化。硬。鈍橙5YR6/4。粗。軽。 黑色軽物含、軽物粒子少。	内面研磨あり。内面黒色燃なし、被熱の感 あり。外面に回転条痕あり。	小泉か

第48号溝状遺構

辨認番号 回収番号	種 別 器 器	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	構 要
22-8	土製品 円錐(裏面)	覆土内 完存	長・3.5 幅・3.4	酸化・並。純赤褐色5YR4/3。 粗粒砂・細織・黒色鉱物粒	深鉢の側面部を板用する。上半部に波状沈継 文が認められる。	接・無し

第53号溝状遺構

辨認番号 回収番号	種 別 器 器	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	構 要
22-9	軟質陶器 内耳	覆土 破片	口・(35.9) 底・(35.0)	還元。硬。黒褐色10YR2/2。 並、粗。白、褐粒、鉱物合。	口縁部周辺横無。底面は石目状の型焼。外面 少し焼される。	小泉か
22-10	瓦 十能瓦	覆土 破片	長・11.2+α	還元。硬。黑7.5Y2/0。粗、輕。 白粒、黒鉱物合、他少。	表面耳部跡は無。裏面は石目状型焼あり。耳 部は側部を含め無。焼成表・裏面に縫あり。	19・20°C 小泉焼
22-11	瓦製 円盤	覆土 一部欠損	厚・1.6	還元。並。褐灰10YR5/1。 並、輕。鉱物合。	表面は撫整形。裏面は石目状の型焼。砂付着。 焼成は外面に縫かかり、断面5層色変気味。	19・20°C 小泉焼

第54号溝状遺構

辨認番号 回収番号	種 別 器 器	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	構 要
22-13	土師質土器 皿	覆土 完形	口・9.3 底・4.8	酸化。並。淡黄2.5Y8/4。粗、輕。 褐粒、鉱物合。	櫛輪成形(左回転)。底部は回転糸切り。全体 に黄味強い。形は少し歪む。	近世以降
22-14	土師質土器 皿	覆土 2/3	口・(10.1) 底・6.2	酸化。硬。鈍棱2.5Y7R/4。並、 やや重。白粘合、黑色鉱物合。	櫛輪成形(左回転)。底部は回転糸切り。内面 は工具による輕削目。割れ口旧欠。	接・2点 近世
22-15	土師質土器 皿	覆土 底部片	底・(5.5)	酸化。並。明赤褐色5YR5/8。並、 やや重。白、褐粘合、他少。	櫛輪成形(左回転)。底部は回転糸切り。内面 底に輕削目あり。割れ口消耗微。	17・19°C か
22-16	施釉陶器 急須	覆土 破片	厚・0.5	還元。緑。釉・透明調、白土調。 胎・灰。	外面に寿?ほか文字を白土調。内面にも白土 調Nの刷毛目幾り文様。全体に透明調釉。	19・20°C 開闢か
22-17	施釉陶器 片口	覆土 破片	口・(17.1)	還元~中性。緑。釉・淡褐(胎 釉・調)。胎・灰。	外面に輕削目多く、内外面施釉。片口は櫛輪 成形の物を付す。口縁部内面に残り返り。	18・19°C 美濃焼
23-1	施釉陶器 蓋	覆土 利久 銅からく底片	底・(11.4)	還元。緑。釉・茶褐(鐵釉)光 沢。胎・淡黄灰。	外面全面に薄い茶褐釉。内面一部と外側に光 のある鐵釉。内外面輕削目。底面削目。	18・19°C 美濃
23-2	軟質陶器 蓋輪	覆土 破片	口・(42.0)	酸化。硬。黒褐2.5Y3/0。粗、輕。 褐粒、黑色鉱物合、他少。	外側に回転条痕あり。平部に「●岩崎」の 印跡2単位あり。全体に縫かかる。	19・20°C 小泉か
23-3	軟質陶器 蓋輪	覆土 小片	口・(39.2)	還元~酸化。並。灰黃2.5Y7/2。 並、やや重。鉱物合。	内面被熱色調。割れ口に接合痕あり。外側は 焼かかり、芯側は黒色、その間淡黄褐色。	19・20°C 小泉か
23-4	瓦 十能軒瓦	覆土 破片	厚・1.8	還元。並。灰10Y5/1。粗、やや 重。白粒多、黒粒多。	文様面にあたり直らしき跡。瓦接合部に擦き 破り女型状あり。色変あり被熱か。	小泉か

第57号溝状遺構

辨認番号 回収番号	種 別 器 器	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	構 要
23-5	石製品 石臼	覆土 1/4	粗粒輝石安山岩 7049	口・(29)、高・15.35。 底・(28.6)	石材重く、硬質。ふくみ量多い。軸穴あり。 挽目大まか。白粒旧欠。	
23-6	石製品 茶臼(下臼)	覆土 破片	粗粒輝石安山岩 1210	口・(19.0)、高・9.2。 底・(27.0)	石材硬く重い。欠損旧欠。ほんぎり部有り。 挽目端正。整形は裏面を除き丁寧。	

第58号溝状遺構

辨認番号 回収番号	種 別 器 器	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	構 要
23-7	陶器 壺	覆土 頸部破片	厚・1.4	酸化。緑。暗褐(内面)、淡綠(外 面自然釉)。胎・灰。	外面自然釉。内面酸化氣味の焼成。割れ口に 粗粒作痕。内面無整形。割れ口は消耗あり。	13・16°C 常滑

第59号溝状遺構

辨認番号 回収番号	種 別 器 器	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	構 要
23-8	軟質陶器 焙烙か	覆土 底部片	厚・0.8	酸化。軟。純黃10YR6/4。 粗、輕。白粘合、他少。	底面に石目状の型焼あり。内面に撫整形痕あ り、割れ口消耗少。	18・19°C 小泉か

第65号溝状遺構

埠図番号 回収番号	種 別 器 標	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
23- 9	軟質陶器 火鉢	覆土 底部片	厚・1.0	酸化。硬。純鐵2.5YR6/4。 粗、やや軽。白、褐粒合、他少。	内面被炭、外側擦と足付く。全体色調変化が あり被熱か。	小泉か
23-10	羽口	覆土 破片	径・(11.5)	酸化-遷元。縁-硬。 他5YR7/6 (酸化部)。	外面に珪化部があるもの、全体的に珪化部 分多い。スサ少し入る。珪化中に小鉄滓合。	

第66号溝状遺構

埠図番号 回収番号	種 別 器 標	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
24- 1	施釉陶器 碗	覆土 肩部片	底・4.2	還元。縁。胎・外側黒褐、内面 黄灰 (灰釉透明調)。胎・黄灰。	外側に釉膜異なる。高台は削り出しか不明。	18C 美濃
133-18					外面体部に擦痕目あり。高台端部無釉。	

第63号溝状遺構

埠図番号 回収番号	種 別 器 標	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
24- 2	磁器 碗	覆土 破片	口・(11.0)	遷元。縁。胎・透明調 (白胎)。	内外白磁輪で光沢強いが、口縁内部に薄 い釉面まりあり、現代ではなきよう。	20C 伊万里系

第64号溝状遺構

埠図番号 回収番号	種 別 器 標	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
24- 3	磁器 碗	覆土 底部片	底・3.9	還元。縁。胎・染付淡青白、白 磁色接青白。胎・淡灰白。	外面に草花文の一部か、底面に文字の染付あ り、高台に見見えず。	18C 伊万里系
133-19						
24- 4	施釉陶器 水注し	覆土 底部片	底・7.2	酸化。縁。胎・内面淡黄灰。	内面に灰化的白土様の施釉あり。外面無釉で 胎・黄灰。	19・20C 伊万里系
133-20						
24- 5	施釉陶器 利	厚・0.5 利	口・(3.8)	遷元。縁。胎・淡灰 (灰釉透明 調)。胎・淡灰。	頭の長い利脚で、内面施釉。口縁部は折り 返してその頭部と頭部外側とに隙間あり。	19C 産不明
24- 6	軟質陶器 内瓦焰燈	覆土 破片	口・(40.0)	酸化。純鐵2.5YR6/4。 粗、軽。鉄物微。	外面に保付者。内面に接合面あり。口縁部の 内外面構織。底面に石目状の腹巻。右回転。	19C 小泉か
133-21						
24- 7	軟質陶器 内瓦焰燈	覆土 口縫部	口・(36.0)	酸化。裏。灰5Y4/1。密、輕。	胎土は密の割に軽い。外面は撫と指などの压 痕灰斑。内面糊。端部シャープ。表・裏に無。	県外搬入 か
24- 8	軟質陶器 不明	覆土 破片	長・14.5+α	遷-中性。並。灰黄褐10Y6/2。 粗、軽。白、褐粒合、鉄物少。	外面に無釉と細かなハゼが多くある。裏面は接 合面剥落が見える。焼成は心側灰斑。	小泉か
24- 9	瓦 桟瓦	覆土 破片	長・16.2+α	還元。並。灰5Y4/1。粗、輕。 割れ口、黑色鉄物、他少。	表面に無、裏面は石目状の型模あり。表・裏 面焼かれる。	小泉か
24-10	土製品 土鍋	覆土 ほぼ完形	長・4.4 重・3.89	酸化。並。純鐵5YR5/4。 並。鉄物少。	小口旧時欠損。器面滑らか。一部に削り後 の撫あり。削れ口消耗。	
24-11	土製品 土鍋	覆土 ほぼ完形	長・3.2 重・3.87	酸化。並。純鐵10YR7/4。 並、やや重。鉄物少。	両小口旧時欠損。器面滑らか。色調味強い。	
24-12	土製品 土鍋	覆土 2/3	長・(2.9) 重・3.87	酸化。並。純鐵5YR6/3。 並、やや重。鉄物少。	両小口旧時欠損。器面滑らか。全体に少し消 耗。部分的に吸抜あり。	
24-13	土製品 土鍋	遺存長・3.0 重・2.90		酸化。並。純鐵2.5YR6/4。 並、重。灰斑合、他少。	両小口旧時欠損。器面滑らか。器面消耗あり。 色調黄色味い。	
24-14	埴輪 円筒	覆土 破片	厚・1.1	遷-酸化。硬。純鐵10YR6/4。 並、やや重。白粘、白灰物合。	外面に刷毛目と突堤あり。内面に粗作痕と、 指などによる撫目あり。削れ口消耗。	
24-15	埴輪 円筒	覆土 体部片	厚・1.5	酸化。並。純赤褐5YR4/4。	外面に刷毛目。内面に撫痕。全体に円弧の成 形弱し、形象埴輪か。	
24-16	埴輪 円筒	覆土 体部片	厚・1.6	酸化。並。純赤褐5YR4/4。 並、やや重。白、褐粒合、他少。	外面に刷毛目あり、内面に接合痕と指などの 撫目あり。削れ口の消耗少ない。	

第66号溝状遺構

埠図番号 回収番号	種 別 器 標	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
25- 1	磁器 蓋	覆土 1/2	口・(8.4) 高・2.3	還元。縁。胎・染付濃粗。白磁 色・白。胎・白。	外面に蛇行縞を残し、内面に雷文を染付。綿 み端部を除き白磁。	20C 伊万里系
133-22						
25- 2	磁器 皿	覆土 底部片	底・(17.0)	還元。縁。胎・淡青 (染付)。 白磁胎、淡々青白。胎・白。	内面に陶器圓らしき染付あり。白磁胎は高台 を除き施釉。内外に目跡・ハリ目あり。	18C 伊万里系
133-23						
25- 3	施釉陶器 碗	覆土 1/2	口・(12.0) 高・4.3	中性。縁。胎・透明調。暗黒緑 (鐵絆)。胎・黄灰。	内面に鐵絆で臨海図様の施釉あり。外面下方 と高台裏を除き施釉。	18・19C 京焼系

第66号溝状遺構

探査番号 回収番号	種 別 器 器	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
25-4	軟質陶器 擂鉢	覆土 口縁部片	口・(33.0)	還へ酸化。緑、釉・茶(鉄粒、光沢強い)。胎・黒灰。	外外面に光沢の強い鉄粒かかる。内面に御目あるものの摩耗少ない。接・4点。	19・20C 底不明
25-5 133-24	軟質陶器 内耳壺	覆土 破片	口・(40.0)	還元。硬、灰褐色2.5YR6/2。 粗、軽。白粒含、鉄物含。	底面に石目状の型磨あり。外側と内面口縁部に煤付着。口縁横擦。口縁内面にハゼあり。	20C 小泉か
25-6	土製品 円盤	覆土 完形	底・3.8 横・4.0	還元。軟、暗灰黄2.5Y5/2。 並、軽。白粒含、鉄物含、他少。	打ち欠き、研磨による再加工円盤で、旧種は残瓦か十段瓦。片側に型磨様面、片方無。	20Cか 小泉か
25-7	瓦 残瓦か	覆土 破片	底・15.3+α 横・11.8+α	還元。硬、灰2.5YR4/1。 並、やや重。白粒多、他鉄物少。	表面に研磨状光沢と雪母状光沢あり。裏面に深谷か 推抗あり。硬さのある地方瓦。	深谷か 小泉か
25-8	瓦 残瓦	覆土 1/4	底18.0+α 底18.5+α	還元か。硬、灰2.5Y5/1。 並、やや重。白粒多、他鉄物少。	表面に研磨状光沢と雪母状光沢あり。裏面に深谷か 推抗あり。硬さのある地方瓦。	深谷か 小泉か
25-9	石製品 砥石	砥沢石 1/2	長・9.0、幅・2.5、 厚・2.3 80	長・9.0、横・2.5、 厚・2.3	使用面は表面真と左側部。右側部は削り整形。 小口は調査時以後の欠損。	

第70号溝状遺構

探査番号 回収番号	種 別 器 器	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
26-1	施釉陶器 皿	覆土 破片	口・(10.0) 底・(5.5)	還元。緑、釉・白浮滑。 胎・灰。	外側下方難離回転荒削。高台は削り出し。裏 胎全面。回転方向不明。	16未~17 C。美濃
26-2	施釉陶器 皿	覆土 破片	口・(26.0)	酸化。緑、釉・白土、透明調。 胎・黄胎。	口縁に特徴あり。内面に白土の系縞文あり。 透明調胎全面。外側下方難離回転荒削。	17・18C 唐津系
26-3	施釉陶器 皿	覆土 破片	口・(25.0)	酸化。緑、釉・白土、透明調。 胎・黄胎。	口縁に特徴あり。内面に白土の系縞文あり。 透明調胎全面。外側下方難離目あり。	17・18C 唐津系
26-4	施釉陶器 擂鉢	覆土 口縁部片	口・(34.0)	還元。緑、純赤褐色2.5YR4/4。 密、重い。白鉄物多。他少。	焼鉢か。片口部あり。内面に7条一單位の御 目あり。外側に難離右回転条底。内面研磨少。 信楽	16~18C 信楽
26-5	軟質陶器 擂鉢	覆土 底部片	底・(10.0)	酸化。硬。純赤褐色2.5YR4/3。 並。白鉄物含。他鉄物や多。	薄字。内面に8+α一單位の御目あり。使用 摩耗。外側指圧痕と煤。	16・17C 伊万里
26-6	軟質陶器 擂鉢	覆土 破片	厚・1.5	酸化。並。灰白2.5Y7/1。 並、軽。白、馬鈴合、他少。	割れ口、器面消滑。側部に櫛板と石目状の凹 凸。平縁部は平滑。内面難脱。足部欠損。	18・19C 小泉か

第81号溝状遺構

探査番号 回収番号	種 別 器 器	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
26-7 133-25	土質瓦器 皿	覆土 破片	口・(12.5) 底・(7.0)	酸化。並。浅黃橙10YR8/4。 粗、軽。白、馬鈴合、他少。	難離成形。底部は静止気味の系切り。内面底 面に複数凹みあり。内面に輪室の墨書きあり。	墨書き・3 伊万里系
26-8	土質瓦器 皿	覆土 破片	口・(9.3)	酸化。並。2.5YR6/6。 白、馬鈴合、他鉄物少。	難離成形(左回転)。底部は回転系切り。 外側難離底。	中・近世 唐津系
26-9 133-26	磁器 小窓か 底部周辺	覆土 底・(4.0)	還元。密。釉・淡青(染付)、茶 (鉄)。白磁触染々青。	還元。密。釉・淡青(染付)、茶 (鉄)。白磁触染々青。	墨書き・4 伊万里系	
26-10 133-27	施釉陶器 碗	覆土 1/3	底・4.4	還元。緑。釉・淡青(染付)。 透明調。胎・灰。透明調。胎・灰。	陶器胎土の染付。外側に染付施文あり。さら に透明調胎、その下方に長石輪下地掛。	18C 唐津系
26-11	施釉陶器 皿	覆土 底部片	底・(7.0)	中~混。緑。釉・乳白(志野胎)。 胎・黄灰。	底部は部分的に無釉があるものの他の施釉。 内面に目跡1カ所。	16C末 美濃
26-12	軟質陶器 内耳鍋	覆土 破片	口・(31.2) 底・(29.2)	酸~還元。硬。灰褐10YR4/1。 並、軽。白、馬鈴合、鉄物含。	内面に内耳有り。外側に難離あり。内外面に 焼かかり、断面5層気味色変。	小泉か
26-13	瓦 十能瓦か	覆土 破片	長・11.4+α 幅・1.4+α	還元。硬。灰2.5Y6/1。 粗、軽。白粒含、鉄物含。	表面に無あり。裏面に石目状の型磨あり。 焼成は、表面のみ墨書きあり裏面は弱い。	小泉か
26-14	石製品 砥石	砥沢石 完形	長・11.0、幅・2.4、 厚・2.2	長存長・6.3、幅・4.3、 厚・1.2。	先尖りの刃付砥で、使用は表面、左側部の3 面。主使用は鋸。部分的に削り目あり。	中世以降 小泉か
26-15	石製品 砥石	砂岩 破片	50	達存長・6.3、幅・4.3、 厚・1.2。	使用面は、表面、両側部の4面。奥の小口阳 欠後も使用。手前小口は旧欠。割れ口は消純。	

第83号溝状遺構

探査番号 回収番号	種 別 器 器	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
27-1 133-28	磁器 皿	覆土 1/3	口・(15.0) 底・(9.8)	還元。緑。釉・淡青(染付)。 透明調。胎・白。	内面に草木様の施文あり。外側に唐草文、高 台裏に「福」銘あり。	18C 伊万里系
27-2	施釉陶器 擂鉢	覆土 破片	口・(34.0)	酸化。緑。唇面暗褐7.5YR5/3 (胎か)。胎・淡褐。	内面に6条一單位の御目が5単位。内外面難 離目。即し研磨は微。焼鉢か施釉か不明。	17・18C 信楽

第85号溝状焼

辨認番号 固版番号	種 類 種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
27-3	磁器	覆土	口・(8.9) 高・2.8	還元。緑。胎・染付暗青、白磁	向付様小瓶の蓋。内外面に染付施文あり。高台端部を除き白磁胎。	18C 伊万里系
133-29	蓋	1/2		還元。緑。胎・淡青(染付)、白磁		
27-4	磁器 碗	覆土 1/4	口・(10.0) 底・(4.0)	還元。緑。胎・淡青(染付)、白磁	外側に丁寧な表現で梅花ほか施文あり。内外面に白磁胎で高台端部のみに鉄足跡。消耗感。	18C 伊万里系
27-5	磁器	覆土	口・(10.0)	還元。緑。胎・染付暗青、白磁	外側と高台裏に染付施文あり。山鼻頭。高台	18C 伊万里系
133-37	碗	1/3	高・5.2	還元。緑。胎・暗青。白。	端部を除き白磁胎。	
27-6	磁器 碗	覆土 1/2	高台径・(3.9) 高・5.6	還元。緑。胎・染付青、白磁、白。胎・白。	外側に「舟」と他施文あり。内面に網文・口縁加熱はか染付。高台端部を除き白磁胎。	19C 伊万里系
133-31						
27-7	磁器	覆土 2/3	口・(10.8) 高・6.0	還元。緑。胎・染付青、白磁 青白。胎・白。	外側に梅花文等。ベロ藍染付で内面に帆掛舟、口縁部に淡青釉。	20C 伊万里系
133-32						
27-8	磁器	覆土	口・(11.0)	還元。緑。胎・暗青(染付)、透 明。胎・白。	外側に御茶飴風の染付施文。内面に團線あり。	20C 伊万里系
133-33	茶碗	1/2	底・(3.8)		透明は高台端部を除いて施す。	
27-9	磁器 皿	覆土 破片	口・(14.0)	還元。緑。胎・濃青(染付)、白 磁胎。波々青白。胎・白。	内面にベロ藍による染付施文。外間にも条線の施文あり。	20C 伊万里系
27-10	施釉陶器 蓋	覆土 1/4	径・(12.7) 底・(9.6)	還元。緑。胎・濃青(染付)、白 土、透明調。胎・淡褐。	外側はベロ藍による草文様の染付。細み有欠。	19・20C 産不明
27-11	施釉陶器 鍋	覆土 2/3	底・5.4 高・5.9	中性。緑。胎・淡黄灰透明。	外側全体厚、内面状半にかけて施釉。底面回転底部。	18・19C 瀬戸美濃
133-36						
27-12	施釉陶器 片口か 縁部	覆土 片口か 縁部	口・(18.0)	還元。緑。胎・暗黄緑(淡・輪 釉)。胎・暗。	内面に施釉、外下面下方回転底部。上方輪釉。口縁部に擦り傷有。	18・19C 産不明
27-13	施釉陶器 鍋	覆土 破片	口・(14.8)	中性。緑。胎・外面暗茶(鉄輪 無光沢)、内面明茶。胎・黄灰。	内面施釉有欠あり。外側飛ランナ風文と口縁に保有者。	19・20C 地方窯か
27-14	施釉陶器 便利	覆土 底部片	底・7.9 高・(6.1)	中・酸。緑。胎・淡。	外側底部から施釉、内面に薄い鉄輪かかる。外側上方飛散あり。底面凹陥。	19C 産不明
133-34						
27-15	施釉陶器 便利	覆土 1/2	底・8.6	中性。緑。胎・茶褐(鉄輪胎)	胎は鐵成。内面に茶褐色(鉄輪・鉄輪調)の有機質有。胎は部分的に白土様の掛捺あり。美濃	19・20C 産不明
27-16	施釉陶器 急須	覆土 破片	長・6.1	酸～中。緑。胎・茶褐(鉄輪)	内面の一部と外面上に鉄輪かかる。内面は下か 上へ輪の重ね落ちあり。	19・20C 産不明
133-35						
28-1	施釉陶器 擂鉢	覆土 破片	口・(32.0) 高・(6.2)	還～酸。緑。胎・鉄輪。 胎・暗赤褐～黒灰。	外側底部下に3条の隕部あり。内面9+α を一単位とする部目あり。	17・18C 東海以西
28-2	陶器 擂鉢	覆土 破片	口・(28.0)	酸化。緑。胎・鉄輪。胎・明赤 褐。白磁物合。	全面に施釉。内面に御目あり。口縁部外間に 3条の隕部あり。	17・18C 信楽か
28-3	陶器 擂鉢	覆土 破片	口・(22.0)	酸化。緑。胎・自然釉か浅い鉄 輪か不明。胎・茶褐。	内面御目あり、深い。胎土に白磁物を多く入 る。外側の口縁部帯に3条。	17・18C 信楽か
28-4	陶器 擂鉢	覆土 破片	口・(32.6)	酸化。緑。明赤褐2.5YR5/8. 赤。重。白磁物合。他少。	口縁部は外側に3段の隕部あり。以下隕部。 内面に御目、印鉢あり。使用痕微。	17C 備前前か
134-3						
28-5	陶器 鉢	覆土 破片	高・(2.9) 底・(15.0)	中性。緑。胎・茶褐(鉄輪光沢 あり)。胎・黄灰。	内面にチタン痕。高台と底外表面を除き施釉。 胎は安定し、釉表面下は黒ガラス様。	19・20C 産不明
28-6	軟質陶器 火鉢	覆土 破片	口・(43.2) 底・(27.5)	還元。赤。オリーブ黒7.5Y3/2. 胎・黒物合、黒粒合。	外側黒物質(墨か)付着。内面ハゼ多。 底面石目状の型崩。	接・8点 小泉か
29-1	軟質陶器 培培	覆土 破片	口・(35.2)	酸化。緑。純鐵7.5YR6/4. 粗。胎・やや輕。桜鉢。黒物合。	外側付着。底面に石目状の型崩。内面に粗 粒回転底部或。燒成單一気味。	接・4点 小泉か
29-2	軟質陶器 培培	覆土 破片	厚・0.9	酸化。緑。明鐵7.5YR5/4. 粗。胎・やや輕。桜鉢。黒物合。	内耳か。底から体部外間にかけて石目状の型 崩。口縁部周辺外横撫。	19・20C 小泉か
134-2						
29-3	軟質陶器 培培	覆土 破片	口・(36.0) 底・(35.5)	還元。赤。橙7.5YR6/6. 並。輕。桜鉢合。黒物合。	内外面に擦痕による擦痕。底面いMの型崩と 保有者。	19・20C 小泉か
29-4	軟質陶器 火鉢	覆土 破片	厚・1.0	還元。赤。灰5Y6/1.並。輕。	内面に研磨あり。内外面焼され断面5層色変 気味。割れ口少し消耗。	
29-5	軟質陶器 火鉢	覆土 破片	口・(40.8) 高・(6.7)	還元。黒。2.5GY2/1. 並。やや輕。白粉。黒物合。	外側に接合面、割れ口に2カ所見える。内面 研磨、下方ハゼ剥落。内面焼の黒化。	17・19C 小泉か
29-6	軟質陶器 蓋輪	覆土 1/4	上径・(35.3) 下径・(30.6)	酸化。赤。灰2.5Y6/2. 並。重。白。桜鉢合。黒物合。	外側に焼付。部分的に焼される。内外面に 接・3点	
133-38						
29-7	軟質陶器 音符手垢	覆土 破片	底・(19.0)	還元。黒。黒褐10YR3/1. 並。やや輕。白粉合。黒物合。	内面に押文(絵状)があり。内面に繩目。焼 成は芯黒色で焼がかかる。断面5層色変。	19・20C 小泉か
29-8	軟質陶器 音符手垢	覆土 破片	底・(15.2)	還元。並。オリーブ黒7.5Y2/2. 並。胎・鉄輪。黒物合。	外側に押文(絵状)あり。内面に繩目。	19・20C 小泉か
29-9	軟質陶器 火入	覆土 1/5	横・14.0+α 高・9.0	還元。並。灰4N。重。やや輕。 白粉合。黒物合少。	火入か丸底か底面型崩。内面無。表面も潤と 黒化。焼成は芯黒色。内外面焼で5層色変。	接・2点

第87号溝状遺構

探査番号 回収番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目(cm) 量目(g)	焼調・色調・釉土	形状・技法等の特徴	摘要
30-1	軟質陶器 火入か	覆土 破片	長・8.6+α 深元。並、灰7.5Y4/1。 並、やや輕。白粒微、鉢物少。	外側に石目状の廣あり。内面は無。口縁は平 緑となり施。焼成外側黒色、芯部で5層色変。	18・19C 小泉か	
30-2	石製品 礫石	覆土 破片	珪質粘板岩 150	長・12.0+α、幅・6.2、 淡褐色。	仕上げの合わせ延紙。僅か条痕と合わせての 使用。周側観目。裏面削落。磨理面あり。	櫛生の低 石か
30-3	瓦 桟瓦	覆土 破片	長・9.6+α 深元。	表面に青母粒状の光沢。凸面に微窪。胎土中 並、やや重。灰色鉱合、鉢物含。	19・20C 深谷か	
30-4	石製品 石臼	覆土 破片	相模輝石安山岩 1290	口・(27.6)、底・(26.0)、 高・7.5。	石材は軽く、柔らか。一部に供給孔疑似あり。 側面、周縁摩耗。	中世か

第87号溝状遺構

探査番号 回収番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目(cm) 量目(g)	焼調・色調・釉土	形状・技法等の特徴	摘要
30-5	施釉陶器 小甕	覆土 破片	口・(12.2)	酸～中。綠、釉・茶(鉄釉)光 沢、黒(鉄)。胎、黃底。	外側下方を除き施釉。口縁上面のみ黒釉。釉 は光沢強い。	19・20C 産不明

第88号溝状遺構

探査番号 回収番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目(cm) 量目(g)	焼調・色調・釉土	形状・技法等の特徴	摘要
30-6	磁器 碗	覆土 1/3	口・(10.1) 底・(3.6)	還元～紫。綠、釉・白土様(刷毛 撲)、透明調。胎、灰～褐。	内外間に白土様の刷毛施文。高台端部を除き 施釉。割れ口旧欠裂い。	18C 唐津系
30-7	施釉陶器 变形皿	覆土 2/3	短径・(10.0)	還元～中。綠、釉・透明調。 胎、灰白。	高台端部を除き施釉。向付か。胎は細かい質 が生ずる。	18C 美濃
30-8	軟質陶器 内耳鍋	覆土 破片	口・36.2 底・34.4	酸化～還元。黒褐10YR3/1。 並、やや輕。鉢物含。	内面に内耳の剥落と接合痕、横窪。外側に接 合板と底にかけ石目状の型膚。内外縁あり。	小泉か

第89号溝状遺構

探査番号 回収番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目(cm) 量目(g)	焼調・色調・釉土	形状・技法等の特徴	摘要
30-9	土師質土器 皿	覆土 1/2	口・9.0 底・5.5	酸化。並。純橙5YR7/3。 粗、輕。白粒微、鉢物含。	織籠成形(左回転)。底部は回転余切り。 内面輪郭目立たず。	接・4点 貼
30-10	土師質土器 完形皿	覆土 完形	口・8.5 底・5.0	酸化。硬。純黃橙10YR7/2。 粗、輕。鉢物含。	織籠成形(右回転)。底部は回転余切り。 油煙付着。内面輪郭目立たず。	近世か 粘
30-11	土師質土器 皿	覆土 破片	底・(6.0)	酸化。並。橙7.5YR7/6。 粗、輕。白、純黃。	織籠成形(左回転)。底部は回転余切り。 内面一方指向の指標。割れ口消耗。	接・2点 中世
30-12	施釉陶器 茶末か	覆土 破片	口・(6.0)	酸化。硬。釉・淡黄褐(淡褐色 で底火土か)。胎・淡褐。	外面に刺突文の小施文あり。釉は内外全面に あり。全体に酸化味。	19・20C 東洋
30-13	施釉陶器 碗	覆土 破片	厚・0.4	中性。綠。釉・透明調。 胎、黃灰。	外側輪郭、細買入あり。割れ口の大多数は 旧欠。	18C 京焼き
30-14	施釉陶器 便利	覆土 完形	口・4.7 底・18.5	中性。綠。釉・乳濁褐灰。	外面に長石・石英分の多い刷毛焼無施釉あり。 内面は不明。外側下半に凹凸割れ目あり。	19・20C 産不明
30-15	燒結陶器 底部片	覆土 底部片	底・(12.3)	酸化。綠。純黃橙10YR7/3。 密、重。白粒、鉢物含。	内面底側は使用摩耗。内面外側あり。底面は 砂付着。酸化は弱い。割れ口少し摩耗。	13～16C 常滑か
30-16	軟質陶器 火入か	覆土 破片	口・(18.0) 底・(12.8)	酸化。硬。純黃2.5Y6/3。 並、やや輕。白粒微、鉢物含。	内面輪郭目。外面に口縁部粘土帯接合面。 研磨痕あり。焼成は芯黑色。外側輪郭5層色変。	17・19C 小泉か
31-1	軟質陶器 底部片	覆土 底部片	口・(37.7) 底・(35.0)	中～還。並。オーリエ黒5Y3/1。	底～体部外側下方に石目状の型膚あり。体部 外側中位に口縁部粘土帯接合面。5層色変。	接・4点 小泉か
31-2	軟質陶器 内耳焰培	覆土 破片	口・(39.4) 底・(36.0)	中性。並。黑5YR1.7/1。 粗、輕。鉢物含。	底部粘土板か、石目状は型膚か。口縁部粘土 帯接合面、指圧痕、横窪あり。織籠左回転。	燒成5層 小泉か
31-3	軟質陶器 内耳焰培	覆土 破片	高・5.3	中性。並。黄灰2.5YR4/1。 粗、輕。鉢物含。	口縁部粘土板、底部粘土板か、外面に接合痕。 横窪、指圧痕あり。織籠左回転。	燒成5層 小泉か
32-1	軟質陶器 内耳焰	覆土 破片	口・(39.4) 高・5.0	酸～中性。並。黄灰2.5YR6/1。 粗、輕。鉢物含。	織籠成形(右回転)。口縁部粘土帯、底部粘土 板、外側輪郭、接合痕、鉢形。	18・19C 小泉か
32-2	軟質陶器 火鉢	覆土 破片	口・(35.8) 底・(27.0)	酸～中性。並。黄灰2.5YR6/1。 並、やや輕。白粒微、鉢物含。	内外面に研磨あり。底面に石目状の型膚あり。 体部外側下半指圧痕、鉢形。断面3層色変。	接・3点 小泉か
32-3	軟質陶器 火鉢	覆土 破片	口・(30.0)	還元。硬。黑7.5Y2/1。 並、やや輕。白粒微、鉢物含。	外側に輪郭目、小ハゼ。内面研磨と酸化様の 光沢あり。焼成は芯黑色外側焼、5層色変。	17・19C 小泉か
32-4	軟質陶器 鍋	覆土 破片	口・(35.6) 底・(17.0)	還元。硬。純黃2.5Y6/3。 並、白粒微。	外側に横窪、指圧痕、型膚。内面に回転朱痕。 外側に付着し。	接・9点 小泉か

第92号溝状遺構

探査番号 回版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目(cm) 量目(g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
33-1 134-17	施釉陶器 壺	覆土 口縁部片	口・(15.0)	還元。焼締。灰白・5Y7/1。 粗、やや重。白色鉱物含。他含。	口縁部付近の内外に自然釉。内外輪縁の回転 条痕あり。割れ口少し消耗。山茶境。	13C 東海
33-2 134-18	須恵器 壺	覆土 破片	口・(15.2)	還元。緑。灰白5Y8/1。 密、重。白鉱物含。	外面に浅い輪縁目。口縁～内面にかけ自然釉。 胎土は、石英、長石様鉱物多い。	13C 東海
33-3	施釉陶器 碗	覆土 破片	厚・0.6	中性。緑。釉・黄灰透明調。 胎・灰。	外面下方の露胎を除き、内面とも施釉。窓泊 部に回転窓削目見える。消耗少ない。	18C 産不明

第93号溝状遺構

探査番号 回版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目(cm) 量目(g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
33-4	須恵器 壺	覆土 破片	厚・1.4	酸化。並。胎・7.5YR6/6。 並、やや重。	割れ口に紐作痕。外表面無。内面に回転擦痕 と強痕。割れ口消耗大。	

第94号溝状遺構

探査番号 回版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目(cm) 量目(g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
33-5 134-19	土師質土 器皿	覆土 2/3	口・(11.8) 底・(6.0)	酸化。並。胎・7.5YR6/6。 粗。白粒、鉱物含。	輪縁成形(右回転)。底部は回転糸切り。 内面不定方向の擦。やや大形。	接・2点 點
33-6 134-20	磁器 碗	覆土 2/3	口・(10.6) 底・4.2	還元。緑。染付濃紺。白磁色。 白。胎・白。	外面に梅花文尽と松葉を施文。内面に帆揚舟 と口縁に松葉文加飾あり。	20C 伊万里系
33-7 134-22	磁器 碗	覆土 1/2	口・(10.1) 底・(3.9)	還元。緑。胎・染付濃紺。白磁 色・白。胎・白。	外面に菊・萩文を中心とした染付施文あり。 口縁部に染付施文。白磁あり。	20C
33-8 134-23	磁器 皿	覆土 破片	底・(6.2)	還元。緑。胎・染付濃紺。白磁 色・淡青白。胎・白。	内面に草文らしきほかの施文。外面に圓線を 施文。高台蛇の目・端縁を除き白磁釉。	20C 伊万里系
33-9 134-23	磁器 皿	覆土 4/3	口・(15.0) 底・(7.4)	還元。緑。染付青。白磁色・淡 青白。胎・白。	全体は鰐型の変形皿で、鰐孔列を四させ、内 に貝足と海草を、外側にも施文。焼成記号有。	伊万里系
33-10 134-23	磁器 皿	覆土 底部片	底・(11.0)	還元。緑。胎・淡青(青磁)、 胎・白。	高台端部～蛇目部外周に淡青色磁釉を施し、 少し厚い。高台は削り出す。	18C 伊万里系
33-11 134-21	施釉陶器 便利	覆土 破片	底・(6.8)	還元。緑。胎・透明調の淡灰。 胎・淡灰	外面中～上方施釉。下方露胎少し酸化。内面 輪縁目、無釉。底面に「酒口」墨書。底不明	墨書・5 19・20C
33-12	施釉陶器 香炉	覆土 破片	口・(16.0)	中性。緑。胎・暗茶(鐵釉)。 胎・白。	内外面に鉄釉。外側は2条の仕線、以下露胎 目あり。外面部輪縁部に用摩痕。	18Cか 美濃
33-13	軟質陶器 火入	覆土 小片	口・(22.8)	中性。並。オリーブ5Y3/1。 並、緑。白。褐粘合、他少。	外面、輪状施文あり。内面回転条痕。口縁部 付近研磨あり。	19・20C 小泉か
33-14 134-24	軟質陶器 焰炉	覆土 破片	口・5.1 底・(20.4)	還元。並。灰白5Y7/1。 密、やや重。黒粘合、鉱物含。	外面に押文様(輪状)。透かしあり。内面に 輪縁目あり。焼成は外側淡焼。5層色變。	18・19C 小泉か
33-15	軟質陶器 火入か	覆土 小片	最大径・ (23.0)	中性。軟。灰5Y4/1。並。軟。釋。 白、褐粘合、他微。	外面に斑状施文あり。内面輪縁目あり。内 外面黑色機あり。割れ口消耗微。	19・20C 小泉か

第97号溝状遺構

探査番号 回版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目(cm) 量目(g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
34-1 134-25	磁器 碗	覆土 1/2	口・(6.8) 底・3.2	還元。緑。染付濃紺。白磁色。 白。胎・白。	外面に浅い書字模様文で動物様の施文をし、 その上に濃紺の染付を行なう。高台端部除き施釉。	19・20C 伊万里系
34-2	磁器 碗	覆土 破片	口・(9.0)	還元。緑。胎・青(染付)、 白磁色・淡青白。胎・白。	外間に要筋文、内面格子状の染付施文あり。 各々輪流れており。そのため青色味強い。	19初 伊万里系
34-3	磁器 碗	覆土 破片	口・(9.0)	還元。緑。胎・透明(白磁)、 綠・土紅・網糊か。胎・白。	内外面光沢のある透明釉あり。外面の下方に 土紅付あり。	19・20C 伊万里系
34-4 134-26	磁器 蓋子入蓋	覆土 1/2	高・(4.1) 口・(11.6)	還元。緑。染付淡青。白磁色・ 淡青白。胎・白。	外面に書物様の施文と蓋の貼付あり。口縁 端部を除き施釉。内面釉境は歯足状に発色。	18C 伊万里系
34-5	磁器 碗	覆土 1/3	口・(11.0) 底・(4.0)	還元。緑。胎・濃紺(染付)、 白磁色・淡青白。胎・白。	外面にペロ藍による施文。内面にも圓線の染 付あり。高台端部を除き白磁釉。	19・20C 伊万里系
34-6	磁器 浅碗	覆土 破片	口・(15.4)	還元。緑。胎・白磁白・貢入器。 胎・白。	内外面に貢入先進。貢入内は黒い。口縁若干 反る。	19・20C 縣外輸入
34-7	軟質陶器 焰炉	覆土 破片	口・(31.3)	還元。硬。黒褐色YR3/2。 粗、緑。鉱物含。	底面に石目状の型唐あり。口縁部の内外面横 縞。外表面被熱色変あり。	19・20C 小泉か
34-8	瓦 十能瓦	覆土 小片	長・10.1+α	還元。並。灰5Y4/1。密、やや重。 白、褐粘合、鉱物少。	外面に無、裏面に石目状の型唐。縱撫あり。 表面から小孔があるが質道せず。3層色變。	

第99号溝状遺構

辨認番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	概 要
34-9	施釉財器 鉢	覆土 底部片	底・(15.0)	中性。緑。釉・淡黄灰で透明調 胎・黄灰。	片口か。内面に施釉。内面にトテン痕あり。 外面部右側斜面削除。	18C 美濃
134-27						
34-10	磁器 碗	覆土 破片	底・(5.8)	還元。緑。釉・透明(白磁釉)。 胎・白。	内面に白磁釉あり。底面に糸切条痕あり。白 磁釉の光沢強い。	19・20C 伊万里系

第100号溝状遺構

辨認番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	概 要
34-11	施釉陶器 ひょう器	覆土 1/3	底・4.9	中性。緑。胎・透明気味。 胎・灰黄。	外面上方に内面上方に施釉。胎壺は鐵足状に 発色。底部は回転窓剝。	18C か 美濃
134-28						
34-12	土師質土 器皿	覆土 底部片	底・(4.4)	酸化。並。赤褐色5YR5/8。 並。やや重。褐色多、鉄物多。	鐵錆形成(右回転)。底部は回転糸切り。 欠損品の円盤加工。内外削れ口消耗。	粘

第117号溝状遺構

辨認番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	概 要
34-13	土師器 杯	覆土 口縁部片	厚・0.4	酸化。硬。橙2.5YR7/8.並、輕。 白、褐色合、他合。	内外面横擦りあり。外面に不明墨書あり。削れ 口少し消耗。	墨書- 6
34-14	須恵器 壇	覆土 底部片	底・(9.5)	還元。硬。灰 N5/6.密、やや重。 白粒合、他鉄物少。	鐵錆形成(右回転)。高台は付け高台。内面に 太田か 鐵錆目あり、外面滑らか。削れ口消耗。	太田か 鐵錆

第121号溝状遺構

辨認番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	概 要
34-15	土師質土 器皿	覆土 1/4	口・(8.8) 底・(5.0)	酸化。軟。浅黃2.5YR8/4. 粗。輕。褐色合、他少。	鐵錆形成。底部は回転糸切り。やや粗雑な作 調。体部外側と内面に鐵錆形成。	後 - 2点
34-16	土師質土 器皿	覆土 口縁部片	口・(9.0) 底・(5.3)	酸化。並。浅黃2.5Y7/3. 粗。輕。白粒、黑色鉄物合。	鐵錆形成(右回転)。底部は回転糸切り。 作調粗雑な所あり。削れ口少し消耗。	17C か 美濃
34-19	磁器 碗	覆土 1/2	底・(4.3)	還元。緑。胎・淡青(染付)、 透明。胎・白。	外面に都茶碗様の染付施文あり。高台裏に6 施文あり。透明釉は高台を除く。	19・20C 伊万里系
135-2	施釉陶器 皿	口縁部片	(13.0)	還元。緑。胎・淡灰緑(灰釉調) 胎・淡灰。	外表面下方を除いて施釉。外表面下方横擦りによる 回転窓剝。	17C 瀬戸
34-21						

第122号溝状遺構

辨認番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	概 要
34-17	磁器 壺	覆土 1/2	口・(6.8) 底・4.8	還元。緑。染付青、白磁釉、淡 青合。胎・白。	外面に霜と草文の染付施文あり。高台端部を 除き白磁釉。	19C 伊万里系
135-3						
34-18	磁器 壺口	覆土 2/3	口・(6.6) 底・2.6	還元。緑。染付青、白磁釉、 白。胎・白。	高台端部と吹き白磁釉。内面に染付施文あり。 そのうち内面に「太田」「前口」とあり。	昭和か
134-30						
34-20	磁器 皿	覆土 1/2	口・(9.9) 底・2.2	還元。緑。染付青、赤絞、矛 形。胎・白。	矛形成形か。内面色絞。染付で富士山、並。 施文あり。形押成形らしき押庄文字あり。	昭和か
34-22	吹質陶器 壺	覆土 破片	口・(34.5) 底・(35.2)	酸化。硬。暗褐色5YR5/3. 並、やや輕。白粒合、鉄物少。	底面に石目状の型崩。口縁部周辺の内外面に 横擦りあり。外外面に黒斑あり。	19・20C 小泉か
134-29						

第129号溝状遺構

辨認番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	概 要
34-23	吹質陶器 内耳	覆土 口縁部片	厚・1.0	酸化。硬。黒褐色5Y3/1. 粗。輕。白、褐色合。	外面下方に石目状型崩。口縁部周辺の内外面に 横擦りあり。外外面に黒斑あり。	18・19C 小泉か

第90号溝状遺構

辨認番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	概 要
35-1	土師質土 器皿	覆土 1/3	口・(9.3) 底・(5.9)	酸化。硬。純黃橙10YR7/2. 粗。輕。白、褐色合、他鉄物。	鐵錆形成(左回転)。底部は回転糸切り。 土は粗質で近世以降か。内面裏面回転鐵錆。	17C 以降
135-3						
35-2	施釉陶器 碗	覆土 1/3	底・4.7	中性。緑。胎・淡黄灰(透明調) 胎・黄灰。	胎は薄く買入あり。高台端部を除き落物。 欠損は出時。高台は貼付か。	18C 京焼系
135-4						

第90号溝状造痕

掛団番号 回版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目(cm) 量目(g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
35-3	軟質陶器	覆土	口・(38.3) 底・35.0	還元。並。黒褐10YR3/1。 並。輕。鉢物少。	口縁部平ら。口縁部下方外面に粘土帶接合部。 中位以下底面まで石目状壓痕。付着。	接・7点 小泉か
135-5	内耳培培	1/6				
35-4	軟質陶器 手縫	覆土 破片	口・(33.1)	酸化。並。灰黄褐10YR6/2。 並。やや輕。白粒合、鉢物少。	外面に大きな研磨、口縁部粘土帶接合部。 内面に研磨痕。焼成内外差。断面5層色変。	17~19C 小泉か
36-1	軟質陶器	覆土	口・(38.7)	還元。硬。灰黄2.5Y6/2。 並。鉢物少、鉢物合。	内面に内耳3カ所。底~全体外表面の一部に石目状の壓痕。内面に菊花印花3カ所。5層色変。	18~19C 小泉か
135-6・7	内耳培培	ほぼ完形	底・35.7			

第86号溝状造痕

掛団番号 回版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目(cm) 量目(g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
37-1	土師質土器	覆土	口・8.9	酸化。純黄橙10YR7/2。 粗。輕。鉢合。	輪轂成形(左回転)。底部は回転糸切り。 外面部ともに輪轂目立ます。	粘
135-9	器皿	ほぼ完形	底・5.0			
37-2	土師質土器	覆土	口・9.4	酸化。並。灰白2.5Y8/2。 粗。輕。鉢物少。	輪轂成形(左回転)。底部は回転糸切り。 外面部輪轂目立ます。	粘
135-8	器皿	底・6.6				
37-3	土師質土器	覆土	口・9.4	酸化。並。純黄5YR7/4。 並。やや重。鉢物少。	輪轂成形(左回転)。底部は回転糸切り。 内底面輪轂工具整形あり。その外面部輪轂目。	粘
135-10	器皿	2/3	底・6.3			
37-4	土師質土器	覆土	口・(10.0)	酸化。硬。純黄5YR6/6。 並。やや重。白。鉢、他少。	輪轂成形(左回転)。底部は回転糸切り。 外面部輪轂付着、底面に燒成前付着の胎土あり。	中・近世
135-11	器皿	1/2	底・(6.0)			
37-5	磁器	覆土	口・(10.1)	還元。綠。釉・淡黃青(染付)。 透明調。胎・灰白。	外面に草木花文染付、高台裏にもあります。 高台端部を除き透明調輪轂。	18C 伊万里系
135-19	碗	2/3	底・4.3			
37-6	磁器	覆土	口・(10.6)	還元。綠。釉・淡黃青(染付)。 白磁釉・淡々青。胎・淡灰白。	外面にこんにゃく判欄文あります。須頭は暗い。 割れ口少し。輪轂。内面部使用感度あります。	
37-7	磁器 碗	覆土 1/2	口・(10.4) 底・(3.9)	還元。綠。釉・淡青・暗青(染付)。 白磁釉・淡々青。胎・白。	外面に三友文染付、山呑具。白磁釉は高台端部を除き施釉。	
37-8	磁器	覆土	口・(10.3)	還元。綠。釉・染付淡黃青。白	内面に花文と頬・草文の施文。外側部に唐草文、外面部裏記号染付。高台端部を除く白磁釉。	18C 伊万里系
135-11	小皿	3/5	底・2.3			
37-9	磁器	覆土	口・10.8	還元。綠。釉・淡青(染付)。 透明。胎・白。	内面に草文・格子・中央にこんにゃく判・外 面唐草文ほか施釉。高台端部を除き透明釉。	18C 伊万里系
135-12	皿	1/2	底・6.4			
37-10	磁器	覆土	口・(14.7)	還元。綠。釉・灰白2.5Y8/1(透明)。 底・(9.0)	内に板・竹縄(三友文)の施文。外面に唐草を染付。高台端部を除き白磁釉。	18C 伊万里系
37-11	磁器 碗	覆土 底・(6.7)		還元。綠。釉・灰白2.5Y7/1(白磁 釉)。胎・淡灰。	高台端部・底面を除き白磁釉。白磁釉は乳頭。 内面部使用感度あり。底面は回転削削。	12・13C 中国製
37-12	施釉陶器	覆土	口・10.8	中~還。綠。釉・淡黃青。 胎・黃灰。	口部端に持手あり。外面部下方回転削削。内面 口縁部被熱、外面部胎に焼付、底甚苟筈。	18・19C 美濃
135-13	燈火皿	ほぼ完形	底・2.5			
37-13	施釉陶器	覆土	底・8.3	中性。綠。釉・茶(鉢胎)濃・ 海藻青(鉢胎)。胎・灰。	外面に茶と淡茶の施釉。内面に施釉陶器の施釉。	19・20C 美濃
135-16	瓶	1/5				
37-14	施釉陶器	覆土	底・10.3	中性。綠。釉・淡黃灰。 胎・灰灰。	内面下方と高台裏を除き施釉。外面に回転削削。内面に輪轂目あります。	18・19C 美濃か
135-14	他利か	1/2				
37-15	施釉陶器 鉢	覆土 破片	口・(30.0)	酸化。綠。釉・茶湯(鉢胎)濃。 重。白粒多。鉢物少。	外面に強い光沢があり、英味強・鉄軋か。 内面底部より。石英粒多。	17・18C 信楽か
37-16	燒締陶器 鉢	覆土 破片	径・(37.0)	還元。綠。灰黄2.5Y5/1。 重。透明釉物多。他鐵。	内外面に自然釉、内面摩耗微。外面に指跡などの凹凸。石英・長石粒多・東海産か。	県外搬入 中世
37-17	軟質陶器	覆土 内耳	厚・1.0	還元。綠。黑褐2.5Y3/1。 並。やや重。鉢物少。	内面焼締削削。内面研磨。小いび。黒色化と 使用摩耗。焼成外面部黒色釉で断面5層色変。	16・18C 小泉か
38-1	軟質陶器	覆土	口・(37.0)	還元・中性。並。灰5Y4/1。	体部端面に回転削削。石目状の型壓、輪轂目。 内面輪轂目。底面石目状型壓。断面3層色変。	接・2点 小泉か
135-17	内耳鍋	破片	底・(32.4)	並。やや重。白・鉢合、他鐵。		
38-2	軟質陶器	覆土 火鉢	厚・1.0	還元。並。灰黑2.5Y2/1。 並。輕。白、鉢合微。鉢物少。	回天焼不明。図の状態は輪轂を回転。	18・19C 小泉か
38-3	瓦	覆土	長・13.2+α	還元。綠。灰5Y4/1。 並。やや重。白粒合。鉢物少。	裏面に石目状の型壓、ハゼあり。表面は擬似 焼成は裏表に浅い纏かわり断面5層色変。	20C 小泉焼
135-18	十能瓦	破片				
38-4	軟質陶器	覆土	口・(36.8)	中~還。並。灰黄2.5Y6/2。 並。輕。白、鉢合微。鉢物少。	内面の旧欠部あり。外面部上方摩耗、以下形調。 口縁部下方に粘土帶接合痕あり。断面3層色変。	接・2点 小泉か
135-20	内耳培培	破片	底・35.0			
38-5	軟質陶器	覆土 火鉢	長・5.8+α	還元。硬。灰4/0。並。やや重。 白。黒色鉢物合。他少。	全体に消耗。内面擦。口縁の平部と表面は光 沢があり笠焼か。	小泉か
38-6	軟質陶器	覆土 火鉢	底・(32.0)	還元。並。灰 Y4/1。並。輕。 白粒合。鉢物少。	裏面は型壓状の型壓、ハゼあり。表面は擬似 焼成は裏表に浅い纏かわり断面5層色変。	18・19C 小泉か
39-1	軟質陶器	覆土 内耳培培	口・38.4 一部欠損	還元。硬。オリーブ黒5Y3/1。 並。輕。鉢物合。	内面に研磨痕。内耳3カ所。口縁部下に接合 痕、外面部中位に石目状の型壓、以下隠閉。	接・27点 小泉か
135-15			底・35.6			

第94号溝状遺構

辨別番号 因版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目(cm) 量目(g)	焼調・色調・施土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
41- 1 135-21	土師質土 器皿	覆土 完形	口・8.6 底・5.8	酸化。並。純黄澄10YR7/4。 粗、軽。褐粒合、鉱物少。	織織成形(左回転)。底部は回転糸切り。 内面織目あり。黄斑あり。	接・3点 近世以降
41- 2 135-22	土師質土 器皿	覆土 完形	口・8.65 底・4.9	酸化。並。灰白2.5YR8/2。	織織成形。底部は回転糸切り。口縁の内外面 に煤付着。内面の織目立たず。黄味強い。	近世以降
41- 3 135-23	土師質土 器皿	覆土 2/3	口・(8.8) 底・(5.6)	酸化。並。橙5YR6/6。 粗、軽。赤、褐粒微、鉱物含。	底部は左回転糸切り。内面にハゼ剥落多い。 全体に薄汚り。	接・8点 近世以降
41- 4 135-24	土師質土 器皿	覆土 完形	口・8.9 底・5.2	酸化。並。淡黄澄7.5YR8/4。 粗、軽。褐粒合、鉱物少。	底部は左回転糸切り。口縁に打石油痕。 底面に焼成後の再調整あり。	16C以降
41- 5 135-25	土師質土 器皿	覆土 完形	口・8.9 底・6.2	酸化。並。淡黄澄2.5YR8/4。 粗、軽。鉱物少。	織織成形(右回転)。底部は回転糸切り。 黄斑あり。内面底に織目。	近世以降
41- 6 135-26	土師質土 器皿	覆土 完形	口・8.9 底・5.0	酸化。並。純黄澄5YR7/3。 粗、軽。鉱物含。	織織成形(左回転)。底部は回転糸切り。 黄斑あり。内面に煤・油煙付着。	近世以降
41- 7 135-27	土師質土 器皿	覆土 完形	口・8.9 底・5.4	酸化。並。淡黄澄10YR8/3。 粗、軽。鉱物微。	織織成形(左回転)。底部は回転糸切り。内面 底織目立つとしている。外面淡黄斑。	近世以降 粘
41- 8 135-28	土師質土 器皿	覆土 完形	口・8.9 底・5.4	酸化。並。橙7.5YR8/6。 粗、軽。鉱物少。	織織成形(左回転)。底部は回転糸切り。 赤味強い。あり。内面に織目あり。	近世以降
41- 9 136- 1	土師質土 器皿	覆土 ほぼ完形	口・8.95 底・5.2	酸化。並。純黄澄10YR7/4。 粗、軽。褐粒合、鉱物少。	織織成形(左回転)。底部は回転糸切り。 黄斑あり。内面底に織目あり。	接・点14 近世以降
41-10 136- 2	土師質土 器皿	覆土 1/4	口・(9.0) 底・(5.7)	酸化。並。純黄澄10YR6/4。 粗、軽。白粒合、鉱物少。	織織成形(左回転)。底部は回転糸切り。 内面に墨斑・油煙らしき付着あり。内面被膜。	接・3点 16・17C
41-11 136- 3	土師質土 器皿	覆土 完形	口・9.0 底・2	酸化。並。純黄澄10YR7/4。 粗、軽。鉱物少。	織織成形(左回転)。底部は回転糸切り。 内面織目。黄斑あり。	近世以降
41-12 136- 4	土師質土 器皿	覆土 1/2	口・(9.1) 底・(6.0)	酸化。並。淡黄澄7.5YR8/4。 粗、軽。鉱物少。	底部は左回転糸切り。内面底工具による織目。 形少し歪む。	近世以降
41-13 136- 5	土師質土 器皿	覆土 完形	口・9.1 底・5.2	酸化。並。橙7.5YR7/6。 粗、軽。鉱物少。	織織成形(左回転)。底部は回転糸切り。 内面底織目弱い。	接・4点 近世以降
41-14 136- 6	土師質土 器皿	覆土 完形	口・9.1 底・5.2	酸化。並。淡黄澄2.5YR8/3。 粗、軽。鉱物少。	織織成形(左回転)。底部は回転糸切り。 内面底織目。黄味強い。	近世以降
41-15 136- 7	土師質土 器皿	覆土 1/2	口・(9.1) 底・(5.9)	酸化。並。純黄澄10YR7/4。 粗、軽。鉱物含。	織織成形(左回転)。底部は回転糸切り。 内面底に工具による織目あり。	接・3点 近世以降
41-16 136- 8	土師質土 器皿	覆土 2/3	口・(9.1) 底・4.8	酸化。並。淡黄澄10YR8/4。 粗、軽。鉱物少。	織織成形(左回転)。底部は回転糸切り。 黄斑あり。内面底の織目立つ。	接・2点 近世以降
41-17 136- 9	土師質土 器皿	覆土 完形	口・9.2 底・5.7	酸化。並。灰白10YR8/2。 粗、軽。鉱物少。	織織成形(左回転)。底部は回転糸切り。 黄味強い。内面底に工具らしき織目あり。	近世以降
41-18 136-10	土師質土 器皿	覆土 完形	口・9.2 底・5.4	酸化。並。淡黄澄2.5YR8/3。 粗、軽。鉱物少。	織織成形(左回転)。底部は回転糸切り。 内面底に織目あり。黄味強い。	接・2点 近世以降
41-19 136-11	土師質土 器皿	覆土 ほぼ完形	口・9.2 底・5.6	酸化。並。淡黄澄2.5YR8/4。 粗、軽。鉱物少。	織織成形(左回転)。底部は回転糸切り。 内面底織目立つ。黄味強い。	接・2点 近世以降
41-20 136-12	土師質土 器皿	覆土 完形	口・9.3 底・5.3	酸化。並。10YR7/4。 粗、軽。鉱物微。	織織成形(左回転)。底部は回転糸切り。 内部に土被れ痕あり。洗出工具埋めか。	粘・外而 淡黄斑
41-21 136-13	土師質土 器皿	覆土 完形	口・9.3 底・5.7	酸化。並。淡黄澄2.5YR8/3。 粗、軽。鉱物少。	底部は左回転糸切り。外面上に煤付着。 内面底に織目あり。黄味強い。	近世以降
41-22 136-14	土師質土 器皿	覆土 完形	口・9.3 底・5.4	酸化。並。淡黄澄2.5YR8/3。 粗、軽。鉱物少。	織織成形(左回転)。底部は回転糸切り。 黄味強い。内面に織目立たず。粘土塊付着。	近世以降
41-23 136-15	土師質土 器皿	覆土 完形	口・9.3 底・6.2	酸化。並。淡黄澄10YR8/4。 粗、軽。鉱物微。	織織成形(左回転)。底部は回転糸切り。 内面の織目工具様。外而淡黄斑あり。	粘
41-24 136-16	土師質土 器皿	覆土 1/2	口・(9.4) 底・(6.3)	酸化。並。淡黄澄2.5YR8/3。 粗、軽。鉱物含。	織織成形(左回転)。底部は回転糸切り。 形に歪みあり。口縁部は肥厚。	接・5点 近世以降
41-25 136-17	土師質土 器皿	覆土 完形	口・9.4 底・6.1	酸化。並。淡黄澄10YR8/3。 粗、軽。白粒合。	織織成形(右回転)。底部は回転糸切り。 内面底織目模様かく。形少し歪む。	粘・外而 淡黄斑
41-26 136-18	土師質土 器皿	覆土 完形	口・9.5 底・5.3	酸化。並。淡黄澄2.5YR8/4。 粗、軽。鉱物微。	織織成形(左回転)。底部は回転糸切り。 内面底の織目ははっきりあり。	粘
41-27 136-19	土師質土 器皿	覆土 1/4	口・(10.0) 底・(6.5)	酸化。硬。橙5YR6/6。 粗、軽。白粒、黒色鉱物多。	織織成形(左回転)。底部は回転糸切り。 内面織目少し。酸化株強い。	接・7点 17C
41-28 136-20	土師質土 器皿	覆土 完形	口・(9.6) 底・(6.0)	酸化。硬。純黄澄2.5YR6/3。 粗、軽。白粒、黑色鉱物含。	織織成形(回転方向不明)。底部は回転糸切り。 内外面に墨付着。墨痕強明。	17C
42- 1 136-19	土師質土 器皿	覆土 完形	口・9.65 底・5.2	酸化。並。純黄澄10YR7/3。 粗、軽。鉱物含。	織織成形(左回転)。底部は回転糸切り。 内面に織目立たず。	粘

第94号溝状遺構

辨図番号	種別	出土位置	度目(cm)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
四版番号	器種	遺存度	量目(g)			
42- 2	土師質土器	覆土 完整	□・9.7 底・5.2	酸化。並。明黄橙10YR7/6。 粗、軽。鉢物。	輪轂成形(左回転)。底部は回転糸切り。 内面底に明瞭な輪轂目あり。外面淡黃斑。	粘
136-29	器皿					
42- 3	土師質土器	覆土 1/2	□・(9.7) 底・5.6	酸化。並。淡黃2.5YR8/3。 粗、軽。鉢物少。	輪轂成形(左回転)。底部は回転糸切り。 内面底に輪轂目あり。香味強い。	近世以降
136-21	器皿					
42- 4	土師質土器	覆土 1/3	□・(9.8) 底・(5.8)	酸化。並。橙SYR7/6。 粗、軽。赤褐粒微、鉢物合。	輪轂成形(左回転)。底部は回転糸切り。 内面底に輪轂目あり。形少し歪む。黃斑あり。	近世以降
136-22	器皿					
42- 5	土師質土器	覆土 ほぼ完形	□・9.8 底・5.8	酸化。並。純橙7.5YR7/4。 粗、軽。褐色粒、鉢物合。	輪轂成形(左回転)。底部は回転糸切り。 内面底に墨らしき付着、内面にハゼあり。	16C以降 黃斑あり
136-23	器皿					
42- 6	土師質土器	覆土 1/3	□・(10.0) 底・(6.0)	酸化。並。純黃橙10YR7/3。 粗、軽。鉢物合。	底部は回転糸切り。内面底工具による輪轂。 内面に少し煙。燒火點。	近世以降
136-24	器皿					
42- 7	土師質土器	覆土 完整	□・10.1 底・6.7	酸化。並。淡黃2.5YR8/4。 粗、軽。白粒合。	輪轂成形(左回転)。底部は回転糸切り後、周辺削落。内面にハゼ剥落。	赤燒頭著
136-25	器皿					
42- 8	土師質土器	覆土 1/3	□・(10.1) 底・(6.6)	酸化。並。純黃橙10YR7/2。 粗、軽。赤褐粒合、鉢物少。	輪轂成形(左回転)。底部は回転糸切り。 外面部部分吸収。内面底工具による輪轂。	接・4点 近世以降
136-26	器皿					
42- 9	土師質土器	覆土 完整	□・10.1 底・6.2	酸化。並。純黃橙10YR7/2。 粗、軽。鉢物合。	輪轂成形(左回転)。底部は回転糸切り。 内面底に輪轂目あり。香味強い。	接・10点 近世以降
136-27	器皿					
42-10	土師質土器	覆土 2/3	□・10.2 底・6.5	酸化。並。橙SYR6/6。 粗、軽。褐色粒合、鉢物少。	輪轂成形(左回転)。底部は回転糸切り。	接・2点
136-28	器皿					
42-11	磁器	覆土 1/2	□・(5.8)	還元。輪、釉、淡青(染付)、 透明。輪、釉、淡青(染付)、 白磁釉、青白、胎、淡灰。	外面に染付施文見える。高台端部を除き透明 釉。高台端部酸化。広東碗。	19C 伊万里系
136-29	碗					
42-12	磁器	覆土 1/3	□・(10.5) 底・4.1	還元。輪、釉、淡青(染付)、 白磁釉、青白、胎、白。	外面に草花の染付施文。高台裏に判読不明文 字墨付あり。	18C 伊万里系
136-33	碗					
42-13	磁器	覆土 2/3	□・10.0 底・5.2	還元。輪。染付施文、白磁釉、 青白。胎、白。	外面に梅花様の染付施文。高台裏に判読不明 文字墨付あり。	18C 伊万里系
136-36	碗					
42-14	磁器	覆土 1/2	□・9.9 底・(4.6)	還元。輪。染付淡青、白磁釉、 青白。胎、白。	厚、施文で大形帆掛舟を描く。白磁釉は青白 色を呈し、釉下に回転糸目見える。	18C 伊万里系
136-34	碗					
42-15	磁器	覆土 3/4	□・18.9 高・6.3	還元。輪。染付青。白磁釉、 青白。胎、白。	外面に瓢箪・芭翁、羽茎・唐草などの染付、 内面は無文。高台端部を除き白磁釉。	18C 伊万里系
136-35	碗					
42-16	磁器	覆土 底・5.9	□・9.65	還元。輪。染付青。赤繪、羅、 白磁釉、青白。胎、白。	外面に赤繪、染付施文あり。内面口縁部周辺 に加筆染付施文。色繪は上施。新落気味。	19C前 伊万里系
136-37	碗					
42-17	施釉陶器	覆土 完形	□・11.0 底・2.35	還元。輪。釉・暗茶。胎、灰、 重。	堤面に灯芯受けの切り込 みあり。外面部下方以下輪轂糸回転置削。	18C 施不明
136-30	火皿					
42-18	施釉陶器	覆土 完形	□・10.3 底・2.0	還元。輪。釉・淡茶湯。胎、 灰、淡灰。	内面に目跡3カ所。外面部下方 輪轂糸となる。底面着底。口縁外側墨付1。美濃か	18・19C 美濃か
136-31	皿					
42-19	施釉陶器	覆土 2/3	長・(13.9) 高・3.3	還元。輪。釉・灰茶湯。胎、灰、 重。	高台胎付。釉・は外面部高台付近を除き施釉さ れ、端部が段状に発達。	18C、 戸美濃か
136-32	皿					
42-20	施釉陶器	覆土 天目碗 破片	□・(11.0)	中性。輪、釉・白(長石か)、 暗褐(鉄釉)。胎、灰白。	内面部上方に透明調の灰白の繪が、外面下方 に3~4条の沈線と粗朶施釉。	18C 美濃
43- 1	施釉陶器	覆土 破片	底・13.3	酸化。輪。釉・光沢のある茶碗、 底面を含め全面施釉。内面に輪轂目あり。	底面に施釉後、4.4cmの後穿孔あり。	18・19C 施不明
137- 1	利手	1/2	高・13.6+ 5.4	還元。輪。釉・淡灰。		
43- 2	施釉陶器	覆土 破片	□・(39.7)	還元。並。灰白SYR7/2。 物、綠、茶、透明調。胎、黃底。	団中の釉糊り様が緑色(副釉か)、表面現茶 (鉄釉)の絵付。全体に透明調施釉。	18・19C 瀬戸美濃
137- 5	盤鉢					
43- 3	燒結陶器	覆土 破片	□・(42.0)	酸~還元。輪。釉・不明。 胎・黑灰~暗赤。	外面に暗灰らしき物が僅かかかり、内面に節 目あり。体外部に輪轂糸回転施釉。	17・18C 信楽か
43- 4	炊貯陶器	覆土 火鉢 破片	□・(39.8) 底・(31.0)	還元。並。灰N4/0。並。 やや重。黒色鉢物、他鉢物少。	外面部方向の研磨あり。内面底に研磨と使用 傷あり。底面の大半剥落。	
137- 3	火鉢					
44- 1	炊貯陶器	覆土 完形	□・40.8 底・36.2	中~酸化。暗灰赤2.5Y3/1。 粗、白粒。	外面部に粘土組接合板、型座、窓削あり。 底面は形押と板状の窓底。内耳3。補修穴。	17・18C 小泉か
137- 6	内耳焙烙					
45- 1	炊貯陶器	覆土 内耳焙烙 ほぼ完形	□・38.0 底・34.2	中~酸化。暗灰赤2.5Y3/1。 粗、軽。白粒。内外縁。	使用削れの補修孔2対4穴。不明孔1あり。 内面に菊花印門一單位あり。外面部合氣あり。	17・18C 小泉か
137- 4	内耳焙烙					
46- 1	炊貯陶器	覆土 1/3	□・(39.6) 底・(36.4)	中性。並。暗灰赤2.5Y3/1。 粗、軽。白粒微。	外面部に横撲、型崩、紐作板、荒削あり。耳部 1残存。補修穴1あり。おおむね輪轂糸回転。	18Cか 1残存。補修穴1あり。おおむね輪轂糸回転。
137- 2	内耳焙烙					

第96号溝状遺構

辨図番号	種別	出土位置	度目(cm)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
四版番号	器種	遺存度	量目(g)			
47- 1	土師質土器	覆土 3/4	□・(9.0)	酸化。並。橙SYR6/6。 粗、軽。	輪轂成形(左回転)。底部は回転糸切り。	接・5点 粘
137- 8	器皿					

第6号溝状遺構

探査番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目(cm) 重量(g)	焼調・色調・胎土 (石英素の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
47-2	土師質土器	覆土 器皿	口・(9.0) 底・(6.4)	酸化。並。純焼7.5YR6/4。 粗、軽。白粒合。	輪轍成形。底部は回転糸切り。内面は瘤のため茶味を帯びる。	接・3点粘
47-3	土師質土器	覆土 器皿	口・9.3 底・6.2	酸化。並。灰黄2.5Y7/2。 粗、軽。鉱物微。	輪轍成形(左回転)。底部は回転糸切り。内面に輪轍目あり。	粘
47-4	土師質土器	覆土 器皿	口・9.4 底・6.8	酸化。並。橙7.5YR6/6。 粗、軽。鉱物微。	輪轍成形(左回転)。底部は回転糸切り。内面に工具による同心円の凹み。	粘
47-5	土師質土器	覆土 器皿	口・(9.6) 底・6.0	酸化。並。橙7.5YR6/6。 粗、軽。鉱物微。	輪轍成形(左回転)。底部は回転糸切り。内面に輪轍目あり。	粘
47-6	土師質土器	覆土 器皿	口・(10.0) 底・7.0	酸化。硬。純黄10YR7/3。 粗、軽。白粒合、鉱物微。	輪轍成形(左回転)。底部は回転糸切り。内面に工具による同心円の凹み。	粘
47-7	土師質土器	覆土 器皿	口・10.0 底・6.2	酸化。硬。純黄10YR6/4。 粗、軽。	輪轍成形(左回転)。底部は回転糸切り。口縁部に油焼付着。内面に輪轍目。少し歪む。	粘
47-8	土師質土器	覆土 器皿	口・(10.0) 底・6.2	酸化。硬。かつ7.5YR4/4。 粗、軽。鉱物微。	輪轍成形(右回転)。底部は回転糸切り。内面に油焼付着。内面に工具による同心円の凹み。	粘
47-9	磁器 碗	覆土 底	口・(9.8) 底・4.6	還元。純。釉・青(染付)、 白磁輪、短青白。胎・白。	外面に菊花に見える文と唐草文あり。外縁底にも染付あり。施釉は高台端部を除く。	18C 伊万里系
47-10	磁器 碗	覆土 底	口・(10.8) 底・5.3	還元。純。釉・青白薄(染付)、 白磁輪、胎・白。	外面に山形目と思える色調で梅文ほかを描く。高台端部を除き白磁輪。	18C 伊万里系
47-11	磁器 碗	覆土 底	口・12.2 底・4.2	還元。純。釉・淡青(染付)、 白磁輪、淡青白。胎・白。	内面に線条の染付あり。さらに蛇目割れ。外縁下部露胎部となる。露胎溼酸化気味。	18C前 伊万里系
47-12	施釉陶器 破片	覆土 底	口・(14.0) 底・(8.5)	中性。純。釉・長石、 胎・灰黄。	高台端部は薄いが全面施釉。被熱のため胎土中まで灰色となる。外縁削削。	16C末 瀬戸美濃
47-13	施釉陶器 ヒトリ	覆土 縁部片	口・(4.4)	外面被熱か。酸→還元。釉・灰 青。胎・暗褐~暗緑。	外面と内面上方に施釉。内面下方に輪轍目あり。釉表面は少し荒れ、再釉二次被熱か。	18・19C 九州産か
47-14	施釉陶器 瓶	覆土 底	口・14.4 底・1/3	中性。純。釉・褐(鉛釉)。 胎・灰。	外面施釉で下半に節目あり。内面に浅い輪轍と輪轍目あり。	18・19C 地方窯か
47-15	施釉陶器 碗・転用 底部片	覆土 底	口・5.4	中性。純。釉・透明調。	高台端部を除き施釉。買入あり。高台成りに部側面を打ち欠き円形に加工。	
47-16	施釉陶器 鉢	覆土 底	口・26.8 底・12.4	中性。純。釉・透明調と緑斑(鋼 輪轍)。	内面に波状文、トランク4カ所、縁跡列点斑。外面輪轍目あり。高台端にカ所にトランク。	18C 美濃
48-1	施釉陶器 鉢	覆土 一部欠損	口・33.3 底・13.0	中性。純。釉・茶褐(鉄光沢少) 胎・灰黄。	内面に15条を1単位とする即目12単位あり。底面右回転糸切り。全面施釉。内面摩耗減り。	17・18C 美濃
48-2	軟質陶器 鉢	覆土 破片	底・(20.0)	酸化。並。橙7.5YR6/8。 密、重。白粘物多。	外面に輪轍右回転の輪轍目。下方に削削。内面に節目あり。使用摩耗あり。	117-18C 信楽窑
48-3	軟質陶器 火鉢	覆土 底	口・(33.2) 底・1/4	還元。純。黒7.5Y2/1。並、やや 重。白、黑粒合、他鉱物少。	底面に研磨あり。内面に節目あり。内外面とも黒色擦かかり、断面5層変。	
49-1	軟質陶器 火鉢	覆土 破片	口・(40.0)	還元。硬。灰オーリー2.5Y5/2。 並、重。白粘合、他鐵。	外面に突起、研磨、小ハゼ。内面に輪轍右回転輪轍目。口縁部粘土帯接合板あり。磨削。小泉か	17-19C 小泉か
49-2	軟質陶器 火鉢	覆土 破片	口・(43.3) 底・(30.8)	酸化。並。褐灰10YR6/1。 密、重。白粘合、他鉱物少。	外面に輪轍目後、研磨跡あり。内面に研磨。底成は赤黒色味、断面5層変。小泉か	17-19C 小泉か
49-3	軟質陶器 内耳培培 破片	覆土 底	口・(33.8) 底・(30.4)	還元。並。黒褐2.5Y3/1。 粗、重。白粘合、白粒合、鉱物少。	外側上位脚、中位削り。下位指痕頭。内面削。接・2点 小泉か	
49-4	軟質陶器 内耳培培 破片	覆土 底	口・(38.6)	中性。並。黒褐2.5Y3/1。 並、重。白粘合、鉱物少。	外面に粘土帶、接合痕、石目状の型崩あり。内面に内耳剥落あり。輪轍左回転。	接・3点 小泉か
49-5	軟質陶器 内耳培培 破片	覆土 底	口・(36.0) 底・(33.2)	還元。並。黒褐2.5Y2/1。 並、やや重。白粘合、鉱物少。	内面に耳あり。外側脚、粘土带接合板、横脚と一部型崩。底面石目状型崩、内面に輪轍目。	18・19C 小泉か
50-1	軟質陶器 内耳培培 1/3	覆土 底	口・(36.0)	中~還。並。灰5Y6/1。 並、やや輕。白、褐粒、鉱物少。	底面と体部中位に石目状型崩。体部下半に回転削削。部分的に接合板。外側脚、焼成单買。	17-19C 小泉か
50-2	軟質陶器 内耳培培 破片	覆土 底	口・(37.0) 底・(33.0)	還元。並。黒褐2.5Y3/2。 並、白粘合、鉱物少。	内面に耳あり。体部に石目状の型崩あり。口縁部は粘土帶による。断面5層変。	18・19C 小泉か
50-3	軟質陶器 内耳培培 破片	覆土 底	口・(38.0) 底・(35.0)	還元。並。暗灰2.5Y4/2。 並、白、褐粘合、鉱物少。	底面に耳あり。底面石柱状の型崩。口縁部の内外の型崩。外側脚。内面に内耳剥落少アリ。小泉か	18C 小泉か
51-1	軟質陶器 内耳培	覆土 底	口・(40.8) 底・(37.4)	還元。並。黒7.5Y2/0。 並、やや輕。白粘合、鉱物少。	内耳あり。内面に「極口」印跡。底面に石目状の型崩。体部外側に接合痕、横脚痕。	接・7点 小泉か
51-2	石製品 砾石	覆土 一部欠損	65	遺存長6.9、幅・2.9、 厚・2.6。	使用面裏表2面。側部は削整形面。手前小口は旧欠で、刃付砥痕に央る。矢張は旧欠。	

第31号溝状遺構(第1号館跡)

辨認番号	種別	出土位置	度目(cm)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
四版番号	器種	進存度	量目(g)			
52-1	土師質土器	覆土	□・6.8	酸化。並。鈍挫7.5YR7/4。	輪轂形成(左回転)。底部は回転糸切り。	14・15C
138-9	器	一部欠損	底・2.8	粗、輕。褐粒合、他軸物微。	内面底は、一方向の指輪。背面あり。	
52-2	陶器	覆土	厚・0.7	中性。並。灰白2.5Y8/2。	内面に回転条痕。外面にコナ押整形の面あり。	
不明	破片			粗、輕。軸物微。	不整な形か。	未焼調 産不明
52-3	陶器	覆土	最大径・ (16.5)	中。紺。胎・暗緑(染付、ベロ 藍)。白土調。透明調。胎・淡灰。	外面上方にのみ透明調胎とベロ藍施文。	19・20C
不明	破片			内面は無釉。		
52-4	施釉陶器	覆土	底・11.0	酸化。紺。胎・白土調。淡灰調。	内面に集塵印文と白土調。外面白土調とその 下地に鉄色絞れ。外面輪轂左回転の見覚。	17・18C 唐津系
138-6	器	破片		胎・黃胎。酸化。軸物合。		
52-5	軟質陶器	覆土 内耳鍋	底・(32.4)	中性。並。赤黒5R2/1。粗、輕。	外側下方から底面にかけ石目状の型磨。	17~19C
		底部片		白粒合、黑色軸物多、他少。	外面上方面横擦。内面に縫あり。外面に縫あり。	小泉か

第2F号溝状遺構

辨認番号	種別	出土位置	度目(cm)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
四版番号	器種	進存度	量目(g)			
53-1	土師質土器	覆土 器皿	□・(10.0)	酸化。紺。橙5YR6/6。粗、輕。 白、褐粒合、他軸物多。	輪轂形成。内外面に輪轂の回転条痕あり。 燒成味強い。割れ口少し消耗。	16・18C

第2E号溝状遺構

辨認番号	種別	出土位置	度目(cm)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
四版番号	器種	進存度	量目(g)			
53-2	施釉陶器	覆土 器皿	□・(13.0)	還元。紺。胎・淡黄灰(灰釉)。 灰白5Y8/1。	外面に輪轂目。内面に浸し掛と灰釉あり、 外面輪轂。割れ口少し消耗。	
53-3	施釉陶器	覆土 破片	厚・0.5	還元。紺。胎・灰黄透明調。 胎・灰黄。	内外面施釉。胎に細かな貫入り。割れ口消 耗大。	18C 美濃
53-4	施釉陶器	覆土 器皿	底・5.5	還元。紺。胎・淡綠透明調。 胎・黄灰。軸物や多。	高台窯一端部を除き施釉。内面に豊かな輪轂 の回転方向は右回転。	18C 美濃
53-5	施釉陶器	覆土 底片	底・(7.6)	還元。紺。胎・無し(灰釉)。 灰白7.5YR8/1。胎・軸物合。	施釉無欠損。内外共輪轂の回転条痕。底面は 高台貼付後の輪轂回転。	東海撤入
53-6	軟質陶器	覆土 内耳培培	厚・0.8	中性。紺。灰黄2.5Y7/2。 粗、輕。軸物合。	内面に無釉外面に石目状の型磨あり。焼成芯 裏く断面3層色変気味。割れ口少し消耗。	18・19C 小泉か
53-7	軟質陶器	覆土 内耳培培	厚・0.8	還元。紺。灰5Y5/1。粗、輕。 黒粒、他少。	内面無釉。外面石目状の型磨あり。焼成内外 少し焼。割れ口消耗少ない。	18・19C 小泉
53-8	軟質陶器	覆土 火鉢か	厚・1.7	酸。紺。鈍挫7.5YR7/4。粗、 やや重。白、褐粒、シリ・質。	内外面に回転条痕。割れ口少し消耗。内面厚 い。	14~18C
53-9	軟質陶器	覆土 不明	厚・0.8~0.9	還元。並。灰5Y4/1。粗、輕。 白粒合、黑粒合、他少。	外側に研磨、石目状の型磨。内面無釉、ハゼ 割れ大。焼成芯黒。内外面焼。断面5層色変。53	

第67号溝状遺構

辨認番号	種別	出土位置	度目(cm)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
四版番号	器種	進存度	量目(g)			
54-1	施釉陶器	覆土 器皿	□・(11.0)	中~還元。紺。胎・乳白(志野胎) 胎・黄灰。	外面に輪轂目あり。内外面施釉。割れ口消耗 あり。	16・17C
54-2	瓦	覆土 十能瓦	厚・1.4	還元。並。灰10Y4/1。粗、輕。 白粒、黑粒合、他少。	表面面に無釉。裏面に石目状の型磨あり。割 れ口少し消耗。焼成芯黒内外焼断面5層色變。	小泉か
54-3	瓦	覆土 女瓦	厚・2.3	還元。紺。純黄。粗、輕。 白粒合、黑粒合、他少。	表面面に柔弱剥落、離砂、細砂付着。割れ口 消耗無。焼成硬質特徴的。	中世瓦か

第68号溝状遺構

辨認番号	種別	出土位置	度目(cm)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
四版番号	器種	進存度	量目(g)			
54-4	磁器	覆土 底片	底・(6.1)	還元。紺。胎・青(染付)、 白磁胎、淡灰。胎・灰。	内外面に染付施文。白磁胎は暗く、高台端部 を除き白磁胎。具頭は山具頭。	19C 伊万里系
138-10	器					
54-5	施釉陶器	覆土 鉢	□・(13.5)	中~還元。紺。胎・茶褐(純光沢、 铁釉)。胎・灰。	白色軸物多い。内面に表面あり。内外面施釉。 外面輪轂目。割れ口消耗少。	17・18C

第69号溝状遺構

辨認番号	種別	出土位置	度目(cm)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
四版番号	器種	進存度	量目(g)			
54-6	磁器	覆土 底	□・(6.0)	還元。紺。胎・口調は暗茶、 白磁胎、淡々青白。	口縁部に口調施釉。外側中位に低い縫あり。 白磁胎は全面。	19C 伊万里系

第72号溝状遺構

探査番号 回収番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
54-7	土師質土 器皿	覆土 破片	口・(9.2) 底・(6.4)	酸化。並。浅黄10YR8/3。 m (-) m	輪軸成形 (左回転)。底部は回転糸切り。	
54-8 138-11	磁器 皿	覆土 底部片	底・(8.7)	還元。釉・濃青 (駆付)、 白磁釉・淡々青白。胎・白。	高台裏の蛇目中央と高台端部との間を除き白 磁釉。内面に蓋文他、外面に圓線を染付。	19・20C 伊万里系
54-9	磁器 蓋	覆土 破片	口・(6.3) 底・(2.8)	還元。縁・釉・濃青 (駆付)、 白磁釉・乳白。胎・乳白。	外面に染付施文あり。内面はペロ藍。白磁釉 は高台裏から端部を除く。	20C 伊万里系
54-10 138-13	施釉陶器 碗	覆土 底部片	底・4.6	中性。縁・釉・透明調、長石。 胎・黄灰。	高台端部を除き施釉。釉は薄く細買入あり。 欠損は、旧時と調査時両方。	18C 京焼系
54-11 138-12	施釉陶器 碗	覆土 1/2	口・(11.1) 底・5.3	中性。縁・釉・淡青褐 (駆付)、 乳白青 (口縁直下)。胎・黄灰。	外面下方を還元釉とするほか駆付調を施釉。外 面下方は還元。上方難燃目。削りは右回転。	18C 瀬戸
54-12 138-14	施釉陶器 碗	覆土 底部片	底・5.0	還元。縁・釉・暗茶褐綠 (駆付 調)。胎・灰。	全面に施釉。上方と内面に駆付調の釉を施釉。 欠損部は旧時で、周辺を打欠円盤加工。	再用円盤 加工
54-13	施釉陶器 天目碗	覆土 破片	底・(6.6)	中性。縁・釉・黒 (鉄釉)。 胎・灰。	外面上方のみ施釉。割れ口旧時。横軸右回転 の範囲見見え。	18C か 美濃
54-14	石造品 空風輪	覆土 ほぼ完形	粗粒輝石安山岩 8,100	還存長26.5、幅・16.4、 厚・14.2。	石材重く硬質のため、繊かな内腹多く、精 加工。火輪への柄部は、ほぼ正円。	
54-15	石造品 火輪	覆土 3/4	粗粒輝石安山岩 8,100	幅・21.7、高・13.25。	欠損旧欠。裏面の整形や粗。空風輪受け孔 やや深く工具痕明顯。刻字無し。	

第101号溝状遺構

探査番号 回収番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
55-1 138-15	土師質土 器皿	覆土 4/5	口・8.6 底・5.7	酸化。硬。燒5YR6/6。 並、やや重。褐色、鉱物含。	輪軸成形 (左回転)。底部は回転糸切り。 外面に少粘土塊付着。内面底に輪軸目あり。	16・17C
55-2	瓦 瓦瓦か	覆土 破片	長・9.1+α	還元。軟。褐灰10YR4/1。 粗、絆。シルト質。	全体消耗氣味。横焼で断面3層変色。凹面 母材見える。凸面焼ハゼ。	19・20C 在地か
55-3	施釉陶器 皿	覆土 体部～底部片	底・(6.7)	酸～中。縁・釉・薄淡黃褐で透 明。胎・白。胎・黄灰。	内面に蛇目にベンガラ色。その上方に白土層 で波状文、高台端部と蛇目部を除き透明調。	17・18C 唐津系

第103号溝状遺構

探査番号 回収番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
55-4	軟質陶器 内耳輪鍋	覆土 口縁部片	厚・0.9	還元。硬。黒N2/0。並、やや輕。 金属性母含、鉱物少。	内面に横擦あり。外面下方に竜の当たりあり。	16・18C

第105号溝状遺構

探査番号 回収番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
55-5	施釉陶器 皿	覆土 底部片	底・(5.2)	中性。縁・釉・淡黄灰 (透明調) 胎・黄褐。	高台端部を除き施釉。釉は細かい買入あり。 割れ口少し消耗。	18C 京焼系

第109号溝状遺構

探査番号 回収番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
55-6	軟質陶器 内耳輪焰	覆土 破片	口・(40.6) 底・(38.0)	還元。並、黒褐10YR2/2。 並、やや重。鉱物少。	外面に口縁部粘土帯接合部。口縁部周辺横擦。 底面石目状の型焼。外周擦付着。	
55-7	土師質土 器皿	覆土 破片	口・(8.3) 底・(6.0)	酸化。並、淡黄2.5YR8/3。 並、白。白粒、鉱物限。	底部は左回転糸切りか。割れ口消耗。	

第102号溝状遺構

探査番号 回収番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
55-8 138-16	土師質土 器皿	覆土 2/3	底・4.3	酸化。並、純焼2.5YR7/4。 粗、絆。褐色、シルト質。	底部は左回転糸切り。後板状圧痕あり。黄斑 あり。被熱色変。内面底一方向擦。	15C
55-9	磁器 皿	覆土 口縁部片	口・(14.0)	還元。縁・釉・淡青 (駆付)、 白磁釉・淡々青白。胎・白。	内外面に染付施文。白磁釉は青白磁色。染付 の発色良好。内面使用傷。割れ口消耗微。	16C後 景德镇
55-10 138-18	磁器 碗	覆土 1/4	口・(10.0) 底・4.0	還元。縁・釉・淡青 (駆付)、 白磁釉・淡青白。胎・白。	外面と底面に染付施文あり。高台端部を除き 白磁釉あり。	18・19C 伊万里系

第102号溝状遺構

辨認番号 因版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目(cm) 量目(g)	焼調・色調・胎土 (石葉材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
55-11 磁器 碗	覆土 近形	口・11.0 底・4.8	選元。緑。釉・淡青(染付)。 白磁色・淡青白。胎・白。	外面に草木文あり。高台端部を除き白磁色。 具頭は山呂頭。高台端部砂付層。	18C 伊万里系	
55-12 旋軸陶器 碗	覆土 2/3	口・12.3 底・4.8	中・選。緑。釉・黑褐色。 胎・灰。	外面下方は螺旋となり、螺旋左回転の荒削目 あり。高台は突出しか。	17・18C 美濃	
55-13 旋軸陶器 盤	覆土 破片	厚・0.8	黒・選元。緑。釉・暗褐7.5YR 3/4(鉄釉)。	内外面に白灰物多く石英か。内面に凹目あり。 少し摩耗。外周指の仕痕。無あり。	17・18C 伊万里系	
56-1 旋軸陶器 壺	覆土 1/4	底・15.0	酸化。緑。釉・暗茶(鉄釉、淡 緑色様)。胎・灰白灰物少。	外面に施釉。上方擦、下方削りと螺旋目。底 面小面付着。内面扭作痕、指圧痕、擦など。	17C 常滑か	
56-2 欽賀陶器 壺	覆土 破片	口・(14.0) 底・(10.0)	選元。紫。灰2.5Y2/1。 並、やや重。灰物少。	内外面ハゼあり。外周螺旋目、三ツ足。内外 面擦痕、断面5層変。	17~19C 小泉か	
56-3 欽賀陶器 鉢	覆土 破片	口・(30.0)	選元。緑。灰2.5Y7/2。 並、やや重。白灰物少、他少。	口縁部摩耗。外周浅いハゼ剥落。内面の摩耗 は極めて少ない。螺旋目あり。		
57-1 欽賀陶器 鉢か壺	覆土 破片	底・(14.0)	選元。緑。灰7.5Y6/1。 密、重。白粒鐵、白灰物含。	内面に摩耗痕無し。外周摩耗痕、外周は平滑 である。焼きは須恵器に近い。	太田か	
57-2 欽賀陶器 鉢	覆土 破片	底・(12.5)	選元。緑。灰7.5Y6/6。 粗、緑。白粒鐵、灰物含。	底面螺旋右回転の糸切り。内面には使用減り。粘 外周螺旋目。割れ口旧消耗。内外面少し擦。		
57-3 欽賀陶器 火鉢	覆土 破片	口・(30.0)	選元。緑。灰7.5Y6/1。 並、やや重。灰物含。	外周に研磨と擦かかる。内面に螺旋右回転に よる条痕あり。口縁部は平縁、ハゼ剥落多。	粘 小泉か	
57-4 欽賀陶器 内耳内耳	覆土 破片	底・(31.2)	選元。紫。褐7.5YR4/1。 並、輕。灰物含。	底面に疣状。体部外周擦、その下方石目状の 型崩突、隙縫。堆成焼。断面5層変。	17・18C 在地	
57-5 欽賀陶器 内耳	覆土 破片	口・(37.0) 底・(32.8)	選元。紫。暗赤2.5YR3/1。 並、やや重。白粒鐵、灰物含。	内面に研磨、外周上方に口縁部粘土帯接合部。 下方から裏面に凸目型崩突、断面5層変。	小泉か	
57-6 欽賀陶器 内耳焰壺	覆土 破片	口・(33.4) 底・(31.0)	選元。紫。灰2.5YR2/1。 並、重。灰物含。	内耳付着瓶。外周接合面、横擦痕、以下右目 状の型崩突。螺旋左回転。	接・2点 小泉か	
57-7 欽賀陶器 内耳焰壺	覆土 破片	底・(33.2)	選元。紫。灰7.5YR2/1。 並。白粒鐵、白粒含、灰物少。	耳付着、内外面に擦1カ所あり。外周上方輪 螺旋左回転の擦あり、中位に型崩あり。	18~9Cか 小泉か	
58-1 石造品 鏡(上口)	覆土 1/3	粗粒輝石安山岩 2,370	徑・(25.5)。	目無し白摩質。供給孔、輪穴あり。周縁は擦 めて浅い。側面の整形丁寧。旧欠。	近世以降	
58-2 石造品 鏡(上口)	覆土 破片	粗粒輝石安山岩 2,570	徑・(30.5)。	挽手穴取り付け孔は2カ所。輪穴あり。挽目 は、広く、大まか。割れ口旧欠。		
58-3 石造品 鏡(上口)	覆土 1/3	粗粒輝石安山岩 2,980	徑・(34.0)。	目無し。使用摩耗。周縁の残存長は数cmの み。整形粗雑な感あり。割れ口旧欠。		
58-4 石造品 鏡(下口)	覆土 破片	粗粒輝石安山岩 4,150	徑・(31.0)。	石質硬質。重い。挽目使用摩耗。目無し。割 れ口旧欠。裏面の整形は整う。		
58-5 石造品 石鉢	覆土 破片	粗粒輝石安山岩 400	口・(30.0)。	口縁は平らで、内外面共整形丁寧。内面に下 方に使用摩耗。割れ口は旧欠。石質重く硬い。		
58-6 石造品 地輪	覆土 1/4	粗粒輝石安山岩 5,200	長・19.3+α。	4面残存、2面旧欠。上面は再びの研磨あり。 裏面の整形荒い。割れ口消耗。		
58-7 石造品 空風輪	覆土 完存	粗粒輝石安山岩 7,000	長・28.3、徑・14.0。	横断面、やや稍円形を呈する。輪そのほか作 調丁寧である。面均し良好		

2. 住居跡

第1号住居跡

辨認番号 因版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目(cm) 量目(g)	焼調・色調・胎土 (石葉材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
59-1 土師器 环	貯藏穴覆土 一部欠損	口・11.9 高・5.8	酸化。並。粗2.5YR6/8。 並、やや重。潤滑含、灰物含。	底部は質崩、内外面ハゼ痕顯著。口縁部・器 内面は横擦整形。全体に被熱色変。	接・9点	
59-2 土師器 环	覆土 小片	口・(14.0)	酸化。並。粗黄褐10YR7/4a 並、輕。褐粒含、他少。	口縁部は内斜気味。丸底部は輪擦整形。体部 は指の擦。口縁部・器内面は横擦整形。	接・4点	
62-1 土師器 皿	床直・貯藏穴 一部欠損	口・10.8 底・2.3	酸化。並。粗2.5YR6/4。 粗、輕。茶褐色多、灰物含。	型削作。各所に磨作痕。体部は指の擦。口縁 部・器内面は横擦整形。	接・2点 手探	
62-2 土師器 高环	貯藏穴覆土 破片	脚径・(4.4)	酸化。並。粗2.5YR6/6。 粗、輕。茶褐色多、灰物含。	外面研磨。内面に較崩と扭作痕。全体に少し 風化気味。下端欠損部は接合面。		
62-3 土師器 壺	貯藏穴覆土 1/3	口・(14.6)	酸化。並。褐5YR6/6。並、 やや輕。白。潤滑含、灰物少。	外面被熱色変とヒビあり。器面整形は、外周 輪擦。内面に荒擦と擦。口縁部横擦。		
62-4 土師器 壺	床直 口縁部全周	口・16.2	酸化。褐。明赤褐5YR5/6。 並、やや重。潤滑多、灰物含。	口縁は2段様である。器内厚い。口縁内外面 擦。内面にハゼあり。割れ口も被熱色変。	接・14点	
62-5 土師器 壺	電気炉・芳巻穴 覆土	底・7.4	酸化。並。明赤褐5YR5/6。 並、輕。潤滑含、灰物少。	体部外周にハゼ、黒、黒模様あり。内面にの大 半はハゼ削落。	接・12点	
139-7						

第2号住居跡

辨認番号 固版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目(cm) 量目(g)	焼調・色調・胎土 (石業材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
63-1 139-8	土師器 高环	床直層 破片	口・(18.2)	酸化・軟。橙5YR6/6. 並、絆。褐色、鉄物合。	口縁部外傾気味。外面ハゼ。内面に消耗。 器内極めて薄い。割れ口消耗。	接・8点
63-2 139-9	土師器 壁	床直層 破片	類・(10.0)	酸化・並。明赤褐2.5YR5/6. 並、やや重。褐鉄合、他少。	器外表面は腹位方向の凹削。器面少し荒れる。 内面扭作用、鐵無板。	接・7点
63-3 139-10	土師器 小形壺	床直 1/4	口・(13.2) 底・6.0	酸化・並。明赤褐5YR5/6. 並、やや重。白、褐色少、鉄物微。	部分的に粗面あり。外表面多い。内面は荒削。 口縁部は横張、外面部被熱。	接・12点

第3号住居跡

辨認番号 固版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目(cm) 量目(g)	焼調・色調・胎土 (石業材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
64-1 139-12	土師器 小形壺	床直 3/4	口・10.3 底・3.2	酸化・並。純橙5YR6/4. 並、やや重。褐鉄微、鉄物合。	口縁部は「く」の字状に外反する。外面荒削。 内面は荒削、口縁部は横張。	接・12点
64-2 139-11	土師器 壺	床直層 1/3	高・(9.5) 底・(7.0)	酸化・並。明赤褐5YR5/6. 並、やや重。褐鉄合、他少。	外表面ハゼ小切落。内面荒削整形、外表面整形。 底部は丸みを帯びる。全体に赤味強い。	接・14点
64-3 139-13	土師器 壺	床直層 破片	口・(17.7)	酸化・並。2.5Y 明赤褐5/8. 並、やや重。褐鉄合、他鉄物少。	口縁部は「く」の字状に外反する。外面荒削。 内面は荒削、口縁部は横張。	

第4号住居跡

辨認番号 固版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目(cm) 量目(g)	焼調・色調・胎土 (石業材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
67-1 139-14	绳文土器 深鉢	埋甕2 1/6	厚・1.0	酸化・並。灰黄褐10YR6/2 白色粒子・赤褐色粒子・細砂粒	口縁部は隆起施文。肩部は2本の平行比線の 螺旋文を垂下させ、LR原体を充填施文する。	接・24点
67-2 139-15	绳文土器 深鉢	埋甕1 1/2	頭部・43.5	酸化・並。純黄褐7.5YR5/4 白色颗粒・白色粒子・粗砂粒	頭部に横位の波状隆帶を横走させ、肩部に垂 下する波状隆帶を施し、竹管条線を施文する。	接・41点
67-3 139-16	绳文土器 深鉢	埋甕2 破片	厚・1.1	酸化・並。黄褐2.5Y5/3 赤褐色粒子・砂粒	螺旋文を垂下させ、螺旋文間にLR原体を軸 転施文する。	接・8点

第5号住居跡

辨認番号 固版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目(cm) 量目(g)	焼調・色調・胎土 (石業材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
68-1 139-17	土師器 壺	電覆土 破片	口・(13.0)	酸化・並。7.5YR7/6. 並、絆。白、褐鉄合、他鉄物微。	口縁部は外反気味。型作り。底部は荒削、体 部に型崩。口縁部・器内面は横撫整形。	接・5点
68-2 139-18	土師器 壺	床直層 1/4	口・(13.6)	酸化・並。橙5YR6/6. 並、やや重。褐鉄合。	型作り。底盤は荒削、体部に型崩。口縁部・ 器内面は横撫整形。	接・8点
68-3 139-19	須恵器 電底鉢	口・(13.6) 底・(8.3)	酸化・並。暗褐7.5YR5/3. 並、やや重。白粒、鉄物合。	口縁部は外反する。輪蹴成形(右回転)。底部 は回転系切り。被破断片相互で色変。	接・6点 笠無か	

第6号住居跡

辨認番号 固版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目(cm) 量目(g)	焼調・色調・胎土 (石業材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
69-1 139-21	绳文土器 深鉢	埋甕No.1 破片	口・(33.8)	酸化・並。明赤褐5YR5/6 粗粒砂・白色鉄物	口縁部は内凹する。口縁部の無文帶を比線を 界し、RL原体を縦位施文する。	接・9点
69-2 140-1	绳文土器 深鉢	覆土内	厚・1.4	酸化・並。明黄褐10YR6/6 砂粒・白色鉄物・白色粒子	口縁部は内凹し口唇部は肥厚する。口唇直下 に隆帶を施し、LR原体を充填施文する。	接・2点
69-3 140-2	绳文土器 深鉢	覆土内	厚・0.9	酸化・並。灰黄2.5Y4/1 細砂粒・白色粒子・白色微粒子	口縁部は内凹し口唇部は丸い。口唇部直下に 隆帶を施し、LR原体を充填施文する。	接・無し
69-4 140-3	绳文土器 伊豆辺・覆土 破片	厚・1.4	酸化・並。純黄褐10YR6/4 白色鉄物・白色粒子・粗粒砂	縦位に蛇行隆帶を施し、半歳竹管による縦位 条幅を施す。4往の埋甕と同一側体。	接・無し	
69-5 139-20	绳文土器 深鉢	床直か 破片	底・5.2	酸化・並。純褐7.5YR6/3 白色鉄物・角粒粗粒砂・赤褐色	細片のため詳細不詳。	接・10点

第7号住居跡

辨認番号 固版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目(cm) 量目(g)	焼調・色調・胎土 (石業材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
72-1 140-4	绳文土器 埋甕	最・43.5 1/3	酸化・並。7.5YR6/6 白色粒・赤褐色粒・細砂粒	口縁部は鰐帶文、頸部は沈線による弧線文を 充填する。RL原体を施文充填する。	接・65点	

第8号住居跡

辨認番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 墓 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
73-1 [紹1-5]2	陶文土器 深鉢	埋甕 2/3	厚・1.4	酸化・灰。純2.5YR6/4 黒色鉱物・白色粒・細砂粒	縫帶による精円区画文内に RL原体を縦板施文する。	接・26点

第9号住居跡

辨認番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 墓 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
74-1 140-6	陶文土器 深鉢	埋甕 4/1	厚・13.6	酸化・灰。純5YR6/6 白色粒子・赤褐色粒子・細砂粒	外側気孔に立ち上がる。器内面は斜位に圓窓で上げ。RL原体横転。	接・9点
74-2 140-8	陶文土器 深鉢	埋甕内 破片	厚・1.1	酸化・灰。純5YR6/6 白色微粒子・白色鉱物	器面の剥落が著しいため文様の詳細不詳。部分的に RL原体の施文が認められる。	接・5点
74-3 140-9	土製品 不詳	覆土 破片		酸化・灰。純7.5YR6/6 夾雜物は含まない	圓窓の面以外欠けし2箇が残存。面は120度で接し内湾する。胎土は奈良時代以降を心象。	接・4点

第10号住居跡

辨認番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 墓 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
75-1 140-11	陶文土器 深鉢	覆土内 破片	厚・0.8	酸化・灰。純7.5YR6/8 砂粒・赤褐色粒子・白色微粒子	RL原体を縦位充填し、懸垂文を垂下させる。個体5点	
75-2 140-7	陶文土器 深鉢	覆土内 破片	厚・0.9	酸化・灰。明赤褐10YR6/6 黑色鉱物粒・粗粒砂	半裁竹管により弧線文・懸垂文を施文し、RL原体を縦位充填する。	接・6点
75-3 140-13	陶文土器 深鉢	覆土内 破片	厚・0.7 底・5.2	酸化・灰。明黄褐10YR6/3 黑色鉱物粒・粗粒砂	RL原体を縦位充填し、懸垂文を垂下させる。	
75-4 140-12	陶文土器 深鉢	覆土内 破片	厚・1.0	酸化・灰。純黃褐10YR6/3 白色粒子・砂粒	LR原体を縦位充填させる。	接・4点
75-5 140-9	粘土塊	覆土内 完存	厚・0.8	酸化・灰。明赤褐5YR5/6 白色微粒子	裏面に指頂圧痕がある。指先で押し潰した状態。	接・無し
75-6 140-9	石器 打製石斧	ピット3覆土 破片	黑色頁岩 重・14.2	遺存長・3.4。残存幅・3.4 残存厚・1.1	打製石器の頸部と考えられる。片面に鋭面を残し、小単位の加工を施す。	接・2点
75-7 140-14	石器 石レイバ	覆土 完存	建質頁岩 重・11.8	長・5.3。幅・3.1。厚・1.0	長削片の1側縁部に刃部加工乃至使用に伴う剝離が認められる。	
75-8 140-10	石器 剝片	覆土 —	建質頁岩 重・7.15	長・2.5。幅・3.9。厚・1.0	剝片だが、網文に伴う建質頁岩は、本品が唯一である。	

第11号住居跡

辨認番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 墓 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
76-1 141-1	土師器 环	床直層 2/3	口・13.3 底・3.3	酸化・灰。純黄褐10YR6/3. 並、やや重。鉱物合。	型作り。底部は瓦削、体部に型崩指圧孔。口縁部・器内面は横撫整形、底に黒色物質付着。	接・5点
76-2 141-2	土師器 环	電掘方 1/4	口・(11.8)	酸化・灰。純赤褐5YR5/8. 並、軽。雲母粒合、鉱物少。	口縁部は内凹気孔。型作り。底部は瓦削、体部に型崩。口縁部・器内面は横撫整形。	接・2点
76-3 141-3	土師器 環	覆土+床直層 1/3	口・(14.6)	酸化・灰。純黄褐5YR5/6. 並、やや重。褐粒、鉱物合。	台付要か。内面はサラ様の凹削。内面は瓦削、口縁部は横撫。内外面ハゼ剥落。	接・23点
76-4 141-4	土師器 環	床直 小片	口・(23.0)	酸化・灰。純5YR6/6. 並、やや軽。白粒合、鉱物少。	口縁部は外反する。器内面は瓦削、器外は接瓦削。口縁部は横撫。	接・5点
76-5 141-5	土師器 環	電掘土 破片	底・4.4	酸化・灰。明褐7.5YR5/6.	器底は薄い。外側は縱撫の凹削、底面瓦削。内面に接合板、接瓦削、瓦撫あり。	接・13点
76-6 141-2	須恵器 环	床直+覆土 1/3	底・6.8	中性。灰。灰白5Y7/1.粗。 白氣物多。	機械在回転か。底面は手持瓦削整形。全体消耗。	接・2点

第12号住居跡

辨認番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 墓 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
77-1 141-6	土師器 环	擬方理土+覆土 1/4	口・(13.3) 高・3.2	酸化・灰。純5YR6/6. 並、やや重。鉱物物。	型作り。底部は瓦削、体部に型崩。口縁部・器内面は横撫整形。	接・2点
77-2 141-7	土師器 壺	電掘+覆土 破片	口・(24.8)	酸化・灰。純赤褐5YR5/8. 並。黒粒、白鉱物合、他合。	外面瓦削。口縁部の内外面横撫。外面に部分被熱があり。割れ口消耗部。	接合痕2点
77-3 141-7	須恵器 壺	擬方埋土 1/2	口・(12.8) 底・(8.7)	蘿元。灰。純白2.5Y6/3. 並、やや重。白粒多。	口縁部は短い。織襪形成(右回転)。高台は付け高台。底部は回転余切り。	接・4点 笠懸か

第13号住居跡

辨認番号 回収番号	種 別 器	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
78-1 141-8	土師器 壺	床直削 2/3	口・12.7 底・3.6	酸化。硬。純橙7.5YR6/4。 粗、やや重。金雲母含。	口縁型作り。底部は荒削、体部に型廻。口縁部・器内面は横撫整形で内面無整形標品的。	
78-2 78-3	土師器 壺	窓覆土 破片	口・(22.9)	酸化。並。純赤褐5YR5/4。	口縁部は外反。外面は荒削。内面は荒削。口縁部は横撫。	
78-4 141-10	土師器 壺	窓覆土 破片	口・(23.2)	酸化。並。明赤褐5YR5/6。 並、白。褐粒含、鉱物含。	外面は荒削、指圧痕。内面は荒削。口縁部は横撫。口縁部下外面に接合痕あり。	接・4点
78-4 141-10	绳文土器 深鉢	覆土+周方 1/6	底・(7.4)	酸化。並。橙7.5YR6/8 白色粒子・白色鉱物	懸垂文を窓下させ、RL原体を継位充填する。	接・19点

第14号住居跡

辨認番号 回収番号	種 別 器	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
79-1 141-9	土師器 壺	覆土 完形	口・13.3 高・3.0	酸化。硬。橙7.5YR6/6。 粗、輕。白粒含、鉱物含。	型作り。底部は荒削、体部に型廻。口縁部・内面は横撫。	接・4点
79-2 141-11	土師器 壺	窓覆土 1/4	口・(12.6)	酸化。並。純橙7.5YR7/4。 並、茶褐粒、鉱物含。	型作り。底部は荒削、体部に型廻。口縁部・器内面は横撫整形。	
79-3 141-15	土師器 壺	窓 1/4	口・(21.4) 高・(29.5)	酸化。並。橙7.5YR7/6。粗、輕。 褐粒、鉱物含、シルト質。	外面はサツカ様の荒削。内面は荒削、口縁部は粗。外表面付着、被熱変色。	接・29点
79-4 79-5	土師器 破片	床直 破片	口・(23.2)	酸化。並。暗褐7.5YR5/4。 並、やや輕。白。褐粒含、他微。	口縁部は外反。外面は荒削。内面は荒削。口縁部は横撫。	接・4点
80-1 80-2	土師器 壺	最大径・ (21.6)	散化。硬。明褐7.5YR5/6。 並、やや輕。金雲母、褐粒含。	体部外面はサツカ様の荒削。被熱吸皮。内面接合部2段、少しカマド。割れ口なし。摩擦。	接・12点	
80-1 80-2 141-13	土師器 壺	最大径・ (23.2) 一部欠損	口・(21.4) 高・3.6	酸化。硬。明赤褐10YR6/6。 並、粗。白粒含、他微。	内外面消耗大。内面接合面あり。外面被熱変色あり。	接・10点
80-3 141-12	須恵器 壺	窓直 ほぼ完形	口・(13.2) 底・8.0	還元。並。5Y6/1。密、重。 白鉱物多、他鉱物少。	輪廓成形(右回転)。最上部は回転荒削。端部はやや鋭く、シャープ。重ね焼き色変。	接・6点 太田か
80-4 141-14	須恵器 壺	床直 2/3	口・(10.6) 底・7.2	還元。純。灰5Y6/1。密、重。 白鉱物含、他鉱物微。	口縁部は外傾する。輪廓成形(右回転)。底部は回転糸切り。	接・7点 鶴井外か
80-5 80-6	粘土塊	覆土 長・4.4 幅・4.0	酸化。軟。橙6/6。 やや輕。白。褐粒、他鉱物少。	表面に単子葉植物の圧痕あり。内部にスサの確認できず。捏ね固めの感あり。		

第15号住居跡

辨認番号 回収番号	種 別 器	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
81-1 81-2	土師器 壺	覆土 1/4	口・(12.8)	酸化。並。純橙5YR6/4。 並、粗。白粒含、鉱物少。	口縁部は外傾気味。型作り。底部は荒削、体部に型廻。口縁部・器内面は横撫整形。	接・4点
81-2 141-16	須恵器 壺	床直削+覆土 3/4	口・12.7 底・6.3	還元。並。純黃10YR6/3。 並、やや重。鉱物含。	口縁部は外傾する。輪廓成形(右回転)。底部は回転糸切り。内面に埠付着。	粘・陶 高・4.2
81-3 141-17	須恵器 壺	覆土 1/2	底・11.0	酸化。並。純7.5YR4/3。 並、粗。白粒含、鉱物少。	輪廓成形(右回転)。高台は付け高台。底部は回転荒削形。内面研磨。	接・8点 粘・陶
81-4 141-18	須恵器 壺	覆土 双耳壺 破片	口・(13.7) 底・(8.2)	還元。硬。灰5Y5/1。密、重。 白粒含、鉱物少。	輪廓成形(右回転)。底部は回転糸切り。耳は太田か旧欠。内面底使用摩耗。	太田か 高・5.2

第16号住居跡

辨認番号 回収番号	種 別 器	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
82-1 142-1	土師器 壺	床直削 口縁部のみ	口・20.6	酸化。並。明赤褐5YR5/6。 並、やや輕。褐粒、鉱物少。	口縁外側に指圧痕。外面は荒削。内面は荒削。口縁部は横撫。	接・14点
82-2 142-4	土師器 壺	覆土 破片	口・(21.4)	酸化。硬。純橙7.5YR6/4。	口縁部下に接合面あり。器厚は薄い。外面は斜位の荒削。内面に横撫と横撫。	接・3点
82-3 142-2	土師器 壺	窓覆土 小片	口・(21.9)	酸化。並。橙5YR6/6。並、 やや輕。白、褐粒、他鉱物含。	口縁外側直下に貼土帶。外面は荒削。内面は横撫。	接・9点
82-4 142-3	須恵器 壺蓋	覆土 2/3	口・15.5 構み径・4.2	還元。並。灰5Y6/1。 並、輕。白粒多。	輪廓成形(右回転)。上部は回転荒削。全に消耗多い。底部は丸みを帯びる。	粘
82-5 142-5	須恵器 壺	覆土 2/3	口・(12.7) 底・6.8	還元。硬。灰7.5Y7/1。 並、やや輕。白粒含、鉱物少。	口縁部は外傾する。底部は右回転糸切り。耳らかいためか消耗多い。	接・9点 粘・陶

第16号住居跡

探査番号	種別	出土位置	度目(cm)	焼調・色調・胎土 (石炭材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
四版番号	器種	遺存度	量目(g)			
82-6	粘土塊	覆土 小片	長・3.6 幅・3.4	酸化。軟。純5YR6/6。 粗、絆。白、褐粒含、鉱物微。	電などの貼付粘土の焼土塊か。スナは不明。 鉱物は殆ど見えず。褐粒が多い。	

第17号住居跡

探査番号	種別	出土位置	度目(cm)	焼調・色調・胎土 (石炭材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
四版番号	器種	遺存度	量目(g)			
85-1	土師器 环	電覆土 破片	口・(13.0)	酸化。硬。純5YR6/6。 並、絆。白、褐粒含、他少。	底部は窓削。口縁部・内面は横撫。内面は横 擦後研磨を施す。	
85-2	土師器 环(墨書)	覆土 破片	厚・0.5	酸化。並。純2.5YR6/6。 並、やや重。白。褐粒含、他少。	底面に「主」と認める墨書きあり。底面は窓削。 内面に擦り。墨板薄く、全体に少し摩耗。	8~9C前 墨書-7
85-3	土師器 環	電内 破片	口・(24.4)	酸化。並。純赤褐色5YR5/4。 並、やや輕。白粒含、他鉱物少。	口縁部は外反。外面は窓削。窓・被熱色変。 内面は窓削。口縁部は横撫で施す。	接・2点

第18号住居跡

探査番号	種別	出土位置	度目(cm)	焼調・色調・胎土 (石炭材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
四版番号	器種	遺存度	量目(g)			
87-1	土師器 环	電覆土 1/4	口・(12.0)	酸化。並。純黄5.5YR5/3。 並、やや重。白、褐粒含、鉱物含。	口縁部は外傾。窓削。底部窓削、体部に型崩。 口縁部・器内面は横撫整形。外面少し消耗。	
87-2	土師器 台付壺	電覆土 破片	口・(17.2)	酸化。硬。純5YR6/6。 並、絆。白、褐粒含、鉱物含。	口縁部下外面に窓土帶接合あり。外面は窓削。 内面は窓削。口縁部横撫。	接・4点
87-3	土師器 壺	覆土 小片	口・(19.0)	酸化。並。純5YR6/8。	口縁部は外反。外面は窓削。内面は窓削。口 縁部は横撫。少し消耗。	接・4点
142-6	土師器 壺	電覆土 破片	口・(21.0)	酸化。並。純赤褐色2.5YR5/4。 並、絆。白、褐粒含、鉱物少。	口縁部は外反。外面は窓削。内面は窓削。口 縁部は横撫。	接・10点
87-5	土師器 台付壺	電覆土 破片	厚・0.6	酸化。並。純橙台付壺6/4。 並、絆。白、褐粒含、鉱物少。	割れ口消耗。内外面横撫。脚部外側に被熱色 変。脚内面少しハゼあり。	
87-6	須恵器 环	覆土 破片	底・(7.0)	中性。並。灰黃2.5Y6/2。 粗、絆。白、褐粒多、鉱物少。	底部切り離しは不明。底面手持窓削。全体に 消耗。	接・3点
87-7	須恵器 环	床直層 3/4	口・11.0 (7.5)	還元。並。灰オーリーブ5Y6/2。 並、やや重。鉱物多。	織籠成形(右回転)。高台は付け高台。底部は 回転糸切り後窓削整形。高台旧穴。	接
87-8	須恵器 环	床直層 1/2	端部径・7.5	還元。硬。オーリーブ黃5Y6/3。 粗、絆。白、白粒含、鉱物含。	織籠成形(右回転)。底部は回転糸切り後、高 台貼付。さらに、窓削。	接
142-9	須恵器 环	床直層 1/2				

第19号住居跡

探査番号	種別	出土位置	度目(cm)	焼調・色調・胎土 (石炭材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
四版番号	器種	遺存度	量目(g)			
88-1	土師器 环	瓶方埋土 口・(14.3)		酸化。硬。純黃橙16YR6/4。 並、やや輕。白、褐粒含、鉱物少。	型作り。体部に型崩。口縁部・器内面は横撫 整形。燒成は黄斑あり。	
88-2	須恵器 环	床直層 1/3	口・(12.8)	酸化。並。純赤褐色5YR5/4。 並、やや輕。鉱物少。	口縁部は外反する。織籠成形(右回転)。底部 際に回転窓削目あり。	
88-3	須恵器 环	床直層 1/4	口・(13.0) 底・(6.4)	酸。硬。明赤褐色10YR6/6。並、 やや中重。白、褐粒含、鉱物微。	口縁部は外傾する。織籠成形(右回転)。底部 は回転糸切り。黒化色差あり。	接・2点 粘・陶

第20号住居跡

探査番号	種別	出土位置	度目(cm)	焼調・色調・胎土 (石炭材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
四版番号	器種	遺存度	量目(g)			
89-1	土師器 环	覆土 破片	口・(12.0)	酸化。硬。純黃5.5YR5/4。 並、やや輕。雲母粒、鉱物微。	口縁部は外傾気味。型作り。底部は窓削。体 部に型崩。口縁部・器内面は横撫整形。	接・2点
89-2	土師器 环	覆土 1/3	口・(12.4) 高・(3.0)	酸化。硬。純黃橙10YR6/3。 並、やや輕。系統、鉱物含。	型作り。底部は窓削。体部に型崩。口縁部・ 器内面は横撫整形。外外面少し消耗。	
89-3	土師器 环	瓶方埋土 破片	口・(14.0)	酸化。並。7.5YR6/4。 並、やや輕。鉱物少。	口縁部は外反。外面は窓削。内面は窓削。口 縁部は横撫。	接・2点
89-4	須恵器 环	床直 底部分のみ	底・9.3	還元。並。純2.5Y6/3。 密、やや重。白粒、鉱物微。	底部は右回転糸切り後、周辺高台と共に窓 整形。上方は旧時欠損で、人為の打欠使用か。 再用。	笠懸
89-5	須恵器 环	床直 1/4	頸部・5.4	中性。並。暗灰黃2.5Y5/2。 密、重。鉱物粒などなし。	織籠成形(右回転)。窓縁接合面あり。外間に 沈んだ自然釉、少し黒化気味。	接・2点 東海

第21号住居跡

辨団番号	種別	別種	出土位置	度量(cm)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
圆板番号	器		遺存度	量目(g)			
91-1	土師器	环	町造穴底面直上	口・(13.3)	酸化。硬。純燒5YR6/4。 並、重。胎物微。	型作り。底部は荒削、体部に型崩。内面に指 圧痕。口縁部・器内面は横擦整形。被熱。	
142-15	土師器	环	1/3	底・(6.9)			
91-2	土師器	环	掘方埋土 口縁部片	口・(16.0)	酸化。硬。橙7.5YR6/8。 並、輕。白、褐粒合、他少。	口縁部の内面に横擦。口縁部外側に下に接合 痕。体部外側に荒削目。内面にハゼ。	
91-3	須恵器	环	町造穴底面直上	口・(13.3)	酸化。硬。純燒7.5YR5/3。 並、輕。白、褐粒、胎物少。	口縁部は外傾する。輪轂成形(右回転)。底部 は回転糸切り。内面使用摩耗。燒焼。	
142-16	土師器	环	1/3	底・6.4			
91-4	須恵器	床直+覆土	口・(13.9)	還元。並。純燒2.5Y6/3。 粗、輕。白灰、胎物含。	輪轂成形(右回転)。高台は付け高台。底部は 接・7点 回転糸切り。体部に被熱目多い。		
142-17	土師器	床	口・(13.9)	底・			
91-5	土師器	床直削+覆土	口・(22.6)	酸化。硬。純燒黄10YR7/3. 並、やや重。白、黒粒、胎物少。	型作り。底部・肩部は斜位の荒削。口縁部は 接・50点 摩耗。内外面ハゼ多く、焼付着。被熱。		
142-21	土師器	床	1/3	底・(9.0)			
91-6	土師器	電内+覆土	最大径・ 破片	(16.8)	酸化。並。純燒7.5YR5/3。 並、やや重。胎物微。	肩部片。外面上位は斜位方向の荒削。中位 は、縱方向の荒削施す。外面上に被熱変色と煤。	接・12点
142-19	土師器	電	口・(21.2)	酸化。並。純燒2.5YR6/6。 並、やや重。胎物少。	口縁部下に粘土膏、外面上は荒削。内面は荒削 と擦。口縁部は横擦。旧欠後被熱変色。		
91-7	土師器	電直削+電+覆 土	口・(21.2)	酸化。並。純燒7.5YR7/4. 並、やや重。胎物合、胎物少。	「コ」の字状口縁。型作か。外面上は荒削。内 面は荒削。口縁部は横擦。外面上に被熱。	接・9点	
142-18	土師器	電	1/4	底・			
91-8	土師器	電	口・(20.3)	酸化。硬。純燒7.5YR7/4. 並、やや重。胎物合、胎物少。	肩部片。外面上位は斜位方向の荒削。中位 は、縱方向の荒削施す。外面上に被熱変色と煤。	接・25点	
142-20	土師器	電	口・(20.2)	酸化。硬。橙7.5YR6/6. 並、やや重。胎物合、胎物少。	肩部片器内は薄い。外面上には被熱方向の荒削 を施す。内面にハゼ。外面上に被熱変色。	接・6点	
91-9	土師器	電	最大径・ 破片	(20.2)	酸化。硬。橙7.5YR6/6. 並、やや重。胎物合、胎物少。	自然堆積物が、団平面上に指に見える整形痕あり。 全体に被熱消耗あり。	
142-22	電油材	電右袖	長・(20.1)	酸化。軟。明赤燒7.5YR5/8. 並、重。胎物多、粘土粒大あり。			

第22号住居跡

辨団番号	種別	別種	出土位置	度量(cm)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
圆板番号	器		遺存度	量目(g)			
94-1	土師器	電底削床下 破片	口・(16.2)	酸化。並。橙7.5YR6/6. 並、重。胎物合、胎物少。	口縁部は短く外反。外面上は荒削、内面は横擦。 口縁部は横擦施す。器面は消耗。外面上に被熱。		
143-1	土師器	床	口・(10.1)	酸化。硬。純燒7.5YR6/4. 粗、輕。胎物少。	口縁部は外傾する。輪轂成形(右回転)。底部 は回転糸切り。破片色差あり。被熱。	接・2点 粘	
94-2	須恵器	電	1/2	底・5.3			
143-2	土師器	電	口・(12.2)	酸化。並。純燒7.5YR6/4. 並、やや重。胎物合。	輪轂成形(右回転)。底部に糸切り痕。全体に 酸化味強。		
94-3	須恵器	電	破片	底・(5.6)			
143-3	土師器	電	口・(13.4)	酸化。硬。純燒7.5YR5/4. 並、重。胎物多。	輪轂右回転糸切り。内面上に研磨を施すが、不 定方向が多い。付高台。外面上に被熱目多い。	粘・陶	
94-4	須恵器	電	電内里 ほぼ完形	底・6.0			
143-4	土師器	電	厚・0.3	酸化。並。純燒7.5YR6/6. 粗、輕。胎物合、他微。	外面上に被熱目あり、墨張らしき被覆部が外 面に下方にあり。	10C後半 墨書・8	

第23号住居跡

辨団番号	種別	別種	出土位置	度量(cm)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
圆板番号	器		遺存度	量目(g)			
95-1	土師器	電右袖	口・12.7	酸化。並。純燒7.5YR6/4. 並、やや重。	口縁部は内面汽味。底部は荒削、口縁部・内 面は横擦。底面に「一」の墨書きあり。		
143-5	土師器	環(墨書)	3/4				墨書・9
95-2	土師器	電	口・14.5	酸化。並。純燒7.5YR7/4. 並、やや重。胎粒合、他微。	底面に判読不明(「律令」か)墨書き2文字。体 部外側に押圧整形。圓線暗文1条。		
143-6	土師器	環(墨書)	4/5				墨書・10 県外搬入
95-3	土師器	電底削床下 破片	口・12.9	酸化。硬。明赤燒10YR7/6. 並、輕。胎粒合、他微。	口縁部は荒削。型作り。底部は荒削、体部に 横擦。口縁部・器内面は横擦整形。黃・黒斑。	接・7点	
143-7	土師器	電	3/4	底・9.8			
95-4	土師器	電	口・(13.2)	酸化。並。純燒10YR7/4. 並、輕。胎粒合、他微。	型作り。底部は荒削、口縁部・内面は横擦整形。 体部に型崩。口縁部・内面は横擦。	接・3点 墨書・11	
143-9	土師器	電	口・(13.2)	酸化。並。純燒10YR7/4. 並、輕。胎粒合、他微。			
95-5	土師器	電	口・(13.0)	酸化。硬。純燒5YR6/4. 並、やや重。白、褐粒合、胎物合。	型作りか。底部は荒削、体部に指圧痕、型崩 か接合痕。口縁部・内面は横擦。	接・2点 市外か	
95-6	土師器	電	口・(16.2)	酸化。硬。純燒7.5YR7/4. 並、輕。胎粒合、他微。	底部は荒削。体部に型崩。口縁部・内面は 横擦。燒成黄斑あり。		
143-8	土師器	電	底・8.0				
96-1	土師器	電	口・(19.0)	酸化。硬。純燒10YR6/4. 並、やや重。白、褐粒合、他微。	口縁部は直立汽味。外面上は荒削。内面は荒削。 口縁部は横擦。		
96-2	土師器	電	口・(20.0)	酸化。硬。純燒5YR5/4. 並、やや重。白、褐粒合、他少。	口縁部は外反。外面上は荒削。内面は荒削。口 縁部は横擦。	接・2点	
143-10	土師器	電	底・8.0				
96-3	須恵器	電	口・13.0	還元。並。灰黄2.5Y6/2. 密、やや重。白、褐粒合、胎物合。	口縁部は外傾する。輪轂成形(右回転)。底部 は四転荒整形。外面上に漆付着。	接・2点 笠懸	
143-11	須恵器	電	口・14.5	酸化。並。明青燒10Y6/6. 並、やや重。白、褐粒合、他微。	輪轂成形(右回転)。内面に研磨を施す。内面 は口縁部に及ぶ。内面・底面ハゼ多。	接・7点	
96-4	須恵器	電	口・(13.4)	酸化。並。明青燒10Y6/6. 並、やや重。白、褐粒合、他微。			
143-12	須恵器	電	底・8.5				

第23号住居跡

辨認番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目(cm) 量目(g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
96-5	須恵器 环(墨書)	床直 ほぼ完形	口・13.1 底・8.6	還元。並。褐灰10YR5/1。 並、重。白粒合、他少。	口縁部は外傾する。底部は回転糸切後、回転 窓削。さらに、「主」墨書きあり。(笠懸)	墨削-12 粘・陶
143-13	須恵器 环	覆土 口縁一部欠	口・12.8 底・7.8	還元。緑。灰5Y4/1。密、重。 白粒物、藍物混。	口縁部は肥厚する。輪轍成形(右回転)。底落 は回転糸切後、手持窓削を施す。	接・2点 窓削外か
96-6	須恵器 环	床直R 1/2	口・(13.3) 底・(8.9)	中性。軟。灰2.5Y7/2。並。 並、輕。白、藍合。	輪轍右回転。底落は回転窓所か。外面重ね燒 き色変化。	接・3点 窓削
143-14	施釉陶器 环	床直 底	5.8	還元。硬。灰5Y7/1。 密、重い。藍物見えず。	口縁より側部中央まで網毛塗り様の状物。底 部に焼削れ、表面達する。	東海
96-7	須恵器 环	床直R 1/2	口・(13.3) 底・(8.9)	中性。軟。灰2.5Y7/2。並。 並、輕。白、藍合。	輪轍右回転。底落は回転窓所か。外面重ね燒 き色変化。	接・3点 窓削
143-15	施釉陶器 环	床直 3/4	底・5.8 高・2.9	還元。硬。灰5Y7/1。 密、重い。藍物見えず。	口縁より側部中央まで網毛塗り様の状物。底 部に焼削れ、表面達する。	東海

第24号住居跡

辨認番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目(cm) 量目(g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
97-1	圓文土器 深鉢	埋甕1内 1/4	段・(17.0) 底・(6.4)	酸化・並。純青橙3YR5/4 赤褐色粒子・白色粒子・砂粒	擦り消し圓文地紋原体はRL。小単位に懸垂 文を垂下させる。	接・18点
143-19	圓文土器 器台	仰内 破片	口・(12.0)	酸化・並。7.5YR7/6 粗粒砂・白色軽物	無文。「ハ」の字状に開く脚部片。	接・無
97-2	粘土塊	埋甕付近	長・4.1 重・18	中~酸。並。單黄2.5Y8/4。 粗、輕。得粒微、軽物合。	捏ねた土壤。砂を少し含む。全体は手掌中真 指の圧痕らしい跡2カ所。	
98-1	圓文土器 深鉢	埋甕1内 破片	口・(21.6) 最・(23.4)	酸化・並。暗青2.5Y4/2 緻密・黃褐色粒子。	口縁部はキャリバーハー状を呈する。 地紋原体はRL。	接・7点
143-20	圓文土器 深鉢	埋甕2 倒下部分欠損	口・29.1	酸化・並。灰褐5YR6/2 白色軽物・チャート・黑色軽物。	4単位の波状口。口唇直下に沈縫WP逆ら す。沈縫直下にRL原体を継続する。	接・40点
98-2	圓文土器 深鉢	埋甕2 倒下部分欠損	口・29.1	酸化・並。灰褐5YR6/2 白色軽物・チャート・黑色軽物。	4単位の波状口。口唇直下に沈縫WP逆ら す。沈縫直下にRL原体を継続する。	接・40点
99-1	圓文土器 深鉢	埋甕1	口・47.6 最・52.6	酸化・並。純黄2.5YR6/2 粗粒砂・白色軽物・白色粒子	口縁部はキャリバーハー状を呈する。弧線陰帶を 4単位に施し、RL原体を充填する。	接・60点
143-17	圓文土器 深鉢	埋甕1	口・47.6 最・52.6	酸化・並。純黄2.5YR6/2 粗粒砂・白色軽物・白色粒子	口縁部は横振を施す。	

第25号住居跡

辨認番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目(cm) 量目(g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
100-1	須恵器 环	床直 2/3	口・13.2 底・6.1	中性。並。純青橙10YR6/3。 密、やや重。白粒微。	輪轍成形(右回転)。底落は右回転糸切り。内 外面焼付着。口縁部外面に重ね燒色変。	笠懸か る
143-22	土師器 壺	床直 破片	口・(13.7)	酸化・並。共青7.5YR5/4。 並、やや軽。軽物少。	口縁に接合面。亞作。胴部・肩部は斜位の並 削。口縁部は横振。	
100-2	土師器 壺	床直 破片	口・(18.9)	酸化・並。共青7.5YR4/4。 並、やや重。同粒合、他少。	外面はサササ状の凹削。内面は範施、指施。	
143-23	土師器 壺	床直 破片	口・(18.9)	酸化・並。共青7.5YR4/4。 並、やや重。同粒合、他少。	口縁部は横振を施す。	接・1点

第26号住居跡

辨認番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目(cm) 量目(g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
102-1	圓文土器 深鉢	床直 破片	厚・1.1	酸化・並。純青橙10YR6/6。 白色粒子・白色微粒子・細粒砂	懸垂文を垂下させ、RL原体を複数充填する。	接・6点
143-24	圓文土器 深鉢	床直 破片	厚・1.1	酸化・並。純青橙10YR6/6。 白色粒子・白色微粒子・細粒砂		

第27A・B号住居跡

辨認番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目(cm) 量目(g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
103-1	圓文土器 深鉢	覆土 破片	厚・0.8	酸化・並。純赤褐5YR4/4。 白色軽物・黒褐色粒	口唇部は短く外反。LR原体を横振施し、半 截竹管による平行線を造らす。	
144-1	圓文土器 深鉢	覆土 破片	厚・1.1	酸化・並。極暗赤褐5YR2/3	LR原体を継続施する。	接・10点

第28号住居跡

辨認番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目(cm) 量目(g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
104-1	圓文土器 深鉢	覆土 破片	厚・0.7	酸化・並。純褐7.5YR6/3。 金銀母・白色軽物・白色微粒子	平縁の口唇部は肥厚する。口唇部直下に3条 の沈縫線を施す。	接・無し
144-2	圓文土器 深鉢	覆土 破片	厚・0.8	酸化・並。褐褐2.5Y3/2。 金銀母・白色軽物	横円隆帯を施し、横円区画の内側下端に沈縫 を造らす。	接・無し
104-2	圓文土器 深鉢	覆土 破片	厚・0.8	酸化・並。純褐7.5Y3/6		
144-3	圓文土器 深鉢	覆土 破片	底・8.8	白色粒子・金銀母・白色軽物		
104-3	圓文土器 深鉢	覆土 破片	底・8.8	白色粒子・金銀母・白色軽物	文様部分の遺存は僅一部。縦列単位の鋭い刻 みを施す。	接・9点
144-28	圓文土器 深鉢	覆土 破片	底・8.8	白色粒子・金銀母・白色軽物		

第29号住居跡

探査番号	種 別 器	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	概 要
105-1	縄文土器 深鉢	覆土 破片	厚・1.1	酸化・並。明赤褐5YR5/6 金雲母・白色鉱物	把手部か。2方向に窓状の透かしを施す。	接・5点
144-4	縄文土器 浅鉢	覆土 破片	厚・0.9	酸化・並。浅黄橙7.5YR7/4 金雲母・白色粒子	直立する口縁部で口部は肥厚する。半裁竹管による押引文を口縁部に平行して施す。	接・無し
105-3	縄文土器 深鉢	覆土 破片	厚・1.0	酸化・並。浅黄2.5YR7/3 粗粒砂・赤褐色粒子	沈線文区画内にLR原体を充填させる。	接・無し
144-6	縄文土器 深鉢	5-113坑 破片	厚・1.4	酸化・並。橙7.5YR7/6 角粒粗粒砂・赤褐色粒子	口縁部は直立する。口縁部無文帯の直下に接・無し LR原体を横軸施す。	
144-8	縄文土器 深鉢	覆土 破片	厚・1.1	酸化・並。褐7.5YR4/6 粗粒砂・白色鉱物	地紋にRL原体を横軸に施し、半裁竹管に接・無し よる連弧文を施す。	
105-5	縄文土器 深鉢	覆土 破片	厚・1.1	酸化・並。褐7.5YR8/2 白色鉱物・角粒粗粒砂	弧線帶縞文。LR原体を充填させる。	接・無し
144-7	縄文土器 深鉢	5-111坑 破片	厚・0.9	酸化・並。灰白7.5YR8/2 白色鉱物・角粒粗粒砂		
105-6	縄文土器 深鉢	5-113坑 破片	厚・1.1	酸化・並。灰白7.5YR8/2 白色鉱物・角粒粗粒砂		
144-9	石器 石鎚	5-113坑 完形	チャート 重・0.82	長・2.6。幅・1.05。厚・0.35	無茎長柄三角形式。右抉りの端部を欠損。	
105-7	石器 石鎚	5-113坑 完存	黒色頁岩 重・16.48	長・3.55。幅・4.10。厚・1.45	スクレーパー。裏面加工が認められる。	
144-30	石器 打製石斧	5-93坑 完存	ホルンフェルス 重・112	長・10.6。幅・6.4。厚・1.4	分側形打製石斧。片岩状の素材に加工を加える。	

第30号住居跡

探査番号	種 別 器	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	概 要
106-1	縄文土器 深鉢	壁溝内 破片	径・(36.0) 厚・1.2	酸化・並。浅黄橙10YR8/3 含鐵塵・白色バミス・白色粒子	口唇部は尖り気味。羽状縞文を施す。	接・3点
144-26	縄文土器 深鉢					

第31号住居跡

探査番号	種 別 器	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	概 要
108-1	縄文土器 浅鉢	覆土 1/4	口・(36.0)	酸化・並。褐10YR4/4 金雲母・白色鉱物・粗粒砂	口唇部の内側は肥厚する。 文様は認められない。	接・7点
144-13	縄文土器 浅鉢	覆土 1/4	厚・1.0	酸化・並。褐7.5YR4/4 黑色鉱物・角粒砂・白色鉱物	文様は認められない。 108-3と同一個体。	接・5点
108-2	縄文土器 浅鉢	覆土 1/4	底・(12.0)	酸化・並。褐7.5YR4/4 黑色鉱物・角粒砂・白色鉱物	文様は認められない。 108-2と同一個体。	
144-14	縄文土器 浅鉢	1/8	底・(13.0)	酸化・並。褐7.5YR6/4a	文様は認められない。	
108-4	縄文土器 浅鉢	床直削 小片	底・(13.0)	酸化・並。褐7.5YR6/4a		
144-27	縄文土器 深鉢					
108-5	縄文土器 深鉢	覆土 破片	厚・0.8	酸化・並。浅黄橙7.5YR7/4 含鐵塵・白色微粒子	半裁竹管による平行沈線文を施し、直下にコシナバ文を施す。	接・無し
144-10	縄文土器 深鉢					
108-6	縄文土器 深鉢	覆土 破片	厚・0.9	酸化・並。褐7.5YR7/4	横位・斜位の条痕文を施す。	接・無し
144-11	縄文土器 深鉢					
108-7	縄文土器 深鉢	覆土 破片	厚・0.8	酸化・並。褐7.5YR6/8 砂粒・白色鉱物	波状口縁の波底部。冠部に2本の刻みにより波状を表す。	接・無し
144-15	縄文土器 深鉢					
108-8	縄文土器 深鉢	床直削 破片	厚・0.8	酸化・並。褐7.5YR6/6 白色微粒子	半裁竹管による横位・竪位平行比線文の区画内に連続爪彫文を施す。	接・2点
144-16	縄文土器 深鉢					
108-9	縄文土器 深鉢	覆土 破片	厚・0.9	酸化・並。褐7.5YR4/3 含鐵塵・白色微粒子	横位に縦條を造らせ、直下に押引文をT字状に施す。	接・無し
144-22	縄文土器 深鉢					
108-10	縄文土器 深鉢	覆土 破片	厚・0.8	酸化・並。浅黄橙7.5YR8/4 砂粒・赤褐色粒子・砂粒角粒砂	半裁竹管による横位の平行比線文を3条施す。	接・2点
144-17	縄文土器 深鉢					
108-11	縄文土器 深鉢	覆土 破片	厚・0.8	酸化・並。褐7.5YR6/4 含鐵塵・白色微粒子	竪位の被状沈線文を施す。	接・無し
144-19	縄文土器 深鉢					
108-12	縄文土器 深鉢	覆土 破片	厚・0.7	酸化・並。褐7.5YR5/3 金雲母・砂粒	横円状隆帯が接する。隆帯直下に押引文を施す。	接・無し
144-18	縄文土器 深鉢					
108-13	縄文土器 深鉢	覆土 破片	厚・0.6	酸化・並。純赤褐7.5YR4/4 白色微粒子	竪横に刻隆帯を施し区画を構成し、隆帯に沿い押引文を施す。	接・無し
144-21	縄文土器 深鉢					
108-14	縄文土器 深鉢	覆土 破片	厚・1.0	酸化・並。褐7.5YR4/3	竪位の刻隆帯の際に連続爪彫文を施し、更に周囲に半裁竹管による平行比線文を施す。	接・無し
144-23	縄文土器 深鉢					
108-15	縄文土器 深鉢	床直 破片	厚・0.8	酸化・並。純褐7.5YR5/3 白色鉱物・砂粒角粒砂	眼鏡状隆帯を施す。	接・5点

第31号住居跡

埠岡番号 固版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
108-16	縄文土器	床直 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍槌7.5YRS/3 白色歯粒・砂粒角粒砂	假鏡状隠帶を施す。	接・5点
144-20	深鉢					
108-17	縄文土器品	ピット覆土	径・4.2	酸化・並。鈍赤褐色YRS/4 赤褐色粒子・夾雜物少	大形深鉢の副部・下半部片を利用する。	
144-24	円盤	完存				
108-18	石器	床直	砂質質 重・151	遺存高8.8. 残存幅・6.4. 厚・2.7	分銅形と考えられる。欠損時の衝撃に起因するのか、全体的に脆い状態。	
144-31	打製石斧	1/3				
108-19	石器	床直	粗粒輝石安山岩 重・353	長・9.7. 幅・6.3. 厚・4.2	両面の扁平面が磨滅し、中央部に集中打痕を残す。側部にも縦打痕が認められる。	
144-31	擦石	完存				

第32号住居跡

埠岡番号 固版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
109-1	縄文土器	覆土 破片	厚・0.7	酸化・並。10YR4/6 含鐵斑・白色微粒子	口唇直下に横線を横走させ、半歳竹管により 斜面を表出する。	接・無し
145-3	深鉢	破片				
109-2	縄文土器	覆土 破片	厚・0.7	酸化・並。純黄褐色YRS/4 含鐵斑・白色微粒子	半歳竹管の横位沈線・竹管の縱位刻突文を 施し、RL原体を横軸施文する。	接・無し
145-3	深鉢	破片				
109-3	縄文土器	覆土 破片	厚・0.8	酸化・並。純黃褐色YRS/4 含鐵斑・白色微粒子・砂粒角粒砂	横位の押引文を施し、竹管の刻突文を施す。	接・無し
145-3	深鉢	破片				
109-4	縄文土器	覆土 破片	厚・0.9	酸化・並。純褐7.5YRS/4 含鐵斑・白色微粒子	地紋にLR原体を横位に施文し、横位の押引 文を施す。	接・無し
145-3	深鉢	破片				
109-5	縄文土器	覆土 破片	厚・0.8	酸化・並。純褐7.5YRS/4 含鐵斑	地紋にLR原体を横位に施文し、横位の押引 文を施す。	接・無し
145-3	深鉢	破片				
109-6	縄文土器	覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。純褐7.5YRS/4 含鐵斑・白色微粒子	RL原体を転写する。	接・無し
145-3	深鉢	破片				
109-7	縄文土器	覆土 破片	厚・0.8	酸化・並。純褐7.5YRS/4 含鐵斑・白色微粒子・石英	地紋にLR原体を横位に施文し、横位の押引 文を施す。	接・無し
145-3	深鉢	破片				
109-8	縄文土器	覆土 破片	厚・0.9	酸化・並。純褐7.5YRS/4 含鐵斑・白色微粒子	単軸條条件2 Rを横軸施文する。	接・無し
145-3	深鉢	破片				
109-9	縄文土器	覆土 破片	厚・0.8	酸化・並。純褐7.5YRS/4 含鐵斑・白色微粒子	RL原体を羽状施文する。	接・無し
145-3	深鉢	破片				
109-10	石器	覆土 チャート	長・3.3. 幅・2.1. 厚・0.95		上下・左右の裏裏面に使用歴乃至使用に伴 う剥離が認められる。	
145-4	楔形石器	完存	東・6.57			
109-11	石器素材	覆土 完存	長・13.9. 幅・6.4. 厚・2.7		縦の剥離痕が認められる。打製石斧の素材と 考えられる。	
145-5						
109-12	石器	床直 粗粒輝石安山岩 重・451	長・9.4. 幅・7.3. 厚・4.5		両面の扁平面が磨滅し、中央部に集中打痕を 残す。小口・側部にも縦打痕が認められる。	
145-5	擦石	完存				
109-13	石器	床直 破片	粗粒輝石安山岩 重・784	遺存長・11.2. 遺存高・6.9	成形時の敵打痕が僅かに認められる。底面に 孔穴が認められる。	
145-6	石皿	破片				
109-14	縄文土器	覆土 破片	底・8.8	酸化・並。黃褐色YRS/6 白色粒子・赤褐色粒子・円粒砂	底部から強く外傾して立ち上がる。 RL原体を横軸施文する。	接・6点
145-1	深鉢	破片				
109-15	縄文土器	床直 1/3	底・9.3	酸化・並。純褐7.5YRS/4 白色粒・白色歯物粒・細粒砂	外傾し立ち上がる。絆条件Lを施す。	接・21点
145-2	深鉢					

第33号住居跡

埠岡番号 固版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
110-1	縄文土器	床直層 1/4	口・(14.9)	酸化・並。純褐7.5YRS/2 繊維・繊維白色歯物・黄色細粒	口縁部に歪み乃至1単位程度の把手か。1原 体を横軸施文する。	接・15点
145-8	深鉢					
110-2	縄文土器	覆土 破片	厚・0.8	酸化・並。純褐7.5YRS/4 含鐵斑・白色微粒・赤褐色粒	口縁部は外傾し口唇部は尖る。LR原体を横 軸施文する。	接・無し
145-7	深鉢	破片				
110-3	縄文土器	覆土 破片	厚・0.9	酸化・並。褐7.5YR4/3 含鐵斑・白色微粒子	器面の風化面ではないが、施文不鮮明により 文様は認識出来ない。	接・無し
145-7	深鉢	破片				
110-4	縄文土器	覆土 破片	厚・1.3	酸化・並。純赤褐色YRS/4 含鐵斑・白色微粒子	ループ網文を施文する。原体は RL。	接・無し
145-7	深鉢	破片				
110-5	縄文土器	覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。褐7.5YR6/6 含鐵斑・白色微粒子・砂粒	付加条第2種 LR+2L原体を横軸施文する。 110-6と同一個体。	接・無し
145-7	深鉢	破片				
110-6	縄文土器	覆土+床直 1/3	厚・0.9	酸化・並。褐7.5YR4/3 含鐵斑・白色微粒子・砂粒	付加条第2種 LR+2L原体を横軸施文する。 110-5と同一個体。	接・3点
145-7	深鉢					

第33号住居跡

埠図番号	種別	出土位置	度目(cm)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
回版番号	器種	遺存度	量目(g)			
110-7	繩文土器 深鉢	床直 破片	厚・0.9	酸化・並。純黄土10YR6/3 含鐵鐵・白色微粒子	RL原体を横軸施文する。	接・無し
145-7						
110-8	繩文土器 深鉢	覆土 破片	厚・0.9	酸化・並。褐7.5YR4/4 含鐵鐵・白色微粒子	RL原体を横軸施文する。	接・無し
145-7						
110-9	繩文土器 深鉢	覆土 破片	厚・0.8	酸化・並。純黃土10YR5/4 含鐵鐵・白色微粒子・細繩	粗いLR原体を縱軸施文する。	接・無し
145-7						
110-10	繩文土器 深鉢	覆土 破片	厚・1.0	酸化・並。純黃土10YR6/4 含鐵鐵・白色微粒子・尖端物少	粗いLR原体を横軸施文する。	接・無し
145-7						
110-11	繩文土器 深鉢	床直削 1/5	厚・1.0	酸化・並。褐7.5YR6/6 含鐵鐵・白色鐵物粒子	LR原体を横軸施文する。	接・9点
145-9						
110-12	繩文土器 深鉢	覆土 破片	厚・0.9	酸化・並。褐7.5YR4/3 含鐵鐵・白色粒子・チャート	羽状繩文を施文する。	接・無し
145-7						
110-13	繩文土器 深鉢	覆土 破片	厚・0.9	酸化・並。純黃土10YR5/4 含鐵鐵・白色微粒子・細砂粒	RL・LR原体を施文する。	接・無し
145-7						
110-14	繩文土器 深鉢	床直 破片	厚・1.1	酸化・並。純赤褐色10YR3/6 白色粒子・砂粒	地紋にRL原体を横位に施文し、平行条線を機位に施文する。	接・無し 諸説B
145-7						
110-15	繩文土器 深鉢	覆土 破片	厚・0.8	酸化・並。明赤褐色5YR5/6 含鐵鐵・白色微粒子	地紋にRL原体を横位に施文し、半裁竹管による平行条線を施す。	接・無し
145-7						
110-16	繩文土器 深鉢	覆土+床直 破片	厚・0.8	酸化・並。純褐7.5YR6/4 含鐵鐵・白色微粒子	無跡Rを横軸施文する。 110-17と同一個体。	接・無し
145-7						
110-17	繩文土器 深鉢	覆土 破片	厚・0.8	酸化・並。純褐7.5YR6/4 含鐵鐵・白色微粒子	無跡Rを横軸施文する。 110-16と同一個体。	接・無し
145-7						
111-1	繩文土器 深鉢	床直 破片	厚・0.9	酸化・並。純褐7.5YR6/4 含鐵鐵・白色微粒子・粗砂粒	付加条第2種 RL+2L原体を横軸施文する。	接・無し
145-7						
111-2	繩文土器 深鉢	覆土 破片	厚・0.8	酸化・並。褐7.5YR4/3 含鐵鐵・白色微粒子	付加条第2種 RL+2L原体を横軸施文する。	接・無し
145-7						
111-3	繩文土器 深鉢	床直 破片	厚・0.8	酸化・並。褐7.5YR4/4 含鐵鐵・白色微粒子	付加条第2種 RL+2L原体を縦位施文する。 土器加工の円盤の可能性もある。	接・無し
145-7						
111-4	繩文土器 脚付深鉢	床直 底・13.2	高・(4.0) 底・13.2	酸化・並。純褐7.5YR7/4 含鐵鐵・白粒・赤褐色。	付加条 RL+L原体の横軸施文。	接・8点
145-10						
111-5	繩文土器 深鉢	覆土 破片	厚・1.0	酸化・並。純褐7.5YR7/4 含鐵鐵・白色微粒子	羽状繩文を施す。	接・無し
145-7						
111-6	繩文土器 深鉢	床直 破片	厚・1.2	酸化・並。明赤褐色5YR5/6 白色颗粒・粗砂粒	文様は認められない。胎土は中期勝板乃至阿玉台期に相当する。	接・無し
145-7						
111-7	石器 銅片石器	床直 完存	チャート 重・108	チャートの2個縁に刃部加工を施す。		
146-1						
111-8	石器 銅片石器	覆土 完存か	黒色頁岩 重・25	長・5.7。幅・4.0。厚・1.1	台形状の破片の2側縁に刃部加工を施す。 打裂石斧の破片の可能性も考えられる。	
146-3						
111-9	石器 銅片石器	覆土 完存	黒色頁岩 重・14.3	長・3.9。幅・3.3。厚・1.2	刺片の1側縁に刃部加工を施す。	
146-2						
110-10	石器 印石	床直 完存	相模輝石安山岩 重・370	相模輝石安山岩 長・8.3。幅・6.9。厚・5.4	表面全体に敲打痕が認められる。	
146-4						
111-11	石器 擦石	床直 完存	かこう岩 重・520	かこう岩 長・9.1。幅・8.3。厚・5.2	両面の縦平面が磨滅し、敲打痕が認められる。 小口に集中打痕を残す。	
146-4						
111-12	石器 擦石	床直 完存	相模輝石金山岩 重・422	相模輝石金山岩 長・9.8。幅・7.7。厚・4.6	両面の縦平面が磨滅し、中央部に集中打痕を残す。小口・側部にも敲打痕が認められる。	
146-4						
111-13	石器 擦石	床直 完存	相模輝石金山岩 重・417	相模輝石金山岩 長・9.9。幅・8.4。厚・3.2	両面の縦平面が磨滅し、中央部に集中打痕を残す。小口・側部にも敲打痕が認められる。	
146-6						
111-14	石器 擦石	床直 完存	ひん岩 重・428	ひん岩 長・10.8。幅・8.2。厚・3.1	両面の縦平面が磨滅し、中央部に集中打痕を残す。小口に敲打痕が認められる。	
146-7						
111-15	石器 印石	床直 完存	ホルンフェルス 重・471	ホルンフェルス 長・13.0。幅・5.2。厚・4.4	小口に剥離が認められる。	
146-8						

第34号住居跡

埠図番号	種別	出土位置	度目(cm)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
回版番号	器種	遺存度	量目(g)			
112-1	繩文土器 深鉢	埋理1内 破片	厚・1.1	酸化・並。純黃土10YR7/2 粗砂粒・細繩	弧線沈線文内にLR原体を充填施文する。	接・2点
146-11						

第34号住居跡

辨認番号	種 別	出土位置 回収番号	度 目 遺 存 度	度 目 (cm) 量 目 (g)	焼調・色調・胎土 (石炭材の度目)	形 状・技 法 等 の 特 徴	摘 要
112-2	縄文土器	埋蔵 1 内 深鉢	厚・1.0 破片	酸化・並。純黄橙10YR7/3 粗粒砂	弧線沈線文内に LR 原体を充填施文する。	接・2点	
112-3	縄文土器	埋蔵 1 内 深鉢	厚・1.0 破片	酸化・並。純黄橙10YR7/3 粗粒砂	文様の施文は認められない。	接・2点	
112-4	縄文土器	埋蔵 1 内 深鉢	厚・1.0 1/8	酸化・並。純黄橙10YR7/3 粗粒砂・織紋・白色粒子	文様の施文は認められない。	接・11点	
113-1	縄文土器	埋蔵 胸窓中位 3/4 深鉢	最・28	酸化・並。鈍赤褐色6/3 白色粒子・赤褐色粒子・粗粒砂	5 単位の「8」の字帯(縄文内に S 字文の施文と考えられる)。縄文は RL 原体を転写する。	接・19点	
113-2	縄文土器	床直 深鉢	底・(10.8)	酸化・並。明赤褐色5YR5/6 粗粒砂・白色鉱物・パミス	LR 原体の横軸施文が認められる。	接・無し	
113-3	縄文土器	床直 深鉢	底・(11.3)	酸化・並。明赤褐色5YR5/6 粗粒砂・白色鉱物	直立気味に立ち上がる。縦位に縦帶を施文後、LR 原体を横軸施文し、横位の沈線文を施す。	接・無し	
114-1	縄文土器	床直 深鉢	底・8.6 厚・0.8	酸化・軟。淡黄2.5Y8/3 シルト質・円チャート・白色粒	文様の施文は認められない。器面の風化が顕著。	接・無し	
115-3	石器	床直 深鉢	粗粒輝石安山岩 重・280	達存長・9.9・達存高・5.1	使用面以外の整形面には、成形時の敲打痕が顯著に認められる。		
115-6	石器	床直 石皿	粗粒輝石安山岩 破片	達存長・10.7・達存高・8.3 重・776	整形は比較的丁寧で、整形痕は殆ど認められない。縁辺に 2 つ孔が認められる。		

第35号住居跡

辨認番号	種 別	出土位置 回収番号	度 目 遺 存 度	度 目 (cm) 量 目 (g)	焼調・色調・胎土 (石炭材の度目)	形 状・技 法 等 の 特 徴	摘 要
114-1	縄文土器	埋蔵内 深鉢	厚・0.8 破片	酸化・並。明赤褐色5YR5/6 粗粒角粒砂・白色鉱物	4 単位の波状口縁、波頂部に「8」の字文を施す。帯(縄文構成の文様構成)。	接・11点	
114-2	縄文土器	埋蔵内 深鉢	厚・1.0 破片	酸化・並。橙7.5YR6/6 砂粒・赤褐色粒子・角粒	波状口縁。口唇部は肥厚し波頂部に円形刺突文を施す。	接・無し	
114-3	縄文土器	覆土内 深鉢	厚・1.0 破片	酸化・硬。橙2.5YR6/8 白色鉱物・角粒粗粒砂	口唇部は肥厚し横位に丁寧な實施でを施す。口縁部は、平行沈線内に列点刺突文を施す。	接・2点	
114-4	縄文土器	埋蔵内 深鉢	厚・1.5 破片	酸化・並。純橙7.5YR6/4 赤褐色砂・円粒砂・白色鉱物	内窓口縁の無文粗粒土器。圓面が風化する。整形は斜位の施とと考えられる。	接・無し	
115-1	縄文土器	住居内倒木 深鉢	厚・1.2 破片	酸化・並。純赤褐色5YR5/3	縦位に比照を重下させ、沈線間に刺突文を施す。	接・無し	
115-2	縄文土器	埋蔵 口・底欠損 深鉢	最・(39.4) 厚・1.2	酸化・並。純黄橙10YR6/3 角粒粗粒砂・白色粒・赤褐色粒	底部に最大径を有し頸部に向かい彎れる。裏文は無く、強い斜位の擦で整形板を残す。	接・14点	

第36号住居跡

辨認番号	種 別	出土位置 回収番号	度 目 遺 存 度	度 目 (cm) 量 目 (g)	焼調・色調・胎土 (石炭材の度目)	形 状・技 法 等 の 特 徴	摘 要
119-1	縄文土器	覆土 深鉢	厚・1.1 破片	酸化・並。純赤褐色5YR5/4 含織紋・白色微粒子	文様は認められない。	接・無し	
147-7							

第37号住居跡

辨認番号	種 別	出土位置 回収番号	度 目 遺 存 度	度 目 (cm) 量 目 (g)	焼調・色調・胎土 (石炭材の度目)	形 状・技 法 等 の 特 徴	摘 要
116-1	縄文土器	覆土 深鉢	厚・0.8 破片	酸化・並。明赤褐色5YR5/6 金雲母・白色鉱物・赤褐色粒子	口縁部は内窓し口唇部は丸味を帯び外側する。縫隙を施し、下端に連続爪形文を施す。	接・無し	
147-1							
116-2	縄文土器	覆土内 深鉢	厚・0.7 破片	酸化・並。灰褐色7.5YR4/2 金雲母・白色鉱物	口縁部は内窓し口唇部に小単位に刻みを施し、口唇部から縦位の側縫隙を施す。	接・無し	
147-1							
116-3	縄文土器	覆土 深鉢	厚・0.9 破片	酸化・並。明赤褐色5YR5/6 金雲母・白色鉱物・粗粒砂	縦位に梢円区画文を施す。	接・無し	
147-1							
116-4	縄文土器	覆土 深鉢	厚・0.7 破片	酸化・並。純赤褐色5YR4/4 金雲母・白色鉱物	縦位の梢円区画隙縫文が認められる。	接・無し	
147-1							
116-5	縄文土器	覆土 深鉢	厚・0.8 破片	酸化・軟。純橙7.5YR6/4 白色鉱物・粗粒砂・赤褐色粒	横位波状山形文を施文する。	接・無し	
147-4							
116-6	縄文土器	覆土 深鉢	厚・1.0 破片	酸化・軟。純橙7.5YR6/4 白色鉱物・粗粒砂・赤褐色粒	口縁下半は無文。横位縫隙を 2 条迷らせ、下位に山形縫隙を施文し、連続爪形文を施す。	接・5点	

第37号住居跡

辨認番号 固版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
116-7	縄文土器	覆土 破片	口・(30.0)	酸化・並。明褐7.5YR5/2 角粒粗粒砂・白色鈍物	4単位の波状口縁か、把手を刻隠帶で加飾し、接・9点平行寸線文・キタビラ文・三叉文を施す。	
147-5	深鉢					

第38号住居跡

辨認番号 固版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
118-1	縄文土器	埋甕	底・37.4	酸化・硬。純黄褐10YR7/2	縦位の橋円乃至弧条懸垂を配し、7本1単位	
148-1	深鉢	下半部残存	底・10.0	暗赤褐色粒子・角粒粗粒砂。	の条痕文を施す。主間に重弧文を施す。	

第39・40号住居跡

辨認番号 固版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
117-1	縄文土器	床直層 破片	厚・0.8	酸化・硬。褐7.5YR4/3 含鐵斑・白色微粒子	口縁部は外反し、口唇部平ら。羽状縄文を施す。	接・2点
147-7	深鉢					
117-2	縄文土器	床直層 破片	厚・0.8	酸化・硬。褐7.5YR4/3 含鐵斑・白色微粒子	口縁部は外反し、口唇部平ら。羽状縄文を施す。	接・2点
147-7	深鉢					
117-3	縄文土器	床直層 破片	厚・0.7	酸化・並。純黄褐10YR6/4 含鐵斑・白色微粒子	RL原体を横軸施す。	接・無し
147-7	深鉢					
117-4	石器	床直 打撲石斧 完存	黒色頁岩 重・113	長・9.4、幅・5.5、厚・2.0	捲形。表面に礫面を残す。成・整形の大半は裏面側に集中する。	
147-8	打撲石斧					
117-5	石器	床直 印石 完存	粗粒輝石安山岩 重・76	長・7.1、幅・3.8、厚・2.1	小形の磨石器。肩平面の片面に敲打痕を残す。	
147-8	印石					
117-6	石器	床直 推石 完存	粗粒輝石安山岩 重・441	長・9.0、幅・8.5、厚・4.2	両面の肩平面が磨滅し、中央部に集中打痕を残す。小口・側部にも敲打痕が認められる。	
147-8	推石					
117-7	石器	床直 粗粒輝石安山岩 完存	粗粒輝石安山岩 重・541	長・10.6、幅・8.6、厚・4.2	両面の肩平面が磨滅し、中央部に集中打痕を残す。小口・側部にも敲打痕が認められる。	
147-8						
120-1	縄文土器	床直 破片	厚・1.2	酸化・並。純黄褐10YR6/4 含鐵斑・白色微粒子・白色鈍物	RL原体を横軸施す。	接・無し
147-7	深鉢					
120-2	縄文土器	床直層 破片	厚・0.8	酸化・並。純褐2.5YR6/4 含鐵斑・白色微粒子	無節LR原体を横軸施す。	接・無し
147-7	深鉢					
120-3	縄文土器	床直層 破片	厚・0.9	酸化・並。純黃褐10YR6/4 含鐵斑・白色微粒子	無節LR原体を横軸施す。	接・無し
147-7	深鉢					
120-4	縄文土器	床直層 破片	厚・0.8	酸化・並。黃灰2.5YR4/1 含鐵斑・白色微粒子	無節LR原体を横軸施す。	接・無し
147-7	深鉢					
120-5	縄文土器	床直層 破片	厚・0.9	酸化・並。褐灰10YR4/1 含鐵斑・白色微粒子	羽状縄文を施す。	接・無し
147-7	深鉢					
120-6	縄文土器	床直 破片	厚・1.0	酸化・並。赤褐5YR4/6 含鐵斑・白色微粒子多	底部は上げ底。粗いLR原体を横軸施す。	接・無し
147-7	深鉢					

第41号住居跡

辨認番号 固版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
121-1	縄文土器	覆土+床直層 1/2	口・(14.0)	酸化・明赤褐2.5YR5/6 シルト質・白色微粒子・赤褐色粒	4本1単位の条痕文を縦位に施す。	接・24点
148-2	深鉢					
121-2	縄文土器	覆土 破片	厚・1.3	酸化・並。明褐7.5YR5/6 砂粒・白色微粒子・赤褐色粒子	口縁部は内凹する。隠帯文を施す区画内にRL原体を充填施す。	接・無し
148-2	深鉢					
121-3	縄文土器	床直層 破片	厚・0.8	酸化・並。褐灰10YR4/1 赤褐色粒・白色鈍物	微縫隙による区画内にRL原体を充填施す	接・無し
148-2	深鉢					
121-4	縄文土器	床直 破片	厚・0.8	酸化・並。褐7.5YR4/6 白色鈍物・白色微粒子	縦位の懸垂文を垂下させ、縦位条痕文を施す。成形は粘土組巻き上げ作り。	接・無し
148-2	深鉢					
121-5	縄文土器	床直層 破片	厚・1.1	酸化・並。純赤褐5YR4/4 白色微粒子・夾雜物少	11本1単位の櫛齒でコンパス乃至巻き文を施す。	接・無し
148-2	深鉢					
121-6	縄文土器	覆土 破片	厚・1.1	酸化・並。純褐7.5YR7/4 シルト質・白色鈍物	懸垂文を垂下させ、LR原体を縦軸施す。	接・6点
148-3	深鉢					
122-1	縄文土器	床直+床直層 破片	厚・1.4	酸化・並。純褐5YR6/4 シルト質・白色微粒子	口縁部隠帯下から懸垂文を垂下させ、沈線間にRL原体を縦軸施す。	
148-4	深鉢					
122-2	縄文土器	床直 底部欠損	口・19.3	酸化・硬。黃褐10Y5/6 白色粒子・細砂粒	口縁部はキャリバー状を呈する。隠帯は4単位で施す間にRL原体縦軸を充填施す。	接・40点
148-5	深鉢					

第41号住居跡

辨認番号	種別	出土位置	度目(cm)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
四版番号	器種	遺存度	量目(g)			
122-3	縄文土器	床直+覆土 深鉢	□・(24.5)	酸化。並。純黄橙10YR6/3 シルト質。白色微粒・赤褐色粒	口縁部はキャリバー状を呈する。連鎖状隆起を施す。隆起間にLR原体を充填する。	
148-6		口縁部分				
122-4	縄文土器	覆土+床直層 深鉢	□・(32.0)	酸化・並。黒褐2.5YR3/1 シルト粒。白色微・赤褐色粒子	キャリバー状口縁にRL原体を横軸施文する。	接・8点
148-9		破片				
122-5	縄文土器	床直 深鉢	底・5.6	酸化・軟。明黃褐10Y7/6 白色粒子・角粒砂	内面気味に立ち上がる。7単位の平行懸垂文間にRL原体を縱軸施文する。	接・9点
148-7		破片				
122-6	縄文土器	床直+炉内 深鉢	底・5.6	酸化。並。純黄橙10YR6/4 差。白色粒・赤褐色粒	内面に研磨を施す。	接・8点
148-8		底部片				
123-1	石器	覆土 打製石斧 2/3	砂岩 重・114	長・9.3。幅・5.1。厚・2.2	表面に擦面を残す。均一的に側部・先端の加工を施す。	
148-10						
123-2	石器	床直 打製石斧 完存	砂岩 重・230	長・11.6。幅・5.8。厚・2.8	表面は擦面を残す。比較的粗い加工成形を施し、刃部加工等は比較的少ない。	
148-11						
123-3	石器	覆土 叩石	チャート 完存	長・12.0。幅・7.2。厚・6.7	角柱状の茶褐色チャートを素材にし、側部の角を叩き使用する。	
148-10						

第42号住居跡

辨認番号	種別	出土位置	度目(cm)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
四版番号	器種	遺存度	量目(g)			
124-1	縄文土器	覆土 深鉢	厚・1.0	酸化・並。純黄橙10YR7/4 合織縫・赤褐色物少	口縁部は外反し口唇部は格子刺みを施す。内外面に多痕文を施す。	接・無し
149-1		破片				
124-2	縄文土器	覆土内 深鉢	厚・1.0	酸化・並。灰褐7.5YR4/2 細縫・赤褐色粒子	機位に爪形文を施す。	接・2点
149-1		破片				
124-3	縄文土器	覆土 深鉢	厚・1.0	酸化・並。純橙7.5YR6/4 白色粒子・白色微粒子・細砂粒	太い横線を平行に2条施し、上下に都目文を縱位施文する。029と同一個体。	接・無し
149-1		破片				
124-4	縄文土器	覆土 深鉢	厚・0.8	酸化・並。純黄橙10YR6/4 白色粒子・白色微粒子・細砂粒	太い横線を施し、下位に都目文を縱位に施す。029と同一個体。	接・2点
149-2		破片				
124-5	縄文土器	覆土 深鉢	厚・0.9	酸化・並。暗黄褐2.5Y4/2 白色粒・白色微粒・角粒粗砂粒	面部に強い横線を施し、下位に都目文を施す。	接・無し
149-1		破片				
124-6	縄文土器	覆土 深鉢	厚・1.1	酸化・並。赤褐7.5YR4/6 砂粒・白色粒子	地文に縦条体LR原体を施文し、横位の波状沈線文を施文する。	接・無し
149-1		破片				
124-7	縄文土器	覆土 深鉢	厚・0.6	酸化・並。純褐7.5YRS/4 白色粒子・砂粒・赤褐色粒子	沈線文専用区画内にRL原体を縱位充填する。	接・無し
149-1		破片				
124-8	縄文土器	覆土 深鉢	厚・1.3	酸化・並。浅黄橙7.5YR8/6 白色粒・白色微粒・角粒・赤褐色粒子	横縫区画の上位にRL原体を横軸施文する。	接・2点
149-4		破片			下位に縱位の沈線を施す。	
124-9	石器	覆土 石器 2/3	チャート 重・1.96	遺存長・2.7。幅・1.45。 厚・0.6	平根三角形式の範疇に含まれるが、隠窓から至部分を欠損するため詳細不詳。飛行機墜か。	
149-3						
124-10	石器	覆土 擦石	溶結凝灰岩 完存	長・5.9。幅・4.9。厚・2.9	顯著な使用痕は認められないが、形状は擦石様を呈する。	
149-5						

第45号住居跡

辨認番号	種別	出土位置	度目(cm)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
四版番号	器種	遺存度	量目(g)			
125-1	土師器	床直 一部欠損	□・12.3	酸化・並。橙7.5YR6/6。 並・やや重。褐粒微・鉱物微。	口縁部は内湾氣味。型作り。底部は削削・体部に垂腹。口縁部・器内面は横撫壓形。	接・28点
149-7	壺	底・11.0				
125-2	土師器	床直+覆土 1/2	□・(14.0)	酸化・硬。灰褐2.5Y7/2。 並・やや重。鉱物微。	口縁部は内湾氣味。型作り。底部は削削・体部に垂腹。口縁部・器内面は横撫壓形。	接・7点
149-6	壺					
125-3	須恵器	床直 3/4	□・14.0 底・8.4	酸化・硬。純黄橙10YR6/3。 並・やや重。白・褐粒・鉱物合。	口縁部は外傾する。鍛錬成形(右回転)。底部は回転余切り後周辺を回転混削。外面黒煙。	接・7点
149-8						
125-4	須恵器	床直層 1/4	□・(13.0) 底・(9.0)	還元・硬。褐灰2.5Y6/1。 密・重。白鉱物合・鉱物微。	口縁部は外傾する。鍛錬成形(右回転)。底部は回転混削。火煙・自然釉。	太田か
149-9						
125-5	須恵器	覆土 口縁部分	□・16.9	還元・並。灰白7.5YR7/1。 並・やや重。白粒子・鉱物微少。	口縁部は外傾する。鍛錬成形(右回転)。底部は欠崩のため切り離し技法不詳。	接・5点
149-10	壺					
125-6						

第46・47号住居跡

辨認番号	種別	出土位置	度目(cm)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
四版番号	器種	遺存度	量目(g)			
126-1	縄文土器	覆土 深鉢	厚・1.0	酸化・並。坑7.5YR4/3 白色鉱物・砂粒	口縁部は「く」の字状に外反し口唇部は平坦	接・無し
149-11		破片			横位のキャビタリ文を施す。	

第46・47号住居跡

辨認番号 区分番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石塗材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
126-2	縄文土器 深鉢	覆土 破片	厚・0.8	酸化・並。灰褐7.5YR4/2 金雲母・砂粒少	粗い爪形文を施す。	接・無し
149-12						

第48号住居跡

辨認番号 区分番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石塗材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
127-1	土師器 环	床直層 口縁部片	□・(11.0)	酸化・並。純褐7.5YR5/4. 並、褐粒含、他少。	口縁部は内溝気味。型作り。底部は荒撫気味。 体部に型崩。口縁部・器内面は横撫整形。	
127-2	須恵器 蓋	床直層 破片	□・(12.4) 探査・(2.4)	中性・軟。純黄2.5Y6/3. 並、輕。白粘合、他粘物少。	縫織成形。上半部は回転形。内面回転条痕と 黒色化あり。外面上に重ね焼き色変あり。	内墨須恵 器の胎土
127-3	石製品	床直層	紙状石 1/2	軸・4.1. 厚・3.5. 重・85.7	使用は、表・裏・側部の4面。奥小口には削 整形あり。手前小口は欠損再用の整形面。	中板
149-13	石					

第49号住居跡

辨認番号 区分番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石塗材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
128-1	土師器 环	床直層 口縁部片	□・(12.0)	酸化・並。純褐7.5YR5/4. 並、白、褐粒含、他粘物少。	口縁部は内溝気味。型作り。体部に型崩、荒 撫整形。口縁部・器内面は横撫整形。	接・2点
128-2	土師器 更	床直層 小片	□・(19.0)	酸化・並。明赤褐5YR5/6. 並、やや粗。褐粒含、他粘物少。	口縁部下外面に接合部。外面は荒削。内面は 荒削。口縁部は横撫。	接・2点
128-3	土師器 更	床直層 小片	□・(21.0)	酸化・並。純褐5YR6/4. 並。 白、褐粒含、他粘物少。	口縁部は外反。外表面は荒削。内面は荒削。□ 縁部は横撫。	接・8点
149-15	埋					

第50号住居跡

辨認番号 区分番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石塗材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
129-1	縄文土器 深鉢	床直層+炉内 破片	□・(22.8)	酸化・並。純5YR6/6 角粒砂・円粒チャート	「X」字状の沈線区画を基調とし、沈線間に 連続刻突文を施す。	接・7点
149-18						
129-2	縄文土器 深鉢	炉内 破片	厚・1.0	酸化・並。灰白7.5Y8/2 粗粒砂・円粒チャート	「X」字状模様を施す。 RL原体を充填する。	接・無
150-1						
129-3	縄文土器 深鉢	炉内 破片	厚・0.6	酸化・並。純7.5YR8/8 赤褐色粒・微雲母	右肩より大形連續刻突文を施す。	接・無し
150-3						
129-4	縄文土器 深鉢	炉内 破片	厚・0.7	酸化・硬。浅黄褐7.5YR8/6 赤褐色粒子・粗粒砂	刻離帶を垂下させ、左範囲区画と沈線により 環状構成する。RL原体を充填する。	接・点13
150-2						
129-5	縄文土器 深鉢	床直層+炉内 破片	厚・0.7	酸化・硬。浅黄褐7.5YR8/6 赤褐色粒子・粗粒砂	4と同一個体。	接・2点
149-19						
129-6	石器 石核	炉内 空存	黑色頁岩 重・128	長・6.7. 幅・5.4. 厚・3.5	剥片の剥離に法則性は認められない。	
150-4						
131-1	縄文土器 深鉢	炉内 1/2	□・36.1 厚・0.8	酸化・並。浅黄褐7.5YR8/3 粗粒砂・細繊・チャート	口縁部は外傾し、口唇部に瘤状の貼付文を施す。 「X」字状文を5単位で、Lを施す。	接・36点
149-16						
132-1	縄文土器 深鉢	炉内 1/3	□・(44.5) □・1.2	酸化・並。純褐5YR7/3 細繊・暗赤褐色粒・粗粒砂	楕円状剥離帶を高らせ、懸垂文を垂下させる。 RL原体を充填施す。全体密滅する。	接・40点
149-17						

第51号住居跡

辨認番号 区分番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石塗材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
133-1	縄文土器 深鉢	覆土+炉内 破片	□・(20.4)	酸化・硬。純褐10YR7/3 含鐵磁・白色微粒子	口唇部は尖る。RL原体を横転施す。	接・7点
150-6						
133-2	縄文土器 深鉢	覆土+炉内 口縁部のみ	□・26.7	酸化・並。明黃褐10Y6/6 含鐵磁・白色粒子	口唇部は平坦。LR+Iの範囲原体による疑似 羽状範文を施す。	接・43点
150-7						
133-3	縄文土器 深鉢	炉内 破片	厚・0.9	酸化・並。純黃褐10YR4/3 含鐵磁・白色粒子・砂粒	口縁部は外傾し口唇部は尖る。無節L原体を 横転施す。	接・2点
150-9						
133-4	縄文土器 深鉢	炉内 破片	厚・0.8	酸化・並。灰黃褐10YR4/2 含鐵磁・白色粒子	付加条第2種L+2L原体を横転施す。	接・無し
150-9						
133-5	縄文土器 深鉢	炉内 破片	厚・0.9	酸化・並。純黃褐10YR5/3 含鐵磁・白色微粒子	口縁部は内済し口唇部は平坦。LR原体を縦 転施す。	接・2点
150-9						
133-6	縄文土器 深鉢	炉内 破片	厚・1.1	酸化・並。純黃2.5Y6/4 含鐵磁・白色微粒子	多角RL原体を斜位充填しループ文を施す 接・無し	
150-10						

第51号住居跡

埠団番号 回収番号	種 別 器 種	出土位置 遺 有 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	概 要
133-7	縄文土器	炉内	厚・0.7	酸化・並。明褐7.5YR5/6 含鐵維・白色微粒子・白色軽物	RL原体を横軸施文する。	接・無し
150-10	深鉢	破片				
133-8	縄文土器	炉内	厚・0.7	酸化・並。明褐7.5YR5/3 含鐵維・白色微粒子・砂粒	羽状施文を施す。	接・無し
150-9	深鉢	破片				
133-9	縄文土器	炉内	厚・0.7	酸化・並。鈍黃褐10YR5/3 含鐵維・白色微粒子	無筋L原体を横軸施文する。	接・無し
150-9	深鉢	破片				
133-10	縄文土器	炉内	厚・0.8	酸化・並。暗褐10YR3/4	付加条第1種LR+L原体(?)を横軸施文する。	接・無し
150-9	深鉢	破片				
133-11	縄文土器	炉内	厚・0.8	酸化・並。7.5YR4/6 含鐵維・白色微粒子・白色軽物	無筋原体を羽状施文する。	接・無し
150-10	深鉢	破片				
134-1	縄文土器	炉内	底・(8.0)	酸化・並。明褐褐10Y6/6 含鐵維・細粒・白色粒子	上げ底。I+LR付加条第1種縄文原体を横軸施文。	接合無し
150-5	深鉢	破片				
134-2	縄文土器	炉内	底・(10.8)	酸化・並。鈍褐7.5YR5/4 含鐵維・白色粒子・砂粒角砂	無筋R原体を横軸施文する。	接・無し
150-10	深鉢	破片				
134-3	縄文土器	名称未設定土坑	最大径・25.6 厚・0.9	酸化・並。鈍褐7.5YR5/4 含鐵維・白色粒子・砂粒角砂	無筋R原体を横軸施文する。	接・31点
150-11	深鉢	破片				
135-1	石器	炉内	ひん岩 重・301	長・12.6、幅・3.3、厚・5.5	縁の一方の側部に集中打痕を残す。	
150-8	叩石	完存				
135-2	石器	炉内	粗粒輝石安山岩	長・15.5、幅・4.7、厚・3.7	細長縁の一方の小口に敲打痕が認められる。	
150-8	叩石	完存	重・438			

第53号住居跡

埠団番号 回収番号	種 別 器 種	出土位置 遺 有 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	概 要
136-1	縄文土器	覆土	厚・1.0	酸化・並。鈍褐7.5YR5/3 含鐵維・白色微粒子	口唇部直下にループ文を施す。付加条第2種 LR+2R+RL+2Rの羽状施文。	接・無し
150-12	深鉢	破片				
136-2	縄文土器	覆土	厚・1.1	酸化・並。坑7.5YR4/3 含鐵維・白色微粒子	LR原体を横軸施文し、施文間に原端部を接・無し 押捺施文する。	
150-12	深鉢	破片				
136-3	縄文土器	覆土	厚・1.0	酸化・並。鈍褐7.5YR6/4 含鐵維・白色微粒子	地文はRL原体を横位施文し、横位平行沈線 の上位に半截竹管平行線を複数構成施文する。	接・無し
150-12	深鉢	破片				
136-4	縄文土器	覆土		酸化・並。明赤褐2.5YR5/6 粗粒砂	環状手の上半部。内側端部に刻みを施す。	接・3点
150-13	深鉢	把と破片				
136-5	縄文土器	覆土内	厚・1.1	酸化・並。鈍褐褐5YR4/4 砂粒多・チャート	横位隆帯を施し、隆帯を挟み押引文を施文す る。	接・無し
150-12	深鉢	破片				
136-6	石器	覆土内	ホルンフェルス 重・131	長・8.5、幅・4.8、厚・2.1	短冊形基調か。表面に擦痕を残し、左側部 の加工は認められない。	
150-14	打製石片	完存	重・131			

第54号住居跡

埠団番号 回収番号	種 別 器 種	出土位置 遺 有 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	概 要
137-1	縄文土器	ピット覆土		酸化・並。鈍黃褐10YR5/3 砂粒・白色微粒子	RL原体を施文する。器面の風化網著。	接・無し
151-1	深鉢	破片				
137-2	縄文土器	ピット覆土	厚・0.9	酸化・並。鈍褐7.5YR7/3 砂粒・白色微粒子	文様の施文は認められない。	接・無し
151-2	深鉢	破片				
137-3	石器	ピット覆土	黒色頁岩 重・38	長・5.5、幅・7.8、厚・1.3	底部の「T」字状剥片の1側部に刃部加工を施す。	
151-3	剥片石器	完存	重・38			

第61号住居跡

埠団番号 回収番号	種 別 器 種	出土位置 遺 有 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	概 要
138-1	縄文土器	ピット1覆土	厚・1.2	酸化・並。橙7.5YR7/6 細粒砂・白色粒子	口縁部は内削する。口唇部直下に無文帶を有 し、低い隠帶直下にRL原体を横軸施文する。	接・無し
151-4	深鉢	破片				
138-2	縄文土器	ピット1覆土	厚・0.5	酸化・並。明赤褐5YR5/6 細粒砂・白色軽物	外縁気質の口縁部の上半部が内削する。口唇 部は平相。施文は沈線文だが風化で詳細不詳。	接・無し
151-5	深鉢	破片				
138-3	縄文土器	ピット6覆土	厚・1.0	酸化・並。暗赤褐5YR5/3 細粒白色軽物多	付加条第2種RL+R原体を施文する。 胎土中鐵維は認められない。	接・無し
151-7	深鉢	破片				
138-4	縄文土器	ピット6覆土	厚・0.7	酸化・並。暗赤褐5YR3/3 細粒砂・白色軽物	平行沈線を継続施文する。	接・無し
151-6	深鉢	破片				

第61号住居跡

擇因番号 國版番号	種 別 器	出土位置 遺 特	度目(cm) 量目(g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形狀・技法等の特徴	摘 要
138-5 151-8	陶文土器 深鉢	ピット1覆土 破片	厚・1.0	酸化・並。焼7.5YR6/6 白色軽物・白色微粒子・細砂粒	細い縞帶を弧状に貼付する。	接・無し
151-8						

第55号住居跡

擇因番号 國版番号	種 別 器	出土位置 遺 特	度目(cm) 量目(g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形狀・技法等の特徴	摘 要
140-1 151-9	陶文土器 深鉢	床直層 一部欠損 高・底・4.0	口・5.4	酸化・硬。灰黄2.5Y6/1 白色粒子・赤褐色粒子・砂粒	コップ形。器内面は平滑な擦で器外は指添成形後施脂で整形により平滑にされている。	接・8点
140-2 151-10	陶文土器 深鉢	床直層 破片	厚・0.7	酸化・並。焼5YR7/6 砂粒・白色軽物	円錐刺突文を作り半截竹管により、格子文を表す。	接・無し
140-3 151-11	陶文土器 深鉢	床直層 破片	厚・0.8	酸化・並。焼7.5YR5/4 砂粒・赤褐色粒子・雲母	刻縞帶を垂下させ、三角形状の帯繩文。横幅の帯繩文により文様構成すると考えられる。	接・無し
140-4 151-13	陶文土器 深鉢	床直層 破片	厚・1.1	酸化・並。浅黄橙7.5YR1/4 粗粒角粒砂・赤褐色粒子	器面の風化顕著。口縁直下に横位の微隆起線文を施し、肩部に横円形に微隆起線文を施す。	接・無し
140-5 151-17	陶文土器 深鉢	床直層 破片	厚・1.0	酸化・並。灰褐5YR6/2 白色微粒・透明白物・チャート	波頭部に環状把手を配し、直下に孔を穿つ。波頭部は波頭直下から分筋する。	接・2点
142-1 151-15	陶文土器 深鉢	床直層 5/1	口・28.0	酸化・軟。灰黄2.5Y7/2 粗粒砂・チャート・白色粒子	口縫部は内傾し、瘤付き縞帶を横走させる。接・17点。縞帶直下にRL原体を継続する。	接・17点
142-2 151-14	陶文土器 深鉢	炉内 3/1	口・32.4	酸化・並。純白10YR6/4 チャート・白色粒・赤褐色	口縫部直下に斜め縞帶を横走させる。接・23点。縞帶直下にLR原体を継続施文させる。	接・23点
143-1 151-12	陶文土器 深鉢	炉内 破片	口・(45.4)	酸化・並。浅黄橙10YR8/3 白色粒・赤褐色・砂粒	口縫部は開き気味に立ち上がり無文。口縫部直下に縞帶を高せ、下位にLRを横位充填する。	接・5点
143-2 151-16	陶文土器 深鉢	床直層 破片	厚・0.6	酸化・並。純赤褐5YR4/3 細砂粒・白色軽物	内溝口縫。逆位の連弧文を半截竹管で表す。口縫直下には連弧文の施文が考えられる。	接・無し
143-3 152-1	陶文土器 深鉢	敷石下埋土層 口縫部分分 最大径・25.6	底・6.3	酸化・軟。浅黄2.5Y7/3 白色粒・白色軽物・赤褐色粒	双耳の深鉢。6本1単位の条状を縦位に施文。この側面と同時に制作乃至顕する側面がある。	接・無し
144-1 152-2	陶文土器 深鉢	床直層+炉内 破片	口・(50.8)	酸化・硬。淡黄2.5Y8/3 黄褐色・角粒粗粒砂・白色粒	口縫部は無文。口縫直下に縞帶を横走させ、縞帶下位にLR原体を充填させる。	接・11点
144-2 152-3	陶文土器 深鉢	炉内 1/4	口・48.5	酸化・並。灰白10YR8/2 赤褐色粒子・角粒砂・白色粒子	口縫部は外傾する。把手から斜め縞帶を垂下。接・30点。三角形状の帯繩文を施文。原体はRL。	接・30点
144-3 151-18	陶文土器 深鉢	床直層 1/8	口・39.0	酸化・並。純白7.5YR5/3 白色粒子・赤褐色粒子・角粒砂	口縫部は外傾する。複雑な綱目帯繩文を施文。地縫原体はRL。	接・2点
145-1 152-7	陶文土器 深鉢	底・14.2 1/3	酸化・並。浅黄2.5Y7/3 粗粒砂・赤褐色粒子	4単位の潜下剣突縞帶の内2条は、環状縞帶を口縫直下に配する。帯繩文の原体はLR。	接・26点。潜滅繩著	接・26点
145-2 153-1	陶文土器 深鉢	炉内覆土内 1/3	口・(20.8) 胴・(14.2)	酸化・並。灰白2.5Y8/2 赤褐色粒子・角粒粗粒砂	2対1単位の小把手を配する。口縫・胴部に帯繩文の文様帶を構成する。LR原体を充填。	接・21点
145-3 152-6	陶文土器 深鉢	埋甕 1/4	最・13.3	酸化・並。明黄褐10Y6/6 粗粒砂・赤褐色粒子	縦位の剣突縞帶は施文がなく、縦位の帶繩文のみ構成。文様は5分割。純原体はLR。	接・9点
145-4 153-3	石器 打製石斧	覆土 破片	ホルンフェルス 重・48	残存長・5.7. 幅・4.2. 厚・1.6	打製石斧の刃部側面欠損する。片岩状素材の難の縫辺を加工する。短冊形か。	接・無し
145-5 153-3	石器 打製石斧	床直層 完存	ホルンフェルス 長・8.6. 幅・4.6. 厚・2.0	打製石斧の刃部側面欠損する。片岩状素材。加工は頭部側が尖り気味。縫辺の削離が多い。	接・無し	接・無し
145-6 153-3	石器 打製石斧	炉内 2/3	ホルンフェルス 重・77	長・6.0. 幅・7.3. 厚・1.9	表面に縫辺を残す。刃部加工は裏面側に施し、単位は粗い。	接・無し
146-1 152-8	陶文土器 深鉢	床直層 4/1	口・(30.4)	酸化・並。純白10YR7/3 白色粒子・細砂粒	波状口縫。波頭部より剣突縞帶を垂下させる。縞帶間に「S」字状帶繩文を施す。	接・26点 接・10点
146-2 153-2	石器 磨盤	埋甕 1/3	遺存長28.2. 遺存幅・20.2. 厚・6.0	上部に寄り孔・敲打痕孔が認められる。裏面には、敲打痕孔が中央寄りに認められる。	接・無し	接・無し
147-1 152-4	陶文土器 深鉢	炉内 3/1	口・48.5	酸化・並。灰白10YR8/2 赤褐色粒子・角粒砂・白色粒子	口縫部は外傾する。把手から斜め縞帶を垂下。接・30点。三角形状の帯繩文を施文。原体はRL。	接・30点
147-2 152-5	陶文土器 深鉢	炉内 1/3	口・48.5	酸化・並。灰白10YR8/2 赤褐色粒子・角粒砂・白色粒子	口縫部は外傾する。把手から斜め縞帶を垂下。接・30点。三角形状の帯繩文を施文。原体はRL。	接・30点
147-3 153-4	石器 叩石	床直層 完存	粗粒輝石安山岩 重・122	両面の平坦面側が磨滅し、表面は集中打痕、両面は孔を施す。小口・側部は敲打痕。	接・無し	接・無し
147-4 153-4	石器 叩石	床直層 完存	粗粒輝石安山岩 重・319	裏面に孔を施す。小口・側部は集中打痕が認められる。左側部・裏面に剝離が認められる。	接・無し	接・無し
148-1 153-4	石器 叩石	床直層 完存	粗粒輝石安山岩 重・362	両面の平坦面側が磨滅し、孔を施す。裏面の風化顯著。	接・無し	接・無し

第55号住居跡

辨認番号 固版番号	種 別 器 標	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
148-2	石器	埋甕内	粗粒輝石安山岩 重・564	長・11.0。幅・8.1。厚・3.5	両面の扁平面が磨滅し、中央部に集中打痕を残す。小口・側部にも敲打痕を断片に残す。	
153-5	叩石	完存				
148-3	石器	埋甕内	粗粒輝石安山岩 重・513	長・12.5。幅・6.7。厚・3.9	両面の平坦面側が磨滅し、孔を施す。小口・側部にも敲打痕が認められる。	
153-5	叩石	完存				
148-4	石器	埋甕内	粗粒輝石安山岩 重・409	長・7.4。幅・7.0。厚・5.5	両面の中央部に集中打痕が認められる。	
153-5	叩石	完存				
148-5	石器	埋甕内	粗粒輝石安山岩 重・3428	長・22.0。幅・21.5。厚・5.0	台石か。表面面に敲打痕・集中打痕を残し、孔が1つ認められる。	
153-6	多孔瓦	完存				

第56号住居跡

辨認番号 固版番号	種 別 器 標	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
149-1	绳文土器	炉内 深鉢	厚・1.0	酸化・並。浅黄橙10YR8/3 角粒粗砂・円粒チャート	口縁はキャリバー状気味。微隆起線の横円区 域内にLR原体を縱軸施文する。	
153-7		破片				
149-2	绳文土器	炉内 深鉢	厚・1.0	酸化・軟。浅黄橙10YR8/4 角粒粗砂・円粒チャート	風化顯著。RL原体を横軸施文する。 149-3と同一個体。	接・2点
153-8		破片				
149-3	绳文土器	炉内 深鉢	厚・1.1	酸化・並。灰白10YR8/2 角粒粗砂・円粒チャート	149-2と同一個体。	
153-9		破片				
149-4	绳文土器	炉内 深鉢	厚・1.1	酸化・並。明褐灰7.5YR7/2 粗粒砂・白色礫物	弧線沈文線を施し、LR原体を縱軸施文する。接・無し。	
153-10		破片				

第57号住居跡

辨認番号 固版番号	種 別 器 標	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
151-1	绳文土器	床直層 深鉢	厚・0.9	酸化・並。灰黄褐10YR6/2 含鐵礫・白色微粒子	羽状繩文を施文する。	接・無し
153-11		破片				
151-2	石器	床直層 床直層	粗粒輝石安山岩 重・510	長・10.9。幅・8.0。厚・3.7	両面の扁平面が磨滅し、中央部に集中打痕を残す。小口・側部にも敲打痕が認められる。	
153-12	擦石	床直層				
151-3	石器	床直層 完存	粗粒輝石安山岩 重・310	長・10.9。幅・5.0。厚・3.5	扁平面の片面に敲打痕が認められる。	
153-13	叩石					

第58号住居跡

辨認番号 固版番号	種 別 器 標	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
152-1	绳文土器	覆土 匣内	厚・0.9	酸化・並。暗褐色7.5YR6/3 金雲母・白色礫物	直状口縁の把手部。冠部に刻みを施す。	接・無し
153-14		破片				
152-2	绳文土器	覆土 匣内	厚・0.9	酸化・並。灰褐7.5YR4/2 金雲母・白色礫物	口唇部に刻みを施す。口縁部は横位の連続爪形文を施す。	接・無し
153-15		破片				
152-3	绳文土器	覆土 匣内	厚・1.1	酸化・並。黑褐10YR3/2 金雲母・白色礫物	横位隠帯を施し、直上に波状隠帯を貼付する。	接・無し
153-16		破片				

第59号住居跡

辨認番号 固版番号	種 別 器 標	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
155-1	绳文土器	覆土 口縁部片	口・(28.3)	酸化・並。浅黄2.5YR7/3	無節R原体を横軸施文する。	
154-1		深鉢				
155-2	绳文土器	床直層 1/4	口 (23.0)	酸化・並。純赤褐2.5YR5/3 含鐵礫・白色礫物	無節R結節綱文を横軸施文する。	接・23点
154-2		破片				
155-3	绳文土器	覆土 深鉢	厚・0.7	酸化・並。純褐2.5YR5/4 含鐵礫・白色礫物・赤褐色	無節R原体を横軸施文する。	接・8点
154-3						
155-4	绳文土器	覆土 深鉢	厚・1.2	酸化・並。明赤褐5YR5/6 含鐵礫・白色微粒子	R原体を横軸施文する。	接・6点
155-7		胸部片				
155-5	绳文土器	覆土 深鉢	厚・1.1	酸化・軟。褐7.5YR4/4 含鐵礫・白色微粒子	R原体を横軸施文する。	
155-4		胸部片				
155-6	绳文土器	覆土 底部破片	底・(9.0)	酸化・並。褐7.5YR7/6 含鐵礫・比重較い	無節Lを斜行施文する。	
155-11			厚・1.2		157-14と同一個体。	
155-7	绳文土器	覆土 口縁部片	厚・0.9	酸化・並。褐7.5YR4/6 含鐵礫・白色微粒子・白色礫物	口縁部は外反して立ち上がり、口唇部は尖る。	接・無し
154-6		深鉢				

第59号住居跡

擇因番号 四版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目(cm) 量目(g)	焼調・色調・胎土 (石材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
155-8 154-7	縄文土器 深鉢	覆土 口縁部片	厚・0.8	酸化・並。黒褐7.5YR3/1 含繊維・夾雜物無	受け口状口縁を呈する。文様の施文は認められない。	接・2点
155-9 155-11	縄文土器 深鉢	覆土 底部破片	底・(10.0) 厚・0.8	酸化・並。明赤褐5YR5/6 含繊維・砂粒	LR原体を横軸施文する。	接・無し
155-10 154-6	縄文土器 深鉢	覆土 口縁部片	厚・0.8	酸化・並。純赤褐5YR4/4 含繊維・白色微粒子	口縁部は尖り気味。RL原体を横軸施文する。	接・無し
155-11 154-7	縄文土器 深鉢	覆土 口縁部片	厚・0.7	酸化・並。純7.5YR5/3 含繊維・白色微粒子	口縁部は外傾する。L原体を横軸施文する。	接・無し
155-12 155-10	縄文土器 深鉢	覆土 胴部片	厚・0.8	酸化・並。黒褐10YR2/3 含繊維・他の夾雜物無	粗いRL原体を横軸施文する。	接・無し
155-13 154-13	縄文土器 深鉢	床直層+覆土 胴部片	厚・0.8	酸化・並。褐7.5YR7/3 含繊維・白色微粒子	胴部上半部。R原体を横軸施文する。	接・2点
156-1 155-2	縄文土器 深鉢	床直層 胴部片	厚・0.9	酸化・並。褐7.5YR6/6 含繊維・白色微粒子	RL原体を横軸施文する。	接・6点
156-2 154-10	縄文土器 深鉢	床直層 胴部片	厚・0.9	酸化・並。純赤褐5YR5/4 含繊維・白色微粒子	上位に平行条痕を施文するが、半截竹管か条 筋文かは不詳。下位はRL原体を横軸施文。	接・3点
155-3 155-8	縄文土器 深鉢	床直層+覆土 底部～胴部	底・(9.4) 厚・1.1	酸化・並。褐7.5YR6/6 含繊維・白色粒子・チャート	底部側は半截竹管による連続刻突文。胴部は L原体を縱軸施文する。	接・19点
156-4 154-7	縄文土器 深鉢	覆土内 口縁部片	厚・0.8	酸化・並。褐7.5YR4/6 含繊維・白色微粒子	口縫部は尖り気味。RL原体を疑似羽状施文 する。	接・無し
156-5 155-3	縄文土器 深鉢	覆土内 胴部片	厚・1.1	酸化・軟。純黄褐10YR7/3 含繊維・白色微粒子	羽状繩文を施文する。	接・6点
156-6 154-12	縄文土器 深鉢	覆土 胴部片	厚・0.9	酸化・並。褐7.5YR4/4 含繊維・白色微粒子・砂粒	LR原体による疑似羽状施文する。	接・4点
156-7 154-9	縄文土器 深鉢	覆土 胴部片	厚・0.6	酸化・並。褐7.5YR6/6 含繊維・白色微粒子	羽状繩文を施文する。	接・3点
156-8 154-14	縄文土器 深鉢	鰐口埋 破片	底・(10.4)	酸化・並。純赤褐5YR5/4 含繊維・砂粒	立ち上がり部に押引文を施し、上位に羽状繩 文を施す。	接・無し
156-9 154-8	縄文土器 深鉢	床直層 口縁部片	厚・1.3	酸化・並。褐7.5YR4/3 含繊維・白色微粒子	口縫部は尖り気味。筋条体2Rを施文する。	接・3点
156-10 154-6	縄文土器 深鉢	床直層 口縁部片	厚・1.3	酸化・並。褐7.5YR4/3 含繊維・白色微粒子	口縫部は尖り気味。筋条体2Rを施文する。	接・2点
155-11 155-9	縄文土器 深鉢	覆土 胴部片	厚・1.0	酸化・並。暗赤褐5YR3/6 含繊維・白色微粒子	筋条体2Rを疑似羽状施文する。	接・無し
157-1 154-6	縄文土器 深鉢	床直層 口縁部片	厚・0.9	酸化・並。褐7.5YR6/6 含繊維・白色微粒子粗粒砂	口縫部は尖り気味。加鉛結節付加陶文により 「S」字状文を表す。	接・無し
157-2~11 154-7 155-4~7 155-10~11	縄文土器 深鉢	床直層+覆土 破片	厚・1.0~0.8	酸化・並。純黃褐10YR4/3 含繊維・白色微粒子	胴部下半は直線的に立ち上がり、上半部は内 湾し口縫部は外傾して立ち上がる。胴部中位 ループ文、付加条第2種LR+(L+R)・ RL+(R+L)原体を羽状施文し、口縫部は 外反して立ち上がり、同一原体によるループ 状繩文を施文する。	接・無し
157-12 155-10	縄文土器 深鉢	覆土 胴部片	厚・0.7	酸化・並。褐7.5YR6/6 含繊維・砂粒	筋条体3種。胴目状筋条を横軸施文する。	接・無し
157-13 154-11	縄文土器 深鉢	覆土 胴部片	厚・1.5	酸化・並。純黃褐10YR8/3 含繊維・夾雜物無・比重輕	無筋Lのループ文を施す。 155-6と同一原体。	接・5点
157-14 154-4	縄文土器 深鉢	口・24.2		酸化・並。純赤褐5YR5/3 含繊維・白色微粒子	4単位の波状口縫。上位は口縁に沿い3段に 平行波状波文。下位に斜格子状に施す。	接・20点
157-15 154-5	縄文土器 深鉢	覆土 破片	口・(27.0)	酸化・並。純赤褐5YR5/4 含繊維・白色微粒子	4単位の波状口縫。上部は波状口縫に平行 し、下部は水平に押引文を施す。	接・8点
157-16 154-7	縄文土器 深鉢	覆土 口縁部片	厚・0.8	酸化・並。褐5YR6/6 含繊維・白色微粒子	波状口縫。平行波間に削みを施す。「S」字 状に施文する。刺突文・貼付文で加飾する。	接・無し
157-17 154-9	縄文土器 深鉢	覆土 胴部片	厚・0.7	酸化・並。明褐7.5YR5/6 砂粒・白色微物	括れを挟み半截竹管の押引文を横軸に施文 し、上位にLR原体を横軸施文する。	接・無し
157-18 154-8	縄文土器 深鉢	覆土 胴部片	厚・0.9	酸化・並。褐7.5YR4/4 含繊維・白色微粒子	地紋にL原体を横位に施文し、半截竹管の押 引文を施文する。	接・無し
157-19	縄文土器 深鉢	覆土 底部破片	厚・0.8	酸化・並。明赤褐5YR5/8 含繊維・砂粒	半截竹管による平行弦線文を横位乃至斜位に 施文する。	接・無し

第59号住居跡

埠図番号	種別	出土位置	度目(cm)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
回版番号	器種	遺存度	量目(g)			
157-20	陶文土器 深鉢	覆土 口縁部片	厚・0.7	酸化・並。褐7.5YR4/6 含鐵鉄・白色粒子・砂粒	口縁部は外反し口唇部は尖る。平行する4条の押引文を施す。	接・3点
154-6						
157-21	陶文土器 深鉢	覆土 口縁部片	厚・0.5	酸化・並。純赤褐色5YR4/3 含鐵鉄・白色微粒子	横位に半裁竹管による平行沈線文を施し、 口唇部に瘤状の附付文を施す。	0456と同一側体。
154-8						
157-22	陶文土器 深鉢	床直層+覆土 底部破片	厚・0.9	酸化・並。赤褐色2.5YR4/8 含鐵鉄・白色微粒子	幅広の半裁竹管により平行沈線文を施す。	接・3点
155-4						
157-23	陶文土器 深鉢	床直層+覆土 底層	厚・1.0	酸化・並。明褐色7.5YR5/6 含鐵鉄・白色微粒子	幅広の半裁竹管により平行沈線文を施す。 157-21・23と同一側体。	接・12点
155-1						
158-1	陶文土器 深鉢	床直層+覆土 底層+底部破片	最・(32.5) 厚・1.0	酸化・並。純褐色7.5YR5/4 含鐵鉄・白色微粒子	筋状の付加状を横軸施す。 大木口式か。	接・25点
155-12						
158-2	石器 打製石斧	覆土内 完存	ホルンフェルス 重・55	長・7.4。幅・4.6。厚・1.2	瘦形。先端部が欠損するか、裏面の中央部 は被熱による剝離が認められる。	
156-1						
158-3	石器 打製石斧	覆土 完存	黒色頁岩 重・107	長・10.5。幅・4.9。厚・2.0	瘦形基調。表面は漆面を全面に残す。裏面に 成・整形が施されている。	
156-2						
158-4	石器 打製石斧	覆土 完存	ホルンフェルス 重・269	長・10.7。幅・7.0。厚・3.2	瘦形。表面に漆面を残す。加工の主体は裏面 側に集中する。	
156-3						
158-5	石器 スタンプ形	床直層 完存	粗粒輝石安山岩 重・620	長・9.5。幅・5.4。厚・5.7	4面の扁平面が磨滅し、敲打痕が認められる。 使用面は漆取痕が残る。	
156-4						
158-6	石器 擦石	覆土 完存	粗粒輝石安山岩 重・341	長・8.3。幅・7.3。厚・4.2	両面の扁平面が磨滅し、中央部・小口・側部 に集中打痕が認められる。裏面に孔がある。	
156-5						
158-7	石器 擦石	床直層 完存	粗粒輝石安山岩 重・358	長・9.5。幅・7.9。厚・3.0	両面の扁平面が磨滅し、中央部に集中打痕を 残す。小口・側面にも敲打痕が認められる。	
156-6						
158-8	石器 擦石	覆土 完存	粗粒輝石安山岩 重・161	長・9.5。幅・7.1。厚・1.7	両面の扁平面が磨滅する。	
156-7						
158-9	石器 擦石	覆土 完存	粗粒輝石安山岩 重・461	長・10.4。幅・8.5。厚・4.1	両面の扁平面が磨滅し、中央部に集中打痕を 残す。小口・側面にも敲打痕が認められる。	
156-6						
158-10	石器 擦石	床直層 部分欠損	粗粒輝石安山岩 重・542	長・10.5。幅・8.2。厚・4.8	両面の扁平面が磨滅し、中央部に集中打痕を 残す。	
156-7						
158-12	石器 擦石	覆土 完存	粗粒輝石安山岩 重・961	長・12.2。幅・10.1。厚・6.0	両面の平坦面側が磨滅し、孔を施す。小口・ 側部に集中打痕が認められる。	
156-7						
159-3	石器 石頭	覆土 破片	粗粒輝石安山岩 重・1007	遺存長10.9。残存幅・10.5 厚・4.9	使用面に敲打整形痕が認められる。裏面には 孔・敲打痕が認められる。	
156-8						
159-4	石器 石頭	砾方埋土 1/2	溶結凝灰岩 重・2503	遺存長17.6。残存幅・22.0 厚・6.2	中央付近が舌状に陥む。裏面には集中打痕が 認められる。	
156-9						

第58号住居跡

埠図番号	種別	出土位置	度目(cm)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
回版番号	器種	遺存度	量目(g)			
160-1	石器 炉内(砾石)	粗粒輝石安山岩 17200	長・35.6。幅・17.5。厚・18.5	縁の周小口側及び上面側が磨滅する。		
156-13	擦石	完存				

第52号住居跡

埠図番号	種別	出土位置	度目(cm)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
回版番号	器種	遺存度	量目(g)			
161-1	陶文土器 深鉢	覆土 破片	厚・1.0	酸化・並。浅黃褐色10YR8/3 粗粒砂・白色颗粒・チャート	外傾する口縁部。多条原体を羽状施す。	接・無し
156-15						
161-2	陶文土器 深鉢	覆土 破片	厚・0.8	酸化・並。純褐色7.5YR6/4 含鐵鉄・白色微粒子・細砂粒	外傾する口縁部。多条LR原体を横軸施す。	接・無し
156-15						
161-3	陶文土器 深鉢	覆土 破片	厚・1.1	酸化・並。暗赤褐色2.5YR3/3 含鐵鉄・白色粒子	口縁部は平坦。地紋にLR原体を施す。	接・無し
156-15						
161-4	陶文土器 深鉢	覆土 破片	厚・0.8	酸化・並。橙YR6/6 含鐵鉄・細砂粒	口縁部は丸味を帯びる。RL原体を横軸施す。	接・無し
156-15						
161-5	陶文土器 深鉢	覆土 破片	厚・0.9	酸化・並。純褐色5YR3/3 含鐵鉄・細砂粒・山土	地紋にLR原体を横位に施す。	接・無し
156-15						
161-6	陶文土器 深鉢	覆土 破片	厚・1.0	酸化・並。赤褐色5YR4/8 含鐵鉄・白色微粒子	地紋にLR原体を横位に施す。	接・無し
156-15						
161-7	陶文土器 深鉢	覆土 破片	厚・0.8	酸化・並。灰2.5YR8/2 含鐵鉄・白色微粒子	外反する口縁部。RL原体を横軸施す。	接・無し
156-15						

第62号住居跡

埠印番号 回収番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
161- 8 156-15	縄文土器 深鉢	覆土 破片	厚・1.2	酸化・並。明褐7.5YR5/6 含繊維・夾雜物少	RL原体を横軸施文する。	接・無し
161- 9 156-15	縄文土器 深鉢	床直層 破片	厚・0.6	酸化・並。2.5燃赤6/6 金雲母・細砂粒	異条調文 RL (L+R+R) 原体を施文する。	接・無し
161-10 156-15	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。純褐7.5YR5/3 含繊維・白色微粒子	外傾する口縁部。RL+多条LR原体による羽状調文を施文する。	接・無し
161-11 156-15	縄文土器 深鉢	覆土 破片	厚・1.0	酸化・並。浅黄褐10YR8/3 粗粒砂・白色鉱粒子・チャート	外傾する口縁部。多条原体を羽状施文する。	接・無し
161-12 156-15	縄文土器 深鉢	覆土 破片	厚・1.0	酸化・並。浅黄褐10YR8/3 含繊維・白色微粒子・細砂粒	多条原体を羽状施文する。	接・無し
161-13 156-15	縄文土器 深鉢	覆土 破片	厚・1.1	酸化・並。褐7.5YR4/4 含繊維・白色微粒子	羽状調文を施文する。	接・無し
161-14 157- 1	縄文土器 深鉢	覆土 破片	厚・0.8	酸化・並。明赤褐5YR5/6 含繊維・白色微粒子	羽状調文を施文する。	接・無し
161-15 157- 1	縄文土器 深鉢	覆土 破片	厚・1.2	酸化・並。2.5YR5/6 含繊維・白色微粒子・砂粒	燃余Lを軸原体として無筋Rを付加して施文する。161-2と同一個体。	接・無し
161-16 157- 2	縄文土器 深鉢	底部破片	底・(9.2) 厚・0.9	酸化・並。7.5YR5/6 含繊維・夾雜物少	無筋調文による羽状調文を施す。	接・無し
161-17 156-15	縄文土器 深鉢	覆土 破片	厚・1.0	酸化・並。褐7.5YR4/4 含繊維・白色微粒子	口縁部は直立気味。地文に多条羽状調文を施し、口縦直下に半裁竹管の平行沈線を施文。	接・無し
161-18 157- 1	縄文土器 深鉢	覆土 破片	厚・1.0	酸化・並。褐7.5YR6/4 含繊維・白色微粒子・白色鉱物	地文に多条羽状調文を施し、半裁竹管による平行沈線を施文する。	接・無し
161-19 157- 2	縄文土器 深鉢	覆土 破片	厚・1.0	酸化・並。褐7.5YR4/6 含繊維・白色微粒子	羽状調文 (?) を施文する。	接・無し
161-20 157- 2	縄文土器 深鉢	覆土 破片	厚・0.8	酸化・並。褐7YR6/8 含繊維・白色微粒子	絆条3 R原体を施文する。 161-22と同一個体。	接・無し
161-21 157- 2	縄文土器 深鉢	覆土 破片	厚・1.0	酸化・並。明赤褐2.5YR5/8 含繊維・白色微粒子	付加条第2種 LR+2Rを施文する。	接・無し
161-22 157- 2	縄文土器 深鉢	覆土 破片	厚・0.9	酸化・並。純褐7.5YR5/4 含繊維・白色微粒子	絆条3R原体を施文する。 161-19と同一個体。	接・無し
161-23 157- 1	縄文土器 深鉢	覆土 破片	厚・1.0	酸化・並。純褐7.5YR5/4 含繊維・白色微粒子	付加条第2種 RL+R+L原体・LR+L+R 原体を施文する。	接・無し
161-24 157- 1	縄文土器 深鉢	覆土 破片	厚・1.1	酸化・並。明赤褐2.5YR5/8 含繊維・白色微粒子	燃余Lを軸原体として無筋Rを付加して施文する。161-15と同一個体。	接・無し
161-25 157- 1	縄文土器 深鉢	覆土 破片	厚・1.1	酸化・並。5YR6/8 含繊維・細砂粒	付加条L+R原体を施文する。	接・無し
161-26 157- 2	縄文土器 深鉢	覆土 破片	厚・1.0	酸化・並。黒褐7.5YR2/2 含繊維・白色微粒子・砂粒	半裁竹管による平行沈線を継続施文する。	接・無し
161-27 157- 2	縄文土器 深鉢	覆土 破片	厚・1.1	酸化・並。赤褐5YR4/6 含繊維・白色微粒子	コンバス文と、半裁竹管による平行沈線文を施文する。	接・無し
161-28 157- 2	縄文土器 深鉢	覆土 破片	厚・1.1	酸化・並。純赤褐5YR5/4 含繊維・白色微粒子・砂粒	横位の棒状沈線文を施文する。	接・無し
161-29 156-10	石器 完存	ホルンフェルス 重・259	長・11.0。幅・5.7。厚・3.2		上面に櫛面を残す。右側部に刃部加工が認められる。	
161-30 156-14	石器 剝片石器 完存	ホルンフェルス 重・127	長・10.5。幅・4.9。厚・1.6		横長剥片に刃部加工を施すが、打製石片使用も考慮される。	
162- 1 156-11	石器 叩石 完存	粗粒輝石安山岩 重・508	長・9.3。幅・7.6。厚・4.8		両面の粗面側が磨滅し、側部は敲打使用が顯著。小口は叩き使用後平坦に成るよう磨く。	
162- 2 156-12	石器 擦石 完存	粗粒輝石安山岩 重・438	長・9.5。幅・6.9。厚・5.0		裏面の粗面側が磨滅し、中央部に集中打痕を残す。	

第60号住居跡

埠印番号 回収番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
163- 1 157- 2	縄文土器 深鉢	床直 破片	厚・0.6	酸化・並。褐10YR4/6 含繊維・白色微粒子	無筋 RL原体を縱軸施文する。	接・7点
163- 2 157- 3	縄文土器 深鉢	床直 破片	底・(6.4)	酸化・並。純褐5YR6/4 含繊維・細砂粒	底部は上げ低め。RL原体を横軸施文する。	接・無し

第63号住居跡

辨認番号	種別	出土位置	度目(cm)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
四版番号	器種	遺存度	量目(g)			
164-1	绳文土器	埋底1	厚・0.9	酸化・並。純培7.5YR5/4 砂粒・白色軽物	深鉢のくびれ部を利用する。 懸垂内はRL原体を充填する。	接・30点
157-6	深鉢					
165-1	绳文土器	埋底2	径・31.9	酸化・並。灰培7.5YR8/2 白色粒子・赤褐色・角粒粗粒砂	波状隆起区画内にLR原体を充填。	接・17点
157-5	深鉢	破片				

第65号住居跡

辨認番号	種別	出土位置	度目(cm)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
四版番号	器種	遺存度	量目(g)			
166-1	土師器	覆土	口・(11.2)	酸化。並。橙5YR6/6。並。	口縁部は内湾気味。型作り。底部は凹削、底、体部に型削。口縁部周辺は横撫整形。	接・2点
157-7	环	小片		経。丸粒・軽物微。		
166-2	須恵器	床直	口・(13.0)	還。硬。灰N5/0。並。やや重。	織維成形(右回転)。底部は回転範削。口縁部に重ね焼きの変定。	接・3点
157-10	环	底	(8.0)	白粒。軽物多。他軽物少。		笠點
166-3	須恵器	床直	底・7.6	還元。灰。灰N5/0.密。重。	口縁部は欠損する。織維成形(右回転)。底部は回転範削。口縁部に重ね焼きの変定。	太田か
157-8	环	底部片		白軽物。他軽物微。		
167-1	須恵器	覆土+窓内	口・(18.0)	還元。灰。灰N5/0.密。輕。	織維成形(右回転)。上半部は回転範削。端は尖り、縫合目多。丁寧な作調。	接・9点
157-11	环	1/2		白粒多。白粒微。軽物少。		粘
167-2	須恵器	施方埋土	底・8.0	還元。灰。灰2.5YR6/2。並。	底部は回転条件後周辺を回転範削。	墨書-13
157-9	环(墨書)	底部2/3		輕。白粒合。軽物少。	底面に墨書「メ」があり。	笠點か
167-3	須恵器	覆土	厚・1.4	還元。灰。灰7.5YR5/1。密。やや重。	外側には平行叩きの繰り返し、内側脚具は素文。破片の再利用か、内面中央摩耗大。	太田
	环	破片		白軽物。白粒多。他合。		

第66号住居跡

辨認番号	種別	出土位置	度目(cm)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
四版番号	器種	遺存度	量目(g)			
168-1	土師器	瓶型埋土	口・(12.0)	酸化。硬。純黄橙10YR6/4x	口縁部は内湾気味。型作り。底部は凹削、体部に型削。口縁・内面は横構。外面擦かかる。	接・2点
157-12	环	破片				
168-2	土師器	床直層+覆土	口・(12.1)	酸化。並。橙5YR6/6。並。輕。	「コ」の字状口縁。胴部・肩部は斜位凹削。口縁部は横撫。	接・2点
157-13	甕	破片		軽物合。		
168-3	土師器	覆土	底・4.8	酸化。並。暗赤褐5YR3/2。	外側は寛削。底面は寛削。内面は無整形。内外面に擦かれる。器面極めて薄い。	接・6点
157-14	甕	底部片		並。白粒合。軽物少。		
168-4	須恵器	覆土	底・8.0	還元。緑。灰7.5YR5/1。	口縁部は欠損する。織維成形(右回転)。底部は回転範削。内外面に重ね焼き色変。	太田か
157-15	环	底部片		密。重。白軽物合。他軽物少。		
168-5	須恵器	覆土	口・(11.9)	還元。緑。灰N5/0.密。重。	口縁部は肥厚する。織維成形。底部平滑であるが高台付かず底が不明。	埼玉搬入
157-16	环	破片	底・(7.5)	白軽物微。他軽物微。		
168-6	須恵器	覆土	口・(12.8)	酸~還元。灰。灰2.5YR6/2。	口縁部は外反する。織維成形(右回転)。底部は回転範削。口縁部付近に重ね焼き色変。	笠點か
157-17	环	1/4	底・(7.9)	並。輕。白粒合。軽物微。		
168-7	須恵器	施方埋土	基・7.5	酸化。硬。橙5YR6/6。並。輕。	内面に研磨えと施すし黒色吸炭化。底面に横撫右回転範削条件後、高台貼付。割れ口消耗。	内面か西毛。
	甕内黒	底部片		白粒合。梅粒合。他少。		
168-8	須恵器	覆土	口・(17.0)	還元。緑。灰N5/0.密。重。	織維成形。上半部は回転範削。内外面織維目多い。重ね焼き色変。	内面か西毛。陶
169-1	土製品	覆土	重・8.49	酸化。硬。橙7.5YR7/6。並。	歯物は殆ど食らず。外側滑らか。半穴は旧時欠損。割れ口の消耗少ない。	
157-17	土鍋	2/3		やや重。白。滑移無。他微。		
169-2	土製品	覆土	重・3.84	酸化。硬。赤灰2.5YR4/1。並。	半穴の割れ口に穿孔見え、直線的ではほぼ同じ、粘土系多。	
157-18	土鍋	1/4		やや重。軽物微。		
169-3	石製品	覆土	砂岩・重・	砂岩・重。	素材は川原石で、表面手すり様の光沢があり。自然光沢とは異なる。	
157-19	碁石	光形	径・2.0。厚・0.5。			
169-4	電油材	覆土	長・6.9+α 重・215	酸化。軟。純褐7.5YR7/3。	欠損後、同化平面上方小口を除き被熱あり。各団の旧部は团中膨脹のみか。	
	破片			粗。輕。粘土粒多。シルト質。		
169-5	電油材	覆土	長・4.9+α 重・125	酸化。軟。灰褐7.5YR6/2。	使用面は表面と左側面に被熱変色あり。割れ口は消耗大。	
	破片			全体にシルト質堆積物様。		

第67号住居跡

辨認番号	種別	出土位置	度目(cm)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
四版番号	器種	遺存度	量目(g)			
170-1	土師器	覆土	口・(11.0)	酸化。硬。明赤褐2.5YR5/6。	口縁部は外傾気味。型作り。底部は凹削、体部に型削少。口縁部・内面は横撫整形。	
157-20	环	小片	底・(4.6)	粗。輕。滑移無。軽物少。		
170-2	土師器	床直	口・(19.8)	酸化。硬。赤褐2.5YR4/8。	「コ」の字状口縁。横撫か内面と外側頭部まであり。外側部頭部は凹削所あり。	接・2点
157-21	甕	破片		並。白粒多。軽物少。		

第67号住居跡

擇団番号	種 別	出土地 面番号	度目 遺存度	度目(cm) 量目(g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	概 要
170-3	土師器 壺	覆土	口・(26.3)		酸化。並。橙2.5YR6/8。並。 やや重。金雲母、褐粒合。	口縁部は外反。外面は荒削。内面は横擦。口 縁部は接合痕2箇所、横擦、指痕あり。	接・2点
157-22		破片					
170-4	土師器 壺	覆土	口・(21.0)		酸化。硬。明赤陶2.5YR5/8。 並、やや重。金雲母、褐粒合。	口縁部下部外側に幅広の工具の凹み、多くの 指痕。さらに、内外面に横擦。赤味強い。	接・2点
157-23		口縁部片					
170-5	土師器 鉢	床直層 破片	底・(9.0)		酸化。硬。橙2.5YR6/6。並。 褐粒合。他鉢物少。	鉢の底部片か。丸底気味で外面に黑色斑あり。 外面荒削と擦削。内面横擦。	接・3点
170-6	須恵器 环(墨書き)	覆土 口縁部片	口・(12.4)		還元。並。灰5Y3/1。密。 やや重。白粒合。他鉢物少。	口縁部は外傾する。輪轂成形。底部欠損のた め切り離し技法不詳。墨書き「主」の一部。	笠透や 墨書き-14
170-7	須恵器 环	覆土 1/4	口・(11.4) 底・(7.0)		還元。硬。灰N5/0。密、重。 白粒微。鉢物微。	口縁部は外傾する。輪轂成形(右回転)。底部 は回転糸切り。重ね焼き色変。	接・2点
157-24							
170-8	須恵器 环	覆土 完形	口・12.6 底・6.3		還元。並。灰5Y5/1。密、重。 白粒合。鉢物微。	口縁部は外傾する。輪轂成形(右回転)。底部 は回転糸切り。内面は使用摩耗あり。	接・3点
157-25							
170-9	須恵器 环	床直層 1/2	口・12.6 底・6.8		還元。並。灰5Y6/1。並。 白粒合。鉢物合。	口縁部は外反する。輪轂成形(右回転)。底部 は回転糸切り。内面少し摩耗し平滑。	太田か 原外か
157-26							
170-10	須恵器 环	覆土+端理土 1/2	口・(13.1) 底・(7.0)		還元。並。灰10Y5/1。密、 やや重。白粒多。	口縁部は外反する。輪轂成形(右回転)。底部 は回転糸切り。少し歪む。	接・3点
157-27							
170-11	須恵器 环	覆土 小片	口・(13.2) 底・(6.5)		還元。硬。灰2.5YR4/2。 白粒物合。他鉢物微。	口縁部は外傾する。輪轂成形(右回転)。底部 は回転糸切り。内面少し彫刻がある。	接・3点
157-28							
170-12	須恵器 环	端理土埋 1/4	口・(13.6) 底・(8.0)		還元。並。灰N6/0。密、 やや重。白粒物微。他極微。	口縁部は外傾する。輪轂成形(右回転)。底部 は回転糸切り。胎土の目盛み特異。	太田か 原外か
157-29							
170-13	須恵器 环	覆土+端理土 2/3	口・(8.6)		中性。秋。灰2.5YR6/2。 粗、絆。褐大粒合。鉢物合。	口縁部欠損。輪轂成形(回転板高明瞭)。底部 は手持ち荒削り。内外面彫刻がある。	接・2点 粘
157-30							
170-14	須恵器 环	床直 2/3	口・12.6 底・6.6		還元。並。灰7.5Y6/1。密、 やや重。白粒物微。他極微。	口縁部は外反する。輪轂成形(右回転)。底部 は回転糸切り。胎内面の繊維目明瞭。	接・3点 粘
157-31							
170-15	須恵器 壺	覆土 底部片	底・7.8		中性。並。暗赤褐5YR5/3。 並、やや重。	口縁部は欠損する。輪轂成形(右回転)。底部 は回転糸切り。高台は付け高台。	笠透か 原外か
157-32							
170-16	須恵器 皿	覆土 2/3	高・(13.8) 底・8.0		酸化。並。純黄澄10YR7/4。 並、輕。鉢物多。	輪轂成形(右回転)。高台は付け高台。底面は 回転糸切り後、糊で整形を加える。	原外か
158-1							
170-17	須恵器 壺	覆土 底部片	底・7.5		還元。硬。灰5Y5/1。密、重。 黑粒合。他鉢物微。	口縁部は欠損する。輪轂成形(右回転)。底部 は回転糸切り。高台は付け高台。胎土精耕。	原外か
158-2							
171-1	須恵器 蓋	覆土 破片	口・(19.0)		還元。並。灰2.5Y6/2。並、 絆。黒色。白粒合。鉢物少。	輪轂成形割れ口消す。内面使用摩耗。	粘
171-2	土師器 壺	覆土 内墨 3/4	口・14.2 底・8.2		酸化。硬。純橙5YR7/4。 並、やや重。鉢物少。	口縁部に粘土帯あり。内面に暗文。外面上 指頭痕。内墨は一部外間に及ぶ。	接・11点
158-3							
171-3	須恵器 壺	覆土 内墨 1/3	底・(10.0)		酸化。硬。明赤陶2.5YR5/6。 並、重。白粒、灰色鉢物合。	輪轂成形。内外面に研磨。内墨処理見えず。 被熱感薄い。外面上下地剥離。	接・2点
158-4							
171-4	須恵器 壺	覆土 破片	口・(22.0)		酸。並。明赤陶5YR5/6。 並、やや重。白粒、褐粒合。鉢物少。	輪轂成形(右回転)。内面に研磨を施すが黑色 焼かからず本來的。外面に荒削、無少。	原外か
158-5							
171-5	須恵器 环	覆土 破片	厚・0.2~0.3		還元。秋。灰2.5Y7/1。 並、やや重。状鉢物多。他極少。	胎土中に1.5ミリ前後の状鉢物を多量(28個 以上)含む。輪轂成形。割れ口消耗少。	9・10C 埼玉
158-6							
171-6	土製品 土錐	覆土 完形	長・5.6 重・16.26		酸化。硬。灰7.5Y4/1。並、 やや重。鉢物少殆ど見えず。	外面平滑であるものの小ハゼあり。穿孔小さ い。外面黒色焼れ気味。	
158-7							
171-7	土製品 土錐	覆土 1/3	重・4.74		酸化。硬。灰7.5YR7/6。 並、やや重。鉢物極少。	手前小口は旧時欠損。奥小口と、側部際に剝 離削除あり。割れ口の消耗少。	
158-8							
171-8	土製品 土錐	覆土 1/3	重・3.23		酸化。硬。褐2.5YR4/1。 並、やや重。鉢物極少。	手前小口は旧時欠損。割れ口消耗あり。表 面滑らか。穿孔少しだい。	
158-9							
171-9	土製品 土錐	覆土 1/2	重・6.25		酸化。硬。橙2.5YR7/6。 並、やや重。鉢物極少。	外面上は平滑。穿孔直線的で小孔。小口開田 欠。割れ口少し消耗。	
158-10							
171-10							
158-11							

第68号住居跡

擇団番号	種 別	出土地 面番号	度目 遺存度	度目(cm) 量目(g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	概 要
172-1	土師器 壺	覆土 1/4	口・(11.0)		酸化。秋。赤陶2.5Y4/6。並、 やや重。白粒、褐粒少。他微。	口縁部は内蔵する。型作り。底部は荒削、体 部に型構。口縁部・器内面は横擦整形。	
158-9							
172-2	土師器 壺	端理土埋 破片	口・(12.0)		酸。並。明赤陶10YR7/6。 並、やや重。白粒、褐粒合。鉢物少。	型作り。底部は荒削、体部に型構。口縁部・ 器内面は横擦整形。削れ口少消耗。	接・点2
158-10							
172-3	土師器 环	覆土 1/2	口・(12.6) 底・(8.8)		酸化。並。明赤陶5YR5/6。 並、やや重。鉢物多。	口縁部は内蔵気味。型作り。底部は荒削、体 部に型構。口縁部・器内面は横擦整形。	
158-11							

第68号住居跡

辨別番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 重量 (g)	焼調・色調・胎土 〔石素材の度目〕	形状・技法等の特徴	摘要
172-4	土師器 环	床直 1/4	口・(13.5)	酸化。硬。明赤褐色Y5/6。並。 やや重。白、褐粒、鉱物合。	口縁部は内面有氣味。型作り。底部は質削、体部に型崩。口縁部・器内面は横擦整形。	接・2点
158-12						
172-5	土師器 环	床直 1/2	口・(13.8)	酸化。並。褐5YR6/6。 並、輕。褐粒微、鉱物合。	口縁部は内面有氣味。底部は質削、体部に型崩。接・2点	
158-13						
172-6	土師器 环	覆土 1/2	口・(13.8)	酸化。並。純黃橙10YR7/4。 並。輕。(8.2)	内面有放射状暗文あり。型作り。底部は質削。体部に型崩。口縁部・器内面は横擦整形。	接・2点
158-14	環埴物					
172-7	土師器 环	覆土+埴方埋土 一部欠損	口・(13.8)	酸化。並。褐7.5YR7/6。 並、輕。鉱粒合、鉱物合。	内面放射状暗文あり。型作り。底部は質削。体部に型崩。口縁部・器内面は横擦整形。	接・4点
158-15	埴物		底・8.8			
173-1	土師器 环	埴方埋土 1/2	口・(13.6)	酸化。並。純黃橙10YR7/4。 並。輕。白、褐粒合、鉱物少。	口縁部は外面有氣味。型作り。底部は質削、体部に型崩。口縁部・器内面は横擦整形。	接・2点
158-16						
173-2	土師器 环	覆土 小片	口・(12.3)	酸化。並。純7.5YR5/3。 並、輕。白粒合、鉱物多。	口縁部は外反。外面は範削。内面は質削。口縁部は横擦。	接・1点
158-19	要					
173-3	土師器 要	埴方埋土 小片	口・(16.1)	酸化。並。明赤褐色Y5R6/6。 並。やや重。白、褐粒合、他少。	口縁部は外反。外面は範削。内面は質削。口縁部は横擦。	接・2点
158-20						
173-4	土師器 要	覆土 小片	口・(19.0)	酸化。並。褐5YR6/6。並。 輕。褐粒合。	口縁部は接合痕。外面は範削。内面は質削。口縁部は横擦。	接・2点
158-17						
173-5	土師器 要	埴方埋土 小片	口・(22.0)	酸化。並。暗赤褐色Y5R5/4。 並。要母、鉱物少。	口縁部は外反。外面は範削。内面は質削。口縁部は横擦。	接・1点
158-18						
173-6	土師器 台付要	埴方埋土 台部片	底・(9.9)	酸化。並。暗赤褐色Y5R5/4。 並。やや輕。褐粒合、他少。	台部外側面横擦、底部まで擦は続く。吸炭あり。要部下面に擦。	接・3点
158-21						
173-7	土師器 台付要	覆土 台部片	底・(10.1)	酸化。並。暗赤褐色Y5R5/4。 並。輕。細鉱物合。	台部外側面に擦。内面に擦。底面細砂付着。要部下面に擦。外側面に被熱吸炭。	接・2点
158-22						
173-8	土師器 台付要	覆土 台部片	基部・(5.0)	酸化。並。宇底・2.5YR6/6。 並。輕。白粒合、鉱物少。	台部内面横擦。台部外側面と外側面に細砂付着。外側面に被熱吸炭。要部内面横擦。	接・2点
158-23						
173-9	須恵器 环	覆土 完形	口・(13.4)	還元。並。灰オーリーブY5/6/2。 並。輕。黑褐粒合。	口縁部は外反する。織籠成形(右回転)。底部は回転糸切り後、周辺を回転範削。笠懸か。回転糸切り後、周辺を回転範削。	接・1点
158-24			底・7.3			
173-10	須恵器 环	覆土 2/3	口・(13.5)	中性。並。純黃橙10YR7/2。 並。やや重。白粒、鉱物合。	口縁部は外傾する。底部は右回転糸切り後、部分的に周辺を回転範削。	接・5点 笠懸か
158-25			底・7.9			
173-11	須恵器 环	床直 1/2	口・(13.4)	中性。並。灰白5Y7/2。 並。輕。白粒、鉱物合。	口縁部は外傾する。織籠成形(右回転)。底部は回転糸切り後、周辺を範削。成色変あり。笠懸か	接・2点
158-26			底・7.7			
173-12	須恵器 环	覆土 1/4	口・(11.2)	還元。灰。灰10YR5/1。 並。やや重。白粒、他鉱物少。	織籠成形(右回転)。底部は回転糸切り前。笠懸か。	接・1点
158-27			底・(6.8)			
173-13	須恵器 环	覆土 1/2	口・(11.4)	中性。並。灰褐色5Y5/2。 並。重。白粒合、鉱物微。	口縁部は外傾する。底部は回転糸切り。重ね焼き色変あり。底部に撻出の擦。	太田か 笠懸か
158-31			底・5.7			
173-14	須恵器 环	覆土 破片	口・(16.0)	還元。軟。灰白5Y7/1。並。 やや重。白粒合、鉱物少。	口縁部は灰削する。織籠成形(右回転)。底部笠懸か。欠損のため切り離し技法不詳。	笠懸か
158-28						
173-15	須恵器 环	覆土 2/3	口・(8.2)	還元。並。灰V5Y6/1。並。 灰、白粒合、鉱物少。	口縁部は外傾する。底部は回転範削。底部隙に撻出の擦あり。内外面消耗。	接・2点 笠懸か
158-33						
173-16	須恵器 环	覆土+埴方埋土 2/3	口・(13.0)	酸化。並。褐5YR6/6。並。 やや重。鉱物合。	織籠成形(右回転)。内面に研磨を施す。笠懸か	接・8点 笠懸か
158-29	坏内黒		底・6.6			
173-17	須恵器 环	覆土 2/3	口・(12.8)	酸化。並。純黃橙10YR6/4。 並。輕。鉱物微。	織籠成形(右回転)。内面に研磨を施す。底部は手持ち範削。外側に淡黄斑あり。	接・1点
158-30	坏内黒		底・7.1			
173-18	須恵器 环内黒	輪方埋土 小片	口・(15.6)	酸化。硬。暗赤褐色5YR4/4。 並。輕。白粒合、鉱物微。	織籠成形(右回転)。内面に研磨を施す。外側に輪削を残す。高台欠損。	接・2点
158-32						
174-1	須恵器 环	覆土 底部片	底・(7.4)	酸化。並。明赤褐色2.5YR5/6。 並。やや重。白粒、鉱物合。	底部は右回転糸切り、さらに、不明墨書きあり。墨書き-15 内面に密な研磨あり。少し摩耗。	接・1点 笠懸か
174-2	須恵器 环	床直 底部片	底・(8.0)	還元。並。純7.5YR6/3。並。 やや重。白、褐粒、他鉱物多。	底部に輪削右回転糸切り後周辺回転範削。さらに墨書き「主」。割れ口少し消耗。	墨書き-15 笠懸か
174-3	須恵器 环	輪方埋土 底部片	底・(7.2)	還元。軟。純黃橙2.5YR7/4。並。 やや重。白粒、褐少、鉱物微。	底部右回転範削。さらに「主」墨書きあり。外側に少し燒かれる。	接・1点 笠懸か
174-4	須恵器 环	輪方埋土 口縁部片	厚・0.3	還元。並。灰7.5YR6/1。 並。輕。白粒合、鉱物少。	口縁部内外面、輪削の回転糸切り。外側に黒色擦付着。割れ口消耗あり。漆黒味強い。	接・5点 笠懸か
174-5	須恵器 环	床直 機溝・3.6	酸化。並。暗赤褐色2.5YR4/4。 並。やや重。褐粒合、他少。	内面に研磨があるが内黒処理なし。外側に輪削。右回転範削。外側に黒斑あり。工作丁寧。	接・1点 笠懸か	
158-35						
174-6	須恵器 环	覆土 1/2	口・(17.1)	還元。並。純7.5YR5/4。 並。白、褐粒合。	輪削成形(右回転)。上半部は回転範削。輪削部欠損。内外面焼重ね焼き色変。	笠懸か
158-36						
174-7	須恵器 环	床直 上部径・(8.0)	還元。硬。灰黃2.5YR7/2。 並。やや重。黑褐粒合、鉱物少。	口縁部は欠損する。輪削成形(右回転)。上部は回転範削。割れ口少し消耗。	笠懸か	
158-34						

第68号住居跡

埠団番号 國版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目(cm) 量目(g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
174-8	施釉陶器 灰軸瓶	覆土 小片	口・(9.0)	酸。緑。暗赤褐色2.5YR5/3。 密、重。軸物少。	内外面に輪轍目あり。外面に自然釉。胎土あ ざき色。接合法は側部側が薄いので3段か。	東海
158-38						
174-9	須恵器 瓶	床直 破片	底・(9.7)	還元。緑。青灰5PB5/1。密、 重。白軸物含、他少。	輪轍成形(回転方向不明)。高台貼付。割れ口 の芯やアズキ色かかる。	接・2点 太田か
174-10	須恵器 瓶	覆土 1/3	底・(11.4)	還元。硬。灰 N5/0。密、重。 白粒含、他軸物微。	絞作後輪轍整形。下方の回転剝削は輪轍右側 軸。割れ口に粗作板。	接・2点 太田か
174-11	須恵器 瓶	覆土 底部片	底・(8.4)	還元。緑。灰白2.5YR4/2。 密、重。軸物見入ず。	外面に右回転剝削後の輪轍目、内面には工具 による再調整。高台貼付。割れ口旧時。	東海
158-39						
174-12	須恵器 瓶	輪方埋土 2/3	径・11.7	還元。硬・緑。灰 N5/0。 チャート、石英含、他軸物少。	輪轍成形(右回転)。内面摩耗光沢。墨塗らし き黒味あり。裏面摩耗側。脚欠研磨後再用。	太田か
158-40						

第69号住居跡

埠団番号 國版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目(cm) 量目(g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
175-1	須恵器 环	被覆土 1/2	口・(17.0)	還元。緑。灰白2.5YR7/1。並。 やや輕。黑粒含、粘。	環部は、环蓋と疑似形。環部中に右回転の 輪轍目あり。脚内面に凹目、外面上に輪轍目。	接・3点 墨書記号
159-7			底・(12.4)			
177-1	土師器 壺	壺方埋土 1/2	口・(13.0)	酸化。並。純黄橙10YR7/4。 並。輕。軸物含。	口縁部は内青気味。製作り。底部は鋤削、体 部に型崩。口縁部・器内面は横撫整形。	接・3点 粘
159-1			底・(6.5)			
177-2	土師器 壺	輪方埋土 小片	口・(19.2)	酸化。硬。焼2.5YR6/6。並。 輕。白、褐粒含、軸物少。	口縁部は外反。外面は直削。内面は直削。口 縁部は横撫。	
159-6						
177-3	須恵器 环	床直 1/2	口・(12.4)	還元。並。灰オーリーブ5Y6/2。 底・(7.6)	口縁部は外傾する。輪轍成形(右回転)。底部 は回転糸切り後直削形。底部際回転輪削。	接・2点 太田か
159-2						
177-4	須恵器 环	覆土 1/2	口・(12.6)	還元。並。灰5Y5/1。密、 底・7.7	口縁部は外傾する。輪轍成形(右回転)。底部 は回転剝削直形。裏面傷と研磨平滑。	笠懸か
159-4						
177-5	須恵器 环	覆土 1/2	口・(12.9)	還元。並。灰5Y6/1。並。 底・(6.7)	口縁部は外傾する。輪轍成形(右回転)。底部 は回転糸切り後直削形を底面周辺に施す。	接・5点 笠懸か
159-5						
177-6	須恵器 环(墨書)	床直 底部片	底・5.0~6.0	還元。軟。オーリーブ10Y6/1。 並。輕。褐粒多、軸物含。	底面回転、部分的に不定方向平滑。内面に墨 字不明あり。割れ口消耗。	墨書-18 粘
159-6						
177-7	須恵器 壺内黑	覆土 破片	口・(17.0)	酸化。硬。純焼2.5YR5/4。 並。輕。白、褐粒含、他少。	輪轍成形。内面に研磨を施す。口縁部外面に から下方に沈線一一条あり。	接・2点 笠懸か
159-7						
177-8	須恵器 环内黑	輪方埋土 底部片	底・(9.1)	酸化。並。純焼2.5YR7/4。 並。褐粒含、他少。	輪轍成形(右回転)。内面に研磨内里。底面に 回転剝削あり。割れ口少し消耗。	接・3点 笠懸か
159-8						
177-9	須恵器 大形丸か 体部片	覆土 1/2	厚・0.9	酸化。並。焼2.5YR6/6。 並。輕。金雲母、白粒含、他少。	大形器。内面に横と斜山形の研磨あり。内黒 しつかり。外面に裏面の回転条痕あり。	
159-9						

第82号住居跡

埠団番号 國版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目(cm) 量目(g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
178-1	土師器 壺	輪方埋土 1/4	口・(11.6)	酸化。並。暗赤褐色2.5YR5/3。 並。褐粒含、軸物少。	型作り。底部は鋤削。体部に型崩。口縁部・ 器内面は横撫整形。内外面少し吸張。	接・7点 墨書-19
159-8			底・9.0			
178-2	土師器 壺	輪方埋土 1/2	口・(11.8)	酸化。並。純焼2.5YR6/6。 赤褐色含、軸物微。	口縁部は内青氣味。製作り。底部は鋤削、体 部に型崩。口縁部・器内面は横撫整形。	接・点14 笠懸か
159-9						
178-3	土師器 壺(墨書)	輪方埋土 1/2	口・(13.6)	酸化。硬。純焼2.5YR6/4。 並。金雲母、褐粒含、軸物含。	型作り。底部は鋤削、体部に型崩。口縁部付 近は横撫内面暗文。	接・3点 墨書-19
159-10						
178-4	土師器 壺	輪方埋土 破片	口・(14.0)	酸化。並。明赤褐色2.5YR5/6。 並。輕。白、褐粒含、他少。	口縁部は外反。外面は直削。内面は無。口縁 部は横撫、外面上に少し黒ずむ。	
159-11						
178-5	土師器 壺	輪方内 破片	口・(23.2)	酸化。並。明赤褐色2.5YR5/6。 並。輕。白、褐粒含、他少。	口縁部外側に指圧痕。外面は直削。内面は直 削。口縁部は横撫。	接・点6 笠懸か
159-12						
178-6	土師器 壺	輪方内 破片	底・(6.0)	酸化。並。純黃橙10YR6/4。 並。輕。白、褐粒含、他少。	底部破片。器厚は薄い。外面は斜位の鋤削。 接・11点 笠懸か	
159-13						
179-1	土師器 壺	床埋設 一部欠損	口・22.8	酸化。硬。明赤褐色2.5YR5/6。 粗、輕。茶褐粒軸物含。	接合面2カ所。製作。外面にはサササ状の 擦痕。内面は直削。内面に漆しつかり付着。 墨見える	
159-13			底・6.3			
179-2	須恵器 环	輪方内 3/4	口・13.2	中性。並。純黃橙10YR6/4。 並。輕。白、褐粒含、他少。	口縁部は外傾する。底部は回転糸切り後回転 輪削。内外面に重ね焼き色。	接・3点 笠懸か
159-11			底・7.8			
179-3	須恵器 环	輪方埋土 2/3	口・(13.5)	還元。軟。純黃橙10YR7/2。 並。輕。白、褐粒含、他少。	底部は輪轍右回転糸切後、周囲に回転輪削。 内面に不明墨字あり。割れ口消耗。	墨書-20 笠懸か
159-14			底・8.3			
179-4	須恵器 环(墨書)	輪方埋土 2/3	口・(12.7)	還元。軟。純黃橙2.5YR6/3。 並。輕。白、褐粒含、他少。	底部に輪轍右回転輪削。さらに不明墨字あり。 状況のため器全体に消耗気味。	墨書-21
159-15			底・8.3			

第62号住居跡

埠岡番号 國版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
179-5	須恵器 壺	埴方埋土 破片	底・(8.0)	還元。灰白N7/0。密、 重。白粒合、鉛物多。	高台は付け高台。底部は右回転糸切り後、脚 整形。内外面に火煙あり。	太田か 粘
179-6	須恵器 壺	埴方埋土 1/3	底・(15.0)	中性。軟。灰白SYR7/1。粗、 軽。白、褐粒微、鉛物少。	鍵織成形(右回転)。極めて柔らかく消耗大。 重ね焼き色変状態は、同様の規模あり。	接・11点
159-16	台付壺					

第70号住居跡

埠岡番号 國版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
181-1	土師器 壺	覆土 破片	口・(12.1)	酸化。純黄SYR6/4。並、 やや重。金雲母微、鉛物微。	口縁部は外傾する。型作り。底部は荒削り、体 部に型崩。口縁部・器内面は横撫整形	接・2点
181-2	須恵器 壺	覆土 1/4	口・(13.0) 底・(7.2)	中性。軟。灰黄2.5Y6/2。 並。白、褐粒合、鉛物微。	口縁部は外傾する。鍵織成形(右回転)。底部 は回転糸切り。口縁部に重ね焼き色変	粘
181-3	須恵器 壺	覆土 1/4	口・(13.2) 底・(9.0)	還元。軟。灰黄2.5YR6/2。 並。白、白粒合、鉛物合。	口縁部は外傾する。鍵織成形(右回転)。底部 は回転糸切り。割れ口、器面消耗。	笠透か 粘
159-19						

第71号住居跡

埠岡番号 國版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
182-1	須恵器 壺	覆土 破片	口・(11.2) 底・(7.0)	還元。細。灰 N6/0。密、重。 白粒多、鉛物少。	口縁部外面に重ね焼き色変。底部鍵織右回の 型崩前あり。	太田か 粘
182-2	須恵器 壺	覆土 破片	口・(11.0)	還元。硬。灰 SY5/1。並、輕。 白粒合、鉛物少。	口縁部は外傾する。鍵織成形(右回転)。外面 に重ね焼き色変。	接・2点
182-3	須恵器 壺	覆土 小片	底・(8.0)	還元。並。純黄2.5YR6/3。 並。重。白粒、鉛物微。	口縁部は欠損する。鍵織成形(右回転)。底部 は回転糸切り。外面に少し吸収。	粘
182-4	須恵器 壺	覆土 底内墨	口・(18.8) 底・(8.2)	酸化。並。純黄2.5YR7/4。 並。輕。白、褐粒微、シリト質。	鍵織成形(右回転)。内面に研磨。底面H糸切 後、脚整形(回転が不明)。外面上半回転削。	接・9点
159-23		1/2				

第72号住居跡

埠岡番号 國版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
183-1	土師器 壺	覆土 破片	口・(13.0)	酸化。並。明赤褐SYR5/6。 並。輕。褐粒、鉛物合。	口縁部は外傾気味。型作り。底部は荒削り、体 部に型崩。口縁部・器内面は横撫整形。	接・2点
159-21						
183-2	土師器 壺	覆土 1/3	口・(14.2)	酸化。並。暗赤褐SYR5/4。 並。褐粒微、鉛物少。	口縁部は内湾気味。型作り。底部は荒削り、体 部に型崩。口縁部・器内面は横撫整形	接・2点
159-20						
183-3	土師器 壺	覆土 ... 小片	口・(20.4) 底・(21.6)	酸化。硬。SYR6/5。並。 白粒合、褐粒少、鉛物少。	外面部は荒削り、内面はササラ状の荒削。口縁部 は横撫。外面上方に擦付着。	接・6点
159-24						
184-1	土師器 壺	覆土 破片	口・(21.0)	酸化。並。純黄2.5YR6/4。 並。やや重。白、褐粒合、鉛物少。	口縁部は外反。外面は荒削。内面は荒削。口 縁部は横撫。器面消耗。	接・3点
184-2	土師器 壺	樹方埋土 破片	口・(21.1)	酸化。硬。暗赤褐SYR5/4。 並。輕。褐粒、鉛物合。	外面はササラ状の荒削。内面は荒削。口縁部 は横撫。最下部接合面。	接・2点
160-1						
184-3	土師器 壺	覆土 破片	口・(21.8)	酸化。硬。純黄2.5YR5/4。 並。白、白粒合、鉛物少。	外面は荒削。内面はササラ状の荒削。口縁部 は横撫。	接・3点
184-4	土師器 壺	覆+樹方埋土 脚部	底・(4.6)	酸化。並。橙SYR6/6。並。 やや重。白粒合、鉛物少。	外面荒削。内面は横撫。部分的に被熱変色。 内面に接合痕。底面荒削。	接・12点
159-25						
184-5	須恵器 壺	覆土 完形	口・12.7 底・7.7	還元。並。灰7.5YR5/1。 並。重。白粒物多。	口縁部は外傾する。鍵織成形(右回転)。底部 は回転削削。外面部底部も回転削削。	太田か 粘
159-27						
184-6	須恵器 壺	覆土 完形	口・12.4 底・7.7	還元。並。灰7.5YR5/1。 並。重。白粒物多。	口縁部は外傾する。鍵織成形(右回転)。底部 は回転削削。底面に墨書「保」か。	墨書-22
159-26						

第73号住居跡

埠岡番号 國版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
185-1	土師器 壺	電+電内 ほぼ完形	口・12.2 底・8.0	酸化・並。純黄褐10YR6/4。 並。やや重。白色粒合、鉛物微。	口縁部は内湾氣味。底部は荒削り、体部に型 崩。口縁部・器内面は横撫で整形内面に保付着。	8片
160-4						
185-2	土師器 壺	電+電内 1/2台欠	口・13.6	酸化・並。純黄褐10YR5/4。 並。やや重。白色粒微。	「コ」の字状口縁。型作り。口縁部下に紹作 板。脚部・肩部は斜位の置削。口縁部は横撫。	接・41片
160-8						
185-3	土師器 壺	覆土+床層 脚端1/2	高・(3.15) 脚端・(8.6)	酸化・並。純黄褐7.5YR5/4。 並。軽。鉛物合。	内・外面に横撫あり。壺部との割れ口は旧時 内折削削。	4片
160-5						

第73号住居跡

辨認番号	種別	出土位置	度目 (cm)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
辨認番号	器種	遺存度	量目 (g)			
185-4	土蔵器	覆土 台付甕	脚端・14.2	酸化・並。純褐7.5YR5/3。 並、やや重。鉱物合。	付高台部を難調整後、回転施を加える。全体に被熱焼、焼付着。	
160-6		脚部片				
185-5	土蔵器	覆土 台付甕	高・(3.9)	酸化・並。純褐7.5YR5/3。 並、やや重。鉱物合。	付高台部を難調整後、回転施を加える。全体に被熱焼、焼付着。	4片
160-7		脚部片	脚端・7.9			
186-1	土蔵器	甕+甕内 一部欠損	口・21.0 底・4.6	酸化・並。明赤褐5YR5/7。 並、やや輕。白色粒微。鉱物微。	口縁部粘土帯、体部中央接合面。型作り。外 面は難削り、内面は難削で、口縁部は横擦で。 接・97片	
160-2		土蔵器	甕+甕内 ほぼ完形	口・20.2 底・5.0	酸化・硬。純褐7.5YR7/3。 並、やや重。白色粒微。鉱物少。	口縁部下に粘土帯。型作り。外面は難削り、内 面は難削で、口縁部は横擦で、外表面付着。粘 接・105片
186-3	土蔵器	甕+甕内 ほぼ完形	口・22.0 底・4.6	酸化・硬。橙5YR6/6。 並、やや重。白色・褐粒合。鉱物少。	口縁部粘土帯不明。型作り。外面は難削り、内 面は難削で、口縁部は横擦でを施す。接合面3。 接・87片	
160-9		甕				
186-4	土蔵器	甕+甕内底直 一部欠損	口・19.6 底・3.7	酸化・並。橙7.5Y5/6. 並、やや重。褐粒少、鉱物合。	口縁部粘土帯接合。型作り。脚部の難削り、耳 は斜の難削り、口縁部横擦で。外表面少し被熱。 接・71片	
160-10		甕				
187-1	土蔵器	床直+甕付近底 一部欠損	口・23.0 底・31.2	酸化・硬。橙5Y6/6。 並、やや重。白色・褐粒、鉱物微。	「コ」の字状口縁。型作り。脚部底位の難削り、耳 部斜位の難削り、口縁部横擦で。外表面付着。 接・48片	
160-11		甕				
187-2	土蔵器	甕置+電付近底 直1/4	口・20.2	酸化・軟。純黄10YR6/4。 並、やや重。鉱物合。	口縁部粘土帯不明解。器外表面は難削り、内 面は難削で。口縁部は横擦でを施す。 接・33片	
161-1		甕				
187-3	土蔵器	甕+甕付近底直 直1/4	口・21.2	酸化・硬。純黄10YR6/4。 並、やや重。白色粒合。	口縁部は外反する。器外表面は難削、器内面下半 はハゼ剥落。口縁部は横擦、口縁部粘土帶下半 はハゼ剥落。接合面1ヶ所。 接・70片	
160-12		甕				
187-4	土蔵器	甕付近底直+甕 直1/4	口・4.6	酸化・並。純黄10YR6/3。 並、やや重。白色粒合。	型作りか。器外表面は難削、器内面は難削。外 面に煤垢。内面にハゼ剥落。接合面1ヶ所。 接・20片	
161-2		甕				
187-5	須恵器	床直	口・12.8	還元・硬。灰10YR5/1. 底・6.0	口縁部は外反。底部は右回転余切り。器内薄 い。内面使用消耗あり。	接・5片
160-14		坪	2/3			
187-6	須恵器	床直	口・(13.1)	還元・硬。灰10YR5/2. 底・(7.4)	口縁部は外傾。輪轂成形(右回転)。底部は回 転余切り。口縁部周辺重焼色。	笠懸
160-15		坪	1/4			
187-7	土蔵器	覆土 坪・墨書	口縁部片		外面に横擦、難削、横擦、墨字不明あり。内 面に横擦、全体に消耗ほとんどなし。	墨書・23
187-8	石器	磨石	輪轂輝石安山岩 588g		側部に部分的な剝離が認められる。上端側に 剥落が認められる。	
161-3		磨石	完形			

第74号住居跡

辨認番号	種別	出土位置	度目 (cm)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
辨認番号	器種	遺存度	量目 (g)			
188-1	土蔵器	覆土 破片		酸化・硬。純赤褐5YR5/3。 並、やや輕。鉱物微。	外面、難削り後の無、内面刷毛目様の難削。 外表面焼され、被熱のためか。	接・2片
161-8						
188-2	土蔵器	覆土+床直	口・19.5	酸化・並。純赤褐5YR4/4。 並、やや重。白色・褐色合。	型作りか。口縁部粘土帯。器外表面は難削り、 内面は難削で。下辺に再粘土貼りあり。	接・43片
161-4		甕 1/2				
188-3	土蔵器	覆土 破片	最・(23.3)	酸化・並。橙5YR6/6。 並、やや重。褐色、鉱物合。	器厚は薄く接合面1ヶ所。器外表面は継位方向 の難削りを施す。内面にヒゼ少。外表面。	接・14片
161-5						
188-4	須恵器	床直 坪・墨書	口・12.4 底・7.0	還元・並。灰白2.5YR5/6. 底・7.0	底面に輪轂右回転の余切り。口縁部下外間に重 燒色あり。体部外面に不明墨字あり。	粘・陶 墨書・24
161-6		完形				
188-5	須恵器	覆土 坪	口・12.6 底・7.4	還元・並。オリーブ9.2.5GY 5/1.	口縁部は外傾する。輪轂成形(右回転)。底部 は回転余切り。口縁部に剥落あり。	接・9片
161-7		坪	5/1.			
188-6	須恵器	床直 ほぼ完形	口・13.3 底・6.2	還元・硬。2.5Y6/1。 並、やや重。白色粒合、シルト質。	輪轂成形(右回転)。底部は回転余切り。全体 に少し焼。内面に重燒色。	粘
161-11						
189-1	須恵器	床直+覆土 坪・墨書	口・(12.65) 底・(7.6)	還元・並。5Y6/1。並、やや輕。 白色粒合、鉱物合、他少。	外面に不明の墨字あり。内面底少し摩耗。底 面に輪轂右回転余切り。口縁に重燒色。	墨書・25 粘・笠懸
161-10		坪 2/3存				
189-2	須恵器	覆土	口・(12.8)	還元・軟。灰白7.5Y7/1. 底・(7.6)	口縁部は外傾する。輪轂成形(右回転)。底部 は回転余切り。外表面底際に突出し棱あり。	笠懸か
161-9		坪 1/4				
189-3+4	須恵器	床直 破片		還元・硬。灰5Y6/1。密、重。 白色粒、鉱物多く、他少、珪質	組作り後輪轂成形。外表面浅い格子目状凹、内 面墨字当目と紐作紙。	組外近接 墨書か

第75号住居跡

辨認番号	種別	出土位置	度目 (cm)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
辨認番号	器種	遺存度	量目 (g)			
191-1	土蔵器	掘り方 破片	口・(26.1)	酸化・並。橙2.5YR8/8. 並、白色・褐粒合。	「コ」の字状口縁。器外表面は難削りか。口縁 部は横擦を施す。頸部に接合面か。	接・2片
161-12						
191-2	土蔵器	電右側地+床直 破片	口・(22.2)	酸化・硬。純褐7.5YR6/4. 並、やや輕。褐粒多、鉱物合。	口縁部は「コ」の字状。器外表面は難削り、器 内面は難削、口縁部は横擦、頸部に接合面か。	接・13片
161-15						

第75号住居跡

辨認番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石英材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
191-3	土師器 甕	床直+覆土 胸部下半	底・(4.7)	酸化・並。灰褐色5YR4/2。 並、重。金青物合、他鉱物合。	台付か。外腹下端に砂付着少量。外面に燐付着。外腹難削。内腹難削と燃。	接・2片 接・2片 笠懸か
191-4	須恵器 环	竈内覆土 1/2	口・12.7 底・7.0	中性・並。純黃橙10YR6/4。 密、やや重。白色粒微。	口縁部は外傾する。輪轍成形(右回転)。底部は回転糸切り。器面少し消耗。	接・2片 笠懸か
191-5	須恵器 环・墨書き	床直 2/3存	口・(12.9) 底・6.6	還元・並。黄灰2.5YR6/1。 並、輕。白色粒多、他鉱物合。	底面に輪轍右回転の条切あり。内腹に細砂付着。体部外腹「山田」かもしくは不明の墨字。	墨書き・26
191-6	須恵器 环	床直 1/2	口・13.4 底・7.3	還元・硬。灰7.5Y5/1。密、 やや重。白色粒微、鉱物合。	口縁部は外傾する。輪轍成形(右回転)。底部は回転糸切り。	接・5片 笠・太か
191-7	須恵器 环	床直 一部欠損	口・13.6 底・7.3	還元・硬。2.5Y5/3。密、 重。白色粒微、鉱物粒微。	口縁部は外傾する。輪轍成形(右回転)。底部は回転糸切り。器面少し荒れ。	笠懸か
191-8	施釉陶器 灰釉瓶	覆土 底部片	底・8.4	還元・經。釉淡綠。	外面に灰釉と内腹に落釉あり。底面に糞切痕あり。体部外腹下方難削目あり。	接・1片 東海
191-18	灰釉瓶					

第76号住居跡

辨認番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石英材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
192-1	須恵器 环	覆土 外部破片	厚・0.35	還元・硬。灰 N5/0。密、やや重。 白色粒合、鉱物粒少。	外面に輪轍目あり。薄作り。割れ口の消耗は少ない。	9°Cか 笠か

第77号住居跡

辨認番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石英材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
193-1	土師器 环	床直+覆土 底	口・(12.0) 底・(10.5)	酸化・並。純黃7.5YR6/4。 並、密。白色粒合、鉱物粒。	口縁部は内透氣味。型作り。底部は歪削り、体部に型磨。口縁部・器内面は横擦で整形。	接・5片
193-2	土師器 环	床直 破片	口・(15.0)	酸化・並。7.5YR6/4。 並。青斑、鉱物粒少。	大形環口縁部下粘土帶。底部は真通り、体部に型磨。口縁部・内面は横擦。	接・2片
193-3	須恵器 环	床直 小片	口・(11.8) 底・(7.4)	還元・硬。灰 N5/0。密、重。 白色粒合、鉱物合。他鉱物合。	輪轍成形(右回転)。底部は回転糸切り後周辺凹削削。口縁部に焦焼色斑。	太田か 笠懸か
193-4	須恵器 环	覆土 底部片	底・6.4	還元・軟。灰 N6/0。密、やや重。 白色粒合、白鈍物合、鉱物合。	口縁部は外傾する。輪轍成形(右回転)。底部は回転糸切り。器面・割れ口消耗。	笠懸か
193-5	須恵器 环	覆土 底部周辺	底・8.5	中性・並。灰 7.5Y5/6/1。 並、やや重。白色粒多い。	輪轍成形(右回転)。高台付け高台。底部は回転糸切り。	笠懸か 盤・陶
193-6	須恵器 内墨碗	床直 破片	厚・0.8	酸化・並。純黃7.5YR6/4。 並、輕。細砂合。	口縁部は外傾する。輪轍成形(右回転)。底部は回転糸切り。器面・割れ口消耗。	笠懸か 盤・陶
193-7	土師器 粘土塊	覆土 粗・4.3	粗・3.2 粗・4.3	酸化・軟。純黃7.5YR7/3。 粗、粗。シルト質、粘土物合。	スサ入る。因平面上方と裏面に捏ね固めたような筋跡あり。何か型磨物か。	被熱
193-8	土師器 粘土塊	覆土 粗・5.8	粗・3.2 粗・5.8	酸化・軟。純黃7.5YR7/3。 粗、粗。シルト質、粘土物合。	スサ入る。因平面入は不明瞭。型磨物か電材か不明瞭。因表面開拓より土師器片入る。	被熱
193-9	土師器 粘土塊	覆土 粗・2.0	粗・2.0	酸化・軟。純黃7.5YR7/3/4。 粗、粗。シルト質、スサ合、他鉱。	粘土塊状で、割れ口にスサが多く混入され、表・裏面に少ないで造形物かしない。	被熱
193-10	土師器 粘土塊	覆土 粗・3.0	粗・3.0	酸化・軟。橙7.5YR6/6。粗、 粗。シルト質、スサ入、鉱物合	スサやや多く、酸化味強い。因平面左側部に捏ね固めたような表面質感あり。	被熱

第78号住居跡

辨認番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石英材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
194-1	土師器 环(平底)	床直+覆土 1/3	口・12.2 底・7.4	酸化・硬。明赤褐2.5YR5/8。 粗、粗。白色粒合、他鉱。	型作り。底部は歪削、体部に型磨を残し、口縁部・器内面は横擦で。	接・4片
194-2	土師器 环・墨書き	覆土 1/2存	口・(12.8)	酸化・硬。純黃5YR6/4。密、 白色・粗粒合、他鉱物少。	外腹難削形。不明墨字あり。体部外腹難削、口縁部周辺難削。内腹難整形。	墨書き・27
194-3	土師器 环	覆土 1/3	口・(12.8)	酸化・並。純黃10YR7/4。 粗、粗。白色粒合。	口縁部内透氣味。型作り。底部歪削り、体部型磨。口縁部・器内面で横擦捺压成。	粘 笠
194-4	土師器 环・墨書き	覆土 底部片	厚0.45	酸化・硬。橙5YR6/6。密、 粗。白色粒合、鉱物少。	底部外腹難削と「主」かもしくは不明墨字あり。内腹捺などとの圧痕と撓あり。平底的。	9°C前 墨書き・28
194-5	須恵器 环・墨書き	覆土 2/3存	口・(12.5) 底・7.8	還元・硬。オーリーブ灰2.5Y 5/1。密、重。白粒多、他少。	輪轍成形(右回転)。底部は回転糸切り後不定方向。難調整。体部外腹「主」墨字あり。	笠懸か
194-6	須恵器 环	覆土 破片	底・(7.8)	還元・硬。灰7.5Y5/7/1。密、 重。白色粒微、鉱物少。	輪轍成形。底面は右回転糸切り後周辺難削形。底面整形與風で、市外製品か。	陶 産不明
194-7	須恵器 环					

第78号住居跡

埠図番号 四版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 産 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
194-7 162-6	須恵器 内黒坏	覆土 底部片	底・8.7	酸化・軟。橙5YR6/6。粗、 輕。白色粒微、鉄物微。	輪縫成形。器内面に研磨を施す。底部はゆる やか蓮削手持。内面少し荒れ。	
194-8 162-7	須恵器 内黒坏	覆土 破片	口・(16.5)	酸化・並。橙5YR6/6。並。 白色・鉄粒含、他鉄物少。	器面内に研磨を施す。器面下方に窓削目あり。 黑色化は外側上方におよぶ。	
194-9 162-7	須恵器 内黒坏	覆土 破片	口・(15.0)	還元・並。黄灰2.5YR6/1。並、 針状ではない鈍粒合、鉄物少。	輪縫成形(右回転)。上部は回転削り。そ の削面に妙付着。端部はやや丸い。	
194-10 162-7	須恵器 蓋	覆土 口縫部片	口・(15.4)	還元・並。灰7.5YR7/2。 並、輕。鉄物微。	形狀は蓋か蓋か不明。輪縫成形。底部は回転 削り。内面使用摩耗。	接・4片 窓削。
194-11 162-7	須恵器 蓋	覆土 底部片	厚・0.4	酸化・並。黄灰7.5YR5/4。 並、輕。鉄物微。	内面に研磨と内黒化あり。内黒化は口縫部付 近外側におよぶ。割れ口摩耗。	
194-12 162-8	須恵器 裏	覆土 口縫部片	徑・(11.8)+α	酸化・並。橙7.5YR6/6。 並、やや重。鈍粒含、鉄物少。	輪縫成形(右回転)。上部は回転削り。割 れ口は直時欠損。	接・4片
194-13 162-8	須恵器 裏	床直 口縫部片	口・(17.5)	還元・硬。青灰5PB6/1。 密、重。白色粒合、鉄物少。	外面に、浅いカキ目様の条痕あり。内・外と ちも整形良い。小形裏か。	太田
194-14 162-9	須恵器 裏	床直 口縫部片	口・(26.9)	還元・並。明オリーブ灰2.5GY 7/1。並、やや重。白粒合、鉄物微。	組作り後叩き整形。外側は平行叩き。内面当 具は青海波文、頭から口縫にハゼ多い。	接・2片 太田か

第79号住居跡

埠図番号 四版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 産 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
195-1 162-10	土器 小甕	掘方覆土 破片	口・(11.8)	酸化・硬。明赤褐7.5YR5/8。 輕。明赤粒多。	「コ」の字状口縫。器外側は窓削り、器内面 は直削、口縫部は横削。台付腰か。	接・2片
195-2 162-11	須恵器 坏	掘方覆土 1/4	口・(13.6) 底・(8.6)	還元・並。灰7.5YR2/5。 並、やや重。白・鈍粒合、他微少。	口縫部は外反する。輪縫成形(右回転)。底部 は回転削り。削れ口、器面少し消耗。	接・4片
195-3 162-13	須恵器 坏	掘方覆土 破片	口・(16.1) 底・(9.0)	還元・硬。灰白2.5YR7/1。 並、やや重。白色粒合、鉄物少。	輪縫成形(左回転)。底部は回転削り整形。底盤 は窓削り後直しあり。内外輪縫目脱い。	笠懸
196-1 162-13	須恵器 坏	覆土 底部片	底・6.8	還元・硬。灰N6/0。 並、やや輕。白色粒合、鉄物少。	口縫部は欠損する。輪縫成形(右回転)。底部 は回転削り。底部邊に焼けし模様あり。	接・2片 笠懸
196-2 162-14	須恵器 碗	掘方 底・1/3	底・7.7	還元・硬。灰7.5Y6/1。 並、やや重。白色粒多。	輪縫成形。高台付け高台。底盤は回転糸切り 後撫調整。	笠懸
196-3 162-15	須恵器 碗	掘方 底部片	底・7.6	還元・軟。灰5Y6/1。 並、やや輕。白色粒合、鉄物少。	口縫部は欠損する。輪縫成形(右回転)。底部 は回転糸。内面に使用摩耗あり。	笠懸か
196-4 162-17	須恵器 瓶	覆土 破片	厚0.35	還元・硬。灰白5Y1/2。 密、重。鉄物溶解。	須恵器か不明。外側に淡暗灰縁(オリーブ 調)熱あり。削れ口の消炎剤。	東海灘入 糸。
196-5 162-17	須恵器 瓶	掘方覆土 破片		還元・軟。灰オリーブ5Y6/2。 並、輕。白色粒多、他少。	円面観。外側に沈線による格子目、長方形透 し。輕。内面に透し。削れ口に組作らしき跡。削れ口消耗。	粘
196-6 162-17	施釉陶器 瓶・灰釉	覆土 口縫部片	口・(9.0)	還元・硬。灰白5Y1/2。 密、重。鉄物見えず。	外側面灰釉施釉。輪縫器内薄く上手。削れ口 消耗少ない。袖は淡暗褐色で、少し硬化。	東海灘入 糸。
196-7 162-21	須恵器 壺中形	覆土 破片	底・7.2	還元・硬。灰褐7.5YR5/1。密、 やや重。白粒・白底物多。他鉄物含。	組作り叩き整形。外側は平行叩き。内面當 具は見えず、回転条痕あり。内面使用摩耗。	3片 太田か
196-8 162-21	須恵器 壺	掘方蓋上+掘方 破片	厚・0.8	還・酸化・硬。純灰7.5YR5/1。 並、やや重。白色粒多、他鉄物少。	内面に組作當具不明。外側に浅い板目状凹 と撫。	接・3片 太田か
196-9 162-18	須恵器 鋸輪車	覆土	長径・4.3	酸化・硬。純灰7.5YR6/3。 並、やや重。白粒、白底物含。	底盤周辺を打ち欠き、穿孔し、鋸輪車形を なす。系切輪縫右回転。	粘
196-10 162-19	土製品 土器	掘方 ほぼ完形	底・4.4 横・1.1	還元・並。オリーブ灰5Y6/1。 並、やや重。白粒、白底物少。	全体吸収黒ずむ。表面滑らかであるが少し荒 れる。穿孔形は、小孔で近円形。	
196-11 162-20	土製品 土器	覆土 ほぼ完形	長・5.1 径・1.6	酸化・並。純黃10YR7/3。 並、やや重。白底物含。	全体酸化。表面滑らか。両口縫欠損あり。穿 孔形は、小孔で近円形。	
196-12 162-16	須恵器 坏	覆土 3/4	口・12.5 底・7.0	還元・硬。褐灰2.5YR5/1。 密、重。白色粒多、他少。	輪縫成形右回転。底盤は回転糸切り。	

第80号住居跡

埠図番号 四版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 産 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
197-1 162-22	須恵器 坏	罐内	口・(13.2)	還元・硬。黄灰2.5Y5/1。密、 やや重。白色粒合、鉄物少。	口縫部は外傾する。輪縫成形(右回転)。底部 は回転糸切り。内面に重ね燒色変あり。	接・2片 笠・太か
197-2 162-22	須恵器 坏	野窓穴内 一部欠損	口・12.6 底・7.0	還元・硬。黄灰2.5YR5/1。 密、重。白色粒合。	口縫部は外傾する。輪縫成形(右回転)。底部 は回転糸切り。外側口縫部に重ね燒色変。	接・6片 笠懸

第90号住居跡

辨認番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石英材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
197-3	須恵器 环?	貯藏穴内+瓶 2/3	口・14.2 底・(8.0)	還元・硬。灰褐7.5YR5/2。 密、やや重。	口縁部は外傾する。輪縁成形(右回転)。底部は回転余切り。	接・2片 太田か
197-4	須恵器 环?	貯藏穴内 1/4	口・(15.0)	還元・並。灰5Y5/1。 密、やや輕。軸物微。	口縁部は外傾。輪縁成形(右回転)。内外とも使用の摩耗大。外間に煤のような黒色物付着。	接・2片 塗・粘
197-5	須恵器 三	掘方+貯藏穴 一部欠損	口・12.3 底・7.2	還元・硬。灰黄2.5Y6/2。 密、やや重。白色粒多。	口縁部は外傾する。輪縁成形(右回転)。高台付口高台。底部は回転余切り。	接・3片 太田か
198-1	須恵器 双耳	貯藏穴内 破片	口・(16.0)	中性・硬。灰N5/0。並、やや重。 白色粒合、他軸物少。	輪縁目、目立ず。外間に耳を張り付け、耳部は繊細な鑿整形で、作調丁寧。	粘・陶
198-2	須恵器 環双耳			還元・軟。灰5Y6/1。 白色粒合、他軸物微。	耳片で各面筋は繊細な対立仕立による。作調は丁寧。胎土は軽く、緻密でない。	粘
198-3	土師器 台付甕	貯藏穴内 1/2	口・(13.9) 底・(10.5)	酸化・硬。純赤褐色SY4/3。 並、やや重。近鉛母、褐粒合。	型作りか。体部外面にサクサクの窓網。外面中位下部に被熱と少し吸炭。内面難調で。	接・19片 太田か

第93号住居跡

辨認番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石英材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
199-1	土師器 环	電右側袖 1/3	口・(13.0)	酸化・並。純橙7.5YR6/4。 粗、白。白色粒合。	口縁部は内凹気味。型作り。底部は窓網り、体部に直肩。口縁部・器内面は横撫で整形。	接・2片 太田か
199-2	土師器 皿・墨書き	電左土 2/3存	口・(15.45) 底・14.3	酸化・並。純橙7.5YR6/6。並、 やや輕。白色粒、黒駆物、他微。	口縁部直肩気味。外圓形肩。底面に窓網、「土」 か墨字。口縁部・内外から内面に撫。	接・5片 墨書き・30
199-3	土師器 蓋	覆土 破片	口・(18.1)	酸化・硬。純橙7.5YR6/4。並、 やや重。白色粒合、駆物少。	口縁部下外面に接合板と指圧痕。体部外面は撫、口縁部は横撫で。	
199-4	須恵器 环	覆土 底盤片	底・7.8	還元・硬。灰褐7.5YR4/1。 並、やや重。白・褐粒合、他少。	底面窓網右回転窓網。内面使用摩耗あり。内面にほね燒色変り。	笠か
199-5	須恵器 环	電右側袖 底盤片	底・7.8	酸化・並。純赤褐色SY5/4。 並、やや重。白・褐粒合、他少。	内面窓網あり、内面摩耗、被熱黑色化焼失、 底面窓網右回転窓網後周辺を回転裏削。	接・2片 太田か
199-6	須恵器 鏡	覆土 底盤片	底・(9.4)	還元・軟。灰N5/0。並、やや輕。 白・駆物少。	輪縁成形(右回転)。底部は余高台貼付後回転裏削。内面少し摩耗。	粘
199-7	須恵器 环底	電圓方 1/4	口・(14.4)	還元・硬。灰N5/0。並、軽。 白色粒少、他駆物少。	上半部は輪縁右回転窓網り、下半部輪縁目。器面少し摩耗。	接・3片 粘
199-8	須恵器 短角蓋	電方 破片	口・(13.0)	還元・並。灰5Y6/1。並、やや輕。 白色粒少、他駆物少。	台付短角蓋の轍か。割れ口は旧穴であるが、 消耗ほとんどない。	粘
199-9	土師器 鋸鋸車	床直	巾・5.0 厚・2.5	酸化・並。灰褐7.5YR4/2。並、 やや重。白色・褐・白色粒合、駆物少。	表面に調査時欠損の削り。整形は側部、裏面に纏かな研磨有、さらに使用摩耗か。	
199-10	土製品 土鍋	覆土 完形	長・5.0 重・14.2g	酸化・軟。純橙7.5YR7/4。 並、やや重。駆物極めて少。	幅1.7、元径0.25で正円形。胎土は緻密。器面 も緻密である。	
199-11	土製品 土鍋	覆土 1/2以上	直径・0.85 重・1.7	酸化・軟。純橙7.5YR6/4。並、 やや重。駆物粒はほんどうなし	管状。元径は0.3cm正円形。外面は滑らか。 上・下端周時欠損。	粘

第84号住居跡

辨認番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石英材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
201-1	土師器 环(平底)	床直 2/3存	口・(12.8) 底・7.5	酸化・硬。純橙2.5YR6/6。 密、やや重。白・褐粒合、他少。	製作りか。底部は窓削り、口縁部・器内面は 横撫で、体部外表面窓削りで「長」墨書きあり。 墨書き・31	接・2片 太田か
201-2	土師器 环(平底)	床崩 ほぼ完形	口・13.0 底・7.6	酸化・硬。純橙2.5YR5/4。 密、やや重。駆物微。	口縁部は内斜。底部は窓削り。体部に指など の圧印。口縁部・器内面は横撫で。	接・5片 粘・陶
201-3	土師器 环(平底)	床直 一部欠損	口・13.0 底・7.3	酸化・硬。純橙2.5YR6/6。並、 やや重。白色粒合、駆物微。	製作り。底部は窓削り、口縁部・器内面は横 撫で、特徴的に硬質、溝作り。	接・2片 粘・陶
201-4・5	土師器 要	覆土 1/2	口・11.8	酸化・並。褐7.5YR4/3。 茶褐粒・駆物多。	「コ」の字状口縁。型作り。器外表面は窓削り、 器内面は窓で、口縁部は横撫で。内面少しハゼ。	5片 墨書き・31
201-6	土師器 要	電圓方覆土 破片	口・(11.6)	酸化・並。純2.5YR6/。 並、軽。白・褐粒合、駆物少。	口縁部は外反、内側に接合部。器外表面は窓削、 器内面は窓で、口縁部は横撫で。外側窓。	
201-7	土師器 台付要	床崩 1/2		酸化・硬。褐7.5YR4/4。並、 白色粒合、茶褐粒見えず。	口縁部・脚部欠損する。外圓形脚部は窓削・窓 撫。内面窓部は窓削。	接・2片 太田か
202-1	土師器 要	覆土 破片	口・(19.6)	酸化・硬。明赤褐2.5Y5/6。	口縁部下面に接合痕。器外表面は窓削り。器 内面は窓で、口縁部は横撫でを施す。	
202-2	土師器 要	覆土 破片	口・(20.7)	酸化・硬。並、橙5Y6/6。	口縁部に粘土接合面。器外表面は窓削り、器 内面は窓削で、口縁部は横撫でを施す。	

第84号住居跡

埠団番号	種別	出土位置	度目(cm)	焼調・色調・胎土 (石炭材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
回版番号	器種	遺存度	量目(g)			
202-3	須恵器 环	瓢型覆土 破片	口・(13.0) 高・(3.75)	中性・軟。黄灰2.5Y7/2。 並、や軽。白色粒多、他鉱物微。	口縁部は外傾。燒成形(右回転)。底糸切。内外に墨色斑。全体に消耗。	接・2片 粘
202-4	須恵器 环	床直 1/3	口・(13.4) 底・6.6	中性・並。灰白2.5YR7/2。 粗、やや軽。白色粒合。	口縁部は外傾する。燒成形(右回転か)。底部は回転糸切。体部は燒成左回転気味。	接・2片 粘
202-5	須恵器 环	覆土 1/4	底・(5.1)	還元・硬。灰N4/0。並、やや重。 白色粒多、他鉱物少。	口縁部は欠損する。燒成形(右回転)。底部は糸切。薄れ口こし摩耗。	接・2片 粘
202-6	須恵器 环・墨書	覆土 破片	底・(6.0)	還元・並。浅黄2.5Y7/2。並、 軽。白色粒微、他鉱物微。	底面に燒成右回転糸切あり。内面の燒成目発達せず。内面に不明墨字あり。	墨書・32 9 C粘
202-7	須恵器 碗	床直+覆土 3/4	口・(13.8) 底・7.7	中性・並。純黄禮10YR6/4。 並、やや重。シルト質近似。	口縁部は外傾。燒成形(右回転)。高台付高台。底部は回転糸切。弱い煙かかる。	接・2片 粘
202-8	須恵器 碗	覆土 底部片	底・(6.6)	酸～中性・灰黄2.5Y6/2。 並、やや重。鉱物微。	燒成形(右回転)。高台付高台。底部は回転糸切。外面焼。内面重ね焼吸損部分あり。	
202-9	須恵器 碗	竈右側袖 破片	底・(7.4)	中性・軟。純黄禮10YR6/3。 粗、やや軽。鉱物微。	口縁部欠損。燒成形(右回転)。高台付高台。底部は回転糸切。全体に消耗。	粘・陶
202-10	須恵器 碗	覆土 口縁欠損	底・8.6	還元・硬。灰N5/0。並、やや重。 黒色粒多、鉱物合。	組立て後焼成形。上半と内面に燒成目、外 面下半回転窪形目あり。高台貼付。	接・10片 粘・陶
202-11	須恵器 高环	床直 脚部片	高・(8.9)	還元・硬。灰N6/0。並、密。 白色粒合。他鉱物合。	外面部とも、燒成目は見えるが、平滑。内面 にしきり目少し立つ。上端部使用摩耗。	粘・陶
202-12	土製品 土器	床直 完形	長・4.2、巾・1.2 底・5.0g	酸化・軟。黑2.5Y2/1。並。 鉱物粒少。	全体的に吸損している。表面は研磨板が見え るが摩耗のため不明瞭。	
202-13	土製品 土器	床直 3/4	巾・1.0 重・3.0g	酸化・並。純禮2.5Y6/4。並。 金青母合、鉱物微。	表面緻密である。小口欠損。最大幅部に厚 みあり。	
202-14	石造品 内形容石	覆土 完形	理質頁岩 重・5.4g	長・2.4、巾・2.25、厚・0.65	表面は手づれ様の光沢あり。旧状は自然石。 墨色を呈し、平面形歪円形。	

第85号住居跡

埠団番号	種別	出土位置	度目(cm)	焼調・色調・胎土 (石炭材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
回版番号	器種	遺存度	量目(g)			
203-1	土師器 碗	電左側袖 一部欠損	口・13.0 底・8.0	酸化・並。純赤褐5YR5/3。 並、やや重。白色粒合。	口縁部に粘土帯接合痕。内面は左右不明の 擦で整形と小ハビ。外面に指圧痕あり。	粘
203-2	土師器 壺	電左側袖 破片		酸化・並。純赤褐5YR5/4。 並、やや重。白色・褐色合。	器厚は厚い。外面に粘土付着その下に窓拂あり。 内面に接合痕、糊痕痕。	
203-3	須恵器 环	床屑 3/4	口・11.6 底・5.4	還元・硬。純黄禮10YR6/3。 並、やや重。白色粒合。	口縁部は外傾する。燒成形(右回転)。底部 は回転糸切り。内・外面に墨色斑。	粘・陶
203-4	須恵器 环	覆土 破片	口・(11.5) 高・(3.0)	酸化・並。禮2.5YR6/8。並、 やや重。白・褐色合、他鉱物微。	口縁部は外傾する。燒成形(右回転)。底部 は回転糸切り。外面上地と黒斑あり。	粘・陶
203-5	須恵器 环	床直 一部欠損	口・11.4 底・5.4	中性・並。純黄2.5Y6/3。 並、やや重。白色粒。	口縁部は外反する。燒成形(右回転)。底部 は回転糸切り、内に吸収斑と窓拂がある。	粘
203-6	須恵器 碗	床屑 1/2	底・6.8	中性・並。純禮2.5YR6/4。 並、やや重。白色粒。	燒成形(右回転)。高台付高台。底部は回 転糸切り。	粘・陶
203-7	須恵器 环・墨書	覆土 破片	還元・並。禮2.5YR7/3。 並、軽。黒鉱物合、他鉱物微。	内面に燒成目と不明の墨字あり。外面に糸切 後、周囲を回転窓拂し、さらに工具痕あり。	粘	
203-8	土製品 窓材か	床直	長(14.6) 1200g	酸化・軟。禮2.5Y6/6。 白色・褐色粒多、鉱物多。	内面に隔壁状圧痕あり。側面圧痕不明瞭で 墨見え。黄灰色土付着。被熱色変不明。	墨書・33

第86号住居跡

埠団番号	種別	出土位置	度目(cm)	焼調・色調・胎土 (石炭材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
回版番号	器種	遺存度	量目(g)			
204-1	土師器 环小形 小片	覆土	口・(8.0)	酸化・並。純禮5YR6/4。 褐色、金青母合、シルト質。	底部は窪形り、体部に押紋痕。口縁部・器内 面は横擦で整形。割れ口は少し消耗。	
204-2	須恵器 环	床直 ほぼ完形	口・11.2 底・6.1	還元・硬。純禮2.5YR6/4。 並、やや重。鉱物合。	口縁部は外傾する。燒成形(右回転)。底部 は回転糸切り。黒色の吸収斑あり。	接・4片 粘・陶
204-3	須恵器 环	床直 ほぼ完形	口・11.6 底・5.8	還元・硬。灰黄2.5Y6/2。 並、やや重。白色粒合。	口縁部は外傾する。燒成形(右回転)。底部 は回転糸切り。糸切のうろい。	接・4片 粘・陶
204-4	須恵器 环	床直 3/4	口・12.6 底・7.1	還元・並。灰Y6/1。密、重。	燒成形(右回転)。底部は回転窪形。内面に重ね燒色変あり。全体に少し摩耗。	接・5片 笠懸
204-5	須恵器 环・墨書	覆土下層 1/3	口・(12.6) 底・(5.6)	酸化・硬。明赤褐5YR5/6。 並、やや重。白・褐色合、他少	燒成形(右回転)。底部は回転窪形。体部外 面に2～3字の墨字あり。	粘 墨書・34

第86号住居跡

埠団番号 固版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 産 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石炭材の度目)	形狀・技法等の特徴	摘要
204-6	須恵器 壺	覆土 1/4	口・(12.8) 底・(7.2)	還元・黒。灰 N5/0。密、重。 白色粒合、他鉱物微。	口縁部は外反する。織籠成形(右回転)。底部 は回転糸切り。内面底使用時の摩耗あり。	太田か 笠融か
204-7	須恵器 壺	掘方 底部3/4	底・8.0	還元・硬。灰 N5/0。密、やや重。 白色・灰・褐色合、他鉱物微。	口縁部は欠損する。織籠成形(右回転)。底部 は回転糸切り後、周縁部の回転削り。	笠融か
204-8	須恵器 壺	床直 底部片	底・8.8	中性・並。オリーブ黄5YR6/3. 並。金青粒入。鉱物少。	口縁部は欠損する。織籠成形(右回転)。高台 基盤部は回転置削。	基 盤
205-1	須恵器 壺	掘方 口縁片	口・(14.0)	還元・硬。灰黄2.5Y5/2.並、 やや重。白色粒合、他微。	織籠成形。織籠目立ず、織籠の回転条痕目立 ず、割れ口に消耗少ない。	粘・陶 6544同か
205-2	須恵器 壺	掘方 口縁片	口・(14.0)	還元・並。灰黄2.5Y5/2.並、 やや重。白色粒合、他微。	織籠成形。織籠目立ず、織籠の回転条痕あり。 粘・陶 6545同か	粘・陶 6545同か
205-3	須恵器 内窓・壺 小片	覆土 底部片	口・(15.6)	酸化・硬。明赤褐5YR5/6. 並。白・金青粒入。鉱物粒少。	織籠成形(右回転)。器内面に研磨を施す。内 黒。内面に使用消耗少、割れ口に被熱痕。	
205-4	須恵器 内窓・壺 底部片	覆土 底・6.6	酸化・並。橙5YR7/6. 粗・乾。褐色合、シルト質。	織籠成形。器内面に研磨を施す。高台は欠損 する。器内・割れ口少し消耗。	接・3片	
205-5	須恵器 壺	覆土 破片	底・8.0	還元・硬。褐灰2.5YR4/1. 密、重。白色粒微。	紐作り後織籠成形。外面に凹、内面の當目不 明瞭である。割れ口に消耗少。	西毛へ崎 玉
205-6	粘土塊	覆土 巾・2.8	底・2.8	酸化・並。灰黄褐10YR4/2. 並、輕。白・褐色合、他少。	表面にスサが付着した痕跡。内部にスサ見え ず。手で捏ねて固めたような形。	
205-7	粘土塊	覆土 巾・2.6	底・2.6	酸化・硬。純橙2.5YR6/4. 並、輕。褐色合、他少。	スサを多く外間に見え。手で捏ねて固めたよ うな形。色調は少し焼され気味。	

第96号住居跡

埠団番号 固版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 産 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石炭材の度目)	形狀・技法等の特徴	摘要
206-1	土師器 甕	覆土 口縁部周辺	口・(18.0)	酸化・硬。明赤褐5YR5/6. 並、やや重。白・褐色合、他微。	内・外ともハゼ剥落多。型作りか。外面は指 接・8片 压紋、原座。内面は擦・口縁部は横擦。	
163-23	甕	底	-	-	-	
206-2	土師器 甕	68位電石右+覆 土口縁部周辺	口・(19.8)	酸化・硬。橙5YR6/6.並、 やや重。白色・褐色微、他微。	頸部外面に口縁部粘土接合。型作りか。外面 接・5片 は原座、内面は齊刷、口縁部は横擦。	
163-22	甕	底	-	-	-	
206-3	土師器 甕	床直 1/4	口・(19.5)	酸化・並。にいぶ赤褐2.5YR5/4. 並、やや重。金青粒入赤鉄物	「コ」の字の口縁。接合面3カ所あり。外面 は斬削り、器内面は斬削で、口縁部は横擦。	接合29片
164-1	甕	底	-	-	-	
206-4	土師器 甕	床直 口縁部周辺	口・(20.0)	酸化・硬。明赤褐5YR5/6.並、 やや重。白・褐色合、他少。	頸部外面に粘土帶接合あり。型作りか。外面 は斬削り、内面は斬削で、口縁部は横擦。	接合9片
163-24	甕	底	-	-	-	
206-5	土師器 甕	床直+覆土 口縁部周辺	口・(22.1)	酸化・硬。明赤褐5YR5/6.並、 やや重。白色・褐色微、他少。	頸部に接合あり。型作りか。外面は斬削り、 内面は斬削で、口縁部は横擦。鉛無。	接合9片
164-2	甕	底	-	-	-	
206-6	土師器 甕	床直 底部片	底・4.0	酸化・軟。にいぶ赤褐5YR5/4.	器内は厚い。外面斬削り。内面は斬削でを施す。 外面被熱色変と焼あり。	
164-3	甕	底	-	-	-	
206-7	須恵器 壺	床直 完形	口・12.6 底・7.0	酸化・並。灰黄2.5Y5/2.密、 やや重。鉱物合。	口縁部は欠損する。織籠成形(右回転)。底部 は回転糸切り後回転斬削り。	
163-25	壺	底	-	-	-	
206-8	須恵器 壺	床直 一部底欠	口・12.6 底・7.0	還元・並。灰5Y5/1.並、 やや重。白色粒・鉱物合。	口縁部は外傾する。織籠成形(左回転)。底部 は回転糸切り後回転斬削形、重焼痕。	口縫煤 笠・太田
163-26	壺	底	-	-	-	
206-9	須恵器 壺	床直 3/4	口・13.6 底・8.2	中性・並。灰黄5Y7/2.並、 やや重。鉱物微。	口縁部は外傾する。織籠成形(右回転)。底部 は回転斬削り。欠損旧時。	
163-27	壺	底	-	-	-	
206-10	須恵器 壺	床直 1/4	口・(14.0) 底・(7.0)	酸化・並。明赤褐5YR5/8.並、 密。白・褐色合、鉱物微。	口縁部は外傾する。底部は右回転斬削り。内 外面に織籠目数多い。	接合2片 粘・陶
163-28	壺	底	-	-	-	
207-1	須恵器 壺	床直 破片	口・(15.0) 底・(9.0)	中性・軟。灰白5Y7/2.粗、 軽。茶褐粒合。鉱物多。	底部欠損のため切り離し 技法不詳。堆積く、全体に消耗。	
164-5	壺	底	-	-	-	
207-2	須恵器 壺か 口縁部片	覆土 口縁部片	-	還元・並。にいぶ黄2.5YR6/3. 並。やや重。褐色合、他合。	口縁部は外傾する。織籠成形。底部欠損のた め切り離し技法不詳。割れ口消耗少。	粘
207-3	須恵器 壺 环内無	覆土 底部片	底・(6.0)	酸化・並。橙5YR6/5.並、 やや重。白色粒合、シルト質。	内面に黑色強炭化、研磨あり。底面に糸切痕 あり。器間、割れ口とも消耗大。	粘
207-4	須恵器 壺	床直 完形	口・13.5 底・9.0	還元・並。灰5Y6/1.並、 やや重。白色粒・鉱物微。	織籠成形(右回転)。底部は糸切後回転斬削り。	粘・陶
164-7	壺	底	-	-	-	
207-5	須恵器 壺	床直 1/2	口・(15.1) 底・(10.7)	還元・軟。にいぶ黄10YR7/2. 並。白・褐色合、鉱物微。	高台内面に不明墨字あり。内面に使用摩耗あ り、部分的に吸収あり。	墨書き-35
164-6	壺	底	-	-	-	
207-6	須恵器 壺(底無)	覆土 完形	底・5.2	還元・硬。はい5Y5/1.並、 白色粒・はい鉱物合、他微。	底面に織籠右回転の糸切痕。荒ら削部分が2 カ所に残るほか側部を研磨面取り。	粘
164-4	壺	底	-	-	-	
207-7	須恵器 壺	床直 底部のみ	底・8.2	酸化・軟。灰黄褐10YR4/2. 並。やや重。	底部は織籠右回転糸切り後周囲を回転斬削 り。内面摩耗、「メ」の刻字あり。少削耗。	笠か
164-8	壺	底	-	-	-	

第67号住居跡

辨認番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	概 要
208- 1	土師器 壺	覆土 口縁部片	口・(22.0)	酸化。並。によい褐7.5YR5/3。 並。やや重。白色粒・金雲母含。	脚部外面に接合面。型作りか。器外は荒削り、器内面は荒削で、口縁部は横擦でを施す。	接合2片
208- 2	土師器 台付壺	覆土 破片		酸化。並。黒褐5YR3/1。 並。やや重。白・褐粒含。他少。	剥削口摩耗。脚部の内・外面横擦。脚部外面も横擦。外面上少し吸度気味。	接合3片
208- 3	須恵器 壺	覆土 1/4	口・(12.2) 底・(5.6)	中性。軟。灰黄2.5YR6/2。並。 紅。白色粒少。他無物少。	口縁部は外反する。横擦成形(右回転)。底部 は回転糸切り。全体に消耗する。	粘
208- 4	須恵器 壺	床直 3/4	口・14.6 底・8.8	中性。軟。灰オリーブ5Y6/2。 粗。輕。他無物。	口縁部は外傾。横擦成形(右回転)。高台付け 高台。底部は回転窪整形。内・外少し摩耗。	接合4片 粘
208- 5	須恵器 壺	覆土 2/3	口・14.6 底・8.6	還元。硬。灰黄2.5YR6/2。密。 やや重。他無物。	口縁部は外傾。横擦成形。高台付け高台。底 部は右回転糸切り。外面上少しあくあり。	接合7片 笠か
208- 6	須恵器 小瓶 壺	覆土 剥離部片 底部のみ		還元。並。灰白5Y7/1。密。重。 黒・褐粒含。他摩耗で微。 並。やや重。	内面に水浸状の擦磨目。黑色漆付着。外面上 半に回転窪形。後削痕あり。 内面摩耗。「メ」の刻字あり。少削耗。	器外搬入 か

第68号住居跡

辨認番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	概 要
209- 1	土師器 壺	覆土 小片	口・(10.4)	酸化。並。によい赤褐5YR5/3。 並。輕。金雲母含。	口縁部は内傾気味。型作り。底部は剥削り、 体部に型崩。口縁部・器内面は横擦で整形。	接合2片
209- 2	土師器 壺	覆土 1/4	口・(12.0)	酸化。並。褐色5YR6/6。密。 褐粒多。他少。シルト質。	口縁部は外反する。型作り。底部は剥削り、 体部に型崩。口縁部・器内面は横擦で整形。	接合2片
209- 3	土師器 壺	覆土+窓 1/3	口・18.7	酸化。並。によい褐7.5YR。 並。やや重。金雲母・金雲母含。	「コ」の字状口縁。型作りか。器外は荒削り、 器内面は荒削で、口縁部は横擦でを施す。	接合2片
209- 4	土師器 壺	床直 3/4	口・(13.4) 底・3.0	酸化。並。によい赤褐5YR5/4。 密。やや重。褐粒含。	型作り。器内面に暗文を施す。器外面上には型 崩・指痕痕を残す。欠損は旧時。	粘・海 岸

第69号住居跡

辨認番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	概 要
210- 1	土師器 壺	覆土 口縁部1/3	口・(19.5)	酸化。並。明赤褐2.5YR5/8。 並。やや重。金雲母含。他少。	器外面上は荒削り、器内面は荒削で、肩部に型 崩。口縁部は横擦で。外面上吸度。	接合2片
210- 2	土師器 壺	覆土+床直 剥離上半	口・20.6	酸化。並。赤褐4.5YR5/4。 並。やや重。金雲母・金雲母含。	「コ」の字状口縁。型作りか。器外面上はサザ ラ状窪削り、器内面は荒削で、口縁部は横擦。	接合9片
210- 3	土師器 壺	窓埋土 小片	口・(21.4)	酸化。並。赤褐2.5YR5/6。並。 紅。金雲母粒入。他無物含。	脚部内面に接合面。器外面上は荒削り、器内面 は荒削で。口縁部は横擦で。外面上に吸度あり。	接合3片
210- 4	土師器 壺	ピット覆土	口・(22.0)	酸化。並。によい赤褐5YR4/4。 並。金雲母・金雲母含。	口縫部下外面上に指の痕。外面上は荒削り、器 内面は荒削で。口縫部は横擦で。外面上吸度。	接合2片
210- 5	土師器 壺	窓埋土	底・(4.6)	酸化。並。赤10YR4/6。並。 白色粒・金雲母含。	外面上窪。底面細砂付着後、一方向からの窪 削。内面窪削後、さらに擦がかかる。	接合2片
211- 1	須恵器 壺	貯蔵穴内 完全形	口・12.3	還元。硬。黃灰2.5Y5/1。並。 白色粒・金雲母含。他無物少。	口縫部は外傾する。横擦成形(右回転)。底部 は回転糸切り。火揮痕あり。	粘
164-13		底・6.3		白色粒子含。		
211- 2	須恵器 壺	床直 一部欠損	口・13.2	還元。軟。黃灰2.5Y5/1。密。 白色粒子含。	口縫部は外傾する。横擦成形(右回転)。底部 は回転糸切り。	接合2片
164-15		底・6.8				
211- 3	須恵器 壺	貯蔵穴内 完全形	口・13.3	還元。軟。黃灰2.5Y4/1。並。 白色粒子含。	口縫部は外傾する。横擦成形(右回転)。底部 は回転糸切り。	笠透か
164-14		底・7.2				
211- 4	須恵器 壺	貯蔵穴内 完全形	口・13.2	還元。絆。黃灰2.5Y5/1。密。 白色粒子含。	内・外面上に横擦目多。体部外面上に「主」墨字。 底面に不明墨字。底面は右回転糸切り。	太田か 墨書-36
164-17		底・6.6				
211- 5	須恵器 壺	貯蔵穴内 完全形	口・13.2	還元。並。灰オリーブ5Y6/2。 並。白色粒・金雲母含。他無物少。	底面上に横擦右回転の糸切痕あり。体部外面上に 「主」墨字あり。内面少し使用摩耗。	墨書-37
164-16		底・7.0				
211- 6	須恵器 壺	床直 2/3	口・13.7	還元。硬。黃灰2.5Y5/1。並。 白色粒子含。	底面上は横擦右回転糸切り。さらに不明墨字あり。 体部の内・外面上に横擦目多。	墨書-38
164-19		底・6.6				
211- 7	須恵器 壺	貯蔵穴内 完全形	口・(13.4)	還元。並。灰5Y6/1。並。 白色粒子含。	横擦成形(右回転)。底部は回転糸切り。体部 外面上に「主」か墨字あり。	墨書-39
164-20		底・7.0				
211- 8	須恵器 壺	貯蔵穴内 一部欠損	口・13.8	還元。軟。灰白5Y7/1。並。 白色粒子含。	口縫部は外傾する。横擦成形(右回転)。底部 は回転糸切り。横擦目多。	接合3片
164-23		底・7.4				
211- 9	須恵器 壺	貯蔵穴内+覆土 1/2	口・(15.4)	酸化。並。灰褐2.5YR6/2。 白色粒多・褐粒含。他無物少。	横擦右回転。底部は右回転窪整形後、回転の高 台貼付後痕。外「甲」か記号、文字らしき墨痕。	粘・陶 9 C前
164-21		底・(9.1)				
211- 10	須恵器 内窓墨書	覆土 破片		酸化。並。5YR6/6。	器内面に研磨を施す。外面上に不明墨字あり。 内窓外面口縫部にもおよぶ。	墨書-41

第89号住居跡

辨認番号 固有番号	種 別 器 種	出土位置 遺 有 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
211-11 165-1	須恵器 内墨坏	床底穴内 3/4	口・13.8 底・7.4	酸化。並。にぶい黄橙10YR6/4。 粗。白色粒微	輪縁成形(右回転)。器内面に研磨を施す。底 部は右回転糸切り。外面口縁部側も吸成。	粘
211-12 164-22	須恵器 内墨坏	床底穴内 3/4	口・16.0 底・7.9	酸化。並。にぶい黄橙10YR6/4。 粗。白色粒微	輪縁成形。器内面に黑色処理と研磨を施す。 底部は右回転糸切り。	接合4片 粘
211-13 165-2	須恵器 坏蓋	覆土 1/2	口・13.0 高・2.9	還元。並。灰5Y6/1。並。粗。 白色粒子。	輪縁成形(右回転)。上半部は回転 糸切り。内面ほか輪縁目。	接合4片 台地か
211-14 165-14	須恵器 蓋	覆土	口・(16.6)	還元。並。灰オリーブ5Y6/3。 並。粗。白色粒合、灰色鉱物多。	内・外面上に輪縁目あり。外面上方に輪縁右回 転の糸切り。口縁部外面と内面に横焼色変。	粘
211-15 165-8	須恵器 皿	床底 一部欠損	口・14.2 底・7.5	還元。灰。灰2.5Y7/1。粗。 白色粒多。	輪縁成形(右回転)。高台付け高台。底は右回 転糸切り。	接合3片 粘
212-1 165-9	須恵器 豆甕(?)	床底 破片	長・17.3 幅・9.3	還元。灰。灰5Y4/1。密。重。 白色粒・鉱物合、他少。	平行叩き。内面当具は青海波文で表面は摩耗 しているが崩壊なし。側部打ち欠き。	側部に使用摩耗光沢あり。表・裏にも使用傷 あり。裏面に圓錐の正円の施文あり。
212-2 165-9	土製品 紡錘車	確認面 完形	32.95 g 径・4.4	酸化。並。にぶい橙2.5YR5/1。 白色粒多。	側部に使用摩耗光沢あり。表・裏とも使用傷 あり。裏面に圓錐の正円の施文あり。	
212-3 165-3	石造品 砥石	覆土 中央部欠	砥沢石 340+α	還元。底・ 長・12.2+α 幅・6.9	使用は表・裏・側部と奥小口の一部の5面に あり。手前の小口は、旧原石面か不明。	

第90号住居跡

辨認番号 固有番号	種 別 器 種	出土位置 遺 有 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
213-1 165-4	土師器 杯(平底)	床底 一部欠損	口・14.2 底・10.2	酸化。並。橙5YR6/6。並。 粗。	口縁部は外傾する。型作り。底部片は糸切り。 内面に放射状暗文あり。口縁部・内面は横擦。	接合6片 粘
213-2	土師器 杯	覆土 小片	口・(12.8) 底・(11.9)	酸化。並。明赤褐5YR6/8。並。 粗。白色粒微、他鉱物微。	口縁部は外傾する。型作り。底部は糸切り。 体部に大きな型崩。口縁部・内面は横焼形態。	
213-3	土師器 杯	覆土 小片	口・(20.4)	酸化。並。明赤褐2.5YR5/6。 並。粗。白・金雲母合、他微。	口縁部は外傾する。器表面は糸割り、内面 は糸割り。口縁部は横擦で施文。	接合3片 粘
213-4	土師器 甕	覆土 小片	口・(21.0)	酸化。粗。橙7.5YR6/6。並。 やや重。金雲母合、他鉱物少。	口縁部下内面に横擦面。頸部外面指圧痕。外 面は糸切り。口縁部は横擦で。	接合2片 粘
213-5	土師器 台付甕	床底+覆土 脚部片	底・(10.8)	酸化。並。明赤褐2.5YR5/8。 並。やや重。金雲母合、他鉱物少。	脚部内・外面に横擦あり。外面少し被熱。器 面消耗あり。裏面内面は横擦気味。	接合2片 粘
213-6	須恵器 杯	床底 3/4	口・12.0	還元。灰。灰5Y5/1。密。白色 粒微。	口縁部は外傾する。輪縁成形(右回転)。底部 は回転糸切り。器内やや厚い。	接合3片 太田か
213-7 165-6	須恵器 杯	床底+覆土 1/2	口・(12.3) 高・ 3.8 底・(8.0)	還元。灰。暗青灰BB4/1。密。 重。白色粒・鉱物合。	輪縁成形(右回転)。底面糸切り。内・外面の輪 縁目大まく。外面部底に糸切そなれ。	太田か
214-1 165-7	須恵器 環	床底 ほぼ完形	口・12.3 底・7.3	還元。灰。灰7.5Y5/1。並。や や重。白色粒・鉱物少、他少。	輪縁成形(右回転)。底面糸切り。外面 に「福」墨字あり。内面底に使用光沢。	粘・陶 墨書-42
214-2 165-18	須恵器 杯	覆土 一部欠損	口・12.4 底・6.4	還元。灰。灰10Y5/1。密。重。 鉱物微。	口縁部は外傾する。輪縁成形(右回転)。底部 は回転糸切り。	接合4片 太田・笠
214-3 165-11	須恵器 杯	覆土 1/3	口・(12.5) 底・(8.0)	還元。並。灰5Y6/1。粗。白色 粒子多。	口縁部は外傾する。輪縁成形(右回転)。底部 は回転糸切り。	接合7片 粘
214-4 165-12	須恵器 杯	覆土 2/3	口・13.0 底・7.3	還元。灰。灰4.5Y7/1。粗。粗。 鉱物合。	口縁部は外傾する。輪縁成形(右回転)。底部 は回転糸切り。使用の摩耗らしき消耗あり。	接合3片 太田
214-5 165-15	須恵器 环墨器	床底 ほぼ完形	口・13.0 底・7.8	還元。灰。灰7.5Y6/1。密。重。 白・暗青粒合、他鉱物少。	底部は右回転糸切り。体部外面に不明瞭字 あり。口縁部外間に横焼色変あり。割れ口消耗。	粘・陶 墨書-43
214-6 165-14	須恵器 杯	覆土 2/3	口・13.1 底・7.0	還元。灰。にぶい黄橙10YR6/3。 密。白色粒微	口縁部は外傾する。輪縁成形(右回転)。底部 は回転糸切り。底面に傷痕あり。	接合3片 粘
214-7 165-16	須恵器 环墨器	床底 完形	口・13.1 底・8.1	還元。灰。灰5Y6/1。密。重。 白・暗青粒合、他鉱物少。	輪縁成形(右回転)。底部は回転糸切り。体部 外面に「主」墨字あり。内面底使用光沢。	粘・陶 墨書-44
214-8	須恵器 甕	覆土 破片	厚・0.7	還元。綠。灰N5/0。並。やや粗。 白色粒・鉱物多・他合。	組作り後叩き整形。外圍は格子叩き。内面充 分は青海波文。割れ口少し消耗あり。	太田
214-9	須恵器 甕	床底 破片	厚・1.2	還元。綠。灰7.5Y6/1。密。重。 白・鉱物極多・他少。	組作り。外圍平行叩き、自然崩。内面は素文 の当て目。中央に欠損後使用摩耗光沢。	東海搬入

第91号住居跡

辨認番号 固有番号	種 别 器 種	出土位置 遺 有 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
215-1	土師器 杯	覆土 小片	口・(10.8) 底・(9.4)	酸化。並。にぶい赤褐5YR5/3。 並。粗。白色粒合。他微。	口縁部は内焼気味。型作り。底部は糸割り。 体部に型崩。口縁部・内面は横擦で。	接合4片 粘

第91号住居跡

辨認番号	種別	器種	出土位置	度目(cm)	焼調・色調・胎土 (石塗材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
回収番号			遺存度	量目(g)			
215-2	土師器	甕小形	覆土 小片	口・(13.0)	酸化。並。明赤褐色2.5YR5/6。 並。輕。白粒合、他鉄物少。	口縁部は外反。器外面は斬削り、器内面は斬削りで、口縁部は横擦で施す。割れ口消耗。	
215-3	土師器	甕	覆土 小片	口・(21.0)	酸化。並。にい赤褐色7.5YR5/4。 並。輕。白・褐粒合。他少。	口縁部下外面に接合面。器外面は斬削り。内面は斬削りで、口縁部は横擦で施す。外面塗。接合2片	
215-4	土師器	甕	脚端・(8.4)	酸化。並。にい赤褐色7.5YR5/4。 並。輕。白色粒子合。	内外面横擦で。要底面に斬削。脚部内面に要との接合痕あり。		
165-17	土師器	台付甕	脚1/2	口・直 高・5.6	酸化。並。橙褐色5.5YR6/6。並。 白色粒微。	口縁部は外傾。型作り。底部は木漿痕と磨擦。内面に研磨痕。口縁部・器内面は横擦で。粘	接合5片
215-5	土師器	甕直	口・直 高・5.6	酸化。並。橙褐色5.5YR6/6。並。 白色粒微。	口縁部は外傾。型作り。底部は木漿痕と磨擦。内面に研磨痕。口縁部・器内面は横擦で。粘	接合4片	
165-18	土師器	环(平底)	一部欠損	口・(11.8)	還元。並。灰7.5Y5/1。密。 底・7.1	口縁部は外傾する。輪縫成形(右回転)。底部は回転斬削り整形。	笠懸
215-7	須恵器	甕	口・(12.4)	中性。並。灰7.5Y6/2。並。 底・(7.3)	底部は右回転糸切り後回転整形。外面に漆状物質。	接合3片	
165-20	須恵器	环	1/4	口・(13.0)	還元。並。灰7.5Y7/1。並。 底・(9.0)	底部は右回転糸切り後回転整形。外腹底壁に1系の回転斬削り。	太田か 粘・陶
216-1	須恵器	甕	口・(13.0)	還元。並。灰7.5Y7/1。並。 底・(9.0)	底部は右回転糸切り後回転整形。外腹底壁に1系の回転斬削り。	太田か 粘・陶	
216-2	須恵器	甕直	底・10.2	還元。硬。灰10Y5/1。並。 白色粒子。	底部裏面に垂痕。輪縫成形(右回転)。高台付け高台。底部は回転斬削り。	転用根 笠懸か	
165-22	須恵器	環(模)	底部	底・(9.0)	輪縫成形(右回転)。器内面に研磨。内黒。底面に余切りと周辺に回転斬削りあり。		
216-3	須恵器	掘方	底・(8.0)	酸化。軟。明赤褐色2.5YR5/8。 並。やや重。鉄物粒少。	輪縫成形(右回転)。器内面に研磨。内黒。底面に余切りと周辺に回転斬削りあり。		
165-23	須恵器	内黒环	1/4	口・(12.8)	還元。並。灰7.5Y5/6。並。 白色粒合。	輪縫成形(右回転)。器内面に研磨。内黒。底面に余切りと周辺に回転斬削り。	粘・陶
216-4	須恵器	掘方	底・(8.2)	酸化。硬。明赤褐色2.5YR5/6。 並。やや重。白・褐粒合、他微。	輪縫成形(右回転)。器内面に研磨を施す。底部は回転糸切り後周辺を回転斬削り。	接合3片	
216-5	須恵器	内黒环	底部片	底・(8.0)	輪縫成形(右回転)。器内面に研磨を施す。高台は付け高台。割れ口少し消耗。	粘	
216-6	須恵器	甕直+底蓋	口・(12.8) 1/2	還元。並。灰7.5Y6/1。白色粒合。 鉄物粒多く、黒褐色粒多く。	輪縫成形(左回転)。上半部は回転斬削り。下半部は輪縫目。端部は尖る。	2片	
165-24	須恵器	甕	底・2.5	還元。並。灰7.5Y6/1。白色粒合。	輪縫成形(左回転)。上半部は回転斬削り。下半部は輪縫目。端部は尖る。		
216-7	須恵器	甕大腹せん	瓶部片	瓶・4.3	還元。硬。灰7.5Y4/1。密。重。 白色粒合。	外面輪縫目。内面工具による搔き上げ痕あり。太田か 瓶部内側は凹削りあり。高环脚かも。	
165-25	須恵器	甕	破片	厚・0.8	還元。硬。灰オーリーブ7.5Y6/2。 密。白・白・白鉄物粒合。	細作り後叩き整形。外面は平行叩き、自然釉。太田 内面当具は青海波文。割れ口消耗微。	
216-8	須恵器	甕	厚・1.0	還元。硬。灰7.5Y5/1。並。 やや重。白・白鉄物合。	細作か。外面平行叩き複数線。内面に當具不明瞭で施あり。	太田か	
216-9	須恵器	甕	破片	厚・0.5	還元。綠。輪淡黄緑色(灰釉)。 胎土模灰白。	外面に灰釉掛あり。内面に輪縫目あり。割れ 東海道入 口少し消耗。灰釉の掛け方技法不明。	
216-10	施釉陶器	甕	底部片	厚・0.5			

第92号住居跡

辨認番号	種別	器種	出土位置	度目(cm)	焼調・色調・胎土 (石塗材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
回収番号			遺存度	量目(g)			
218-1	土師器	甕内+掘方	口・(13.5)	酸化。並。にい赤褐色5YR5/4。 並。	口縁部は外反する。底部は斬削り。平底。口縁部・器内面は横擦で。内・外ハゼ多。	接合5片	
165-26	土師器	环(平底)	一部欠損	底・5.4			
218-2	土師器	甕+掘方	底・6.3	酸化。並。灰褐色5YR4/2。並。 白色粒合。	底部斬削。体部外側面削り。内面斬削。内・外面にハゼあり。外面被熱。	接合5片	
165-27	土師器	壺	1/3				
218-3	土師器	甕直	基部・3.0	酸化。並。橙褐色5.5YR6/6。並。 白色粒子合。	脚部外側面研磨あり。内面粘土のしづり跡と工具のおさげ痕あり。下方1単位。	粘	
165-29	土師器	高环	脚部				
218-4	土師器	甕直	基部・3.2	酸化。並。にい赤褐色5YR5/4。 密。重。白色粒合。	脚部外面研磨あり。内面粘土のしづりと組合痕。内面下方と外側下方に横擦。	粘・陶	
165-30	土師器	高环	脚部				
218-5	土師器	掘方	基部・3.3	酸化。並。にい赤褐色5YR6/4。 密。重。白色粒子合。	脚部外面研磨あり。下方に横擦で。内面に組合板あり。	粘・陶	
165-31	土師器	高环	脚部片				
218-6	土師器	掘方覆土	外後部・10.8	酸化。並。にい赤褐色5YR5/3。 並。白・褐粒合、他微。	内・外に施あり。割れ口に接合見え。外面被熱色変。割れ口消耗。		
165-32	土師器	高环か	脚部				
218-7	土師器	甕	口・(22.3)	酸化・軟。並。にい赤褐色5YR7/3。並。やや重。鉄粒多、他少。	外面輪縫形。内面は斬削で、口縁部は横擦で施す。全体に消耗。	接合6片	
165-28	土師器	壺	破片				
218-8	土師器	甕直	口・(22.4)	酸化。並。明赤褐色2.5YR5/6。 並。白・白・褐粒合、他鉄物微。	器内は薄い。器外側は縦方向の施で施す。内面に指痕あり。燒成黑の3層。	接合14片	
166-1	甕	破片					

第93号住居跡

辨認番号	種別	器種	出土位置	度目(cm)	焼調・色調・胎土 (石塗材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
回収番号			遺存度	量目(g)			
220-1	須恵器	甕	覆土 1/4	口・(13.1)	還元。硬。灰N5/0。密。重。 白粒合、他鉄物微。	口縁部は外傾。輪縫成形(右回転)。底部は回転斬削り。口縁部付近に重焼色変あり。	接・2片 西毛~埼玉

第93号住居跡

辨認番号	種別	出土位置	度目(cm)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
回収番号	器種	遺存度	量目(g)	(石素材の度目)		
220-2	須恵器 环	覆土 小片	口・(12.0)	還元。純。暗緑灰10GY。密。 重。白粒合。他鉢物合。	輪縁成形(右回転)。底部欠損のため切り離し 技法不詳。	西毛~崎 玉
220-3	須恵器 环	電 口・底部片	底・(7.0)	酸~中性。硬。明黄褐10YR6/6。 並。やや重。白・黒粒合。	輪縁成形(右回転)。底部は回転荒削り。内墨 环近似の胎土。割れ口消耗少。	粘
220-4	須恵器 环	覆土	口・(13.8)	中性。並。にぼい橙10YR6/3。 並。やや重。白粒合。	輪縁成形(右回転)。上半部は回転荒削り。端 部丸みあり。内面に重焼の色変か鑿しあり。	接合2片 粘・凹
166-2	埴輪	1/2	厚1.1	酸化。硬。橙7.5Y6/6。並。やや 重。白粒合、鶴粒少。他少。	全体に扁平。外面上に刷毛目、隆帯。内面裏で 整形。焼成は芯まで单一気味。割れ口消耗少。	粘
220-5	埴輪 形象	覆土 破片				

第94~96号住居跡

辨認番号	種別	出土位置	度目(cm)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
回収番号	器種	遺存度	量目(g)	(石素材の度目)		
221-1	須恵器 环	床勝 1/2	口・(13.2)	還元。並。灰7.5Y6/1。並。 白色粒合。	口縁部は外反する。輪縁成形(右回転)。底部 は回転系切り。	笠懸か・ 太田
166-3			底・(6.8)			
221-2	須恵器 环	覆土 2/3	口・(13.9)	中性。並。にぼい黄2.5Y6/3。 粗。白色粒合。	口縁部は外反する。輪縁成形(右回転)。底部 は回転系切り。黒斑外面にあり。	接合2片 粘
166-4			底・5.7			
221-3	須恵器 环	覆土 小片	底・(6.4)	還元。並。灰2.5YR2/2。並。 輕。白粒合、他鉢物合。	口縁部は欠損する。輪縁成形(右回転)。付け高台。 底部は回転系切り。内・外側被熱吸収。	粘
222-1	須恵器 环	床勝 底部	底・7.0	中性。硬。にぼい黄褐10YR6/4。 粗。白色粒合。	口縁部は欠損する。輪縁成形。高台付け高台。 底部は左回転横整形。	粘
166-5						
222-2	須恵器 环	覆土 小片	底・(8.4)	還元。並。浅黄2.5YR7/3。 密。重。白粒合、他鉢物合。	口縁部は欠損する。輪縁成形(右回転)。高台 付け高台。底部は回転系切り。外側黒斑。	県外か
222-3	土師器 底	床直 1/4	口・(12.9)	酸化。硬。にぼい橙7.5YR7/4。 粗。金葉母粒合。他少。	口縁部に粘土帶。外側は窓削り、内面は直腹 と接合面1カ所。口縁部は横擦、外側有り。	接合13片
166-6			高・(13.1)			
222-4	土師器	床直	口・18.8	酸化。口・橙5YR6/6。並。 やや重。白・鶴粒合、他鉢物合。	接合面3カ所あり。窓作りか。外側は窓削り、 内面は窓無で、口縁部は横擦で。外側有り。	接合38片
166-8	臺面付か	2/3				
222-5	土師器	覆土+床勝 裏	口・19.0	酸化。硬。橙5YR6/6。並。 やや重。白色粒合。	型作り。外側は窓削り、内面は窓無で組作成。 口縁部は横擦で、組接合2段。	接合7片
166-7						

第94号住居跡

辨認番号	種別	出土位置	度目(cm)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
回収番号	器種	遺存度	量目(g)	(石素材の度目)		
223-1	土師器 环	覆土 1/4	口・(11.8)	酸化。硬。にぼい黄褐10YR7/3。 並。やや重。鶴粒合。シルト質。	口縁部は内気味。型作りか。底部は窓削り。 口縁部・器内面は横擦で整形。	5片。県 外搬入か
166-9						
223-2	土師器 环	覆土 破片	口・(12.7)	酸化。硬。にぼい橙7.5YR7/4。 並。輕。鶴粒合、シルト質。	作調異風。型作り。底部は窓削り、体部に壓 痕。口縁部・器内面は横擦で整形。	県外搬入か
166-10			高・(3.9)			
223-3	土師器 环	覆土 1/4	口・(12.5)	酸化。硬。浅黄橙10YR8/3。 並。鶴粒合。シルト質。	作調異風。型作り。底部は窓削り、体部に壓 痕。口縁部・器内面は横擦で整形。	4片。県 外搬入か
166-11						
223-4	土師器 环(平底)	覆土 1/2	口・12.4	酸化。硬。にぼい黄褐10YR7/3。 並。やや重。茶褐粒合。	型作り。底部は窓削で。体部に型磨を残し。 口縁部・器内面は横擦で。	接合10片
166-12			底・8.2			
223-5	土師器 塊墨書	No1 完形	口・15.5	酸化。並。にぼい橙7.5YR6/4。 並。重。黒藍多。他鉢物合。	土師・須恵作調。体部外面箆削、横擦で、「山 刀」か墨字。高台内面指圧痕。少し墨。	墨書-45
166-15			底・7.4			
223-6	土師器 环墨書	覆土 底部破片	厚0.3	酸化。硬。にぼい黄褐10YR7/3。 並。輕。馬粒多。他鉢物少。	底部は窓削で。内面に撫整形痕と不明墨字あり。 器内面は極めて薄い。	墨書-46
166-16						
223-7	土師器 环手探	覆土 1/3	口・(7.4)	酸化。並。にぼい橙7.5YR7/4。 粗。輕。茶褐粒合。	底部は窓削り、体部に型磨か手捏小ヒビ。口 縁部・器内面は横擦で整形。少しシルト質。	粘
166-13			底・(5.4)			
223-8	土師器 塊	覆土、他 口縁部片	口・(17.4)	酸化。硬。橙5YR7/8。並。 やや重。茶褐粒。鶴粒合。	口縁部は粘土帶あり。型作り。器外側は壓磨 り、器内面は压擦で、口縁部は横擦でを施す。	粘
166-11						
223-9	須恵器 环	覆土 底部片	底・(8.0)	還元。軟。灰オリーブ5Y6/2。 並。輕。黒粒多。他鉢物合。	墨痕らしき箆所あり。底部は輪縁右回転箆削。 内面に輪縁目。割れ口消耗。	粘 墨書-47
166-13						
223-10	須恵器 塊墨書	掘方 1/3	口・(17.6)	還元。軟。灰白5Y7/2。並。輕。 白・黒粒合、他鉢物合。	高台周囲は回転箆。体部内・外側に輪縁目、 外面に「主」の墨字。	粘 墨書-48
166-16						
223-11	須恵器 环	床層 1/2	底・6.3	中性。並。にぼい黄褐10YR5/3。 粗。白色粒合。シルト。	口縁部は欠損する。輪縁成形(右回転)。高台 付け高台。底部は回転系切り後施で。	接合3片 粘 墨書-49
166-14						
223-12	須恵器 双耳环	覆土 口縁片	口・(14.0)	還元。並。灰7.5Y6/1。並。 やや重。白粒多。他鉢物合。	内・外輪縁目少ない。回転は輪縁右回転。底 面に高台が付くか不明。割れ口少し消耗。	笠か
166-17						

第98号住居跡

埠固番号 回版番号	種 別 器	出土位置 遺存度	度目(cm) 量目(g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
224-1 166-19	土師器 环墨書き	貯藏穴内 完形	口・11.3 高・3.1	酸化。硬。にぼい黄褐色10YR7/4。 並。重。褐色多。他鉄物微。	口縁部下外側に接合あり。底部は窪削りと2 字の墨字。口縁部・器内面は横擦で整形。	島外搬入。 墨書き-49
224-2 166-20	土師器 环	貯藏穴内 1/2	口・16.2 底・13.0	酸化。並。橙7.5YR7/6。粗。輕。 シルト質。鉄物微。	口縁部は外反気泡。茎作り。底部は窪削り。 体部に型崩。口縁部・器内面は横擦で整形。	
224-3 166-21	土師器 台付壺	蓋+瓶方・沿内 脚底部のみ	底・9.0	酸化。並。橙7YR6/6。	器内面に窪擦で整形。	接合4片
224-4 166-22	須恵器 内里环	覆土 1/2	口・13.0 底・7.0	酸化。硬。橙2.5YR6/6。粗。 輕。白色粒含。シルト質	輪轉成形(右回転)。器内面研磨。底部消耗の ため整形不明。黒色化は口縁外側に及ぶ。	接合6片
224-5 166-23	施釉陶器	貯藏穴内 底部片	高台径・8.8	酸化。細。釉部欠。器面にぼい 黄褐色10YR5/3。	体部に回転削削痕あり。内面に輪轉目あり。 高台は貼付。器面内・外黒化。	9~10C 東海

第99号住居跡

埠固番号 回版番号	種 別 器	出土位置 遺存度	度目(cm) 量目(g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
225-1 166-18	土師器 壺	覆土 小片	口・(14.0)	酸化。並。にぼい赤褐色2.5YR 5/4。並。輕。金雲母含。他少。	口縁部下外側にハゼ。器外側は窪削りと被熱。 内面は窪擦で接合面。口縁部は横擦無。	接合2片
225-2 166-19	土師器 壺	覆土堆 削下半	底・(10.8) 高・(9.4)	酸化。並。にぼい橙7YR6/3。 粗。輕。茶褐斑・鉄物含。	器厚は薄い。器外側は窓方向の窪削りを施す。 内面は無整容。内・外ハゼ。被熱色変。	接合5片
225-3 166-20	土師器 环(平底) 口縁片	電覆土 口縁片	口・(13.4)	酸化。並。橙7.5YR6/6。並。輕。 白・褐色合。他少。	口縁部は外植する。型作りか。口縁部・内面 は横擦で。体部外側に指圧痕。	
225-4 166-21	土師器 环(平底) 口縁片	電覆土 口縁片	口・(13.2)	酸化。並。橙7.5YR7/6。並。 白・褐色合。他鉄物少。	口縁部は外植する。型作りか。口縁部・内面 は横擦で。外側に黒斑。	接合3片
225-5 166-22	須恵器 壺	覆土 1/4	底・(7.8)	酸化。紅。橙7.5YR6/6。並。 やや重。白粒多・小辟少。	輪轉成形(右回転)。底部は回転糸切り後高台 貼付け。無整容。割れ口消耗微。	
225-6 166-23	須恵器 壺	覆土 底部片	底・(8.0)	還元。並。灰。オリーブ7YR6/2。 並。やや重。黒鉄物多。他少。	高台付け高台。底部は輪轉右回転糋削。割れ 口消耗大で底欠。	粘
225-7 166-24	須恵器 壺蓋	覆土 口縁片		還元。軟。灰。オリーブ5Y6/2。	輪轉成形(右回転)。上半部は回転窪削。 摘み、割れ口は旧欠で消耗あり。	

第97号住居跡

埠固番号 回版番号	種 別 器	出土位置 遺存度	度目(cm) 量目(g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
226-1 167-1	土師器 壺	腹方覆土 口縁片	厚・0.8	酸化。並。7.5YR5/3。並。 やや輕。鉄物少。	口縁部の内・外側横擦。割れ口消耗少。器内 やや厚い。	
226-2 167-2	土師器 小形壺	腹方覆土 破片	厚・0.6	酸化。並。にぼい赤褐色5YR5/4。 並。やや輕。鉄物少。	「コ」の字口縁。台付變か。外側は窪削り。 内面は無整容。口縁部は横擦で。	
226-3 167-3	須恵器 环	覆土 底部1/2	底部・(4.2)	酸化。並。明水褐。5YR5/6。 並。やや輕。鉄物少。	底部に糸切あり。内面回転条痕あり。割れ口 消耗あり。酸化味強い。	
226-4 167-4	須恵器 皿	腹方覆土 破片	口・(13.0)	還元。硬。灰。N5/L。密。重。 白粒・白鉄物多。他少。	外面に輪轉目、内面や滑らか。口縁部周辺 の内外に重ね色変あり。	太田か

第99号住居跡

埠固番号 回版番号	種 別 器	出土位置 遺存度	度目(cm) 量目(g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
228-1 167-1	鰐文土器 深鉢	覆土 破片	厚・1.1	酸化。並。浅2.5YR7/3 角粒粗粒砂・白色微粒子	口縁部は内側に把手を配する。溝巻き陰帯文 懸垂文を施す。RL原体を縦位充填する。	接・4点
228-2 167-2	鰐文土器 深鉢	覆土+覆土内 破片	厚・1.2	酸化。並。鈍橙7.5YR7/4 砂粒角粒砂・白色粒子	懸垂文を垂下させ、RL原体を縦位充填する。	接・5点
228-3 167-3	鰐文土器 深鉢	覆土+覆土内 破片	厚・1.2	酸化。並。鈍橙7.5YR7/4 砂粒角粒砂・白色粒子	228-2と同一個体。	
228-4 167-4	鰐文土器 深鉢	覆土内 破片	厚・0.7	酸化。並。鈍橙10YR7/4 角粒粗粒砂・白色鉄物	キャリバー状口縁。口唇部を欠損する。陰帶 文を弧状に配する。	接・無し
228-5 167-5	鰐文土器 深鉢	床底 破片	厚・0.9	酸化。並。鈍橙10YR7/4 砂粒・赤褐色粒子・白色微粒子	口縁部は内側に。口唇部は丸く直下に横擦 区画を施し、RL原体を縦位充填する。	
228-6 167-6	鰐文土器 深鉢	床底 破片	厚・1.0	酸化。並。鈍橙7.5YR6/4 角粒粗粒砂・シルト質	口縁部から上端で弧状に接続する懸垂文を垂 下させ、RL原体を縦位充填する。	接・3点
228-7 167-7	鰐文土器 深鉢	覆土内 大形破片	口・(50.4)	酸化。硬。鈍橙7.5YR7/4 白色粒子・細砂粒・赤褐色粒子	口縁部に山形状の小把手を配する。	接・23点
228-8 167-8	鰐文土器 深鉢				脇部は溝巻き陰帯を配する。原体はRL。	

第99号住居跡

辨認番号	種別	出土位置	度目 (cm)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
回収番号	器種	遺存度	量目 (g)			
231-1	繩文土器	覆土 深鉢	厚・1.3 破片	酸化・並。鈍4.5YR6/3 角粒粗粒砂・白色粒・白色粘物	口縁部は内青気味で口唇部は肥厚する。隣帶 区画内にRL原体を縦軸充填する。	接・3点
167-8	繩文土器	覆土 深鉢	厚・0.9	酸化・並。鈍4.5YR6/4 砂粒・白色粒子	懸垂文を垂下させ、RL原体を縦軸施す。	接・2点
231-2	繩文土器	覆土 深鉢	底・7.6	酸化・並。明黄褐10YR6/6 粗・輕。粘物含。	縦位に条痕文を施す。	接・3片
167-3	繩文土器	覆土 深鉢	底部1/3			
231-3	繩文土器	覆土 深鉢	口・15.0 鉢・20.2	酸化・並。鈍4.5YR6/6 金雷母・角粒砂	口縁部は直しし把手状の筒を巡らし、鉢の直 上に孔を穿つ(8カ所)。	接・無し
167-10	繩文土器 有孔鉢	覆土内 有孔鉢				
231-5	土製品	覆土内 円盤	長・3.3 幅・3.5	酸化・並。鈍4.5YR5/4 白色粘物・角粒粗粒砂	深鉢の側部片を利用する。表面に平行の波状 沈線文が認められる。	接・無し
167-12	土製品	覆土内 円盤	長・4.1 幅・3.5	酸化・並。鈍4.5YR5/4 白色粘物・粗粒砂	深鉢の側部片を利用する。	接・無し
231-6	土製品	覆土内 円盤	長・4.1 幅・3.5	酸化・並。鈍4.5YR5/4 白色粘物・粗粒砂		
167-13	土製品	覆土内 完存				
231-7	石器	覆土内 完存	黒曜石 重・0.55	長・1.7。幅・1.35。厚・0.35	無茎平根三角形抉式。	
168-1	石器					
231-8	石器	覆土内 完存	チャート 重・1.42	長・2.4。幅・1.75。厚・0.4	無茎平根三角形抉式。鐵先は再調整か。	
168-2	石器					
231-9	石器	覆土内 完存	チャート 重・5.44	長・3.7。幅・2.25。厚・0.85	無茎平根五角形式。	
168-3	石器					
231-10	石器	覆土内 完存か	チャート 重・5.08	長・2.4。幅・2.45。厚・0.9	剝片の縁辺に小単位の剥離が認められるが、 刃部を構成するのは1側縁である。	
168-4	石器					
231-11	石器	覆土内 破片	ホルンフェルス 重・7.1	遺存長・5.8。残存幅・6.8。 厚・1.3	瘤形の破片と考えられる。肩平面に磨滅が認 められる。	
168-5	石器 打製石片					
231-12	石器	覆土 細片	粗粒黒安山岩 重・195	—	石皿の撥き出しよの破片。本体の大半を欠損。	
168-6	石器					

第100号住居跡

辨認番号	種別	出土位置	度目 (cm)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
回収番号	器種	遺存度	量目 (g)			
232-1	土師器 环	電 破片	口・(12.2)	酸化・並。鈍4.5YR6/6。並。 紅・白・褐微微・他微。	口縁部は内青気味。型作り。底部は窓削り、 体部に型削。口縁部・器内面は横擦で整形。	
232-2	土師器 环	配方 破片	口・(12.0)	酸化・並。明黄4.5YR5/6。並。 やや紅。	口縁部は外反気味。型作りか。底部は窓削り。 口縁部・器内面は横擦で整形。	
232-3	須恵器 环(墨書き)	配方 口縁片	厚・0.3	中性。軟。にぼい黄2.5Y6/3。 並。紅・白・藍物少し。	口縁部は外削する。輪縫成形。体部外面に「山」 か墨字あり。割れ口消耗。	粘 墨書き
232-4	須恵器 环	覆土 3/4	口・12.6 底・7.1	深元・並。灰7.5Y6/1。並。重。 白・白藍物合。	口縁部は外削する。輪縫成形(右回転)。底部 は回転糸切りで周辺回転整形。	堆合6片 木田
232-5	須恵器 环	床直 破片	厚・0.8	蓮元・並。灰10Y5/1。密。 白粒・白藍物合・他少。	柱作り後印き整形。外面は平行印き、内面当 具は撫により不明瞭。割れ口消耗強。	

第101号住居跡

辨認番号	種別	出土位置	度目 (cm)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
回収番号	器種	遺存度	量目 (g)			
233-1	土師器 壺	覆土 2/3	口・19.5 底・6.0	酸化・並。鈍2.5YR6/6。並。 重。褐物・藍物多。	口縁部は横擦で。胴部窓削り、胴下半擦で。 内面窓削。内・外ハゼ多。旧欠後被熱変色。	粘・陶
168-15	土師器 壺					
233-2	須恵器 壺	配方 完形	口・10.7 底・5.4 高・3.0	蓮元・并。灰オリーブ5Y6/2。 密。やや重。藍物较多。	口縁部は外削する。輪縫成形(右回転)。底部 は回転糸切り。極めて粗雑な作り。	粘
168-8	須恵器 壺					
233-3	須恵器 壺	床直 一部欠損	口・13.9 底・7.5	酸化・並。明灰黄2.5Y4/2。 密。重。藍物較多。	口縁部は外反する。輪縫成形(右回転)。高台 付け高台。底部は右回転糸切り。	太田か 付け高台。
168-9	須恵器 壺					
233-4	須恵器 壺	床直 1/3	口・(13.9) 底・6.7	酸化・並。にぼい黄4.5Y5/4。 密。重。藍物多。透明粒入。	口縁部は外削する。輪縫成形。高台付け高台。 底部は撫整形。	太田か 付け高台。
168-10	須恵器 壺					
233-5	須恵器 壺	覆土 底部1/2	底・(7.2)	酸化・並。にぼい黄2.5YR5/4。 並。やや重。白・褐粘合・他少。	輪縫成形。高台付け高台。底部回転糸切り。 全体に椎かかり、割れ口消耗少。	接合2片
168-11	須恵器 壺	配方 のみ	底・7.5	中性・薄。軟。灰黄褐10YR5/2。 粗。藍物多・他藍物合。	口縁部は旧欠損。輪縫成形(右回転)。高台付 け高台。底部は回転糸切り。全体に消耗。	
233-6	施釉陶器 花瓶	電内 1/2	口・(13.5) 底・2.9 高・6.4	中性・薄。軟。灰黄褐(灰釉)。	内・外に浸透による灰釉あり。棱花は3~4 单位。内面に乾燥時か成形時の重痕。	10C 東海
168-12	施釉陶器 花瓶					

第102号住居跡

博団番号	種別	出土位置	度目(cm)	焼調・色調・胎土 (石塗材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
国版番号	器種	遺存度	量目(g)			
234-1	須恵器 环	床刷 一部欠損	口・12.2 底・8.0	還元。並。橙7.5Y5/1。並。 黒粒多、白粒含。他多。	底部は輪削右回転余切り後、回転削削。口・ 内底使用厚削。割れ口摩耗。外面「三」墨字。 墨書-51	
234-2	土断器	床刷	口・12.7 3/4	酸化。並。橙7.5Y7/6。粗。 やや輕。白色粒・鉄物含。	口縁部は内湾気味。型作り。底部は窪削り。 体部に型崩。口縁部・器内面は横擦で整形。	
168-14	环		底・11.0			

第103号住居跡

博団番号	種別	出土位置	度目(cm)	焼調・色調・胎土 (石塗材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
国版番号	器種	遺存度	量目(g)			
236-1	土断器 环	覆土 破片	口・(11.2) 底	酸化。並。にい赤橙7.5Y6/4。 並。やや輕。金合母含。他少。	口縁部は内湾気味。型作り。底部は窪削り、 体部に型崩。口縁・内面は横擦。内面小ハゼ。	
236-2	土断器 环	覆土 破片	厚・0.35	酸化。並。橙7.5Y6/6。並。やや 輕。白粒・他鉄物含。	型作り。体部に型崩と「主」墨字あり。内面 は横擦で整形。	墨書-52
236-3	須恵器 环	竈+覆土 破片	口・(12.8)	還元。並。灰白。5Y7/2。粘。 輕。白・灰粒物含。他少。	全体に少し消耗。輪削成形(右回転)。底部欠 損のため切り離し技法不評。	接合2片 粘
236-4	須恵器 环	竈+覆土 破片	口・(13.1)	還元。並。灰オリーブ5Y7/2。 並。白粒含。他鉄物少。	輪削成形(右回転)。底部欠損のため切り離し 技法不評。口縁部下外面に重複色変あり。	接合2片 粘・陶
236-5	須恵器 环	覆土 2/3	口・(11.0) 底・7.8	還元。灰。5Y6/2。 密。やや重。白・黒粒含。	口縁部は外傾する。輪削成形(右回転)。高台 付け高台。底断面を直角削形。	接合4片 笠か
236-6	須恵器 台付皿	覆土 1/4	口・(19.6) 底・(12.5)	還元。灰。灰オリーブ5Y6/2。 並。やや重。白色鉄物含。	短い口縁部は外傾する。輪削成形(右回転)。高 台付け高台。底部は高台接合後の回転擦。	接合8片 太田

第104号住居跡

博団番号	種別	出土位置	度目(cm)	焼調・色調・胎土 (石塗材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
国版番号	器種	遺存度	量目(g)			
238-1	土断器 环(平底)	覆土 破片	口・(13.0) 底・(8.4)	酸化。並。にい赤橙7.5Y5/3。 並。黒粒多、白粒含、他鉄物含。	口縁部は外傾。底部に木乗痕。口縁部下外面 に接合痕。口縁部・器内面は横擦で。	
238-2	土断器 环	覆土 破片	口・(14.5)	酸化。並。にい赤7.5Y7R/3。 並。輕。黒粒多、白粒含、他少。	口縁部は外傾気味。体部に置痕。口縁部・内 面は横擦で、内面に若干研磨、削れの消耗少。	
238-3	土断器 燒	床直 ほぼ完形	口・20.2 底・3.8	酸化。並。5Y9R6/6。 やや重。白・黒粒含、鉄物含。	型作りか。口縁部粘土帯2段か。外側はササ ラの様崩り。内面は横擦で。口縁部横擦で。	接合94片 保付着
238-4	土断器 燒	覆土断面 ほぼ完形	口・20.2 底・4.7	酸化。並。にい赤7.5YR6/3。 並。やや重。黒・黒粒含、鉄物含。	「コ」の字状口縁。型作りか。外側はササラ の様崩り。内面は横擦で。口縁部横擦で。	接合35片
238-5	須恵器 环	床直 3/4	口・12.6 底・7.8	酸化。軟。にい赤7.5Y6/4。 白粒微。黒粒多。	口縁部は外傾する。輪削成形(右回転)。底部 は手持ち荒削、「主」墨字、黒灰吸張あり。	墨書-53
238-6	須恵器 环	床直 1/4	口・(13.2) 底・(8.8)	酸化。並。にい赤7.5Y10/6/4。 密。やや重。鉄物微。	口縁部は外傾する。輪削成形(右回転)。底部 は回転擦整形。	接合2片 笠馳か
238-7	埴輪か 形象か	覆土 破片	瓶・4.1	酸化。軟。橙7SYR6/6。 並。白・黒粒含、他鉄物含。	外側に刷毛目。内面に刷毛目と撫拭・紙作痕 あり。割れ口少し消耗。	
238-8	石造品 砾石	珪質片岩 砾石	長10.2、幅2.2 72g		使用面は表・両側面の3面。表面使用中の節 理面・奥小口は原石時の節理、手前は旧欠。 銘記	右側部に

第105号住居跡

博団番号	種別	出土位置	度目(cm)	焼調・色調・胎土 (石塗材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
国版番号	器種	遺存度	量目(g)			
240-1	土断器 环	覆土 破片	口・(14.8)	酸化。硬。橙7.5Y6/6。 並。やや輕。黒粒多。他鉄物少。	口縁部は内湾気味。体部は窪削り、口縁部・ 器内面は横擦で整形。器面と割れ口消耗。	
240-2	土断器 环	覆土 口縁片	口・(15.8)	酸化。硬。赤5Y4/8。 並。重。白・黒粒含、他鉄物含。	口縁部は直口気味。型作りか。体部は窪削り、 口縁部・器内面は横擦で整形。	接合2片
240-3	土断器 环	覆土 口縁片	口・(17.5)	酸化。硬。赤5Y4/8。 並。重。白・黒粒含、他鉄物少。	口縁部は直口気味。型作りか。底部は窪削り、 口縁部・器内面は横擦で整形。	接合2片
240-4	土断器 环	覆土 破片	口・(15.0)	酸化。並。10YR 淡黄5R/3。 粗。輕。黒粒含、他鉄物少。	底部は窪整形。口縁部・器内面は横擦で整形。 底部は窪整形。	接合2片 割れ口消耗。
240-5	土断器 环	床直 1/4	口・(15.1) 最大・(15.2)	酸化。並。明赤5Y5/6。 密。やや重。鉄物少。	口縁部直立気味。内面放射状研磨。底部窪削。 口縁部・器内面は横擦で整形。	接合4片
240-6	土断器 燒	覆土 口縁片	口・(15.5)	酸化。並。橙7.5Y6/6。 並。輕。白・黒粒含、他鉄物少。	「く」の字口縁。外側は窪削り、内面は撫拭 で。口縁部は横擦でを施す。被熱・消耗あり。	接合2片
240-7	土断器 燒	床直 口縁部のみ	口・16.2	酸化。並。橙7.5Y7/6。 密。鉄物少。	口縁部は外反する。内・外間に洗いハゼ多い。 口縁部は横擦でを施す。	
240-8						
168-22						
168-23						
168-24						

第105号住居跡

堆積番号 回収番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
240-8	土師器 甕	覆土 破片	口・(18.1)	酸化。並。にびい槽7.5Y6/4。 並。赤褐色合、他軽物合。	「く」の字口縁。器外側は施削、器内面は荒削。 口縁部は横撫でを施す。	
240-9	土師器 甕	覆土 口縁片	口・(18.2)	酸化。硬。にびい槽7.5Y6/4。 並。やや重。白・褐粘合。他合。	「く」の字口縁。外側は荒削り、内面は荒削、 で、口縁部は横撫で、内面彫かれる。	
240-10	土師器 甕	覆土 破片	口・(13.2)	酸化。硬。明闊7.5Y5/6。粗。 紅。白・褐粘合。他軽物合。	口縁部は外反する。器外側部は刷毛目。器 内面は荒削で、口縁部は横撫。	接合2片
240-11	土師器 甕	覆土 破片	口・(26.0)	酸化。硬。槽5YR6/6。並。 やや重。褐粘多、他軽物少。	口縁部粘土帶合せ目。外側荒削。内面手掌指 無、接合痕3カ所。燒成黒斑あり。	接合8片
168-26	甕					

第106号住居跡

堆積番号 回収番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
241-1	土師器 杯(平底) 頭	床直 灰(平底) 1/2	口・12.6 底・6.0	酸化。硬。槽7.5Y6/6。並。重。 白・褐粘合、他少。	型作りか。底部は平底砂付着。部に指压痕、 荒削、「東」墨字。内面は横撫。	接合6片 墨書-54
169-1						
241-2	土師器 甕	旧蓄水方 口縁片	口・(12.8)	酸化。並。槽5Y6/6。並。輕。 褐粘合、他軽物少。	「コ」の字状口縁。型作りか。器外側は荒削、 器内面は荒削で、口縁部は横撫でを施す。	接合2片
241-3	土師器 甕	覆土 口縁片	口・(16.7)	酸化。硬。槽7.5Y6/6。並。輕。 白・褐粘多、他軽物合。	「コ」の字状口縁。型作りか。器外側は荒削、 器内面は荒削で、口縁部は横撫でを施す。	
241-4	土師器 台付甕	覆土 破片	底・9.0 底・6.0	酸化。並。槽7.5YR6/6。並。 白・褐粘合、軽物微。	内・外面に荒削。割れ口少し消す。端部少し 尖り、内面に浅い段あり。	
169-3						
241-5	須恵器 壺	床直 1/3	口・(13.1) 底・6.0	酸化。並。明黄槽2.5Y6/6。密。 白・褐粘合、軽物微。	口縁部は外傾する。輪轂成形(右回転)。底部 は回転糸切り。部に輪轂目強い。	笠・太田 か
169-5						
242-1	土師器 甕	床直 1/4	口・19.5 底・6.0	酸化。並。明赤槽2.5YR5/6。 並。やや重。白・褐粘、軽物合。	「コ」の字状口縁。型作りか。外面は荒削り、 内面は荒削、口縁部は横撫。外側被熱、塗。	接合2片
169-7						
242-2	土師器 内黒皿	床直 3/4	口・13.4 底・(16.0)	酸化。並。槽7.5Y6/6。並。 やや重。白色粘、軽物合。	型作り。器内面に暗文を施す。器外側には横 撫、指圧痕を残す。	
169-9						
242-3	須恵器 壺	旧蓄水方 1/3	口・(14.8) 底・7.5	酸化。軟。にびい黄2.5Y6/3。 粗。輕。軽物合。	口縁部は外反する。輪轂成形(両回転)。高台 付け高台。底部は回転糸切り。	接合5片 熱
169-2						
242-4	須恵器 壺	不明 1/3	高・6.4	還元。並。灰オリーブ5Y6/2。 粗。輕。軽物合。	体部は外傾する。輪轂成形(右回転)。高台付 け高台。底部は回転糸切り。	熱
169-6						
242-5	石製品 小円錐	覆土 完形	石英 8.0 g	横・2.1	乳白色を呈し、旧時は自然材、全面に摩耗光 沢あり。白のため隕石としての利用もありか。	

第172号住居跡

堆積番号 回収番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
243-1	須恵器 壺	覆土+17往復土 1/4	口・(12.8) 底・(7.2)	還元。軟。灰黄2.5Y6/2。 並。やや重。白色粘、黑色粘合。	口縁部は外傾する。輪轂成形(右回転)。底部 は回転糸切り。器面、割れ口消す。	接合3片 粘
169-8						

第177号住居跡

堆積番号 回収番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
244-1	土師器 甕	床直 胴下半1/2	底・(4.8)	酸化。硬。暗赤褐5YR3/2。 並。白・褐粘合。褐粘微、他軽物合。	内面に荒削痕。外面に荒削、保付着。底面荒 削。器内薄く型作りか。	接合2片
244-2	須恵器 壺	床直 完形	口・12.4 底・7.7 高・3.3	還元~中性。軟。灰10Y6/1。 並。輕。白・褐粘合、他少。	口縁部は外傾する。底部は右回転糸切り後荒 削。部に不明墨字あり。	墨書-55
169-9						
244-3	須恵器 壺	床直 ほぼ完形	口・12.6 底・7.6	中性。軟。にびい黄10YR6/4。 並。白・褐粘合、他少。	口縁部は外傾する。輪轂成形(右回転)。底部 は内面溝。底面荒削。	内面溝 笠巻か
169-10						
244-4	須恵器 壺	口方 完形	口・12.8 底・8.0 高・3.5	酸化。硬。黑褐7.5YR3/1。 並。やや重。金雲母、褐粘、他少。	底部輪轂右回転糸切後、周辺回転削。不明 墨字。体部外側も同一墨字。内・外ハビ多様。	墨書-56
169-13						
244-5	須恵器 壺	覆土+17往復土 1/2	口・(12.9) 底・(7.8)	中性。並。にびい黄10YR7/3。 並。やや重。軽物微。	底部回転糸切後回転輪轂整形。内・外少し摩耗。 笠巻	接合3片
169-12						
244-6	須恵器 壺	床直 1/4	口・(13.8) 底・(8.5)	中性。硬。にびい槽7.5YR5/3。 並。やや重。褐粘、軽物微。	輪轂成形(右回転)。底部欠損のため切り離し 技法不詳。少し焼かれる。内面ハゼ少。	粘陶
169-11						
244-7	須恵器 壺	覆土 底1/2	底・(7.7)	酸化。軟。槽5YR6/6。 並。やや重。褐粘合、他軽物少。	少し消す。輪轂成形(右回転)。底部は回転糸 切り。内面工具による輪轂目。	粘

第107号住居跡

辨認番号 固版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
245-1 169-16	土師器 甕	覆土+電付近 1/2	口・19.5 底・9.0	酸化。並。にぼい焼7.5YR7/4。 並。重。白粒、鉱物微。	「コ」の字状口縁。口縁部は横削り、 焼付着。口縁部は横削りで施す。	接合3片 シルト粘
245-2 169-17	土師器 甕	覆土+電付近 口縁片	口・(13.0)	酸化。並。にぼい焼7.5/4。並。 輕。白・褐粒含。他少。	「コ」の字状口縁。型作りか。器外面は窯削、 器内面は窯撫で、口縁部は横削りでを施す。	接合5片
245-3 169-14	須恵器 壺	床直 一部欠損	口・13.1 底・6.5	還元。並。灰オリーブ7.5Y6/2。 密。重。白色粒。鉱物微。	口縁部は外傾する。輪轍成形(右回転)。底部 は回転糸切り。外面部輪轍目顯著。	接合3片 本田か
246-1 169-15	須恵器 壺	覆土 1/4	口・(12.4) 底・(5.9)	酸化。硬。にぼい黄7.5Y6/3。 粗。輕。褐粒含。鉱物微。	口縁部は外反する。輪轍成形(右回転)。底部 は回転糸切り。全体に粗面感あり。	粘
246-2 169-15	須恵器 壺	床直 一部欠損	口・13.6 底・6.4	酸化。軟。明黄褐10Y6/6。並。 鉱物微。	口縁部は外傾する。輪轍成形(右回転)。高台 付け高台。底部は回転糸切り。	接合7片 煤付着
246-3 169-17	須恵器 壺	電内 1/3	口・14.5 底・7.1	還元。並。灰7.5Y6/1。粗。 やや輕。白色粒含。鉱物微。	口縁部は外傾する。輪轍成形(右回転)。高台 付け高台。底部は回転糸切り。	接合6片
246-4 169-18	施釉陶器 破片	覆土 破片	厚・0.3	還元。綠。灰オリーブ7.5Y5/2。 密。重。鉱物微。	外面に自然釉あり。内面に輪轍目あり。割れ 口の消耗あり。	東海灘入 口
246-5 169-19	綠釉陶器 器形不明	覆土端方 破片	厚・0.2+α	還元。軟。釉物焼締(淡黄7.5Y 7/3)。胎土黃灰(サクタク状)	平らな個所の破片。内面に淡緑色釉、回転か 否か不明の研磨あり。多面剥落。	
247-1 169-18	石造品 袖石	床直 灰岩3045g	デイサイト質 長・11.5+α。幅・18.5 厚・7.9	自然材に見える。粘土粒、白・褐粒多い。被 熱融解し、部分的に燒。削目観似あり。	接合3片	
247-2 169-21	石造品 電架材か	覆土 灰岩1260g	デイサイト質 長・19.7+α。幅・17.5 厚・8.5	自然材に見え、粘土粒、白・褐粒多い。全体 に被熱融解し、両小口は欠損。削目観似あり。		
247-3 169-20	石造品 袖石	覆土 灰岩4045g	デイサイト質 長・27.7+α。幅・18.2 厚・7.9	自然材に見える。粘土粒、白・褐粒多い。被 熱融解し部分的に燒。削目観似あり。	接合2片	

第108号住居跡

辨認番号 固版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
248-1 170-1	土師器 壺	覆土 口縁片	口・(14.3)	酸化。並。褐7.5Y5/6。並。 やや重。褐粒含。他鉱物微。	口縁部は直立気味。型作り。底部は窯削り、 体部に型崩。口縁部・器内面は横削りで整形。	接合3片
248-2 170-2	土師器 壺	床直+覆土 口縁上半	口・(20.2)	酸化。並。にぼい褐7.5YR6/3。 並。やや重。白・褐粒含。他少。	「コ」の字状口縁。型作りか。外面は窯削り、 内・外面上に焼。内面は窯撫で、口縁部は横削り。	接合8片
248-3 169-22	須恵器 壺(墨書き)	床直 壳形	口・12.9 底・7.6	酸化+還元。並。灰7.5Y6/1。 並。やや重。白粒多。鉱物含。	口縁部は外傾する。底部は輪轍右側削糸切り。 墨書き-57 体部外面に「主」墨字と火漆あり。	
248-4 170-2	須恵器 壺(墨書き)	床直 1/4	口・(12.9) 底・(7.5)	還元。並。灰5Y6/1。並。 やや重。白・褐粒含。他少。	輪轍成形(右回転)。底部は回転糸削り。体部 外面に「主」墨字あり。削れ口少し消耗。 墨書き-58	
248-5 169-23	須恵器 壳形	床直 底・7.6	口・12.9 底・7.6	中性。軟。灰2.5Y7/2。並。 輕。白粒含。鉱物微。	燈火皿。底部は回転糸切り。口縁部に油煙。 燈芯底。底面にちり跡。	接合5片 熱
248-6 170-3	須恵器 壺	覆土 1/3	高・3.8 底・(8.9)	還元。硬。灰白7.5YR7/1。 密。重。黑粒含。白鉱物少。	口縁部は外傾する。輪轍成形(右回転)。底部 は回転糸調整。重ねて変あり。	接合3片 笠懸か
248-7 170-4	須恵器 壺	覆土 口縁片	厚・0.3	還元。並。灰5Y5/1。並。 やや重。白・褐粒含。多微。	口縁部は外傾する。輪轍成形。体部外面に「主」 の墨字あり。削れ口消耗。	墨書き-59
248-8 170-4	須恵器 壺	電 底部のみ	基部・9.0	還元。並。灰2.5Y7/2。並。 やや重。黑・褐粒含。他含。	内面底摩耗あり。さらに2カ所に斜削。小 さり。高台は既時に剥落。墨書きは見えない。	
248-9 170-5	須恵器 壺	電 口縁片	口・(16.7)	還元。並。灰7.5Y6/1。密。 やや重。白・褐粒含。他少。	輪轍成形(右回転)。上半部は回転糸削り。 下半部と内面に輪轍目あり。	埼玉か

第109号住居跡

辨認番号 固版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
250-1 170-5	土師器 甕(半底) (半底)	覆土+電左側袖 1/2	口・12.0 底・6.3	酸化。並。にぼい褐7.5YR6/4。 粗。やや輕。褐粒・鉱物含。	口縁部は粘土帶。型作り。底部は窯削り、体 部に型崩を残し。口縁部・器内面は横削り。	接合4片
250-2 170-9	土師器 甕(平底) ほほん完形	床直 底・7.5	口・(12.2)	酸化。硬。灰褐7.5YR4/2。並。 輕。	型作り。底部は窯削りと中央に砂付着。体部 は窯削。型崩。口縁部・器内面は横削り。	接合4片 粘
250-3 170-10	土師器 甕(平底) 小形甕	覆土 1/2	口・(13.8) 底・9.45	酸化。硬。褐7.5YR6/6。粗。 輕。褐粒・鉱物含。	内面底摩耗あり。型作り。底部は窯削り、体部 にも窯削。口縁部・器内面は横削り。	接合5片 粘
250-4 170-6	土師器 内底環	床直 一部欠損	口・11.8 底・7.6	酸化。硬。褐7.5YR4/3。並。 重。鉱物含。粗・輕。	型作り。内面に暗文を施す。器外側には型崩、 指痕を残す。外部横削部を除いて全型崩。	接合2片 型崩標品
250-5	土師器 小形甕	覆土+掘方 口1/6	口・(12.0)	酸化。並。明赤褐7.5YR5/6。並。 やや重。褐粒・鉱物含。	「コ」の字状口縁。型作り。器外側は窯削り、 器内面は窯削で、口縁部は横削りでを施す。	接合2片

第109号住居跡

辨認番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・釉土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
250-6	土師器 壺	覆土	□・(12.7)	酸化。並。橙5YR6/6。並。 白。褐鉄合、鉱物少。	口縁部は外反する。器外側は窓削り、器外側 は横擦で。口縁部は横擦で。	接合3片 粘・陶
170-11		破片				
250-7	土師器 台付壺	覆土+掘方 脚部片	底・7.2	酸化。並。赤褐色5YR4/6。並。 やや重。白粒、鉱物合。	脚内・外側横擦。底部外側難擦。外側被熱色 変。底部内面にやや返りあり。	
170-7						
250-8	須恵器 内黒 壺	覆土+掘方 底	□・(12.0) 底・6.0	酸化。並。にびい橙5YR6/3. 並。やや重。鉱物粒合。	織維成形(右回転)。器内面に研磨を施す。 底部は回転糸切り。織維目欠連せず。	接合5片 粘・陶
170-13		1/3				
250-9	須恵器 内黒 壺	覆土+掘方 底部のみ	□・(12.3) 底・5.5	酸化。並。橙5YR6/6。並。 やや重。鉱物粒合。	織維成形(右回転)。器内面に研磨を施す。 底部は回転糸切り。外側全体に擦りあり。	接合3片 粘・陶
170-12						
250-10	須恵器 壺	覆土	□・12.4 底・5.6	還元。紅。底7.5Y6/1。密。重。 白粒、鉱物多。	口縁部は外傾する。織維成形(右回転)。底部 は回転糸切り。内・外側の織維目多い。	接合3片 粘・陶
170-14		1/2				
250-11	須恵器 壺	床直	□・13.1 底・5.6	還元。紅。底7.5Y7/2。粗。 輕。白粒、鉱物合。	織維成形(右回転)。底部は回転糸切り。燒 タリあり。部分的に黒い。	粘
170-15		2/3				
250-12	須恵器 壺(墨書)	覆土 口縁片	厚・0.5	還元。並。灰オーリーブ5Y6/2. 並。やや重。白粒多、他少。	口縁部は外傾する。織維成形。切り離し技法 不詳。体部外側に不明墨字あり割れ口消す。	墨書-60
251-1	須恵器 内黒 壺	覆土	□・(12.7) 底・6.1	酸化。紅。赤褐色2.5YR4/6。並。 やや重。	器内面に研磨を施す。底部は右回転糸切り。 内面横擦。津付着。被熱色変。	接合3片 粘
170-16		3/4				
251-2	須恵器 壺	覆土+不明 口	□・13.5 底・7.7	酸化。並。にびい褐7.5YR5/3. 並。鉱物粒多、金雲母含。	口縁部は外傾する。織維成形(右回転)。高台 付り高台。底部は窓で整形。	接合4片 粘・陶
170-8		1/2				
251-3	須恵器 壺	覆土 底部片	厚・0.6	還元。並。灰オーリーブ5Y6/2. 並。やや軽。白・褐鉄合、他鐵。	底部は織維右回転の箇所。底面に削成、削れ 口消す。墨書明瞭。	粘 墨書-61
251-4	輪輪陶器 瓶	覆土掘方 破片	最大・12.5	還元。紅。灰オーリーブ5Y5/2. 鉄。白・褐鉄合、他鐵。	外側にリーフ色の自然輪・釉薬よりあり。内 面織維目あり。削れ口の消耗少。	東海灘入 口
251-5	須恵器 広口壺	覆土 破片	□・(23.6)	還元。紅。灰7.5Y5/1。並。重。 鉄。鉱物暗解味。	織維成形(右回転)。内・外側無整形。削れ口 少。消耗気味。	粘・陶
251-6	須恵器 短頸壺	床直 破片	径・(27.4)	還元。紅。底5Y6/1。密。やや重。 白微粒、黑鉄合、他鐵。	自然釉あり。外面上方織維目下端回転剥離。 内面織維目シャープ。	産室内
251-7	須恵器 短頸壺	床直 1/4	底・(16.2)	還元。紅。底2.5Y3/1.	自然釉あり。内面の織維目シャープ。台部内 面織維膜。-6と同一個体。	産室内
251-8	瓦 本瓦 女瓦	覆土 破片	横・(6.5) 厚・2.9	還元。紅。並。やや重。白粒極 多。	表面に角ぼりのある砂付着。粘土板剥取りな し。表面無膜。焼きヒビ入る。	陶・粘 中世か
251-9	石器 こじ櫛	覆土 完存	ホルンフェルス 720 g	長・17.5、幅・6.5、厚・4.8	個體。小口に剝離が認められる。	
170-17						

第110号住居跡

辨認番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・釉土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
252-1	土師器 壺	掘方覆土 1/2	□・(12.0) 底・(8.5)	酸化。並。明褐7.5Y5/6.粗。 輕。鉱物粒合。	口縁部は直立気味。型作り。底部は窓削り、 体部に型崩。口縁部・器内面は横擦で整形。	接合4片 粘
170-18						
252-2	土師器 壺	覆土	□・(12.1)	酸化。並。橙7.5Y6/6.並。 やや重。鉱物粒合。	口縁部は内凹する。型作り。底部は窓削り、 体部に型崩を残し、口縁部・器内面横擦。	接合6片 粘
170-19		平(平底) 1/4				
252-3	土師器 壺	覆土	□・(12.2) 底・6.5	酸化。並。明黄褐10Y6/6.粗。 輕。鉱物粒合。	口縁部は外傾気味。型作り。底部窓削り、 体部に型崩。口縁部・器内面は横擦で整形。	接合3片 粘
170-20		1/2				
252-4	土師器 壺	窓内 一部欠損	□・(12.2) 底・7.8	酸化。並。明褐7.5Y6/6.並。 やや重。鉱物粒少。	口縁部は内凹気味。型作り。底部は窓削り、 体部に型崩。口縁部・器内面は横擦で整形。	接合3片 粘
170-21						
252-5	土師器 壺	覆土 底・6.9	□・12.4	酸化。並。橙5Y6/6.並。 やや重。鉱物粒微。	口縁部は外反気味。型作り。底部は窓削り、 体部に型崩。口縁部・器内面は横擦で整形。	
170-22		一部欠損				
253-1	土師器 壺	覆土 底・6.8	□・12.4	酸化。並。橙7.5Y6/6.並。 やや重。鉱物粒少。	口縁部は内凹気味。型作り。底部は窓削り、 体部に型崩。口縁部・器内面は横擦で整形。	口縫粘土 帶か
170-23		一部欠損				
253-2	土師器 壺	床底 完形	□・13.0 底・8.2	酸化。並。明黄褐10Y6/6.並。 やや重。鉱物粒微。	口縁部は内凹気味。型作り。底部は窓削り、 体部に型崩。口縁部・器内面は横擦で整形。	
170-26						
253-3	土師器 壺	覆土 1/4	□・(13.0) 高・(3.4)	酸化。紅。純赤褐5YR5/3. 並。白粒合、他鉱物少。	口縁部は内凹気味。型作り。底部は窓削り、 指圧痕。口縁部・器内面は横擦で整形。	接合5片 粘
170-24						
253-4	土師器 壺	覆土 3/4	□・13.0 底・9.5	酸化。並。橙7.5Y7/6.並。 やや重。鉱物粒合。	内面放射状暗線と窓記号。体部、底部は窓削り、 口縁部・器内面は横擦で整形。	接合6片 窓記号
170-27						
253-5	土師器 壺	覆土+掘方 2/3	□・14.0 高・2.7	酸化。紅。明赤褐2.5YR5/6. 並。やや重。褐鉄、鉱物。ルビーハー。	口縁部は窓反り気味。型作り。底部は窓削り、 体部に型崩。口縁部・器内面は横擦で整形。	接合8片 粘
170-25						
253-6	土師器 壺	床直 1/2	□・(13.4) 底・(10.7)	酸化。紅。明赤褐2.5YR5/6. 並。やや重。白粒合、鉱物多。	口縁部は窓反り気味。型作り。底部は窓削り、 体部に型崩。口縁部・器内面は横擦で整形。	接合3片 粘
170-29						

第110号住居跡

擇図番号	種別	出土位置	度目(cm)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
四段番号	器種	遺存度	量目(g)			
253-7	土器器皿	陶腹覆土	口・(14.3) 底・(10.0)	酸化。硬。橙YR6/8。並。 やや重。暗褐色少。鉱物含。	口縁部は端反り気味。型作り。底部は窯削り、 体部に型崩。口縁部・器内面は横撫で整形。	接合3片
170-28		1/3				
253-8	土器器皿	覆土	口・(12.8) 底・(8.8)	酸化。並。灰赤2.5YR5/2。並。 やや重。褐粒・金雲母・鉱物含。	「コ」の字状口縁。型作りか。器外は窯削、 器内面は窯撫で、口縁部は横撫で施す。	
170-31		1/4				
253-9	土器器皿	覆土	口・(12.0)	酸化。硬。明赤陶2.5YR5/8。並。 やや重。白・褐粒。他含。	底部に粘土接合。型作りか。外は窯削り、 内は窯撫で、口縁部は窯撫で。外被熱。	
170-30		1/2				
253-10	須恵器 环	覆土	口・(13.0) 底・(6.0)	還元。並。灰10Y6/1。並。輕。	口縁部は外傾する。底部は織籠右回転糸切り、 さらに「乙」か墨字あり。	接合4片 墨書-62
171-1		1/3				
253-11	須恵器 环	床屑	口・(13.0) 底・(5.4)	還元・並。オリーブ灰2.5GY5/1。 並。やや重。黒粒微。鉱物少。	口縁部は外傾する。底部は右回転糸切り。全 体的に吸収。外に油煙が付着。	接合4片 笠懸か
171-4		2/3				
254-1	須恵器 环	覆土	口・(13.8) 高・(3.5)	酸化。並。にぶい黄檀10YR6/4。 並。やや重。	口縁部は外傾する。織籠成形(右回転)。底部 は欠損する。鐵目多く特徴的。	接合3片 粘・陶
171-2		1/2				
254-2	須恵器 境	床屑 一部欠損	口・15.4 底・9.0	還元。軟。灰白7.5YR7/2。並。 やや重。白粒。鉱物含。	口縁部は外傾する。高台付け 高台。底部は回転糸切り。内・外輪縁目多。	接合3片
171-2		1/4				
254-3	須恵器 境	床直	口・(15.8) 底・(8.8)	還元。並。灰7.5Y6/1。並。 やや輕。白・黑粒含。他少。	口縁部は外傾する。高台付け高台。底部は織 籠右回転糸切り、不明墨字あり。割れ口消耗。	墨書-63 粘
171-5		1/4				
254-4	須恵器 环(墨書)	覆土 底部片	底・(6.0)	酸化・還元。並。灰7.5Y6/1。並。 やや重。白・褐粒含。他少。	織籠成形(右回転)。底部は回転糸切り、不明 墨字あり。割れ口消耗。内面摩耗あり。	墨書-64 粘
171-3						
254-5	須恵器 环(墨書)	覆土 底部片	底・(6.0)	還元。硬。にぶい2.5Y6/3c。 並。やや重。褐粒含。他少。	織籠成形(右回転)。底部は回転糸切り、不明 墨字あり。割れ口消耗。	墨書-65 粘
171-6						
254-6	石製品 防護車	床直 完形	蛇紋岩 4.6g	硬・4.5 横・4.4 厚・1.4	表面に文字、側部にも長條の斜書きあり。裏面 に使用摩耗あり。文字も使用摩耗。判読困難。	文字あり
171-7						
254-7	土器 土罐	覆土 ほぼ完形	長・(4.8) 4.8g	酸化。硬。橙7.5YR6/6。並。 やや輕。鉱物少。	上の小口欠損。表面少し使用摩耗。胎土輕。 穴中に穿孔の縱方向の断板あり。	
171-8						
254-8	土器 土罐	覆土 完形	長・4.5 中・ 1.85-11.5g	酸化。並。橙7.5YR6/6。並。 やや重。鉱物少。	表面は滑らか、少し使用摩耗。穿孔はほぼ均 等のようである。	
171-9						
254-9	土器 土罐	覆土 一部欠損	長・(3.7) 巾・1.3 5.1g	酸化。並。にぶい橙7.5YR6/6。 並。輕。鉱物少。	手前小口は旧字欠損。表面使用摩耗。穿孔は ほぼ同じ直径。	
171-10						

第111号住居跡

擇図番号	種別	出土位置	度目(cm)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
四段番号	器種	遺存度	量目(g)			
255-1	土器器皿 环(平底)	床直 完形	口・13.5 底・4.3	酸化。軟。赤陶2.5YR4/8。並。 重。白粒。鉱物多。	口縁部は内湾気味。口縁部粘土帯接合面。底 部は窯削。体部に型崩。口縁部・内面は横撫。	接合3片 被熱経化
171-11						
255-2	土器器皿 环(平底)	床直	口・15.4 底・6.2	酸化。並。明赤陶2.5YR5/6。 粗。輕。白・褐粒含。鉱物多。	口縁部は直立気味。型作り。底部は窯削り、 体部に型崩面接合。口縁部・内面は横撫。	接合5片 粘
171-12		2/3				
255-3	土器器皿 内里 环	覆土 1/4	口・(13.7)	酸化。並。橙7.5YR6/6。並。 白・褐粒含。他鉱物多。	型作り。器内面に研磨を施す。器外には型 崩・指痕版、下方に斜方向の鋸削面。	
171-13						
255-4	土器器皿 小形壺	覆土 3/4	最・15.9	酸化。硬。にぶい2.5YR7/4a。 並。やや重。鉱物含。	外面におおまかな研磨あり。内面に細作痕、 窯崩痕あり。紐は内面左上り。外被熱。	接合14片
171-13						
256-1	土器器皿 高环	壺内 一部欠損	口・16.0	酸化。硬。明赤陶2.5YR5/8。 並。茶褐粒。鉱物多。	口縁部に粘土帯1条。外被模様。接合版、指 痕版等压痕、小ハゼ、内面小ハゼ。内面紗作痕。	接合8片 被熱色変
171-14						
256-2	土器器皿 壺	床直+覆土 3/4	口・14.8 高・18.1	酸化。並。橙2.5YR6/6。粗。 白色粒微。鉱物少微。	体部下半に紐作痕。器内・外は窯撫で、口 縁部は横撫で施す。内面ハゼ。被熱色変。	接合32片
171-16						
256-3	土器器皿 壺	壺内 1/4	口・15.7	酸化。並。にぶい橙7.5YR7/4a。 並。	器外表面はサララ様の窯削り。器内面は窯撫で、 接合版。口縁部は横撫、窓部外側窯傷多い。	接合7片
171-15						
256-4	土器器皿 壺	床直 一部欠損	口・17.5	酸化。硬。橙7.5YR6/6。並。 やや重。白・褐粒含。鉱物微。	外に窯、窯撫、石目状の型崩疑似。内面窯 撫、接合版。外被下半研磨。	接合45片
171-17						
257-1	土器器皿 壺	床直+床屑 2/3	口・17.2 底・7.4	酸化。硬。にぶい橙7.5YR6/3。 並。やや重。鉱物含。	口縁部は「く」の字状外反。器外は窯削、 窓部内面は窯撫。口縁部は横撫を施す。	接合36片
171-18						
257-2	土器器皿 壺	壺内 破片	最大径(27.6)	酸化。硬。にぶい橙7.5YR7/4a。 並。やや重。白色粒含。	頭・体部片。器厚は厚い。器外は斜位方向 の窯削り、窯撫。外被面に紐作痕の凹凸あり。	接合44片
172-1						
257-3	土器器皿 甌	覆土 1/2	口・14.0 底・5.2	酸化。軟。明赤陶2.5YR5/6。 粗。輕。白色粒含。	組作り、内面に接合痕あり。口縁部丸味あり。 外被面は指・窯撫。内面は指圧版。	接合10片
171-19						
257-4	石器 叩石	覆土 完形	粗粒輝石安山岩 710g	酸化。硬。橙7.5YR7/6。粗。 鉱粒含。白・鉱物少。	外被面は窯撫で後おおまかな研磨。内面に接合 面、直上に刷毛目、以下に窯撫で、ハゼ。	接合28片 外被熱
171-21						
258-1	土器器皿 甌	掘方 壺	底・8.5 1/2	酸化。硬。橙7.5YR7/6。粗。 重。褐粒含。白・鉱物少。		
171-20						

第112号住居跡

辨認番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 有 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石炭材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
259-1	土器器 坏	電源土 破片	口・(14.0)	酸化。硬。褐7.5YR6/6。並。 輕。白粒合、鉛物微。	口縁部は外傾気味。型作り。底部は荒削り、 体部に削痕。口縁部・器内面は横断で整形。	接合2片
259-2	土器器 坏	電付近+覆土 1/3	口・(13.6) 底・6.0	酸化。軟。褐2.5YR6/6。並。 輕。白色鉛微。シルト質。	口縁部は外傾する。縦縫成形(右回転)。底部 は回転余切り。素地2種混じりの構あり。	接合4片 粘
260-1	土器器 更	覆土 口縫部破片	口・(20.6)	酸化。並。明褐7.5YR6/6。並。 やや重。鉛物少。	口縁部周辺横断。体部外側荒削。内面荒削と 小々せあり。	
260-2	土器器 更	電付近+覆土 1/3	底・(4.0)	酸化。硬。にびい褐7.5YR6/3. 並。やや重。褐色鉛微。	外面は粗粒。荒削りを施し、内面下方はハゼ 痕多あり。割れ口に紐作痕。外面被熱色変。	接合22片
172-3						

第113号住居跡

辨認番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 有 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石炭材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
261-1	土器器 坏	覆土 破片	口・(12.4)	酸化。軟。褐5YR6/6。並。 やや輕。白・白粒合、他微。	口縁部は直立気味。底部は荒削り、口縁部・ 器内面は横断で整形。削れ口消耗大。	接合3片
261-2	土器器 底盤裏	床直 破片	口・(11.0)	酸化。軟。赤10RS/8。並。 褐粒多、他微少。	外面にハゼ多く、口縁部下外側から内面にか け横削。削れ口少し消耗。	
261-3	土器器 小形 底盤、土器小	床直+覆土 底・2.5		酸化。並。明赤褐2.5YR5/6. 並。白・白粒合、他微少。	上面に鈎のワニ口のようならしさの所あ り。鉛の可能性あり。外面無斑。否輪輪。	接合3片
172-4						
261-4	土器器 小形 底盤	床直 3/4	底・3.2	酸化化。硬。赤10R4/6.密。 やや重。黒褐粒合、他微少。	赤味強い。外面丁寧な研磨。頭部は旧欠後、 磨き再用。底盤も研磨。	
172-5						
261-5	土器器 更	床直 1/4	口・(20.3)	酸化。硬。褐5YR6/6。並。 やや重。褐粒、鉛物多。	口縁部は外傾する。器外側は荒削り、器内面 は荒無地、ハゼ多い。口縁部は横断で施す。	接合11片
172-6						
263-1	土器器 高坏	床直 坏部片	口・(17.8)	酸化。並。褐7.5YR6/6.並。 やや輕。白・褐粒合、他多。	脚部欠損。内・外面ハゼ多。外下面下方に接合 面、無あり。この脚は研磨か。	接合4片
263-2	土器器 高坏	床直 脚部欠損	口・21.8	酸化。軟。褐2.5YR6/8.粗。 やや重。褐粒多、鉛物少。	外面部文を2段に施す。脚部旧後。外面の下 は横削。内面丁寧な全面研磨。芯黒褐色。	接合22片
263-3	土器器 更	床直+覆土 頭一脚涅片	最大径・(25.4)	酸化。並。褐7.5YR4/3.並。 やや輕。白・褐粒合、他多。	耐厚は厚い。器外側は斜位方向の構毛目、煤 付着。内面指狂痕、ハゼあり。	接合10片
263-4	土器器 更	床直+覆土 頭一部涅片	底・7.5	酸化。並。にびい褐7.5YR6/4. 並。やや重。褐粒多、鉛物少。	外面部は荒削りを施す。内面は荒削りでお よびハゼが多くあり。外面被熱色。	接合20片
172-7						
263-5	土器器 瓶	床直 1/4	口・(25.1)	酸化。並。にびい褐7.5YR5/4. 並。やや重。褐粒多、鉛物少。	遺存不良、口端要ぎき。口縁部は外反。内 面指狂痕。外面部と工具痕。溝・1・2孔不明。	接合24片
172-8						
263-6	土器器 瓶	床直 1/4	口・(23.8)	酸化。硬。褐5YR6/6.並。 やや重。褐粒合。鉛物少。	外面部横削。荒削り。型崩あり。内面に浅い ハゼ。旧削れ後被熱。内・外側付着。	接合23片
172-9						
263-7	土器器 瓶	床直 破片	厚・0.9	酸化。硬。明赤褐5YR5/6.並。 やや重。白・褐粒合、他合。	外面に網目、内面に擦痕と指撃あり。削れ 口消耗少。外面部横削あり。	
172-10						

第114号住居跡

辨認番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 有 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石炭材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
264-1	須恵器 坏	床直	口・12.5	還元。軟。灰白7.5Y7/2.並。 輕。白粒合、鉛物微。	全体に凹凸多く、硬い生地の部分が膨れる。 底部は右回転余切。焼ムラあり部分的に黒い。	接合3片 粘
172-15		完形	底・5.0			
264-2	須恵器 坏	覆土 1/2	口・12.85 底・5.2	還元。並。灰褐2.5YR7/2.並。 輕。白粒合、鉛物少。	口縁部は外傾する。縦縫成形(右回転)。底部 は回転余切り。内・外使用鉛毛目。	接合2片 粘
172-14						
264-3	須恵器 坏	電+覆土 2/1	底・5.8	酸化。軟。褐7.5YR6/6.並。 やや輕。白・褐粒合、他微。	口縁部は削す。縦縫成形(右回転)。底部 は回転余切り。内面全体にハゼている。	
172-16						
264-4	須恵器 坏	電覆土	底・7.1	酸化。並。明赤褐2.5YR5/6. 並。鉛物少。	縦縫成形(右回転)。高台付け高台。外面に小 角削を多く含む淡黄粘土付着。被熱色変。	接合2片
172-13		堆				
264-5	須恵器 更	床直+床脇 口縫片	口・(28.5)	還元。中性。軟。にびい黄2.5Y 6/3.並。輕。褐粒合、他少。	外面部ハゼ多。内面と外面部上方は回転削。外 面下方は回転弱い箇。外面部被熱良。	接合4片 粘
172-11						
264-6	施釉陶器 灰釉塊	覆土 破片	口・(15.0)	還元。軟。淡黄緑(灰釉)。	内・外面部施釉。外面部横削。内面滑らか。内・ 外面部無釉。削れ口少し消耗。	接合2片 東海搬入

第115号住居跡

辨認番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 有 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石炭材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
265-1	須恵器 壇	床直+掘方 一部欠損	口・14.2 底・6.9	還元。並。灰白7.5Y7/1.並。 輕。鉛物较少。	口縁部は外傾する。縦縫成形(右回転)。底部 は高台付後整形。全体被熱、墨色変。	接合3片 粘・陶
172-11						

第115号住居跡

辨認番号 四版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
265-2 172-12	須恵器 壇	床直 1/2	底・8.0	還元。灰白5Y7/2。並。重。 白粒・白鉢物他多。	口縁部は欠損。輪轂成形(右回転)。底部は高台附後櫛整形。	粘
265-3 265-4	施釉陶器 灰釉 三 灰釉 三	覆土 破片	口・(13.0)	還元。緑。釉淡暗黄緑(灰釉)。 胎土灰。	内面赤色。外表面輪轂目。口縁部周辺摩耗あり。 割れ口消炎微。	内面赤色 輝付着
265-5	施釉陶器 灰釉 三	覆土 底部片	底・(7.0)	還元。緑。釉淡乳白一透明。 胎土灰。	内面に施釉。外表面見ええず。底面に糸切痕跡 があり、高台付近微。割れ口少し消耗。	東海撤入
266-1 172-17	施釉陶器 灰釉 壺	覆土 破片	巾・4.5	酸~還元。にぶい7.5Y7R7/4。 粗。輕。茶褐粒合。他微。	手で捏ね固め潰したような粘土塊。表・裏面 に卓子窓の圧印。芯一裏面にかけ少しの吸収。	
266-2	施釉陶器 灰釉 壺	床直 底部片	最大・19.0	還元。硬。灰白5.5Y7/1。密。 重。白色鉢物合。鉢物微。	外側上方と内面は、速い輪轂右回転の翼削り、 輪轂目。外側下方は速い回転の翼削り。	接合 7 片
			最大・21.4	還元~中世。緑。釉淡暗黄緑 (灰釉)。胎土灰。密。	外側に輪轂あり、部分的に緑。下地は回転置削。 内面輪轂目。内面工具痕で、修復か。	接合 2 片

第116号住居跡

辨認番号 四版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
267-1	土師器 壺	覆土 1/4	口・(9.6)	酸化。並。明赤褐色5Y5/6。並。 白・褐粒合。他鉢物少。	口縁部は外輪気味。型作りか。底部は簡削。 口縁部・内面は横擦整形。内面少し吸収気味。	接合 2 片
267-2 173-1	土師器 壺	床直 破片	口・(13.6)	酸化。硬。にぶい赤褐色4Y4/4。 並。輕。白・褐粒合。	「コ」の字状口縁。型作りか。外表面は簡削。 器内面に擦でと接合痕。口縁部は横擦を施す。	接合 2 片
267-3	土師器 壺(小形) 一部欠損	壺内 一部欠損	口・(11.8)	酸化。並。明褐色7.5YR5/6。並。 やや重。雷母合。鉢物少。	型作りか。器外は翼削り、口縁部横擦でを施す。 燒成後穿孔。台部は旧次、その後も使用。	接合 9 片
268-1	須恵器 壺	覆土 1/4	口・(13.2)	還元。並。灰5Y5/1.5。並。やや重。 白粒合。他鉢物少。	口縁部は外傾する。輪轂成形。底部欠損切り 離し技法不詳。内・外面少し吸収。	笠か 粘・陶
268-2	須恵器 壺	覆土 1/2	擴・2.6	還元。並。灰5Y5/1.5。並。やや重。 白粒合、黑粒・他少。	輪轂成形(右回転)。上半部回転翼削り。端部 尖り、少し旧時の摩耗あり。	笠か 粘・陶
268-3	石造品	覆土 完形	石英 288g	進存長・1.9 幅・1.5 厚・0.55	白色の、旧材自然凹凸で、表・裏に使用の摩 耗光沢あり。扁平な材で石英に見える。	

第117号住居跡

辨認番号 四版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
270-1 173-2	土師器 壺	床直 内裏・壺 1/4	口・(12.8) 底・(6.9)	酸化。硬。にぶい赤褐色5YR4/3。 粗。輕。鉢物合。	器内面に研磨・内裏を施す。器外には型削 指頭痕を残す。内裏は鏡削浅く、茶味強。	接合 3 片
270-2 173-9	須恵器 壺	覆土 破片	口・(14.2)	酸化。並。にぶい褐7.5YR5/4。 並。輕。白・褐粒合。鉢物少。	口縁部は外反する。輪轂成形(右回転)。内面 に漆付着。底部は回転余切り。被熱色斑。	接合 2 片
270-3 173-4	須恵器 壺	床直 1/3	口・(17.3)	還元。硬。灰NS5/6。並。やや重。 白色粒微。鉢物合。	口縁部は外傾する。輪轂成形(右回転)。底部 余切り。胎土中に透明鉢物粒合。	接合 4 片
270-4 173-3	須恵器 壺	電+床直 1/4	口・(16.4)	還元。硬。灰黃2.5Y7/2。密。 底・8.2	口縁部は外傾する。輪轂成形。底部は右回転 余切り。胎土中に透明鉢物粒合。	太田か 粘・陶
270-5 173-7	土師器 台付壺	床直 脚部欠損	口・(12.8)	酸化。硬。にぶい赤褐色5YR5/4。 並。少し重。鉢物合。	「コ」の字状口縁。型作りか。器外は鏡削。 器内面は鏡削と施。口縁部は横擦を施す。	
270-6 173-5	土師器 壺	床直 破片	口・(14.1)	酸化。並。赤褐色5YR4/6。並。 やや重。白粒微。他鉢物少。	器外に鏡削。型作りか。外表面は鏡削。内面 は鏡削。内面は鏡削と接合痕。口縁部は横擦。	接合 3 片
270-7 173-6	土師器 壺	電+床直 破片	口・(19.2)	酸化。並。褐5YR6/6。並。輕。 白・褐粒合。鉢物少。	口縁部外面に接合痕。型作りか。外表面は鏡削 り、内面は鏡削。口縁部は横擦。	接合 4 片
270-8 173-8	土師器 壺	覆土+床直 1/3	口・(21.1)	酸化。硬。にぶい黃褐色10YR7/3。 並。やや重。白・褐粒合。他少。	内面と頭部外面に接合痕あり。器外は鏡削 り、器内面は鏡削で、口縁部は横擦でを施す。	接合 17 片
270-9	土師器 壺	覆土+床直 脚~底部1/3	底・(5.4)	酸化。並。灰黃褐色10YR5/2。 粗。輕。茶褐粒合。鉢物少。	器外は鏡削方向の鏡削りを施す。外側全体的に被熱。下方に煤付着。	接合 19 片

第118号住居跡

辨認番号 四版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要	
271-1	土師器 壺	電覆土 破片	口・(12.2)	酸化。並。明赤褐色5YR5/6。	型作りか。外表面は鏡削り、頭部指圧痕。内面 は鏡削。口縁部は横擦。	器外は鏡削。内面は鏡削。	接合 3 片
271-2	土師器 壺	掘方覆土 破片	口・(15.1)	酸化。硬。にぶい褐7.5YR5/4。 並。輕。白・褐粒合。鉢物少。	「コ」の字状口縁。型作り。外表面は鏡削。 内面は鏡削。口縁部は横擦で接合痕。	接合 4 片	

第118号住居跡

埠固番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目(cm) 量目(g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
271-3	土師器 壺	覆土 脚部片	底・7.1	酸化。硬。にぶい橙YR6/4。 粗。輕。鉱物粒なし。	内・外間に縫隙があり。外面少し焼される。 欠損部は旧穴。	
173-10	台付壺					
272-1	土師器 壺	覆土 破片	口・(18.4)	酸化。硬。にぶい黄橙10YR6/4。 並。輕。褐鉱少、鉱物微。	「丁」の字状口縁。口縁部の内・外に横筋で あり。外面下方窓附。脚部に接合痕。燒少。	
173-11	壺					
272-2	土師器 壺	覆土 破片	口・(19.0)	酸化。硬。橙7.5YR6/6。並。 やや重。褐鉱少、鉱物微。	作調風。口縁部下方外側に指压痕。外側は 窓附り、内側は窓附で、口縁部は横筋で施す。	接合3片
173-12	壺					
272-3	土師器 壺	覆土 破片	口・(20.0)	酸化。並。にぶい橙7.5YR5/4。 並。やや重。白・褐鉱合、他少。	口縁部外側に窓附。器外側は窓附り、窓少。器 内側は窓附で、口縁部は横筋で。	接合2片
272-4	土師器 壺	床直 口縁部片	口・19.0	酸化。並。にぶい橙7.5YR6/4。 粘。やや重。茶褐鉱少。	口縁部部土帶。製作り。外側は窓附、内側は 窓附で、接合面あり。口縁部は横筋で。	接合23片
173-16	壺					
272-5	土師器 壺	覆土 破片	口・(21.3)	酸化。硬。橙7.5YR6/8。並。 やや重。白粘合、鉱物少。	口縁部一部に接合面2カ所。器外側は窓附 り、器内側は窓附で、口縁部は横筋で施す。	
173-13	壺					
272-6	土師器 壺	覆土 底部片	底・4.4	酸化。硬。橙2.5YR6/6。粗。 やや重。鉱物粒微。	口縁部外側に窓附。器外側は窓附り、窓少。器 内側は窓附で、口縁部は横筋で。	接合8片
173-17	壺					
272-7	須恵器 壺	覆土+床直 一部欠損	口・14.2	還元。並。にぶい黄橙10YR7/2。 並。やや重。鉱物粒合。	口縁部は外傾する。輪錐成形(右回転)。高台 は欠損する(付高台)。底部糸切。	接合5片
173-14	壺					
272-8	須恵器 壺	床直 1/2	口・(15.1)	還元。硬。にぶい橙7.5YR7/3。 並。鉱物微。	口縁部は外傾する。輪錐成形(右回転)。高台 付け高台。底部は回転糸切り。	接合5片
173-15	壺	底・6.6				
272-9	須恵器 壺	床直 2/3	口・15.95	還元。硬。にぶい橙7.5YR7/4。 並。鉱物粒微。	口縁部は外傾する。輪錐成形(右回転)。高台 は欠損する(付高台)。底部は回転糸切り。少し燒し。	接合2片
174-1	壺	底・5.4				
272-10	須恵器 壺	覆土 1/4	口・(15.8)	酸化。並。にぶい黄橙10Y6/4。 並。輕。白粘合、他鉱物少。	口縁部は外傾する。輪錐成形(右回転)。高台付 高台。底面回転糸切。体部に「大力」か墨字。	墨書-66 笠
174-4	壺	底・6.8				
272-11	須恵器 壺	覆土 3/4	口・15.7	還元。硬。にぶい橙7.5YR7/4。 並。鉱物微。	口縁部は外反する。輪錐成形(右回転)。高台 付け高台。底部は回転糸切り。少し燒り。	接合2片
173-18	壺	底・7.4				
272-12	須恵器 壺	覆土 内周 2/3	底・6.1	酸化。並。にぶい黄橙10YR7/4。 並。鉱物粒微。	輪錐成形(右回転)。器内面に研磨を施す。高 台は付け高台。回転糸切り(右回転)。	高 粘
174-2	壺					
272-13	土師器 壺	覆土 口縁部片	厚・0.4	酸化。硬。橙5Y6/6。並。輕。 白粒、白粘土網、他鉱物合。	口縁部は外傾気味。体部に窓附り、不明墨字。 口縁部・回転糸切り。内面は横筋で整形。	墨書-67

第119号住居跡

埠固番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目(cm) 量目(g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
273-1	土師器 壺	覆土 小片	口・(12.8)	酸化。並。にぶい橙5YR6/4。 並。やや輕。白・褐粘合、他微。	口縁部は外傾気味。製作り。体部に窓附。口縁部・器内面 は横筋で整形。	
273-2	土師器 壺	覆土 口縁部片	口・(12.4)	酸化。並。赤褐5YR3/4。並。 並。輕。白粘合、他鉱物合。	「コ」の字状口縁。外側は窓附り、内側は 窓附で、口縁部は横筋で。	
273-3	土師器 壺	覆土 口縁部片	口・(13.2)	酸化。並。橙5YR6/6。	「コ」の字状口縁。外側は窓附りと黒斑。内 面は窓附で、口縁部は横筋で施す。	
273-4	土師器 壺	覆土 小片	口・(13.6)	酸化。硬。にぶい橙5YR6/3。 並。やや重。白・褐粘合、他少。	窓部外側に窓附。外側は窓附り、内側は 窓附で、口縁部は横筋で。内面被熱。	接合2片
273-5	須恵器 壺	覆土 小片	口・(13.1) 底・(6.0)	還元。軟。灰白5Y7/1。並。 輕。白粘合、他鉱物少。	輪錐成形(右回転)。底部は回転糸切り。体部 外側に窓附多い。	粘
273-6	須恵器 壺	覆土 1/4	底・6.5	還元。軟。黄褐2.5YR5/3。並。 輕。白粘合、他鉱物微。	口縁部は欠損する。輪錐成形(右回転)。高台 付け高台。底部は回転糸切り。	粘
273-7	須恵器 蓋、内周 破片	覆土 破片	厚・0.4	酸化。軟。にぶい橙7.5YR5/4。 並。輕。白粘合、他少。	内面黒色處理と研磨あり。割れ口少し消耗。 黒色化は外側にもおよぶ。	粘
273-8	瓦 男瓦	覆土 小片	長・5.7+α 厚・1.8	還元。硬。灰7.5YR5/0。並。 輕。白粘合、他少。	白粒は石灰か。小片のため男瓦は不確定。布 目圧痕あり。表面艶。消耗少ない。	粘・陶 9℃後
273-9	瓦 男瓦	覆土 小片	長・5.0+α 厚・1.1	還元。硬。灰N6/0。並。輕。 白粘多、鉱物粒合。	内面布目。外側艶。薄作。焼成は高いが、生 地は合成土らしく、微クラック入る。	粘・陶 9℃後

第120号住居跡

埠固番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目(cm) 量目(g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
274-1	須恵器 壺	覆土 1/4	口・(15.2)	還元。軟。灰白2.5YR7/1。並。 輕。白粘合、鉱物合。	口縁部は外反する。輪錐成形(右回転)。底部 は回転糸切り。外側の輪錐目条数多い。	
174-5	壺		底・(7.0)			
274-2	土師器 壺	覆土 小片	口・(20.4)	酸化。並。にぶい橙5YR7/4。 並。輕。白・褐粘合、鉱物粒少。	口縁部下面に接合面。製作り。外側は窓附 り、内側は窓附で、口縁部は横筋で。	接合3片

第120号住居跡

拂回番号 国版番号	種 別 器 器	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石炭材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
274-3	施釉陶器 瓶	覆土 破片	厚・0.4	還元。終。熱波黄緑(灰釉)、 胎土。	外側にやや厚い施釉あり。内面無釉。胎土は 灰白色白味強。割れ口消耗。	東海搬入。
275-1	土師器 甕	覆土 小片	口・(20.6)	酸化。並。橙2.5YR6/6。 やや輕。白・褐粒合、他少。	内・外面に接合2段段あり。型作り。外面は 簾削り、内面は施で、口縁部は横擦で。	
275-2	土師器 甕	床直 口縁・体部	口・(20.9)	酸化。並。にせい赤褐色5YR5/4。 並。金碧母合、藍物粒合。	器外側はサラ状の簾削り、器内面は撫で、 口縁部は横擦でを施す。	
275-3	土師器 甕	床直 小片	口・(21.0)	酸化。並。にせい橙5YR6/3。	口縁部外側に粘土帶接合面。型作りか。外面 は簾削り、内面は撫で。口縁部は横擦で。	接合2片

第121号住居跡

拂回番号 国版番号	種 別 器 器	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石炭材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
276-1	土師器 甕	床直 口縁部片	口・(19.2)	酸化。硬。明赤鉄2.5YR5/6。 並。やや輕。金碧母合・白粒合。	口縁部は外反する。器外側は簾削り、器内面 は簾削で、口縁部は横擦でを施す。	
276-2	土師器 甕	床直+覆土 底・体部片	底・(3.4)	酸化。並。にせい橙2.5YR6/4。	口縁部は欠損する。器外側は簾削り、器内面 は簾削で、外面被熱色変。	接合2片
276-3	土師器 甕	床直 小片	底・(4.2)	酸化。硬。にせい橙5YR6/4。 並。やや輕。白・褐粒合、他少。	口縁部は欠損する。器外側は簾削り、器内面 は簾削で、外面被熱色変。割れ口消耗臭味。	
276-4	須恵器 壺	電掘方+覆土 口縁部片	口・(13.3)	還元。軟。灰白5YR7/1。 並。輕。白・褐粒合、他少物少。	口縁部は外傾する。纏織成形(左回転)。底部 欠損のため切り離し後法不詳。	粘
276-5	須恵器 壺	覆土 破片	底・(8.0)	還元。軟。灰オリーブ5YR6/2。 並。輕。褐粒多。	纏織整形。底部は回転糸切り。体部外面纏織。 割れ口の消耗大。	粘
277-1	須恵器 壺	床直 1/2	口・(13.4)	中性。並。にせい黄2.5YI6/3。 密。やや輕。藍物少。	上半部は纏織右回転糸切り。外面に重焼吸灰、 「刀」墨字。内面無焼灰。割れ口消耗微。	接合3片 墨書-68
277-2	須恵器 壺	電+覆土 1/3	厚・0.8	中性。點。灰黃2.5Y7/2。 並。やや輕。黑粒多。褐粒合、他少。	外面は纏織右回転糸切り、纏織目。内面使用 粘耗。重燒色變。割れ口消耗。	粘
277-3	須恵器 壺	覆土 破片	厚・0.8	還元。並。灰 N5/0。並。輕。 白粒多、他藍物合。	付高台。底部纏織右回転糸切り。割れ口消耗 粘耗。高台端部使用摩耗か。	
277-4	須恵器 甕	電掘方 口・腹部片	口・(23.8)	還元。點。灰 N4/0。密。重。 白色小粒子、同藍物多、他微。	磁作後纏織成形か。表面少しおずつく。口縁 部付近に自然釉かかる。	太田
277-5	土製品 壺	覆土 破片	巾・(2.4)	酸化。軟。にせい黄2.5Y6/3。 密。褐粒多、他少、シリト質。	外面は球状をなし、内部に管状の小穴あり。 管中にスラブの圧痕状態は見られない。	水に沈む
174-6	土製品 壺					
277-6	石製品 鋤	鋤方 1/2?	径・4.55 穴径・0.85 重・26.8g	還元。硬。灰10Y6/1。密。重。 藍物粒合。	裏面、旧欠刻。側部は再整形の難目状模様板。 裏面は纏織目状は摩耗があり旧面か。	欠損後再 加工

第122号住居跡

拂回番号 国版番号	種 別 器 器	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石炭材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
278-1	土師器 甕	覆土 小片	口・(13.2)	酸化。並。にせい橙5YR6/3。 並。輕。白・褐粒合、他少。	口縁部外面に吸灰あり。底部は簾削り、体部 に簾削。口縁部、器内面は横擦で整形。	
278-2	土師器 甕	覆土 口縁部片	口・(18.0)	酸化。硬。にせい黄褐色10YR5/4。 並。輕。金碧母、藍物粒合。	口縁部は「コ」の字状口縁。器外側は簾削り、 器内面は簾削で、口縁部は横擦でを施す。	
278-3	土師器 甕	床直 口縁部片	口・(19.8)	酸化。硬。にせい赤褐色5YR5/4。 並。白・褐粒合、藍物粒合。	底部に壓痕。型作りか。外面は簾削り、内面 は横擦で。	
278-4	土師器 台付櫛	床直 脚部片	底・11.0	酸化。硬。明赤鉄2.5YR5/6。 並。やや輕。藍物粒合。	内・外面に横擦あり。内・外面にハゼと被熱 と考えられる色変あり。	
278-5	須恵器 甕	覆土 3/4	口・12.1 底・6.2	還元。硬。灰10Y6/1。密。重。 藍物粒合。	口縁部は外傾する。纏織成形(右回転)。底部 は回転糸切り。	接合3片 笠・太田
278-6	須恵器 甕	覆土 1/2	口・12.6 底・8.2	還元。硬。灰10Y6/1。密。重。 藍物粒合。	口縁部は外傾する。纏織成形(右回転)。底部 は回転糸切り後周辺を簾整形。	笠・太田 か
279-1	須恵器 甕	床直+覆土 3/4	口・12.9 底・7.8	還元。硬。灰10Y6/1。密。重。 藍物粒合。	口縁部は外傾する。纏織成形。底部は右回転 糸切り。内面の纏織目高い。	接合4片 笠・太田
279-2	須恵器 甕	床直+覆土 一部欠損	口・13.0 底・7.6	還元。硬。にせい橙5YR7/3。 並。やや輕。藍物粒合。	口縁部は外傾。纏織成形(右回転)。底部は回 転糸切り。外面部底原に突出し縫あり。	接合2片 笠
279-3	須恵器 甕	覆土 口縁部片	口・(13.2)	還元。並。灰7.5Y6/1。並。 やや輕。白粒微、他藍物微。	纏織成形。内・外面纏織目少ない。外面に不 明墨字あり。割れ口消耗少。	笠か 墨書-69
279-4	須恵器 甕	覆土 底部片	底・(7.3)	還元。軟。灰SY6/1。並。輕。 白粒多、他少。	底部は纏織右回転糸切り。乾燥時のヒビ割れ あり。割れ口消耗大。	接合2片 粘

第122号住居跡

探査番号	種別 団査番号	出土位置 器種	度目(cm) 遺存度	度目(g) 量目(g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
279-5	須恵器 环	覆土 底部片	底・7.2	還元。並。灰5Y5/1。並。輕。 白粒多、他鉱物含。	底部は輪轂右回転糸切り。内面に摩耗。割れ 口の消耗大。	粘	
279-6	須恵器 环	床直 墨書	底・6.6	還～中性。並。にぶい黄6/3。 並。やや重。白・褐粒含、他鉱物。	輪轂成形(右回転)。底部は輪轂右回転糸切 り。墨書-70 「一」か星狀。内面使用摩耗。割れ口消耗。	墨書-70	
279-7	須恵器 墨書	覆土 破片	底・(7.2)	酸化～中性。軟。淡黃5Y8/3。 密。重。白粒含、鉱物粒少。	底部右回転磨削り。さらに「洋」墨字あり。 内・外面向もハゼあり。焼成不良。	笠 墨書-71	
279-8	須恵器 环	覆土 底部片	底・7.4	中性。並。にぶい黄2.5Y6/3。 並。やや重。白粒含、他鉱物少。	輪轂成形切り。内面にハゼ多。 割れ口の旧消耗に新・古あり。	粘	
279-9	須恵器 内里	覆土 1/4	口・(12.7)	酸化。硬。 底・(6.3)	酸化。硬。にぶい橙7.5YR7/4。 粗。輕。鉱物粒微。	輪轂成形(右回転)。器内面に研磨黑色処理。 底部は回転糸切り。	粘
174-13							
279-10	須恵器 内里	覆土 塊	口・(16.0)	酸化。並。にぶい黄橙10YR6/4。 並。輕。白・褐粒含。	輪轂成形。器内面に研磨を施す。底面は手持 荒削。	粘	

第123号住居跡

探査番号	種別 団査番号	出土位置 器種	度目(cm) 遺存度	度目(g) 量目(g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
280-1	須恵器 环	覆土 口縁部片	口・(12.7)	還元。硬。灰7.5Y6/1。密。 やや重。白粒多、他少。	口縁部は外傾する。輪轂成形(右回転)。体部 外面に「山」墨字あり。割れ口摩耗。	太田か 墨書-72	
280-2	須恵器 环	覆土+床直 ほぼ完形	口・13.1 底・6.0	還元。並。灰白5Y7/2。並。 鉱物粒微。	口縁部は外傾する。輪轂成形(右回転)。底部 は回転糸切り。部分的に黒色斑文あり。	粘・陶	
280-3	土師器 便	瓶方 小片	口・(13.0)	酸化。並。にぶい橙5YR6/4。 並。輕。	「コ」の字状口縁。型作り。外面は荒削り、 内面は荒削で、口縁部は横擦で。外面部被熱。		
280-4	土師器 便	覆土 小片	口・(20.0)	酸化。並。橙5YR7/6。並。輕。 型作りか。外面は荒削り、内面は擦で、被熱、 小ハゼ。口縁部は横擦で。	接合3片		

第124号住居跡

探査番号	種別 団査番号	出土位置 器種	度目(cm) 遺存度	度目(g) 量目(g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
281-1	土師器 环	床直 1/4	口・(12.0) 高・4.0	酸化。並。にぶい赤褐5YR6/4。 並。輕。鉱物粒少。	口縁部は直立気味。底部は荒削り、体部に型崩。 口縁部・回転糸切り。内面は横擦。底面吸出。	接合1片	
281-2	須恵器 便	電覆土他 1/3	口・(26.1) 底・(8.6)	酸化。並。にぶい橙5YR6/4。 並。やや重。茶褐粒、鉱物多。	紐作り。器外面部削り。器内面は浅い擦磨で。 口縁部周辺は横擦で。部分的に紐痕。	接合14片 粘	
281-3	土師器 便	床直 1/2	長・5.0 短・2.5	酸化。並。にぶい黄橙10YR6/4。 並。やや重。褐粒、鉱物少。	割れ口新古不詳。広壇部側面やや摩耗。擦磨 形を主とする。焼成色黒く周回酸化。	土師器質	
174-17	筋縫串						

第125号住居跡

探査番号	種別 団査番号	出土位置 器種	度目(cm) 遺存度	度目(g) 量目(g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
282-1	土師器 环(平底)	電覆土 破片	口・(12.0) 底・(8.4)	酸化。並。橙7.5Y6/6。並。 やや重。白・褐粒含、他少。	口縁部は外傾する。型作り。底部は荒削り、 体部に型崩す。口縁部・器内面は横擦で。		
282-2	須恵器 环	電覆土 1/2	底・5.8	酸化。軟。にぶい橙7.5Y6/4。 並。輕。金雲母含、鉱物粒少。	口縁部は外傾する。輪轂成形(右回転)。底部 は回転糸切り。全体に消耗。	粘	
282-3	土師器 便	瓶方 破片	底・(7.1)	中性。硬。にぶい黄2.5Y6/3。 並。輕。白・褐粒含、他少。	輪轂成形。高台付け高台。底部は回転糸切り と整形。内・外面部焼成色。割れ口消耗。	粘	
174-17	筋縫串						

第126号住居跡

探査番号	種別 団査番号	出土位置 器種	度目(cm) 遺存度	度目(g) 量目(g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
283-1	土師器 环	覆土 破片	口・(12.2)	酸化。硬。橙7.5Y6/6。並。 白色・褐粒含。他鉱物少。	口縁部は内湾気味。型作り。底部は荒削り、 体部に型崩す。口縁部・器内面は横擦で整形。		
283-2	土師器 台付甕	覆土 3/4	底・10.0	酸化。硬。にぶい赤褐5YR4/4。 並。やや重。鉱物粒微。	内・外面部横擦あり。外面上にハゼおよび被熱。 と考えられる色変あり。	接合2片	
283-3	須恵器 环	覆土 1/2	口・(13.4) 底・6.5	還元。軟。灰白5Y7/2。粗。輕。 鉱物粒微。	口縁部は外傾する。輪轂成形(右回転)。底部 は回転糸切り後回転糸切り。	粘	
283-4	須恵器 丸	覆土 2/3	口・(12.0) 底・(8.4)	還元。並。暗オリーブ灰2.5YR 4/1。並。やや重。白含、鉱物少。	口縁部は外傾する。輪轂成形(右回転)。高台 付高台。底部は回転糸切り整形。少し焼かれる。	接合2片	
174-20							

第128号住居跡

探査番号	種別	出土位置	度目(cm)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
回収番号	器種	遺存度	量目(g)			
285-1	土師器	覆土	口・(11.0)	酸化。並。暗赤褐色5YR3/4。並。やや重。鉱物粒含。	「コ」の字状口縁。外面は窪削り、内面は窪削。口縁部は横撫。台付か。内・外横さされる。	接合3片
174-22	小甕	破片				
285-2	土師器	床直	口・(21.0)	酸化。並。にぼい緑5YR6/4。並。やや重。白・褐微紅・鉱物含。	「コ」の字状口縁。製作り。外面窪削。器外	接合98片
174-25	甕	1/2	底・(4.4)		面は火を受けている。口縁部は横撫で。	
285-3	須恵器	覆土	口・(13.45)	還元。並。灰白2.5YR7/1。並。やや軽。鉱物粒含。	口縁部は外傾する。縦撫整形。底部は右回転。笠形か	
174-21	甕	1/2	底・6.5		系切り。内・外面縦縦目やや多い。粘	
285-4	須恵器	床直	底・(6.5)	酸化。硬。明赤褐色5Y5/6。	縦撫成形(右回転)。底部は回転余切り。全に	
	甕	1/4			消耗し内面底は頗者。	
285-5	石製品	覆土	径・5.0	流紋岩か。灰褐色5YR4/2。軟質。	平面近円であるが少し歪む。裏面に研磨条痕。	
174-23	彷彿車	完形			隅・角部は使用摩耗あり。穿孔は開閉から。	

第129号住居跡

探査番号	種別	出土位置	度目(cm)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
回収番号	器種	遺存度	量目(g)			
287-1	土師器	電覆土	口・(21.9)	酸化。並。にぼい緑5YR7/4。並。やや重。鉱物粒多。	口縁部は外反する。器外面は窪削り、器内面	接合2片
174-24	甕	破片			は窪削で、口縁部は横撫でを施す。	
287-2	土師器	床直	口・(21.4)	酸化。並。にぼい緑5YR7/4。並。重。金雲母含。鉱物粒多。	口縁部は外反する。外面は窪削り、内面は窪	接合2片
	甕	破片			削で、口縁部は横撫でを施す。外面被熱色斑。	
287-3	須恵器	床直	口・(18.2)	酸化。並。赤褐色10YRS4/4。並。重。羽釜	口縁部の内・外面横撫で、外面腰以下に窪削	接合2片
	破片				入る。割れ目に接合痕あり。	
287-4	須恵器	床直	口・(10.5)	酸化。並。浅黄褐色5YR8/6。粗。絞。鉱物粒少。	口縁部は外反する。縦撫成形(右回転)。底部	接合14片
174-26	甕	3/4	底・6.4		は回転余切り。口縁部・器内面は横撫で。	
287-5	須恵器	床直+覆土	口・(14.0)	酸化。並。にぼい緑5YR6/3。並。絞。鉱物粒少。	縦撫成形(右回転)。内面に研磨。内黒は口縁	接合3片
	破片				部周辺外面上にも。破片相互被熱色差あり。	
287-6	土師器	床直	口・(24.0)	酸化。硬。黄褐色7.5YR7/8。並。やや重。茶褐色。鉱物多。	縦撫右回転主体。全体としては組作か。口縁部付近に接合面。内面指などの圧痕あり。	接合4片
174-28	羽釜	破片				
287-7	須恵器	床直	口・(26.0)	中性。並。暗褐色7.5YR6/6。並。やや重。羽粒多。鉱物粒少。	口縁部粘土帶。跨以下版方向の撫削。内面に	粘
174-27	羽釜	破片			紐作後の横撫あり。	
287-8	土師器	床直	口・(27.0)	酸化。並。にぼい緑5YR7/3。並。粗大粒多。鉱物粒多。	全体に作調組屋。内・外面縦縦目あり。内・	粘
174-29	羽釜	破片			外面組作痕あり。口縁部粘土帶あり。	
287-9	須恵器	覆土	底・(11.0)	酸化。軟。明赤褐色5YR5/6。並。絞。羽粒極多。他合。	体部外側窪削痕。底面凹凸。内面底辺な	粘
	底部片				どによる撫擦。	

第130号住居跡

探査番号	種別	出土位置	度目(cm)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
回収番号	器種	遺存度	量目(g)			
288-1	土師器	竈方	口・13.2	酸化。硬。暗褐色5YR6/8。粗。やや重。鉱物粒含。	口縁部は外傾気味。底部は窪削り、口縁部・	
175-1	甕	ほぼ完形	底・3.9		内面は横撫で整形、放射状研磨。	接合7片

第131号住居跡

探査番号	種別	出土位置	度目(cm)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
回収番号	器種	遺存度	量目(g)			
288-1	土師器	竈方	口・13.2	酸化。硬。暗褐色5YR6/8。粗。やや重。鉱物粒含。	口縁部は外傾気味。底部は窪削り、口縁部・	
175-1	甕	ほぼ完形	底・3.9		内面は横撫で整形、放射状研磨。	

第132号住居跡

探査番号	種別	出土位置	度目(cm)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
回収番号	器種	遺存度	量目(g)			
291-1	土師器	覆土+床直	口・11.4	酸化。並。明赤褐色5YR5/6。並。絞。赤鉄粒・鉱物粒含。	型作り。底部は窪削り、体部に窪溝。口縁部・	
175-2	甕	2/3	底・8.7		器内面は横撫で整形。外縁保付着。	接合5片
291-2	土師器	床直	口・(12.0)	酸化。並。明褐色5Y5/6。並。やや重。白・褐相合・鉱少。	型作り。底部は窪削り、体部に型溝「主」墨字。口縁部・内面は横撫で整形。	墨書-73
	甕(墨書)	1/4				
291-3	土師器	竈方+覆土	口・11.8	酸化。並。暗褐色5YR6/6。粗。絞。鉱物粒含。	型作り。底部は窪削りと窪溝で、体部に型溝。口縁部・内面は横撫で整形。	
175-3	甕	1/2	高・3.7			接合3片
291-4	土師器	床直	口・12.4	酸化。硬。明赤褐色5YR5/6。	口縁部は内側気味。型作り。底部は窪削り、	
175-4	甕	ほぼ完形	底・10.2		体部に型溝。口縁部・内面は横撫で整形。	接合5片
291-5	土師器	床直	口・13.0	酸化。硬。暗褐色5Y6/6。並。絞。白鉄粒。鉱物粒含。	型作り。底部は窪削り、内面底に「鳥」墨字。体部に型溝。口縁部・内面は横撫で整形。	
	一部欠損	底・9.3				接合5片
175-6	甕(墨書)					墨書-74

第132号住居跡

埠区番号 回版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 重 目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
292-1 175-7	土師器 甕	床直 底部片	高・(5.65) 底・3.8	酸化。並。にぶい赤褐色5YR5/4。 並。や重。金碧母、暗赤鉄物合。	脚部片、器厚は厚い。器外側は継ぎ方向の割 削りを施す。外面は被熱煤付着。	接合8片
292-2 175-8	土師器 甕	礫覆土、他 1/4	口・(18.2) 高・(16.0)	酸化。並。にぶい赤褐色5YR5/4。 並。や重。鉄物粒合。	器外側はササガ様の簾削り。器内面は窓無で、 頂部外側に型模様。	接合21片 破片色差
292-3 175-9	須恵器 环	窓内 3/4	口・12.4 底・8.0	還元。輕。灰オリーブ5Y6/2。 並。輕。白粘少、他少。	底部は織籠式回転条切り、焼成後周辺を平ら に磨く。窓れ口消耗。	接合3片 粘
292-4 175-10	須恵器 环(墨書き)	床直 一部欠損	口・12.6 底・7.6	還元。輕。灰10Y6/1。並。 並。や重。白粘合、他少。	織籠成形(右回転)。底部は回転条切後回転算。 体部裏面に不明墨字。	笠か 墨書き-75
292-5 175-11	須恵器 环	床直+覆土 1/2	口・(12.8) 底・(7.4)	還元。並。灰5Y5/1。並。 並。輕。白粘合、鉄物粒合。	口縁部は外傾する。底部は右回転調整。内 面底少し使用摩耗あり。	接合2片 粘
292-6 175-12	須恵器 环	床直 3/4	口・(13.0) 底・(7.4)	中性。並。灰オリーブ5Y6/2。 並。輕。白粘少、他少。	織籠成形(右回転)。底部は手持窓削り。体部 外面に「主」墨字あり。内面底使用摩耗。	墨書き-76 笠並
292-7 175-13	須恵器 环	床直 3/4	口・12.95 底・7.5	還元。輕。灰7.5Y5/1。密。重。 鉄物粒合。	口縁部は外傾する。織籠成形。底部は右回転 条切後窓整形。外面底際に残し鏡。	接合5片 笠並
292-8 175-13	須恵器 环	床直 3/4	口・11.3 底・7.6	還元。輕。オリーブ灰2.5GY。 密。や重。白粘合。	口縁部は外傾する。織籠成形(右回転)。高台 付け高台。底部は回転条切り。重ね燒板。	笠・太田 笠

第133号住居跡

埠区番号 回版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 重 目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
293-1 175-14	土師器 高环	覆土 口縁部片	口・(18.4)	酸化。並。赤褐色5YR4/6。並。 並。や重。白・褐粘合、他少。	外面におおまかな研磨と、内面にも暗文状研 磨しときどきあり。器面少し消耗。	接合4片
293-2 175-15	土師器 小影響	床直 脚部片	高・(8.2) 底・(13.0)	酸化。並。5YR6/6。粗。輕。 シルト質。鉄物粒合。	外面上方に研磨面、下方に窓あり。内面上 方組作の縫5段以上、下方横撹。	接合6片
293-3 175-15	土師器 小影響	床直 1/2	口・(14.1) 底・(4.5)	酸化。並。にぶい赤褐色5YR6/4。 並。や重。白・褐粘合、鉄物粒合。	口縁部は外反する。外面は窓削り、内面は窓 無で、口縁部は横撹で、内・外間にハゼ多い。	接合24片
294-1 175-16	土師器 小影響	床直 1/4	口・(11.0)	酸化。輕。明赤褐色5YR5/6。並。 並。白・褐粘合、鉄物粒合。	内・外面ハゼあり。内面組作痕と指正痕あり、 外間に跳躍多いが、単位不明瞭、消耗。	接合5片
294-2 175-17	土師器 甕	床直 口・胴1/2	口・(20.6)	酸化。並。明赤褐色10Y6/6。並。 並。白粘合。	「く」の字状口縁。器外表面は荒削り、窓削りで、 器内部は窓削りで、口縁部は横撹で施す。 煤付着	接合15片
294-3 175-17	土師器 甕	床直 底部、2/3	高・(6.7)+ 底・6.4	酸化。並。5YR7/6。並。 並。白・褐粘合、鉄物粒少。	外面に接合痕多くあり。器面消耗。少しシル ト質。	接合3片
294-4 175-20	土師器 甕	床直 破片	口・(17.2)	酸化。並。5YR6/6。並。 並。や重。金碧母、褐粘、鉄物粒少。	口縁部から胴部破片。器外表面は継ぎ方向の刷 毛目様の擦削。割れ口に接合面。	

第134号住居跡

埠区番号 回版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 重 目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
295-1 175-17	須恵器 羽釜	覆土 破片	口・(15.4) 高・(8.3)	酸化。硬。にぶい赤褐色5YR5/4。 並。や重。鉄物粒合。	外面少し吸収、窓削り後の横撹。内面窓削り、横 撹。並や酸化味強く、口作りも付す。	接合2片 粘・陶
295-2 175-18	須恵器 羽釜	覆土 小片	口・(19.6)	酸化。並。にぶい赤褐色5YR5/4。 並。重。褐粘多、他少。	組作痕、織籠整形か。口縁部の内面横撹。割 れ口の消耗少。	粘・陶
295-3 175-19	須恵器 羽釜	床直 破片	口・(21.8)	酸化。並。にぶい赤褐色10Y5/4。 並。や重。白粘合、他鉄物少。	内面に圓転らしい横撹あり。口縁部内・外面 横撹。外面脚部以下不定方向の指標。	粘・陶
295-4 175-20	須恵器 羽釜	9-568坑内 脚部破片	最・(25.0)	酸化。硬。赤褐色3.5YR4/6。並。 並。重。白・褐粘合、鉄物粒少。	器内厚く、割れ口に組作痕。外表面は継ぎ方向 の窓削り。内面は横撹。	接合4片 産不明

第135号住居跡

埠区番号 回版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 重 目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
296-1 175-18	土師器 壇?	覆土 口縁部片	口・(12.0)	酸化。並。赤褐色5YR4/8。並。 並。白粘少、鉄物粒合。	内・外面上にハゼあり。器面整彌は部分的に擦 削の痕跡が見える。	
296-2 175-18	土師器 高环	窓内+窓右側 袖脚部欠損	口・6.8 高・(5.8)	酸化。並。5YR6/6。粗。 並。輕。茶褐粘、鉄物粒合。	内・外面上面研磨痕あり。器面少量付着、被熱色変。 内・外面上面研磨痕あり。口縁部「コ」の字状口縫。小ハゼが内・外あり。	接合10片
296-3 175-19	土師器 高环	窓左側 口縁部片	口・(18.0)	酸化。軟。5YR7/6。粗。 並。輕。白・褐粘合、鉄物粒合。	内・外面上面窓削り口。外面被熱らしい色変あ り、器内窓削り。整彌不明瞭。	接合7片
296-4 175-19	土師器 高环	窓内 破片	口・(18.6)	酸化。硬。5YR6/8。並。 並。褐粘合、鉄物粒少。	内・外面上面放射状擦削、小ハゼあり。内・外 面横撹無。器肉の取り方端正。	接合6片

第135号住居跡

埠団番号 國版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 墓 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石塗材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
297-1 175-21	土師器 壺	窓内+電掘左 袖破片	口・(17.1)	酸化。並。浅黄褐7.5YR8/3。	口縁部は外反する。外側は椭圆形、小ハゼ。器内面は斬削、接合面あり。口縁部は横撫で。	接合10片
297-2 175-22	土師器 壺	覆土 口縁部片	口・17.2 高・(4.6)	酸化。並。褐10YR4/4。粗。 やや重。黒粒較多。	器外面は紐作痕、撫であり。口縁部は横撫を施す。全体に小ハゼ多。	接合 8 片
297-3	土師器 壺	電掘右袖 底部片	底・(7.4)	酸化。並。にぼい黄褐10YR6/4。 並。白・褐粒、金雲母含。	内・外側に無整形あり。内面斬削と斬削あり。 外側紐作痕あり。器面少し消耗。	

第136号住居跡

埠団番号 國版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 墓 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石塗材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
299-1 176-1	土師器 壺(平臥)	電、覆土 1/2	口・(13.5) 底・(7.2)	酸化。硬。褐5YR6/6。並。 やや重。白・褐粒、他鉱物含。	口縁部は外傾する。型作り。底部は斬削り、体部に型磨を残し、口縁部・器内面は横撫で。	接合 3 片
299-2	土師器 壺(墨垂)	覆土 1/3	口・(15.6)	酸化。硬。褐5Y6/8。並。 やや輕。白・褐粒含、鉱少。	内面に針書様の細い放射状研磨。外側には斬削あり、部分的に研磨。外側「口後」墨書。	市外～県外 墨書-77
299-3	土師器 壺	136住土 口縁部片	口・(17.6)	酸化。硬。にぼい褐7.5YR5/4。 並。やや重。金雲母含。他含。	「コ」の字状口縁。口縁部は横撫でを施す。内・外側被熱色あり。	
299-4	土師器 壺	覆土 底部片	厚・0.6	酸化。並。明赤褐5YR5/6。並。 やや重。白・褐粒含、他含。	大型环か塊、底部は斬削り。口縁部・器内面は横撫で。内面研磨なし。	
299-5 176-3	土師器 壺	N6 3・4・覆土 口縁部片	口・19.5	酸化。硬。褐5YR6/6。 並。やや重。茶褐粒多。鉱物粒含。	口縁部は紹作 2 段。器外側は斬削、斬削。器内面は斬削で、口縁部は横撫でを施す。	接合23片
301-1	須恵器 壺	覆土 1/4	口・(12.8) 底・(6.0)	還元。並。灰オリーブ5Y5/2。 並。白粒多。	輪轉成形(右回転)。底部は回転糸切り。内・外側とも墨字多々。内面底墨痕斑駁。	
301-2	須恵器 壺	覆土 1/4	口・(12.0) 底・(7.2)	還元。硬。黄灰2.5Y4/1。密。 やや重。白粒。	口縁部は外傾する。輪轉成形(右回転)。底部は回転糸切り。全体に消耗あり。	接合 2 片 太田か
301-3 176-2	須恵器 壺	覆土 内墨 1/3	口・(15.7) 底・7.0	酸化。並。褐7.5YR6/5。粗。 鉱。鉱物粒含。	輪轉成形(右回転)。器内面に研磨。底部は回転糸切り、少しほざき。全体に消耗。	粘
301-4	須恵器 壺	覆土 口縁部片	厚・0.4	還へ中性。並。にぼい褐2.5 6/3。並。やや重。鉱物粒微。	口縁部は外傾する。輪轉成形。体部外側に「主」 かの墨字あり。削れ口消耗微。	笠・太田 墨書-78
301-5	須恵器 壺	覆土 底部片	厚・0.6	還元。並。灰オリーブ5Y5/2。 並。やや重。鉱物粒微。	輪轉成形(右回転)。底部は回転糸切り。不明 の墨字あり。	笠・太田 墨書-79
301-6	須恵器 壺	覆土 底部片	厚・0.5	酸化。硬。明赤褐5Y5/6。並。 やや重。白粒、白鉱物粒含。	口縁部は欠損する。輪轉成形。底部は回転糸 切り、不明墨字、内黒、研磨あり。	太田か 墨書-80

第137号住居跡

埠団番号 國版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 墓 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石塗材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
302-1	土師器 壺	掘方、覆土 口縁部片	口・(11.8)	酸化。軟。にぼい黄褐10YR5/4。 並。白・褐粒、鉱物粒含。	口縁部は直立気味。外面下半は斜方向の撫。 口縁部・器内面は横撫で整形。	
302-2	土師器 壺	掘方、覆土 口縁部片	口・(13.0)	酸化。並。暗褐7.5YR3/3。並。 白粒含。	「コ」の字状口縁。型作り。外面は斬削り、 内面は撫で、口縁部は横撫で、外側に煤付着。	
302-3 176-4	土師器 台付壺	掘方、覆土 底部片	脚くびれ部・ (4.0)	酸化。並。褐7.5Y6/6。粗。 やや重。鉱物粒含。	外面斬削り。内面斬削。脚部欠損する。外 側被熱色変。	煙付着。
302-4	須恵器 壺	覆土 口縁部片	口・(12.2) 底・(6.4)	還元。軟。灰5Y6/1。並。やや重。 白・黑粒含、鉱物粒少。	口縁部は外傾する。輪轉成形(右回転)。底部 は回転糸切り。器面消耗。	粘
302-5 176-5	須恵器 壺	N2 1/5	口・(14.0) 底・(7.4)	還元。軟。灰5Y6/1。並。白粒、白鉱物粒少。	口縁部は外傾する。輪轉成形(右回転)。底部は 不定方向の口縁。内・外側に輪轉目多。	粘

第138号住居跡

埠団番号 國版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 墓 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石塗材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
303-1	土師器 台付壺か 口縁部片	覆土 口縁部片	口・(19.8)	酸化。硬。黒褐10YR3/2。並。 やや重。黒粒含、鉱物粒少。	「コ」の字状口縁。型作りか。外側は斬削り、 口縁部は横撫で、外側煤付着。	
303-2	須恵器 壺	覆土 口縁部片	口・(14.4)	還元。硬。暗褐2.5T5/2。密。 やや重。	口縁部は外傾する。輪轉成形(右回転)。底部 は回転糸切り。口縁部に重焼色変。	太田か

第169号住居跡

辨認番号 同版番号	種 別 器 標	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
304-1	須恵器 环	No.2 1/2	口・(12.3) 底・7.0	還元。並。灰7.5Y5/1。重。白粒合、鉱物粒微。	口縁部は外傾する。輪轂成形(右回転)。底部は回転糸切り。底際外面、後出しの様。	空懸
304-2	須恵器 环	No.1 3/4	口・13.2 底・7.6	還元。硬。灰オリーブ5Y6/2。 並。鉱物粒、細砂多。	口縁部は直線的に外傾。底部は輪轂右回転糸切り。体部外面に不明墨字あり。	墨書-81
176-9						

第139号住居跡

辨認番号 同版番号	種 別 器 標	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
305-1	土師器 甕	覆土北側面 口縁部片	口・(18.0)	酸化。並。にい5Y5R6/4。 並。やや重。金合母、他粘合。	口縁部の内・外面横撇で、表面被熱色変小割落。割れ口消耗あり。	
305-2	土師器 甕	覆土 口縁部片	口・(17.8)	酸化。並。にい5Y5R6/4。 並。輕。褐粒合、他少。	口縁部は横撇でを施す。内・外面割れ口など の消耗少。内面に被熱のためか小ハゼあり。	

第140号住居跡

辨認番号 同版番号	種 別 器 標	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
306-1	須恵器 环	掘方 破片	口・(13.0) 底・(7.5)	還元。並。灰黄褐10YR6/2。 並。やや重。白粒、黒鉱物合。	口縁部は外傾。輪轂成形で体部外面に輪轂目 あり。割れ口消耗少しあり。	粘
306-2	須恵器 环	覆土 破片	口・(13.5)	還元。硬。黄褐2.5Y5/1。否。 重。白粒合塵少、他鉱物少。	口縁部は外傾する。輪轂成形。底部は切り離 し不明。割れ口少し消耗。	培玉か
306-3	須恵器 环	底 底部 底 底部	口・(6.2)	還元。並。灰褐2.5Y6/2。並。 やや重。白・褐粒合、他合。	口縁部は欠損する。輪轂成形。底部は回転糸 切り。内面少し摩耗。割れ口少し消耗。	粘

第142号住居跡

辨認番号 同版番号	種 別 器 標	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
307-1	土師器 甕	床直 1/2	口・(11.8) 底・(5.0)	酸化。硬。にい赤褐2.5YR 4/4。並。重。	口縁部は外反する。型作り。底部は窪彫、体 部に型磨で。口縁部・器内面は横撇で。	粘・陶
307-2	土師器 甕	覆土+床直 2/3	口・(12.8) 底・6.1	酸化。並。明赤褐5YR5/6。並。 やや重。鉱物少。	口縁部外面に粗吸痕。底部に外面上方に窪彫。 接合 6 片 体部はしっかりと厚い。口縁部・内面は横撇。	
307-3	土師器 甕	床直 壳形	口・12.9 底・4.8	酸化。並。黄褐10YR7/8。並。 白色粒微、鉱物微。	口縁部・窪彫。型作り。底部は横撇。体 部に型磨。口縁部・器内面は横撇で整形。	
307-4	土師器 甕	床直 1/2(平底) 一部欠損	口・13.4	酸化。硬。橙7.5Y7/6.2。 並。やや重。	内面に不明墨字。底部は窪削り、不明墨字。 接合 2 片 体部に指圧痕・窪形。口縁部・内面は横撇。	
309-1	土師器 甕	床直 内底・塊 1/2(平底)	口・14.1 底・6.7	酸化。並。灰褐5YR6/1。點。 やや重。鉱物合。	口縁部窪土状。型作り。上半部に型磨を残す。 内面わずか凹痕あり。	粘
309-3	須恵器 环	覆土 4/5	口・14.6 底・7.2	酸化。並。淡黄2.5Y7/3。並。 褐粒合、鉱物少。	輪轂成形か。口縁部間違から内面彫。外部部 分隠彫形。付け高台。内面黒色模。	接合 8 片 粘
309-4	土師器 台付甕	貯藏穴 覆土 4/5	口・10.0 底・7.3	酸化。並。赤10R5/6。祖。 やや重。青褐合、鉱物微。	口縁部の内・外面横撇。外面窪削。脚部内・ 外側から脚部内面まで被削、外側彫。	接合 6 片 粘
309-5	土師器 甕	床直 口縁部周辺	口・(18.4)	酸化。硬。にい5.7YR6/4。 並。重。白・褐粒合、他鉱物合。	口縁部下に 2 条の凹痕。外面は窪削り、内面 は窪削で、接合面。口縁部は横撇。	接合 5 片 粘
309-6	須恵器 环	覆土 破片	口・(12.4) 底・(5.6)	酸化。硬。褐2.5Y3/1。並。 やや重。鉱物少。	口縁部は外傾する。輪轂成形(右回転)。底部 は回転糸切り。内・外間に煤付着。	接合 2 片 粘か
309-7	須恵器 环	床直 1/4	口・(12.8) 底・5.4	酸化。硬。灰オリーブ5Y6/2。 並。輕。鉱物粒少。	口縁部は外反する。輪轂成形(右回転)。底部 は回転糸切り。全体に 2 次吸痕あり。	接合 2 片 粘・陶
309-8	須恵器 环	床直 1/4	口・(13.3) 底・6.0	酸化。軟。淡黄2.5Y4/2。並。 やや重。白・黒粒合、他微。	口縁部は外反する。輪轂成形(右回転)。底部 は回転糸切り。全体に浅い縫あり。	接合 2 片 粘
309-9	須恵器 环	覆土 1/4	口・(13.2) 底・5.0	酸化。並。黄褐2.5Y5/3。並。 やや重。鉱物少。	口縁部は外反。輪轂成形。底部は右回転糸切 り。内面工具類似の輪轂目。外面部分隠。	粘・陶
309-10	須恵器 环	瓶方+覆土 3/4	口・13.0 底・5.0	酸化。並。にい5.7Y5/3。 並。輕。白・褐粒合、他少。	底部は輪轂右回転糸切り。体部外側に不明墨 字もしくは墨合あり。内・外面被熱吸痕。	墨書-83 粘
309-11	須恵器 环	覆土 1/4	口・(13.0) 底・(5.6)	酸化。並。黄褐2.5Y5/3。並。 輕。鉱物少。	口縁部は外反する。輪轂成形(右回転)。底部 は回転糸切り。粘土硬そう。内・外・2 次吸痕。	粘
309-12	須恵器 环	床直 1/4	口・(13.5) 底・5.0	還元。硬。黄褐2.5Y6/1。並。 輕。黒粒合、他少。	輪轂成形(右回転)。底部は回転糸切り。体部 外側に不明墨字あり。使用時の吸痕あり。	接合 2 片 墨書-84
309-13	須恵器 环	覆土 1/2	口・13.5 底・5.7	還元。並。灰褐5Y7/1。並。 やや重。鉱物微。	口縁部は外傾する。輪轂成形(右回転)。底部 は回転糸切り。内・外面重燒痕。	粘・陶

第142号住居跡

博四番号 田版番号	種 別 器	出土位置 層 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石炭材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
309-14 176-21	須恵器 壺	覆土 1/4	口・(14.0) 底・(6.7)	酸化。並。暗灰2.5Y4/2。 やや重。軸物粒少。	口縁部は外反する。輪轂成形(右回転)。底部は回転糸切り。内・外面油煙付着。	接合3片 粘・陶
310-1 177-1	須恵器 壺	覆土 1/4	口・(13.0) 底・(6.8)	還元。軟。灰オーリーブ5Y6/2。 粗。白粒含。軸物微。	口縁部は外反。輪轂成形(右回転)。高台付け高台。底部は回転糸切痕。内・外鐵炭斑あり。	接合2片 粘
310-2 177-2	須恵器 壺	覆土 1/2	口・13.2 底・(6.5)	還元。並。浅黄2.5Y7/3。 粗。やや輕。軸物粒微。	輪轂成形(右回転)。高台付け高台。底部は回転糸切痕。内・外面部部分的にいぶされる。	接合3片 粘
310-3 176-26	須恵器 壺	覆土 1/2	口・(13.7) 底・(6.5)	還元。硬。黄褐2.5Y5R3/3。 やや重。軸物微。	輪轂成形(右回転)。高台付け高台。底部は回転糸切り。内・外面強い繊。	接合3片 粘・陶
310-4 176-24	須恵器 壺	覆土 2/3	口・(14.2) 底・(6.4)	酸化。並。にいむ1般7.5YR5/4。 並。白・褐色微。軸物少。	口縁部は外反する。輪轂成形(右回転)。高台付け高台。底部は回転指整形。	接合7片 粘・陶
310-5 176-23	須恵器 壺	床崩 1/3	口・14.5 底・(6.5)	酸化。並。にいむ1般7.5YR6/4。 並。やや重。軸物粒微。	口縁部は外反。輪轂成形(右回転)。高台付け高台。底部回転糸切り。内面ウルシ状の付着物。	粘・陶
310-6 176-27	須恵器 壺	床直 壺	口・15.4 口縁部片	還元。硬。灰7.5Y6/0。 粗。白粒微。軸物粒微。	輪轂成形(右回転)。高台は欠損するがその後も使用したらしい。内面工具の輪轂目。	接合2片 粘
310-7	須恵器 壺	床直 壺	口・(14.0)	還元。並。粗。粗。白粒含。	輪轂成形(右回転)。内・外面少し様かかる。外面上に不明墨字。	粘 墨書-85
310-8	土製器 壺	覆土 破片	底・(7.0)	酸～中性。軟。灰黃褐10YR5/6。 並。やや輕。軸物粒少。	外面上に輪轂目不明墨字あり。割れ口消耗あり。墨書-86 全体に擦後斑あり。	墨書-86
310-9	須恵器 瓶	床直 体部片	厚・0.7	還元。しめ。灰白5Y7/1。密。 重。白軸物含。他少。	内面に輪轂目あり。外面上に自然輪。胎土の目 消耗。割れ口消耗。	東海灘入 水田
310-10 177-3	須恵器 瓶	覆土 破片	最大径・(16. 0)	還元。硬。灰7.5Y4/1。密。重。 白軸物含。軸物は細粒多。	内・外面輪轂成形。輪轂右回転。把手旧欠。 内・外面小ハゼあり。上方に津付着。	接合2片 水田か 田中
310-11 178-1	須恵器 瓶	覆土 口縁部欠損	高・(22.7) 底・(12.5)	還元。並。灰褐2.5Y7/2。 並。やや重。軸物少。	紐作後輪轂成形(左回転)。外面工具の輪轂目 後、回転箇後へ推。内・外面ハゼ。外側垢。	接合2片 粘・陶
311-1 177-4	須恵器 壺	覆土 頬部～胸部	高・(13.25)	還元。軟。灰白7.5YK7/1。 並。やや重。軸物少。	紐作後輪轂成形。内・外面ハゼ。刺溝。外面上 平行印と小ハゼ。内・外面消耗大。	接合5片 粘・陶
311-2 178-2	須恵器 甕	覆土+宋底 破片	口・(29.4) 最大・(48.6)	還元。縁。紫灰5P6/1。密。重。 白軸物。長石・右英微粒多。	外面上は平行叩き、内面突起は青苔波文。外面上 方自然輪。口縁は小破復元。	接合29片 東海西毛
311-3 177-6	石器 砥石	床崩+覆土 ほぼ完形	長・27.6cm 1320 g	類似羅山石岩山 用具	全体に使用摩耗(研磨主体は柔らかい)あり。 さらに被熱削れ、同色変保付着。	接合4片
312-1 177-5	須恵器 壺	覆土+床直 口縁部片	口・48.6	還元。並。灰10Y5/1。密。重。 白色軸物含。	内・外面上に輪轂目。口縁部の一端に布庄旗(衣 服か)あり、少し焼される。	笠置・太 田
312-2 177-7	土製品 土器	不明 ほぼ完形	長・2.7 1.37 g	還元。並。赤灰2.5YR2/1。 並。やや經。軸物微。	質は土師質に近い。外面上滑らか、吸炭あり、 黒色気味。穿孔形近円形。	質
312-3 177-7	土製品 土器	覆土 ほぼ完形	長・2.9 1.72 g	還元。並。黑褐7.5YR3/1。 並。やや經。軸物微。	質は土師質に近い。外面上滑らか、吸炭あり、 黒色気味。穿孔形正円に近い。	質
312-4 177-7	土製品 土器	不明 完形	長・3.0 1.37 g	還元。並。オーリーブ5Y3/1。 並。やや經。軸物微。	質は土師質に近い。外面上滑らか、吸炭黑色氣味。 上方小口旧欠。穿孔形近円形。	質
312-5 177-7	土製品 土器	床直 ほぼ完形	長・3.2 1.40 g	還元。並。オーリーブ5Y3/1。 並。やや經。軸物微。	質は土師質に近い。外面上滑らか、吸炭あり、 黒色気味。穿孔形近円形。	質
312-6 177-7	土製品 土器	覆土 ほぼ完形	長・3.1 1.47 g	還元。並。黑褐7.5YR3/1。 並。やや經。軸物微。	質は土師質に近い。外面上滑らか、吸炭あり、 黒色氣味。穿孔形近円形。	質
312-7 177-7	土製品 土器	覆土 ほぼ完形	長・3.2 2.02 g	還元。並。黑2.5Y2/1。 並。やや經。軸物微。	質は土師質に近い。外面上滑らか、吸炭あり、 黒色氣味。穿孔形は円形。	質
312-8 177-7	土製品 土器	覆土 ほぼ完形	長・3.2 2.24 g	還元。並。黑褐7.5YR3/1。 並。やや經。軸物微。	質は土師質に近い。外面上滑らか、吸炭あり、 黒色氣味。穿孔形正円。小ハゼ。	質
312-9 177-7	土製品 土器	不明 ほぼ完形	長・(3.3) 2.43 g	酸～中性。並。褐10YR6/1。 並。やや經。軸物微。	質は土師質に近い。外面上滑らか、吸炭やや甘 い。穿孔形近円形。小程。	質
312-10 177-7	土製品 土器	床直 ほぼ完形	長・3.4 2.26 g	酸～中性。並。褐7.5YR5/3。 並。やや經。軸物微。	質は土師質に近い。外面上滑らか、黒色味弱く、 やや酸化。穿孔形近円形。	質
312-11 177-7	土製品 土器	覆土 ほぼ完形	長・3.4 2.57 g	還元。並。褐10YR4/1。 並。やや經。軸物微。	質は土師質に近い。外面上滑らか、吸炭あり、 黒色気味。上方小口旧欠。穿孔形近円形。	質
312-12 177-7	土製品 土器	覆土 完形	長・3.5 2.07 g	還元。並。暗赤7.5R4/1。 並。やや經。	質は土師質に近い。滑らか、吸炭あり、黑色 気味。穿孔形近円形。	質
312-13 177-7	土製品 土器	覆土 完形	長・3.5 2.26 g	還元。並。赤灰2.5YR4/1。 並。やや經。軸物微。	質は土師質に近い。吸炭あり、黑色氣味。外 面上滑らか、穿孔形はやや横円。	質
312-14 177-7	土製品 土器	覆土 完形	長・3.5 2.32 g	還～中性。並。灰黃褐10YR5/2。 並。粗。軸物微。	質は土師質に近い。外面上滑らか、吸炭甘く、 暗褐色味あり。穿孔形近円形。	質

第142号住居跡

埠図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 墓 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石炭材の度目)	形狀・技法等の特徴	摘要
312-15	土製品 土鍋	床直 完形	長・3.5 2.07 g	還元。並。褐灰7.5YR4/1。並。 やや輕。鉄物微。	質は土師質に近い。吸撰、黒色氣味。外面滑らか、穿孔形近円形。	
177-7	土鍋					
312-16	土製品 土鍋	覆土 完形	長・3.5 1.90g	還元。並。褐灰7YR4/1。並。 やや軽。鉄物微。	質は土師質に近い。外面滑らか、吸撰あり、 黒色氣味。穿孔形は少し梢円。	
177-7	土鍋					
312-17	土製品 土鍋	覆土 完形	長・3.6 1.90g	還元。並。黒褐7.5YR2/1。並。 やや軽。鉄物微。	質は土師質に近い。外面滑らか、吸撰あり、 黒色氣味。穿孔形は正円に近い。	
177-7	土鍋					
312-18	土製品 土鍋	覆土 長。(3.5) 2.70 g		還元。並。黒褐7.5YR3/1。 やや軽。鉄物微。	質は土師質に近い。外面滑らか、吸撰あり、 黒色氣味。欠損旧欠。穿孔形正円気味。	
177-7	土鍋					
312-19	土製品 土鍋	覆土 ほぼ完形	長・(3.6) 2.04 g	還元。並。黒褐7.5YR3/1。並。 やや軽。鉄物微。	質は土師質に近い。外面滑らか、吸撰あり、 黒色氣味。欠損旧欠。穿孔形正円気味。	
177-7	土鍋					
312-20	土製品 土鍋	覆土 ほぼ完形	長・3.6 2.26 g	還元。並。赤褐7.5R2/1。並。 やや軽。鉄物微。	質は土師質に近い。外面滑らか、吸撰あり、 黒色氣味。穿孔形梢円形。	
177-7	土鍋					
312-21	土製品 土鍋	覆土 完形	長・3.7 2.21 g	還元。並。赤灰2.5YR4/1。並。 やや軽。鉄物微。	質は土師質に近い。外面滑らか、吸撰あり、 黒色氣味。穿孔形梢円気味。	
177-7	土鍋					
312-22	土製品 土鍋	不明 完形	長・3.9 2.74 g	還元。並。褐灰5YR5/1。並。 やや軽。鉄物微。	質は土師質に近い。外面滑らか、吸撰あり、 黒色氣味。穿孔形梢円。	
177-7	土鍋					
312-23	土製品 土鍋	床直 完形	長・3.8 2.14 g	酸~中性。並。にぼい精7.5YR 7/3。並。やや軽。鉄物微。	質は土師質に近い。外面滑らか、吸撰甘い。 穿孔形近円形、小孔。	
177-7	土鍋					
312-24	土製品 土鍋	覆土 完形	長・3.8 2.97 g	還元。並。灰黄褐10YR5/2。 並。やや軽。鉄物微。	質は土師質に近い。外面滑らか、吸撰甘く、 少し褐色。小口部仕立て、穿孔形、円。	
177-7	土鍋					
312-25	土製品 土鍋	覆土 完形	長・3.9 2.56 g	還元。並。褐灰5YR4/1。並。 やや軽。鉄物微。	質は土師質に近い。外面滑らか、吸撰あり、 黒色氣味。穿孔形は近円形。	
177-7	土鍋					
312-26	土製品 土鍋	床直 完形	長・3.7 2.56 g	還元。並。黒褐10YR3/1。並。 やや軽。鉄物微。	質は土師質に近い。外面滑らか、吸撰あり、 黑色氣味。穿孔形近円形。	
177-7	土鍋					
312-27	土製品 土鍋	床直 完形	長・3.8 2.41 g	酸~中性。並。灰黄褐10YR6/2。 並。やや軽。鉄物微。	質は土師質に近い。外面滑らか、吸撰あり、 穿孔形近円形。	
177-7	土鍋					
312-28	土製品 土鍋	床直 完形	長・4.0 2.84 g	還元。並。赤灰2.5YR4/1。 並。やや軽。鉄物微。	質は土師質に近い。外面滑らか、吸撰あり、 黒色氣味。穿孔形や梢円形。	
177-7	土鍋					
312-29	土製品 土鍋	覆土 完形	長・4.0 2.75 g	還元。並。赤褐2.5YR1.7/1。 並。やや軽。鉄物微。	質は土師質に近い。外面滑らか、吸撰あり、 黒色氣味。穿孔形梢円形。	
177-7	土鍋					
312-30	土製品 土鍋	床直 完形	長・4.0 2.59 g	還元。並。黒褐2.5Y3/1。並。 やや軽。鉄物微。	質は土師質に近い。外面滑らか、吸撰あり、 黒色氣味。穿孔形梢円形。	
177-7	土鍋					
312-31	土製品 土鍋	覆土 完形	長・4.1 2.51 g	還元。並。褐灰7.5YR4/1。並。 やや軽。鉄物微。	質は土師質に近い。外面滑らか、吸撰あり、 黒色氣味。形状下太り。穿孔形近円形。	
177-7	土鍋					
312-32	土製品 土鍋	覆土 完形	長・4.3 3.22 g	還元。並。灰黄2.5Y6/2。 並。やや軽。鉄物微。	質は土師質に近い。外面滑らか、吸撰甘い。 小孔丸い。穿孔小さく丸い。	
177-7	土鍋					
312-33	土製品 土鍋	床直 完形	長・(3.2) 2.31 g	還元。並。黒褐2.5YR3/1。並。 やや軽。鉄物微。	質は土師質に近い。外面滑らか、吸撰あり、 黒色氣味。小口部旧時小孔。穿孔形近円形。	
177-7	土鍋					
312-34	土製品 土鍋	覆土 ほぼ完形	長・(2.9) 1.94 g	還元。並。赤褐7.5R2/1。並。 やや軽。鉄物微。	質は土師質に近い。外面滑らか、吸撰あり、 黒色氣味。上方小口旧欠。穿孔形梢円形。	
177-7	土鍋					
312-35	土製品 土鍋	床直 1/2	長・(2.0) 1.06 g	中~還元。並。赤灰2.5YR4/1。 並。やや軽。鉄物微。	全体に吸撰あり、黒味強い。上方小口は旧時 欠損。穿孔形はほぼ正円。	
177-7	土鍋					
312-36	土製品 土鍋	不明 1/3	長・(2.5) 1.38 g	還元。並。褐灰10YR5/1。並。 やや軽。鉄物微。	質は土師質に近い。外面滑らか、吸撰あり、 黒色氣味。上方小口旧欠。穿孔形梢円形。	
177-7	土鍋					
312-37	土製品 土鍋	覆土 ほぼ完形	長・(3.4) 2.44 g	還元。並。黒褐7.5YR2/1。並。 やや軽。鉄物微。	質は近土師質。外面滑らか、吸撰あり、黑色 氣味。上小口欠損後使用消耗あり。孔近円。	
177-7	土鍋					
312-38	土製品 土鍋	覆土 ほぼ完形	長・(3.4) 2.45 g	還元。並。暗灰褐10R3/1。並。 やや軽。鉄物微。	質は土師質に近い。外面滑らか、吸撰あり、 黒色氣味。奥の小口は旧欠。穿孔形稍梢円。	
177-7	土鍋					
312-39	土製品 土鍋	不明 ほぼ完形	長・(3.5) 2.34 g	還元。並。灰褐7.5YR6/2。並。 やや軽。鉄物微。	質は土師質に近い。外面滑らか、吸撰あり、 黒色氣味。上方小口旧欠。穿孔形近円形。	
177-7	土鍋					
312-40	土製品 土鍋	覆土 ほぼ完形	長・(3.3) 2.44 g	還元。並。灰褐7.5YR5/2。並。 やや軽。鉄物微。	質は土師質に近い。外面滑らか、吸撰あり、 黒色氣味。欠損は旧欠。穿孔形は円形氣味。	
177-7	土鍋					
312-41	土製品 土鍋	覆土 ほぼ完形	長・(3.9) 2.64 g	還元。並。黒褐7.5YR3/1。並。 やや軽。鉄物微。	質は土師質に近い。外面滑らか、吸撰あり、 黒色氣味。欠損は旧欠。穿孔形梢円形氣味。	
177-7	土鍋					

第143号住居跡

埠団番号 四版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目(cm) 量目(g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
313-1 178-1	土師器 壺(平底)	床直 2/3	口・(11.6) 底・7.6	酸化。並。褐7.5YR4/4。粗。輕。 鉱物粒微。	口縁部は外傾する。型作り。底部は窯割り。 体部に型崩を残し、口縁部・器内面は横擦で。	
313-2 178-4	土師器 壺(平底)	床直 一部欠損	口・12.2 底・7.4	酸化。並。褐7.5Y7/6。並。 やや重。鉱物粒微。	口縁部は外傾する。型作り。底部は窯割り。 体部に型崩を残し、口縁部・器内面は横擦で。	接合4片
313-3	土師器 壺	覆土 破片	口・(12.5)	酸化。並。褐7.5YR4/4。並。 やや重。白・褐粒合。鉱物少。	口縁部は接合面2カ所。型作りか。外面は窯割り。 内面は窯施、口縁部は横擦。	
313-4	土師器 壺	覆土 破片	口・(18.6)	酸化。並。褐7.5YR6/6。 やや輕。白・褐粒合。鉱物少。	「コ」の字状口縁。型作りか。器外表面は窯割り、 器内面は窯施で、口縁部は横擦で施す。	
313-5	土師器 壺	覆土 破片	口・(19.6)	酸化。並。明赤褐7.5YR5/6。並。 輕。白・褐粒合。鉱物少。	「コ」の字状口縁。型作り。外面は窯割り。 内面は窯施で、口縁部は横擦で、外面に堆。	
313-6	須恵器 壺	竈内 1/2	底・(8.3)	還元。並。灰黃褐10YR6/2。 並。輕。白・褐粒合。鉱物少。	口縫部欠損する。窯縫成形(右回転)。高台付 け高台。底部は回転糸切り。割れ口消耗。	接合
313-7	土師器 台付壺	覆土 脚部1/2	底・(10.1)	酸化。並。にい・褐7.5YR5/4。 輕。白・褐粒合。鉱物少。	内・外に擦跡あり。被熱色変、内・外ともに あり。割れ口少し消耗。上方割れ口は接合面。	接合2片

第144号住居跡

埠団番号 四版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目(cm) 量目(g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
314-1 178-6	土師器 壺	糊方覆土 破片	口・(13.5)	酸化。並。暗赤褐Y3/2。並。 白・褐粒合。鉱物少。	「コ」の字状口縁。型作りか。外面は窯割り、 内面は窯施で、口縁部は横擦で。外面厚。	接合4片
314-2 178-5	土師器 壺	床直 破片	口・(15.1)	酸化。並。黑褐7.5YR3/2。並。 輕。褐粒合。鉱物少。	型作りか。外面は窯割り、内面は窯施で、口 縫部は横擦で、外面上少し吸赤。	接合3片
314-3	土師器 壺	床直 破片	高・(11.9)	酸化。並。灰褐7.5YR4/2。	側部片、器厚は薄い。器外表面は窯施方向の窯 割りを施す。	
315-1 178-7	須恵器 壺	覆土+床直 3/4	口・14.8 底・8.0	中～還元。硬。純黄7.5YR6/8。 並。白色粒、灰鉱物合。他含。	高台付高台。底部は窯縫右回転糸切り、「山 田」墨字。内・外面重ね焼に伴う吸赤あり。	墨書87 粘・陶
315-2	須恵器 内壺 壺	糊方覆土 内壺 1/2	底・7.0	酸化。硬。灰褐7.5YR4/2。並。 やや重。白粒合。鉱物微。	口縫部欠損。器内面は研磨を施す。底部は手 持窯割り。体部外表面に窯縫目あり。	接合2片
315-3 178-8	石製品 碁石	覆土 完形	横・1.5 2.2g	粒粒輝石安山岩 横・1.5	黒味強く、陰の碁石。使用摩耗光沢となる。 側部、表・裏加工研磨あり希少碁石。	
315-4 178-8	石製品 碁石	覆土 完形	横・1.5 2.5g	粒粒輝石安山岩 横・1.5	黒味強く、陰の碁石。円形加工がされ表・裏・ 側部の区があり、光沢あり。加工碁石で希少。	
315-5 178-8	石製品 碁石	覆土 完形	横・1.6 2.6g	粒粒輝石安山岩 横・1.6	黒味強く、陰の碁石。円形加工がされ表・裏・ 側部の区があり、光沢あり。加工碁石で希少。	
315-6 178-8	石製品 碁石	覆土 完形	横・1.6 2.9g	不明 横・1.6	黒味があるが、自然材で河原石。陰の碁石か。 光沢あり。	
315-7 178-8	石製品 碁石	覆土 完形	横・1.7 3.6g	チャート 横・1.7	黒味強いが自然材で河原石。陰の碁石か。光 沢あり。	
315-8 178-8	石製品 碁石	覆土 完形	横・1.8 3.0g	粒粒輝石安山岩 横・1.8	黒味強く、陰の碁石。使用痕不明。やや 不整形。	
315-9 178-8	石製品 碁石	覆土 完形	横・1.0 1.6g	石英 横・1.0	自然材で茶味があり、双六などの用途か。光 沢あり。	
315-10 178-8	石製品 碁石	覆土 完形	横・1.6 4.3g	石英 横・1.6	自然材で、茶味あり、双六などの用途か。光 沢あり。	
315-11 178-8	石製品 碁石	覆土 完形	横・2.0 2.0g	石英 横・2.0	表・裏・側面とも研磨痕あり。加工された希 少個体。透明感弱く、表面は滑る。	正円状

第146号住居跡

埠団番号 四版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目(cm) 量目(g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
316-1	土師器 壺	覆土 破片	口・(12.6)	酸化。硬。にい・褐7.5YR6/3。 並。やや重。鉱物合、他微。	口縫部は外傾する。型作り。底部は窯割り。 体部に型崩。口縫部・器内面は横擦で整形。	
316-2 178-9	須恵器 壺	覆土 1/4	口・(13.0) 底・(7.0)	還元。緑。灰 NS5/0。緑。重。 白鉱物合、他鉱物微。	窯縫成形(右回転)。底部は回転糸切り後周辺 が不定に窯割り。重ね焼色変。	接合3片 木田
316-3 178-10	須恵器 壺	覆土 1/4	口・(13.0) 底・(7.8)	還元。緑。灰 5YS/1。	口縫部は外傾する。窯縫成形(右回転)。底部 は回転糸切り後回転窯置。口縫に重焼色変。	笠懸 接合2片
317-1 178-11	須恵器 壺	覆土 2/3	口・13.3 底・7.6	還元。並。浅黄5Y7/3。並。重。 白・黒粒合、他鉱物少。	窯縫成形(右回転)。底部は右回転窯割り。 内・外に火漆斑あり。	接合2片 笠懸か

第146号住居跡

博団番号 国版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目(cm) 量目(g)	焼調・色調・釉土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
318-1 178-15	土師器 甕	床直 口・胴部片	口・(24.4)	酸化。並。明黄褐10Y6/6。並。 やや重。白粒合。	口縁部は外反する。器外側は荒削り、器内側 は荒削りで、口縁部は横擦でを施す。	接合2片
318-2 178-12	須恵器 壺	覆土 破片	口・(13.1) 底・(8.3)	酸化。並。にぼい赤褐2.5YR5/ 3。並。輕。白・褐粒合、他物少。	口縁部は外反する。織籠成形(右回転)。底部 は回転翼削り。全体に色ムラ大。	粘
318-3 178-12	須恵器 壺	覆土 底部片	底・(7.0)	還元・酸化。並。にぼい黄2.5Y6/ 3。並。輕。白・褐粒合、他物合。	織籠成形(右回転)。底部は回転糸切り、「主」 かの墨字あり。割れ口少し消耗。	墨書-88
318-4 178-4	須恵器 甕把手	覆土 破片	底・(5.3)	還元。輕。褐灰10YR4/1。密。 やや軽。白・褐物合、溶け。	外面に自然釉か不明釉あり。内側荒削りあり。 割れ口の消耗はとんど見えず。	東海搬入
318-5 178-5	須恵器 甕	覆土 破片	頸径最小 (3.9)	還元。輕。灰 N6/0。密。重。 黒粒合。他少。	織籠成形(右回転)。内・外表面織籠目多。頸部 3段接合か。外面に自然釉。	東海搬入

第147号住居跡

博団番号 国版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目(cm) 量目(g)	焼調・色調・釉土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
319-1 178-13	須恵器 壺	床直 1/4	口・(13.2) 底・(6.9)	酸~還元・秋。オーリップ5Y6/ 3。並。やや重。白粒合、他物少。	口縁部は外反する。織籠成形(右回転)。底部 は回転糸切り。口縁部周辺は燒色変。	粘・陶
319-2 178-14	須恵器 壺	覆土 1/4	口・(13.9)	還元・並。灰オーリップ7.5YR/ 6/2。並。輕。氣物少。	口縁部は外傾する。織籠成形(右回転)。底部 欠損のため切り離し技法不詳。	粘
319-3 178-14	須恵器 壺	傾方 1/2	口・(14.7) 底・7.0	還元。並。灰5Y6/1。粗。輕。 氣物少。	口縁部は外反する。織籠成形(右回転)。高台 付け傾台。底部は回転糸切り。内・外摩耗。	粘
319-4 178-14	土師器 甕	傾方覆土 破片	口・(18.45)	酸化。並。にぼい赤褐5Y5/4。 並。輕。青母、他物少。	口縁部に接合面、型取りか。器外側は荒削り、 器内側は荒削りで、口縁部は横擦でを施す。	陶
319-5 178-5	土師器 甕	覆土 破片	口・(19.2)	酸化。並。褐5YR7/6。並。輕。 白・褐粒合、他物少。	「丁」の字状口縁。型作りか。器外側は荒削り、 器内側は荒削りで、口縁部は横擦でを施す。	陶
319-6 178-6	土師器 甕	床直 破片	口・(23.0)	酸化。並。褐5YR7/4。並。輕。 白・褐粒合、他物少。	口縁部に接合面、型取りか。器外側は荒削り、 器内側は荒削りで、口縁部は横擦でを施す。	陶
319-7 178-7	施釉陶器 灰釉皿	覆土 口縁部片	口・(14.2)	還元。褐。釉灰黃(灰釉)。 胎・灰5Y5/1。	内・外側に灰釉。口縁部外側面、削り出され る。割れ口消耗少。	東海搬入
319-8 178-8	施釉陶器 灰釉皿	覆土 破片	厚・0.3	還元。褐。釉灰黃(灰釉)。 胎土灰2.5Y6/2。	内面に削毛削に見える施釉。外面にも施釉あ り、剥落気味。器内湯少。	東海搬入
319-9 178-9	施釉陶器 灰釉皿	傾方覆土 破片	厚・0.5	還元。褐。釉暗黃(灰釉)。 胎土灰5Y6/1。	外側に古緑な色調の厚い、灰釉あり。内面に 織籠の回転糸痕。割れ口の消耗少。	9C か 東海搬入
319-10 178-10	施釉陶器 瓶	覆土 破片	厚・0.7	還元。褐。釉暗黃(灰釉)。 胎土灰2.5Y7/2。	内面にわずか灰釉見える。割 れ口の消耗少。	東海搬入
319-11 178-11	石製品 小円錐	覆土 完形	チャート 重・6.17g	長・2.4巾・1.9厚・0.9	色調は赤褐をおびる。旧状はそのままの河原 石。全体に使用擦痕らしき痕跡。	

第150号住居跡

博団番号 国版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目(cm) 量目(g)	焼調・色調・釉土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
320-1 179-1	土師器 小形甕	覆土 破片	口・(14.3)	酸化。並。にぼい褐5YR6/4。 並。やや重。褐粒合、他物少。	口縁部は外反する。外面は荒削り、器内側も荒 削り。割れ口少し消耗。	6C 前
320-2 179-2	土師器 掘方	傾方覆土 破片	口・(18.8)	酸化。並。褐10YR6/2。並。 白色粒、他物少。	口縁部は接合糸痕あり。器外側は荒削り、器内 やや軽。白・褐粒合、他物少。	接合2片
321-1 179-1	須恵器 壺	覆土 1/3	口・12.6 底・5.0	還元。並。灰褐5YR7/1。密。 やや重。氣物微。	口縁部は外傾する。織籠成形(右回転)。底部 は回転糸切り。回転おそい。	接合5片 太田か
321-2 179-2	須恵器 壺	掘方 1/3	口・(12.3)	酸化。並。褐7.5YR7/2。並。 白色粒、他物少。	口縁部は外傾する。織籠成形(右回転)。底部 は回転糸切り。内面下方織籠目特徴的。	接合2片 笠・太か
321-3 179-3	須恵器 壺	床直 3/5	口・12.7 底・5.0	還元。並。灰白N7/0。粗。輕。 白色粒、他物少。	口縁部は外傾する。織籠成形(右回転)。底部 は回転糸切り。内面の織籠目立つ。	接合2片 笠
321-4 179-4	須恵器 壺	床直 一部欠損	口・13.9 底・4.7	還元。並。にぼい褐7.5YR6/3。 並。やや重。白・褐粒微。	口縁部は外傾する。織籠成形(右回転)。底部 は回転糸切り。	粘・陶
322-1 179-5	土師器 貯藏穴	貯藏穴 破片	口・(18.6)	酸化。並。褐5YR6/4。 並。褐粒合、他物少。	口縁部は外反。外面は荒削り、内面は荒削りで、 口縁部は横擦でを施す。接合面2カ所。	接合3片
322-2 179-6	土師器 甕	電覆土 破片	口・(19.2)	酸化。並。褐7.5YR7/5。並。 やや軽。白・褐粒合、他物少。	口縁部は尖る。器外側は荒削り、器内側は 荒削りで、口縁部は横擦でを施す。	接合2片
322-3 179-7	土師器 甕	電覆土 破片	口・(20.3)	酸化。並。褐7.5YR7/6。並。 やや軽。褐粒合、他物少。	口縁部は外反。外面は荒削り、内面は荒削りで、 口縁部は横擦でを施す。割れ口少し消耗。	接合3片

第150号住居跡

埋蔵番号	種別	出土位置	度目(cm)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
回収番号	器種	遺存度	量目(g)	(石塗材の度目)		
322-4	土師器 壺	電覆土 破片	口・(21.4)	酸化。並。灰黄褐色10YR6/2。並。 やや重。白・褐粒合、鉛物微。	口縁部は外反する。外面麗削り、内面は麗削で、口縁部は横擦で施す。下方爆付着。	接合6片
322-5	土師器 壺	床直+覆土 胴部1/2	最大径・21.4 底・4.0	酸化。硬。褐7.5YR7/6。並。 やや重。白色粒合、鉛物合。	内面に紐痕(製作)。外面に化粧塗か再器内か不明ながら、前者麗削目、後サラサ状削痕。	接合18片
322-6	土師器 壺	覆土 底部周辺	底・(5.0)	酸化。並。純赤褐色2.5YR4/3。 並。やや重。褐粒合、鉛物少。	外面は麗削り、麗施。内面は麗施で施す。外面被熱色変、爆付着あり。	接合11片
322-7	須恵器 壺	床直+覆土 一部欠損	口・13.7	酸化。並。にい黄橙10YR6/3。 密。重。鉛物微。	口縁部は外傾する。織機成形(右回転)。高台には欠損する(付高台)。鉛物に発泡質貯。	接合4片 粘・陶
322-8	須恵器 壺	掘方 覆土 3/4	口・13.8 底・6.4	還元。軟。灰黃7.5Y7/2。粗。 鉛物粒微。シルト質。	口縁部は外反する。織機成形(右回転)。高台付け高台。底部は回転糸切り。	接合4片 粘
322-9	須恵器 壺	床直+貯藏穴 1/2	口・14.0 底・6.4	還元。並。灰オリーブ5Y6/2。 粗。鉛。鉛物微。	口縁部は外傾する。織機成形(右回転)。高台付け高台。底部は回転糸切り。	接合4片 粘
322-10	須恵器 壺	床直 完形	口・14.2 底・6.5	酸化。並。赤褐色2.5YR4/8。並。 やや重。鉛物合。	口縁部は外反する。織機成形(右回転)。高台付け高台。底部は回転糸切り。	粘・陶
322-11	須恵器 壺	掘方 覆土 3/4	口・14.8 底・6.6	還元。並。灰白2.5Y7/1。並。 やや重。鉛物微。	口縁部は外傾する。織機成形(右回転)。高台付け高台。底部は回転糸切り。	接合7片 粘
322-12	須恵器 壺	床直 3/4	口・15.7 底・(7.5)	酸化。並。にい黄橙10YR6/3。 密。重。鉛物微。	口縁部は外傾する。織機成形。高台付け高台。底部は右回転糸切り。織機目多い。	接合7片 笠・太か
323-1	須恵器 壺	掘方覆土 1/4	口・(16.0)	酸化。軟。にい黄橙10YR6/3。 密。重。白・褐粒合、鉛物微。	口縁部は外傾する。織機成形(右回転)。高台は欠損する(付高台)。黄斑あり。	接合2片 笠差
323-2	須恵器 壺	床直 破片	口・13.4	酸化。並。褐7.5YR4/4。並。 やや重。白粒、鉛物微。	口縁部は外反。織機成形(右回転)。高台付高台。底部は回転糸切り。内面ウルシカ付着。	接合16片 粘・陶
323-3	施釉陶器 灰陶壺	覆土 破片	口・(15.0)	還元。縁。釉淡黄灰(灰釉)。 胎土灰。	内・外面に授し掛により灰釉施釉。胎釉は少し厚い。全体に薄。割れ口の消耗少。	東海搬入
323-4	施釉陶器 壺	掘方覆土 口縁部片	厚・0.3	還元。縁。釉淡黄灰(灰釉)。 胎土灰白5Y7/1。	内・外面に施釉。施釉は少し厚い。全体に薄。割れ口の消耗少。	東海搬入
323-5	施釉陶器 灰陶 壺	覆土 破片	厚・0.5	還元。縁。釉暗黄灰(灰釉)。 胎土灰白5Y7/1。	外表面施釉。内面無釉。織機回転条痕。同色物貯。	東海搬入
323-6	施釉陶器 灰陶 壺	掘方覆土 破片	厚・0.4	還元。縁。釉暗黄灰(灰釉)。 胎土灰白5Y7/2。	外表面施釉。内面に織機の回転条痕あり。割れ口少し消耗。	東海搬入
323-7	石製品 甕	床直 2/3	デイサイト質 凝灰岩 1830g	長・28.6 幅・11.7 厚・5.7	釉材か。表・裏、側部に削りの工具痕らしき跡あり。最上部被熱。鉛物・粘土粒多く含。	接合2片
323-8	石製品 甕	床直 1/2	デイサイト質 凝灰岩 1700g	長・18.8+α 幅・15.2 厚・5.1	釉材か。表・裏と側部に削りし工具痕あり。堆積物か焼物か不明。鉛物多、被熱痕。	接合2片
323-9	甕	掘方覆土 粘土板	長・14.7+α 厚・13.8 16.0+α 厚・3.8	酸化。並。赤褐色5Y4/8。並。 やや重。白・褐粒合、鉛物微。	天井材料か。甕は土師器。細かな乾燥ヒビ割れあり。表面にスコロ様の斑痕。上・下凹欠。	1800g
323-10	石製品 甕	掘立覆土 完形	底・7.8 厚・3.2 厚・1.7 65g	酸化。硬。明赤褐色2.5YR5/6。 並。重。金質。褐粒合。	使用は、表・裏・側部の4面。両小口は欠損か旧材の面か不明。裏面の上方は転用の面。	

第148号住居跡

埋蔵番号	種別	出土位置	度目(cm)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
回収番号	器種	遺存度	量目(g)	(石塗材の度目)		
324-1	須恵器 壺	不明 1/2	口・12.5 底・6.0	還元。硬。灰7.5Y5/6。密。重。 白色粒、鉛物合。	口縁部は外傾する。織機成形(右回転)。底部は回転糸切り。内・外面に浅い織機目あり。	接合5片 笠悪か
324-2	須恵器 壺	覆土 破片	口・(16.0)	酸化。並。明赤褐色5YR5/4。並。 鉛。白粒合。鉛物少。	口縁部は外反する。織機成形。底部は欠損する。金雲母合。	
324-3	須恵器 壺	覆土 壁一部 欠損 ほぼ完形	口・15.6 底・(5.5)	酸化。並。淡赤褐色2.5YR7/4。 並。重。褐粒合、鉛物少。	織機成形(右回転)か。高台付け高台。底部は直整形。体部外面織機目多。	粘・陶 産不明
324-4	須恵器 壺	覆土 台部片	底・(7.5)	酸化。並。褐7.5YR6/3。粗。 重。鉛物微。	内・外面に織機あり。回転方向右。底面に黒色物質付着。土師質。	
326-1	須恵器 内黒 壺	掘覆土 2/3	口・(16.7) 底・8.5	酸化。並。にい褐5YR6/4。 並。やや重。鉛物少。	織機成形(右回転)。器内面に研削。付け高台。破損後被熱のため黒色は部分的。	接合7片
326-2	土師器 羽釜	床直+電覆土 1/4	口・21.0	酸化。硬。明赤褐色2.5YR5/6。 並。重。金質。褐粒合。	外面下方に縦筋がくび返され部分的に押下まで達する。内面織機右回転。	接合19片 粘
326-3	須恵器 羽釜	覆土 破片	口・(22.7) 口・(20.7)	酸化。並。にい赤褐色5YR5/4。 並。重。白・褐・鉛・褐粒合。	口縁部の内・外表面横擦。器下部に刷毛痕。割れ口に組作痕あり。	
326-4	須恵器 羽釜	覆土 破片	口・(21.2) 口・(23.7)	酸化。並。褐7.5YR4/4。並。 鉛。白・褐・鉛・褐粒合。	口縁部の内・外表面横擦。器下部に刷毛痕。割れ口に接合面見える。組作らしい。	

第148号住居跡

検出番号	種 別	出土位置	度目 (cm)	焼調・色調・胎土 (石材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
回収番号	器 標	遺 存 度	量 目 (g)			
326-5	須恵器 羽釜	電気土 破片	口・(23.2) 脚・(25.7)	酸化・並。灰 YR4/3。並。やや重。白・褐粒合、鉛物少。	内・外間に縦縫右回転の回転条痕。外面爆付着。	粘・陶
326-6	須恵器 羽釜	床直 破片	口・(30.0) 脚・(31.1)	酸化・並。明赤褐色Y5R5/6。密、重。白粒、他鉛物微。	組作りの接合 2カ所。作調粗雑。外面擦と、1条の工具条痕。内面にも工具条痕あり。	市付近か
326-7	施釉陶器 灰陶 瓢	施釉土 破片	頸・(6.2)	還元・灰。釉淡黄緑(灰釉)。胎土灰灰2.5Y7/1。	外面に透明感の強い灰釉。一部は内面にもおよぶ。内面横縫目あり。	東海撤入
326-8	石製品 砕石	覆土 40g	長・5.5。横・3.5。厚・1.7。	使用前は表面と左側部。欠損は調失。小口面は礫石面。右側部は旧材料面。		
180-6	石造品 膜開石か 先形	覆土 4.7g	横・2.1	使用摩耗はつきりせず。灰色で、味があり、自然材か陽石か。基石か。		
326-10	石造品 膜開石か 先形	覆土 4.6g	横・1.8	使用摩耗はつきりせず。黒色味が強く、膜石か。基石か。		
326-11	石製品 砕鉢車	不明 完形	砥沢石 50g	遺存長・3.7。幅・3.4。 厚・2.6。	砥石の転用か。平面形は隅丸方形を呈す。穿孔は表・裏ほぼ同じ直径。使用消耗目立ず。	
180-8	鋳鉢車					

第149号住居跡

検出番号	種 別	出土位置	度目 (cm)	焼調・色調・胎土 (石材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
回収番号	器 標	遺 存 度	量 目 (g)			
327-1	須恵器 环(墨書き)	電気近 3/4	口・12.8 底・5.7	還元。並。灰オリーブY5Y6/2。 並。輕。黒粒多、白粒少、他少。	底部は縦縫右回転糸切り。体部外間に「百」墨字ある。割れ口消耗少。	墨書・89 點
180-7	須恵器 环	ピット内 1/2	口・(15.0) 底・6.2	還元。灰白Y5Y7/2。並。輕。 鉛物微。	口縫部は外反する。縦縫成形(右回転)。高台付け高台。底部は回転糸切り。内面爆付着。	接合 5片
327-2	土器類 破片	電気土 破片	口・(19.4)	酸化。並。にぼい橙7.5YR 4/2。並。輕。鉛粒合、他鉛物少。	口縫部に粘土帯。外面は荒削り、内面は難撫。口縫部は横縫で施す。旧欠げ被熱色斑。	接合 3片
180-12	土器類 破片	口・(20.8)	酸化。並。にぼい赤褐色Y5R4/3。 並。輕。青母、褐粒、鉛物少。	口縫部に粘土帯接合あり。器外側は荒削り、内面は難撫で、口縫部は横縫で施す。	接合 2片	
327-4	土器類 破片	ピット内 1/2	口・(20.8)	酸化。並。にぼい赤褐色Y5R4/3。 並。輕。青母、褐粒、鉛物少。	口縫部は外反する。縦縫成形(右回転)。底部は回転糸切り。内面爆付着。	

第151号住居跡

検出番号	種 別	出土位置	度目 (cm)	焼調・色調・胎土 (石材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
回収番号	器 標	遺 存 度	量 目 (g)			
328-1	須恵器 环	施釉土 1/3	口・12.8 底・8.0	還元。並。灰Y5Y6/5。並。やや重。白粒多、鉛物強。	口縫部は外傾する。縦縫成形(右回転)。底部は回転糸切り。内面底部境明瞭。	接合 2片 粘・陶
180-10	須恵器 环	施釉土 1/2	口・(6.6)	還元。並。灰オリーブY5Y6/2。 並。輕。白粒合、他鉛物少。	底部は大割落。縦縫成形(右回転)。底部は回転糸切り。外側少吸炎。割れ口消耗。	
328-2	須恵器 环	施釉土 1/2	口・(6.6)	還元。並。灰Y5Y6/5。並。やや重。白粒合、他鉛物少。	底部は大割落。縦縫成形(右回転)。底部は回転糸切り。外側少吸炎。割れ口消耗。	
180-11	須恵器 环					

第152号住居跡

検出番号	種 別	出土位置	度目 (cm)	焼調・色調・胎土 (石材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
回収番号	器 標	遺 存 度	量 目 (g)			
329-1	須恵器 环	覆土 口縫部		還元→中性。並。灰黃2.5Y6/2。 並。やや重。白・黑粒少。	体部外間に縦縫目。割れ口消耗。外側墨字。縦縫成形。底に見える吸炎あり。	附か

第154号住居跡

検出番号	種 別	出土位置	度目 (cm)	焼調・色調・胎土 (石材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
回収番号	器 標	遺 存 度	量 目 (g)			
330-1	土器類 环	覆土 1/5	口・(13.0)	酸化。並。灰5YR6/6。並。輕。白粒合、シルト質。	製作より。底部は荒削り、体部に型崩。口縫部・器内面は横縫で整形。	接合 2片
330-2	土器類 环	覆土 破片	口・(14.0)	酸化。並。灰7.5YR6/6。並。 やや軽。白粒合、鉛物少。	口縫部下外側に接合板。底部は荒削り、体部に型崩。口縫部・内面は横縫整形。外側黒斑。	
330-3	土器類 破片	覆土 1/2	口・(20.9)	酸化。並。純赤褐色2.5YR4/4。並。 やや重。白・青母粒合、鉛物少。	製作より。器外側は荒削り、指圧痕、器内面は荒削り。口縫部は横縫で施す。	接合 6片
332-1	須恵器 环(墨書き)	覆土 破片	口・(11.8) 底・(7.0)	還元。並。灰Y5Y1/1。並。やや重。 白・黑粒合、他鉛物合。	縦縫成形右回転。底部は回転糸切り。体部外間に墨痕、字が不明。	墨書・90 點
180-13	須恵器 环	覆土 1/4	口・(12.5) 底・(6.4)	酸~還元。灰。灰黃10Y5/2。 並。やや重。白粒合、鉛物少。	口縫部は外傾する。縦縫成形(右回転)。底部は回転糸切り。口縫部周辺重焼色斑。	接合 4片 外側か
332-2	須恵器 环	178住土 3/4	口・(13.1) 底・(7.4)	還元。灰。灰黃2.5Y7/2。 並。やや重。白粒合、鉛物少。	口縫部は外傾する。縦縫成形(右回転)。底部は回転糸切り。内・外側に吸炎あり。	
180-15	須恵器 环	覆土 破片	口・(17.4)	還元。灰。灰Y5Y6/1。並。輕。 白・褐粒合、他鉛物少。	口縫部は直線的に外傾する。縦縫成形。内・外側に縦縫目。割れ口消耗。	
332-4	須恵器 环					

第154号住居跡

辨認番号	種類	別種	出土位置 遺存度	度目(cm) 量目(g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
332- 5	須恵器	环	覆土 底部片	底・(7.0)	還元。硬。灰5Y4/1。密。重。 白粒合、他微。	輪轉成形(右回転)。底部は回転壓所。内・外面吸抜。割れ口消耗ほとんどなし。	西毛~境 玉
332- 6	須恵器	壇(墨書)	覆土 底部片	底・(10.4)	還元。並。灰5Y5/1。並。輕。 白粒・鉛物多。他鉛物少。	高台貼付後、周囲圧。底面に「王」かの墨字 あり。全体に消耗大。	墨書-91
332- 7	須恵器	壇	覆土 底部片	底・(10.2)	還元。軟。灰5Y5/1。並。やや輕。 白粒。灰鉛物多。他含。	輪轉成形(右回転)。付け高台後、回転壓、輪轉 整形。外面部黒色化。割れ口消耗。	
332- 8	須恵器	壇	覆土 1/4	口・(11.0)	還元。硬。灰10Y5/1。密。重。 白粒合、他鉛物少。	輪轉成形(右回転)。底盤は回転余り後周辺 使用摩耗。變形なし。	接合2片 笠懸
332- 9	須恵器	鉢	覆土 1/4	口・(11.0)	還元。軟。灰オーリー5Y6/2。 粗。輕。白・褐粒合、鉛物合。	輪轉成形(右回転)。底盤は回転余り後周辺 使用摩耗。割れ口消耗。	粘
332-10	須恵器	壇	覆土 口縁部片	厚・1.2	還元。硬。灰N6/0。密。重。 白鉛物合、他鉛物合。	組作り後輪轉成形。外面にゆるい波状文。内 面に輪轉目あり。口縁端部小割れ旧。	太田か
332-11	須恵器	大甕	覆土 口縁部片	厚・1.1	還元。縫。暗灰N3/0。密。重。 白粒合、他鉛物合。	組作り後輪轉成形。外面に自然釉。内・外面上 に輪轉の回転条痕。割れ口消耗少ない。	太田か
332-12	施釉陶器	壇	覆土 口縁部片	口・(14.0)	還元。縫。釉淡黄灰(灰釉)。 胎土灰白 N7/0。	口縁部付近使用消耗。内・外面部灰釉あり。外 面部割裂あり。割れ口少し消耗。	東海開入

第178号住居跡

辨認番号	種類	別種	出土位置 遺存度	度目(cm) 量目(g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
333- 1	土師器	环	覆土 口縁部片	口・(11.0)	酸化。並。橙5YR6/6。並。 輕。褐粒合、鉛物少。	口縁部は内青氣味。型作りか。底部は薄削り 後削、口縁部・器内面は横擦で整彌。	
333- 2	土師器	环(平底)	覆土 口縁部片	口・(11.8)	酸化。並。赤褐色YR4/6。並。 並。やや重。白粒合、鉛物少。	口縁部は内青氣味。型作り。底部は薄削り、 体部に型壓を残し、口縁部・器内面は横擦で。	
333- 3	土師器	环(平底)	覆土 口縁部片	口・(11.8)	酸化。並。にせい-7.5YR5/4。 並。輕。白・褐粒合、鉛物少。	口縁部は直立気味。型作り。底部は厚削り、 体部に型壓を残し、口縁部・器内面は横擦で。	
333- 4	土師器	内墨环	覆土 口縁部片	口・(15.0)	酸化。並。にせい-7.5YR5/4。 並。やや重。白粒合、鉛物少。	器内面に研磨を施す。器外面上には組作り接合痕 3条あり。割れ口少し消耗。	
333- 5	土師器	内墨环	覆土 口縁部片	口・(16.2)	酸化。並。にせい-7.5YR5/4。 並。輕。白粒合・金雲母合。	型作り。体部に型壓。外面は横擦で。内面の 黒化色は一部外面部口縁におよぶ。	
333- 6	土師器	壇	覆土 口縁部片	口・(12.0)	酸化。並。明褐色7.5YR5/6。並。 輕。褐粒合、鉛物少。	體部中位外面上に接合痕。型作りか。外面部 削り、内面は横擦で、口縁部は横擦。	
333- 7	須恵器	环	覆土 1/3	口・(12.0) 底・(7.4)	還元。硬。灰褐色10YR5/1。並。 重。	口縁部は焼け歪む。底部は回転余り後、周 辺を輪轉右回転削りを行う。	笠懸
333- 8	土師器	壇	覆土 底部片	底・(6.4)	酸化。並。明褐色5YR5/6。並。 輕。白粒合、鉛物少。	体部外面上接合痕、指压痕、剥落後の擦。底 面剥落。内面回転の擦痕あり。	
334- 1	須恵器	床直	口・(15.2) 1/2	還元。並。灰10YR6/2。 粗。輕。白色粒合。	口縁部は外削する。輪轉成形(右回転)。高台 付け高台。底部は回転余り。	接合4片 點	
334- 2	須恵器	壇	覆土 1/3	口・(14.4) 底・(6.4)	還元。軟。黃灰2.5YR6/1。並。 輕。黒褐粒多。他鉛物少。	口縁部は外反氣味。輪轉成形(右回転)。底部 は回転余り。内・外面部割れ口少し消耗。	粘
334- 3	土師器	黑 台付壇	覆土 底部片	底・(7.1)	酸化。並。橙5YR6/6。並。輕。 金雲母、白粒合、他少。	器内面に暗青黒色を施し、ハゼが多い。器外 面に擦痕を残す。器面、割れ口消耗大。	内墨
334- 4	須恵器	环蓋	覆土 1/4	口・(17.4)高 3.8 深・3.0	還元。硬。灰Y6/1。密。 やや輕。白色粒合、鉛物微。	輪轉成形(右回転)。上半部は右回転削り。笠・本田 端部の尖り削い。	笠・本田 外か
334- 5	須恵器	环	拂み径・2.1	口・(17.4)	還元。並。灰5Y5/1。並。 輕。褐粒多。他鉛物少。	輪轉成形(右回転)。外面上部は回転削り、 下部に輪轉目。拂み端部が油燃臭風、胎土異風。	原外か
334- 6	須恵器	环	拂み径・4.0	中性。並。灰2.5YR6/2。 粗粒。黑・褐粒合、他少。	輪轉成形。拂み端部はや丸い。全体に消耗 の様み。	粘	
334- 7	須恵器	高环か	覆土 脚部か	口・(13.0)	還元。縫。灰N5/0。密。重。 白鉛物多、大粒合、他少。	腹口縁が不明。外面に輪轉目あり。回転方向 不明。石英粒目立つ。	太田か

第179号住居跡

辨認番号	種類	別種	出土位置 遺存度	度目(cm) 量目(g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
335- 1	土師器	壇	覆土 破片	口・(19.0) 高・(6.5)	酸化。硬。明褐色2.5YR5/6。 並。やや輕。白色粒合、他少。	口縁部下外面上に接合痕。型作りか。外面は 削り、内面は横擦で、口縁部は横擦。	
335- 2	土師器	台付壇	覆土 脚部片	底・9.6	酸化。並。明褐色5YR5/8。粗。 輕。褐色粒多、擦多い。	輪轉成形(右回転)。外面上部は回転削り、 下部に輪轉目。拂み端部が油燃臭風、胎土異風。	粘・陶 原外か
335- 3	土師器	脚部片	口・(19.0)	中性。並。灰2.5YR6/2。 粗粒。白・褐粒合、他少。	輪轉成形。拂み端部はや丸い。全体に消耗 の様み。	粘	
335- 4	須恵器	高环か	口・(13.0)	還元。縫。灰N5/0。密。重。 白鉛物多、大粒合、他少。	腹口縁が不明。外面に輪轉目あり。回転方向 不明。石英粒目立つ。	太田か	

第179号住居跡

辨認番号 〔固版番号〕	種別 器種	出土位置 遺存度	度目(cm) 量目(g)	焼調・色調・胎土 (石業材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
335-3	施釉陶瓶 壺	覆土 破片	厚・0.3	還元。緑。灰オーリーブ7.5Y4/2。 密。重。鉛物粒見えず。	外面全体自然釉、暗淡緑色で当道跡最良。内面被膜目。割れ口消耗少しあり。	東海盤入 外
335-4	須恵器 壺	覆土 1/4	口・(11.0) 底・(7.2)	還元。硬。灰5Y6/6。密。重。 白粒、白鉛物粒多。	輪縁部は外傾する。輪縁成形(左回転)。底部糸切。外間に重焼色変。	笠・太田 か外
335-5	須恵器 壺	覆土 1/2	口・(12.3) 底・7.8	還元。硬。灰N4/0。密。重。 白色粒微、鉛物微。	口縁部は外傾する。輪縁成形(右回転)。底部糸切。内に強い輪縁目。	笠・太田 外か
335-6	須恵器 壺	覆土 ほぼ完形	口・12.5 底・7.2	還元。硬。灰7.5Y5/1。密。重。 白色粒微、鉛物微。	口縁部は外傾する。輪縁成形(右回転)。底部糸切。内に強い輪縁目。	笠・太田 外か
335-7	須恵器 壺	覆土 3/4	口・13.4 底・7.8	中性。並。灰白Y7?/1。密。 やや重。鉛物微。	口縁部は外傾する。輪縁成形(右回転)。底部糸切。内・外間に輪縁目目立つ。	笠・太田 か
335-8	須恵器 壺	覆土 3/4	口・(12.7) 底・7.2	還元。並。灰白Y7/2。密。重。 白色粒微、鉛物微。	口縁部は外傾する。輪縁成形(右回転)。底部糸切。底周に糸切しそこね痕。	笠・太田 か
335-9	須恵器 壺	覆土 破片	口・(13.5)	還元。軟。灰黄2.5Y7/2。並。 やや輕。白粒少。	口縁部は外傾する。輪縁成形(右回転)。底部糸切後、周辺縫を手持ち窓整形。	笠・笠か 外
335-10	須恵器 壺	覆土 1/3	口・(14.0) 底・(6.8)	還元。並。灰10YR6/1。密。 重。白・黒粒合、他鉛物少。	輪縁成形(右回転)。底部糸切。大まかに輪縁目。少し内面使用摩耗ハゼあり。	接合5片 太田か
335-11	須恵器 壺	覆土 底部1/4	底・(7.0)	還元。硬。灰5Y5/1。並。 白粒少・黒粒多、他少。	輪縁成形。底部は回転糸切り。割れ口消耗大。	粘
335-12	須恵器 壺	覆土 底部	底・10.2	還元。硬。灰7.5Y4/2。密。 重。白・黒粒少。	輪縁成形。右回転糸切後周辺を回転窓削り。	笠
335-13	須恵器 壺	床直 底部片	底・(10.0)	還元。軟。灰黄10YR6/2。 並。やや重。白色粒微。	口縁部は欠損する。輪縁成形(右回転)。高台付け高台。底部は回転窓整形。欠損旧時。	笠懸か 外
335-14	土師器 鉢	覆土 内里	口・(13.4) 高・(3.9)	酸化。並。明赤褐2.5YR5/8。 鉛物粒少。	器内面に暗文を施す。器外面上には指痕直・擦痕・窓等。	接合4片 太田か 外
336-1	土師器 鉢形	覆土 破片	口・(18.0)	酸化。並。ぶい根7.5YR6/4。 並。鉛物少、シルト質。	外面上方に横擦、下方不定方向の擦。内面横擦。割れ口消耗。	
336-2	土師器 鉢	覆土 破片	口・(20.2)	酸化。並。7.5YR6/6。並。 やや輕。白・褐色合、他鉛物少。	口縁部の内・外面横擦。外面上不定方向の擦と窓。唇面厚い。割れ口少し消耗。	
336-3	須恵器 蓋	覆土 小片	口・(15.2)	中性。軟。灰白Y7/1。並。 鉛物粒微、シリト質。	輪縁成形。内・外面輪縁目顯著でない。割れ口消耗。	
336-4	須恵器 長頸瓶	覆土 破片	頸径・(6.0)	還元。緑。褐灰10YR6/1。密。 重。白・白粒合、他鉛物。	外面厚い自然釉。内面に3段接合、右回転輪縁目あり。割れ口に粘土板の接合面見える。	県外か 外
336-5	須恵器 壺	覆土 破片	口・(28.0)	還元。軟。灰5Y6/1。並。 やや重。白粒少、黒粒多。鉛物。	磁研削後窓で整形成。内面小ハゼ多い。口縫隙消耗。割れ口消耗。	粘・陶
336-6	須恵器 壺	覆土 破片	底・(18.8)	還元。緑。灰5Y6/1。密。 白粒合、他鉛物。	内面に青滑波当て目、外平行叩撫で消し。底面内面輪縁右回転。内面使用摩耗。	陶・西毛 原外
336-7	粘土板状 電竈	覆土 破片	90g	還存長・5.5+巾・4.35+幅 厚・4.7	神か天井架材の粘土板片か。細縫を含み、焼成の甘いレンガ様。表・裏のみ残存。	酸化・燒 成甘い
336-8	土製品 土器	覆土 完形	長・5.0 幅・ 2.0 12.31g	酸化。並。明褐灰2.5YR7/2。 並。重。白粒合、他鉛物なし。	外面部窓整形で唇面窓。穿孔形は小さい。重みあり。欠損はない。消耗顯著でない。	粘・陶

第180号住居跡

辨認番号 〔固版番号〕	種別 器種	出土位置 遺存度	度目(cm) 量目(g)	焼調・色調・胎土 (石業材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
337-1	土師器 壺	覆土 破片	口・(11.0)	酸化。並。橙5YR6/6。並。輕。 金雲母、褐粒合、シリト質。	型作りか。底部は窓削り。口縁部・器内面は横擦で整形。体部外間に不明墨字あり。	墨書-92 外
337-2	須恵器 壺	覆土 2/3	口・(13.7) 底・7.4	還元。硬。灰5Y6/1。密。 鉛物粒微少。	口縁部は外傾する。輪縁成形。底部は右回転糸切。内面輪縁目特徴的。	接合8片 県外か
337-3	土製品 土器	覆土 完形	長・4.2 幅・1.9	酸化。並。暗灰2.5YR4/2。 並。重。鉛物粒見えず。	小口の欠損なし。縦少しかかり褐色味おびる。外面部。他の土器より、質に重みあり。	

第156号住居跡

辨認番号 〔固版番号〕	種別 器種	出土位置 遺存度	度目(cm) 量目(g)	焼調・色調・胎土 (石業材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
338-1	土師器 壺	床直 3/4	口・(12.8) 底・(9.5)	酸化。並。橙5YR6/8。粗。輕。 白・褐粒合、鉛物少。	型作り。底部は窓削り、体部に型磨。口縁部・器内面は横擦で整形。体部外間に不明墨字あり。	接合2片 外
338-2	土師器 壺(平底)	一部欠損	口・13.1 底・6.4	酸化。硬。にぶい橙7.5YR4/4。 並。重。鉛物粒見えず。	口縁部は直線的に外傾。型作り。底部は握削り付着。体部に型磨と不明墨字。	墨書-93 外

第156号住居跡

探査番号 回収番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目(cm) 量目(g)	焼調・色調・胎土 (石炭材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
338-3	土器器	床直	口・(14.1)	酸化。硬。燒7.5YR7/6。並。	口縁部は外傾。型作り。底部荒削り妙付着。	墨書-94
181-7	环(平底)	1/4	底・(7.6)	白・黒粒合、他軸物合。	体部表面不明墨字。口縁部・内面横擦で。	
340-1	土器器	覆土	口・(13.8)	酸化。並。明赤褐2.5YR5/6。	口縁部は大きめ外傾する。底部は荒削り、体部に指圧痕を残し、口縁部・器内面は横擦で。	
181-8	环	1/3	底・(6.4)	並。やや重。白粒合、軸物合。	器内面に暗文。模様削削所あり。黒色化は口縁部外側にもおよぶ。底面歪形。	
340-2	土器器	床直	口・(12.4)	酸化。硬。明赤褐5YR5/6。並。	器内面に暗文。器外側に指圧痕、窪削を残す。	接合3片
181-9	内組环	1/4	底・(6.0)	やや重。白・褐粒合、褐物合。	底面手持窪形。その中央に細砂付着部あり。	
340-3	土器器	床直	口・11.6	酸化。並。明赤褐5YR5/6。並。	粘	
181-10	内組环	1/2	底・6.0	やや重。軸物合。	器内面に暗文。器外側に指圧痕、窪削を残す。	接合4片
340-4	土器器	床直+側方	口・12.8 底・6.5 高・4.2	酸化。硬。にぼい褐色10YR5/3。並。紅。白・黒粒合、他軸物合少。	底部は石目状の膚。体部外側不明墨字。口縁部は横擦で。	接合6片
181-13	环(平底)	3/4	底・(6.5)	並。やや重。白・黒粒合、他軸物合少。	器内面は横擦で。内面黒色化と研磨。	墨書-95
340-5	土器器	床直	口・13.9	酸化。軟。燒5YR6/6。並。	器内面に研磨を施す。器外側には薙削目、指圧痕を残す。研磨は入念。	
181-14	内組台盤	一部欠損	底・7.2	やや重。内組軸物合。		
340-6	土器器	床直	口・20.4	酸化。硬。明赤褐5YR5/6。並。やや重。白・褐粒、軸物合。	口縁部粘土帶。型作りか。器外側は薙削り、器内面は荒削りで、口縁部は横擦でを施す。	接合7片
181-15	變	口縁部片				
340-7	土器器	床直	底・(9.0)	酸化。並。にぼい赤褐色5YR5/3。並。やや重。白・褐粒、軸物合。	脚部外反、底部下半荒削り、脚部の接合部以下に、内・外面横擦。	接合2片
181-20	台付座	小片			粘	
340-8	土器器	床直	底・8.6	酸化。硬。赤褐色5YR4/6。粗。	全体に摩耗し、ハゼあり。外面指圧痕あり。	接合3片
181-21	台付座	底部片		やや重。白粒、軸物合。	内面被刷はげ。外面煤付着。	
340-9	土器器	床直	底・10.0	酸化。並。にぼい橙7.5YR4/4。並。やや重。軸物合。	台部外反気味で、内・外面ともに横擦あり。台部上方少しめくれ傾向あり。	粘
181-22	台付座	台盤片			墨書-96	
340-10	須恵器	床層	口・13.2	酸化。並。にぼい赤褐色5YR5/3。並。やや重。軸物合。	口縁部は外傾する。輪縫成形(右回転)。底部は回転糸切り。底部小粘土塊付着。	内面油煙
181-15	环	一部欠損	底・6.2			田中か
340-11	須恵器	覆土	底・(6.0)	蓮元。軟。灰黄2.5Y6/2。並。やや重。軸物合少。	底部は右回転糸切り後周辺は窪削。さらに「主」か不明墨字あり。内面底摩耗。	墨書-96
181-18	环	底部片				
340-12	須恵器	床直	口・15.1	蓮元。並。灰7.5Y1/6。並。やや重。軸物合。	口縁部は外反する。輪縫成形(右回転)。高台付け高台。底部は回転糸切り。	接合6片
181-17	环	3/4	底・7.5		粘	
340-13	須恵器	床直	底・(7.0)	蓮元。並。灰黄2.5Y6/2。並。金環附合。白・黒粒合、他合。	口縁部は外傾。高台付け高台。底部は回転糸切り。体部外側不明墨字。	粘
181-19	环	1/3				墨書-97

第155号住居跡

探査番号 回収番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目(cm) 量目(g)	焼調・色調・胎土 (石炭材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
341-1	土器器	覆土+床直	口・(11.6)	酸化。硬。燒7.5YR6/6。並。軸物合少。	口縁部は外反する。型作りか。底部は荒削り、口縁部・器内面は横擦で整形。底部付着。	接合2片
181-23	环	2/3		シリト質。	器外側は指圧痕。	
341-2	土器器	覆土 (小型) 破片	口・(10.4)	酸化。並。赤褐色2.5YR4/2。並。白粒合、軸物合微。	「コ」の字状口縁。底部に接合面。器外側は薙削り、器内面は横擦で、口縁部は横擦。	接合4片
341-3	土器器	覆土 破片	口・(19.0)	酸化。並。にぼい褐色7.5YR5/4。並。白粒微、軸物微。	「コ」の字状口縁。型作りか。器外側は薙削り、器内面は横擦で、口縁部は横擦。	接合3片
341-4	土器器	覆土 破片	口・(21.0)	酸化。並。明赤褐5YR5/6。並。やや重。白・褐粒合、他少。	「コ」の字状口縁。型作りか。器外側は薙削り、器内面は横擦で、口縁部は横擦。	
342-1	須恵器	覆土 破片	口・(12.2)	蓮元。緑。灰N6/6。	口縁部は外反する。底面は丸底気味。底部は輪縫右回転の薙削前。	
342-2	須恵器	床直	口・12.4	蓮元。並。灰7.5YR5/6。密。やや重。白粒、軸物合。	口縁部は外傾する。輪縫成形(右回転)。底部は回転糸切り。内・外面に浅い輪縫目。	笠懸か
181-24	环	1/2	底・6.0			
342-3	須恵器	床直	口・12.5	蓮元。硬。灰10YR4/4。並。やや重。白色粒・軸物微。	口縁部は外傾する。輪縫成形。底部は右回転糸切りで切りそこね跡あり。	粘
181-25	环	完形	底・5.6			
342-4	須恵器	床直	口・12.8	蓮元。並。灰5Y6/6。粗。軸。白色粒・軸石合。	口縁部は外傾する。輪縫成形。底部は右回転糸切り。体部に輪縫目。底少し摩耗。	接合2片
181-26	环	完形	底・5.6		粘	
342-5	須恵器	鉢方	口・13.0	蓮元。硬。灰7.5Y6/1。並。白・黒粒合、他軸物合。	底部は輪縫右回転糸切り。体部外側に「百口」と不明墨字あり。重焼色変。内面摩耗あり。	墨書-98
181-27	环	完形	底・6.5			
342-6	須恵器	電	口・(13.2)	中性。並。灰黄2.5Y6/2。並。軸。	口縁部は外傾。底部は輪縫右回転糸切り。内面渦巻き黒色物質(漆・油煙)付着と不明墨字。	接合2片
181-28	环	1/3	底・(6.7)	白・白粒合、他少。シリト質。	墨書-99	
342-7	須恵器	覆土 破片	底・(9.0)	蓮元。並。灰黄2.5Y6/2。密。軸。やや重。白粒合、他微。	底部は右回転薙削整形。割れ口消耗。外面下方に挽出の縦あり。	
181-29	須恵器	覆土 破片	底・(9.0)	蓮元。並。灰白5Y7/2。並。軸。白・白粒合、他少。	輪縫成形。底部は薙削。体部上方の外側に輪縫目。割れ口消耗。	粘
342-8	須恵器	床直	底・8.2	酸化。並。灰N5/0。粗。軸。軸物微。	底部は右回転糸切り。内面ハゼ、外側少し擦される。	粘
181-30	須恵器	堆	底・底部片			

第155号住居跡

埠団番号 国版番号	種 別 器 標	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
342-10	須恵器 広口壺	覆土 破片	口・(35.0)	還元。硬。灰2.5YR5/1。密。 重。白色粒物多、他鉱物少。	砂粒は纏織右回転。内・外面回転条痕。器内 やや薄い。白色粒物のうち石英粒目立つ。	太田

第157号住居跡

埠団番号 国版番号	種 別 器 標	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
343-1	須恵器 壺	覆土	底・(6.7)	還元。硬。浅2.5YV7/3。密。 重。白粒、鉱物含、他鉱。	纏織成形(右回転)。底部は回転糸切後周縁を 回転削削。外面火摩痕。	岡、周辺 県一市外
181-30						
343-2	須恵器 壺	掘方覆土 破片	底・(7.0)	還元。軟。灰5Y5/1。密。 やや重。白粒含、他鉱物微。	口縁部は外傾する。纏織成形(右回転)。高台 は欠損する。(付高台)。重焼色変。	粘
181-31	壺					

第158号住居跡

埠団番号 国版番号	種 別 器 標	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
344-1	土師器 壺	覆土 破片	口・(11.8)	酸化。並。褐5YR7/8。並。輕。 金雲母、褐色含、鉱物少。	口縁部は外傾気味。型作り。底部は窪削り、 体部に型崩。口縁部・器内面は横擦で整形。	
344-2	土師器 壺	覆土 破片	口・(12.0)	酸化。並。明赤褐2.5YR5/8。 並。輕。白粒合、鉱物含。	口縁部は内凹気味。型作り。底部は窪削り、 体部に型崩。口縁部・器内面は横擦で整形。	
344-3	須恵器 台付皿	掘方覆土 1/4	口・(15.0) 底・(10.0)	還元。並。灰黃褐10YR5/2。並。 輕。鉱物粒微。少シルト質。	割れ口消耗。内面に重焼色変。外面周縁目 あり。外面上に被熱色変と少し煤付着。	接合2片 粘
344-4	須恵器 壺蓋	電付近+電盤方 1/3	口・18.3 高・4.0	酸化。並。灰黃褐10YR5/2。並。 やや重。白・褐色合、鉱物少。	上半部は糸切痕、周辺部を右回転削削。重 ね焼き色変あり。その径は15.8と11.2cm。	接合4片 粘
344-5	須恵器 壺	掘方 脚部片	厚・0.8	還元。硬。黃灰2.5Y4/1。密。 重。白鉱物合、他鉱物含。	細部後叩き整形。外面上は平行叩きとカキ目 条痕。内面兜穴は青苔波文。割れ口消耗。	太田か 多痕。

第159号住居跡

埠団番号 国版番号	種 別 器 標	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
345-1	土師器 壺	掘方覆土 1/5	口・(12.2)	酸化。並。褐7.5YR4/4。	型作り。底部は窪削り、体部に型崩。口縁部・ 器内面は横擦で整形。内・外側少し擦かれる。	接合2片 粘
345-2	土師器 壺	電覆土 破片	口・(12.0)	酸化。硬。にぼい黃褐10YR6/3。 並。やや重。褐色合、他少。	型作りか。底部は窪削り窓施。不明墨字、体 部に型崩。口縁部・器内面は横擦で整形。	近鉄購入 墨書-100
345-3	土師器 壺	床刷 1/4	口・12.95	酸化。並。にぼい黃褐10YR5/4。 並。輕。褐色多、他鉱物少。	内面少し擦される。型作り。底部は窪削り、 体部に型崩。口縁部・器内面は横擦で整形。	
345-4	須恵器 台付皿	覆土 1/5	口・(15.0) 底・(9.7)	酸化。並。にぼい黃褐10YR6/3。 並。輕。鉱物粒微。	割れ口消耗。全体的に酸化味あり。高台貼付。 高台外側少し擦かかる。	接合2片 粘
345-5	須恵器 壺	覆土 破片	底・(7.0)	還元。硬。灰褐2.5YR6/2。密。 やや重。白・黒粒少。他少。	底部は纏織右回転削削。体部外側に不明墨 字あり。内面平滑で擦耗少。	笠 墨書-101
345-6	須恵器 壺蓋	覆土 一部欠損	口・13.9 高・2.8	還元。並。灰褐7.5Y7/2。密。 やや重。白色粒、鉱物含。	纏織成形(右回転)。外面上部は回転削削。 口縁部はぼくれる。外面上焼色変。	笠・太田 か
345-7	須恵器 (双耳)	床直 3/4	口・15.3 底・10.8	中性。硬。黄2.5Y6/1。密。重。 白色粒、鉱物少。	口縁部は外傾する。纏織成形(右回転)。高台 は付高台。底部は回転削削整形。耳耳火。	笠透か

第160号住居跡

埠団番号 国版番号	種 別 器 標	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
348-1	土師器 壺	掘方 破片	口・(10.8)	酸化。硬。明赤褐5YR5/6。並。 輕。白粒合、他鉱物少。	口縁部は外反気味。型作り。底部は窪削り、 体部に型崩。口縁部・器内面は横擦で整形。	接合2片 粘
348-2	土師器 壺	電 破片	口・(13.2) 高・3.0	酸化。硬。にぼい赤褐5YR5/4。 並。やや重。褐色合、他鉱物少。	口縁部は外傾気味。型作りか。底部は窪削、 外面口縁部下垂痕、文字ではないかもしない。 墨字あり。割れ口消耗。	接合2片 粘
348-3	須恵器 壺	覆土 底部片	厚・0.5	中性。軟。灰褐2.5Y6/2。並。 輕。鉱物粒少。	底部は回転削削り、不明墨字あり。内面回転 底痕。	墨書-103
348-4	土師器 裏か 剥片	覆土 剥片	厚・0.3	酸化。並。赤褐5YR4/8。	外面上に窪削、内面に擦と墨字らしき吸鐵か墨 字あり。裏内面の墨痕は疑問もあり。	7~9前C 墨書-104
348-5	土師器 壺	覆土 底部片	厚・0.6	酸化。並。明赤褐2.5YR5/6。 並。輕。白・褐色合、他鉱物少。	底部窪削り、内面指などによる擦ならし、ふ 明墨字あり。割れ口消耗。	墨書-105
348-6	須恵器 壺	覆土 1/4	口・(13.8) 底・7.5	酸化。軟。褐5YR6/6。 やや重。白色粒、茶褐色合。	口縁部は外傾する。纏織成形(右回転)。底部 は回転糸切り後回転整形。少し擦。	接合3片 笠透か
182-5						

第160号住居跡

埠団番号 固版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形狀・技法等の特徴	概 要
348-7	須恵器 壺	甌	口・(13.3) 底・7.9	酸化。並。明褐7.5YR5/6。並。 やや重。茶褐色含。	口縁部は外傾。底部は右回転余切り後、周辺 回転削削り。鉄物粒微。擦付着か。	接合2片 笠管か
182-6		1/2				
348-8	須恵器 壺+甌内 环(墨書)	甌+甌内 1/4	口・13.9 底・8.0	酸化。硬。にぼい褐7.5YR5/4。 重。褐粒多、白粒少、他少。	底部は穂状回転余切り後周辺を回転削削。体 部外面に「一」と「王」の墨字、墨眞に差。	笠 墨書-106
182-7						
348-9	須恵器 壺	甌部覆土 底部片	底・(7.4)	還元。並。暗灰黄2.5Y5/2。並。 やや重。白・茶褐色含。	底部は回転余切り後右回転削削、拂成針書 「十」あり。	
348-10	須恵器 瓶	覆土 口縁部片	口・(15.0)	還元。硬。黄灰2.5Y4/1。密。 重。白鈍物合。他合。	薄作。内・外面穂状回転条痕あり。割れ口の 消耗少ない。	近接県
348-11	須恵器 甌	甌+甌内 胴部片	厚・0.4	還元。並。暗灰黄2.5Y5/2。並。 重。白鈍物多合、他少。	扭作輪削成形。外面に印は見えない。内面に も見えず無あり。割れ口少し消耗。	太田か
348-12	施釉陶器 甌	覆土 体部片	厚・1.0	還元。綠。釉灰淡绿(灰釉)。 胎土灰。	内而全体、外面上方に灰釉あり。外側下方に 被輪目あり。施釉は刷毛塗か。	東海県入 輪目
348-13	土製品 土錠	覆土 ほぼ完形	長・3.7 中・ 1.7 重・8.5g	酸化。並。にぼい黄褐10YR5/3。 白・茶褐色含。	外面黒褐色に上げられている。片方の小口は 旧時欠損。少し横加わり、暗い色調。	
182-8						
348-14	土製品 土錠	覆土 完形	長・4.8 中・ 1.8 重・12.1	酸化。並。橙7.5YR6/6。並。 白・茶褐色含。	表面繊細な研磨がなされ、緻密。穿孔は2mm 弱。完存はあるか。小口面少し摩耗。旧時か。	
182-14						
348-15	石造品 甌内	ディサイド質 3/4	紙・25.2 横・10.5 厚・7.0	還元灰2290 凝灰岩	頂上方は旧状を残し、削工具らしき痕跡、下 方には被熱消耗か。側部に堆積物らしい形跡。	
182-18						

第161号住居跡

埠団番号 固版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形狀・技法等の特徴	概 要
349-1	土師器 壺	覆土 1/4	口・12.4	酸化。並。明赤褐2.5YR5/6。並。 やや重。白・褐粒、金雲母合。	口縁部は内青気味。型作り。底部は箆削引目 墨字。体部に壓扁。	接合6片 墨書-107
182-11						
349-2	土師器 壺	覆土 1/2	口・(12.9) 底・(8.5)	酸化。軟。橙7.5YR7/6。並。 白・褐粒多、他物少。	口縁部貼土層。型作り。底部は箆削引り、体部 に壓扁。口縁部・器内面は横擦で整形。	接合5片
182-12						
349-3	土師器 壺	覆土 破片	口・(13.0)	酸化。硬。橙5YR6/6。並。輕。 褐粒多、他物合。	口縁部は外傾氣味。型作り。底部は箆削引目 體部に壓扁。口縁部・器内面は横擦で整形。	接合3片
349-4	土師器 内 黑 壺 壺	覆土 内 黑 壺 破片	口・(14.0)	酸化。硬。橙5YR6/6。並。 やや重。白・茶褐色合。他物合。	型作り。器内面に研磨、器外側に壓扁あり。 黒化は外側面にもおよぶ。	接合3片
349-5	土師器 壺	覆土 底部片	厚・0.4	酸化。並。橙5YR6/6。並。やや 重。金雲母、灰褐色合、他少。	底部箆削引り、内面に箆と不明墨字あり。割れ 口消粧。	墨書-108
349-6	土師器 壺	覆土 底部片	厚・0.3	酸化。並。橙7.5YR6/6。並。 やや重。鉄物粒微。	内・外側に不明墨字あり。底面箆削、内面箆。 割れ口消粧。	墨書-109
350-1	土師器 壺(墨書)	覆土 2/3	口・12.8 高・4.0	酸化。硬。にぼい褐5YR5/4。 並。輕。白・茶褐色合。	型作り。底部は箆削引、戸書き墨書。体 に壓扁。内面「未」か墨字あり。	接合6片 墨書-110
182-13						
350-2	須恵器 壺	床直 一部欠損	口・12.7 底・7.2	還元。硬。灰10Y4/1。密。 やや重。白色粒合、他物合。	口縁部は外傾。穂状成形(右回転)。底部は回 転余切り後、回転箆整形。底際に丸出模様あり。	笠豊か
182-14						
350-3	須恵器 壺	床直 ほぼ完形	口・10.5 底・6.4	還元。緑。灰N4/0。密。重。 白色粒合、鉄物微。	口縁部は外傾する。穂状成形(右回転)。高台 付け高台。底部は回転余切り。自転軸。	太田
182-16						
350-4	土師器 内 黑 壺 壺	覆土 内 黑 壺 底部片	厚・0.8	酸化。硬。にぼい褐5YR5/4。 並。輕。白・茶褐色合、他少。	器内面に前段と吸提の黒化。底面次第後輪 軸右回転箆削、不明墨字あり。	墨書-111
350-5	須恵器 壺蓋	覆土 1/4	厚・1.0	還元。硬。灰N6/0。密。 白・茶褐色合、他合。	穂状成形(右回転)。上半部は回転箆削り。彌 み内面に不明墨字あり。内面は箆目多。	墨書-112
350-6	土製品 石錠車	覆土 完形	重・42.6	横・4.4 高・4.7 厚・1.3	頂上平面削、および側部は消耗があり、使用 時か風化か不明。文字、文様なし。	
182-15						

第162号住居跡

埠団番号 固版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形狀・技法等の特徴	概 要
352-1	土師器 壺	覆土+床直 1/4	口・(14.4) 高・(3.8)	酸化。軟。褐7.5YR1/4。粗。 輕。	口縁部に粘土帶。底部は箆削り、体部に指圧 痕。口縁部・器内面は横擦で。	接合8片
182-17						
352-2	土師器 甌	床直 口縁部片	口・(16.1)	酸化。硬。にぼい赤褐5YR5/4。 並。輕。白・茶褐色合、他少。	頸部内面に研磨痕あり。器内面は無で、口縁 部は横擦で指圧。	接合7片
182-19						
352-3	土師器 甌	床直 +その他 1/4	口・(18.6) 高・(23.6)	酸化。硬。暗褐7.5YR3/3。並。 白・茶褐色合、他合。	外面は箆削引、内面は箆擦で、接合面あり。 口縁部は横擦で施す。外面に壓。	接合14片
182-20						
352-4	土師器 甌	南甌、覆土 破片	口・(18.8)	酸化。並。橙5YR7/6。並。輕。 褐・白・茶褐色合、他物少。	口縁部に粘土帶。外面は箆削引と無。内面は 箆削引と接合面、口縁部は横擦で施す。	接合3片
182-22						

第162号住居跡

博岡番号 団版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度量 (cm) 量目 (g)	焼附・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
352- 5	土師器 甕(小形)	覆土 破片	口・(13.2)	酸化。並。黒褐10YR3/2。並。 やや重。白粒合、鉱物少。	頸部内面に接合面あり。口縁部の内・外側横 施。体部外側窪面。内・外側少し横される。	
352- 6	土師器 甕	覆土 破片	口・(15.5)	酸化。硬。にぶい赤褐2.5YR 5/4。並。白・褐粒合。	「コ」の字状口縁。型作りか。器外側は箆削、 器内側は窪削で、口縁部は横削を施す。	
352- 7	土師器 甕	覆土 破片	口・(12.0)	酸化。硬。暗褐7.5YR3/3。並。 やや重。金需合、鉱物少。	内面横削、窪削。外面窪削、窪削。口縁部下 外面に沈線一条。外面煤付着。	
352- 8	土師器 甕	覆土 破片	口・(21.7)	酸化。硬。にぶい赤褐5/4。並。 重。白・褐粒多。他少。	口縁部下外側に三條の沈線帯、接合面。外面 は撻撚、接合面。口縁部は横削。	
182- 20	土師器 甕	床直+覆土 破片	剖最・(21.3)	酸化。硬。褐7.5YR4/3。並。 白・褐粒多。他鉱物少。	胴部片、器厚はやや厚い。器外側は継位方向 の窪削を施す。内面窪削、接合面1ヵ所。	接合10片
352- 9	土師器 甕	床直+覆土 破片	底・(5.0)	酸化。硬。褐7.5YR4/3。並。 重。白・褐粒合、鉱物少。	外面に窪削目あり。内面に窪削あり。底面は 窪削。外側に重ねと被熱。	接合2片
182- 21	土師器 甕	床直+覆土 破片	底・(5.3)	酸化。硬。褐7.5YR4/3。並。 白・褐粒多。他鉱物少。	底面は窪削目。内面に指印压痕。	
352- 10	土師器 甕	床直+覆土 破片	底・(5.0)	酸化。硬。褐7.5YR4/3。並。 重。白・褐粒合、鉱物少。	外側に窪削目あり。内面に窪削あり。底面は 窪削。外側に重ねと被熱。	
182- 22	土師器 甕	床直+覆土 破片	底・(4.0)	酸化。硬。褐7.5YR4/2。並。 やや重。鉱物合、鉱物少。	外側窪削。底部が付着。内面に指印压痕。	接合9片
182- 23	土師器 甕	床直 器部片	底・(3.4)	中性。にぶい黄褐10YR5/3. 5/4。並。やや重。粒子・鉱物少。	底部は回転糸切り。外側の楕円目位置低い。 窓斑あり。	接合7片 市外か
352- 11	須恵器 壺	覆土 片	口・13.0	中性。にぶい黄褐10YR5/3. 5/4。並。やや重。粒子・鉱物少。	口縁部は外削する。楕円成形(右回転)。底部 は回転糸切り。内面に工具の楕円目。	接合4片
182- 24	須恵器 壺	底・(5.3)	底・(7.5)	選元。硬。灰褐2.5Y7/2. 1/2。並。白粒合、鉱物微。	口縁部は外削する。楕円成形(右回転)。底部 は回転糸切り。少し瘤される。	粘
352- 12	須恵器 壺	床直+覆土 片	口・(12.8)	選元。硬。灰褐2.5Y7/2. 1/2。並。白粒合、鉱物微。	口縁部は外削する。楕円成形(右回転)。底部 は回転糸切り。内面に工具の楕円目。	接合4片
182- 25	須恵器 壺	底・(7.5)	底・(7.5)	選元。硬。灰褐2.5Y7/2. 1/2。並。白粒合、鉱物微。	口縁部は外削する。楕円成形(右回転)。高台 付け高台。底部は回転糸切り。窓斑目多。	接合6片
352- 13	須恵器 壺	床直+覆土 片	口・(12.8)	選元。硬。灰褐2.5Y7/2. 1/2。並。白粒合、鉱物微。	口縁部は外削する。楕円成形(右回転)。底部 は回転糸切り。内面に工具の楕円目。	接合4片
182- 26	須恵器 壺	底・(7.5)	底・(7.5)	選元。硬。灰褐2.5Y7/2. 1/2。並。白粒合、鉱物微。	口縁部は外削する。楕円成形(右回転)。高台 付け高台。底部は回転糸切り。少し瘤される。	粘
352- 14	須恵器 壺	電(北) 1/2	口・14.0	酸化。並。褐7.5YR6/6。並。 やや重。白粒合、鉱物少。	口縁部は外削する。楕円成形(右回転)。高台 付け高台。底部は回転糸切り。窓斑目多。	接合7片
182- 25	須恵器 壺	底・(6.7)	底・(6.7)	酸化。並。褐7.5YR6/6。並。 やや重。白粒合、鉱物少。	口縁部は外削する。楕円成形(右回転)。高台 付け高台。底部は回転糸切り。少し瘤される。	粘
353- 1	須恵器 壺	床直+床底 1/3	口・(14.0)	中性。並。にぶい黄褐10YR6/3. 6/4。並。やや重。粒子・鉱物少。	口縁部は外削。楕円成形(右回転)。高台付け 高台。底部は回転糸切り。少し瘤される。	接合2片
182- 24	須恵器 壺	底・(6.8)	底・(6.8)	中性。並。にぶい黄褐10YR6/4. 6/5。並。やや重。白色鉱物合。	口縁部は外削。楕円成形(右回転)。高台 付け高台。底部は回転糸切り。少し瘤あり。	粘
353- 2	須恵器 壺	床直 3/4	口・14.3	中性。並。にぶい黄褐10YR6/4. 6/5。並。やや重。白色鉱物合。	口縁部は外削。楕円成形(右回転)。高台 付け高台。底部は回転糸切り。少し瘤あり。	粘
182- 28	須恵器 壺	底・(6.3)	底・(6.3)	中性。並。にぶい黄褐10YR6/4. 6/5。並。やや重。白色鉱物合。	高台部は欠損する。底部は右回転糸切り。内 面に重ね焼色、吸抜あり。	接合7片
353- 3	須恵器 壺	覆土 1/2	口・(14.5)	酸化。軟。暗灰黄2.5Y4/2.並。 やや重。白粒微、鉱物少。	高台部は欠損する。底部は右回転糸切り。内 面に重ね焼色、吸抜あり。	接合7片
183- 1	須恵器 壺	底・(6.7)	底・(6.7)	酸化。軟。暗灰黄2.5Y4/2.並。 やや重。白粒微、鉱物少。	口縁部は外削。高台欠損再用。底部は右回転 糸切り。内面に重ね乾燥斑。	粘
353- 4	須恵器 壺	床直 一部欠損	口・13.8	酸化。軟。灰黄褐10YR6/2.並。 やや重。白粒微、鉱物合。	口縁部は外削。高台欠損再用。底部は右回転 糸切り。内面に重ね乾燥斑。	粘
183- 2	須恵器 壺	底・(6.8)	底・(6.8)	酸化。軟。灰黄褐10YR6/2.並。 やや重。白粒微、鉱物合。	口縁部は外削。高台欠損再用。底部は右回転 糸切り。内面に重ね乾燥斑。	粘
353- 5	須恵器 壺	不明 口縁部片	口・(14.8)	選元。硬。灰褐2.5Y6/1.密。 重。白・黑點合。	全體に薄作りで、内・外側に自然釉かかる。 端部は尖り、作調端正。	東海灘入 か
353- 6	須恵器 壺	覆土 破片	底・(12.0)	選元。硬。明陶灰7.5YR7/1. 1/2。密。重。白粒物多、他少。	紐作り後楕円成形(右回転)。外面に回転窪削 目。内面楕円目。高台貼付。	太田
353- 7	須恵器 壺	最大径・(28.7) 広口瓶 1/2	底・(14.5)	選元。硬。明陶灰7.5YR7/1. 1/2。密。重。白粒物多、他少。	紐作り後楕円成形(右回転)。外面に回転窪削 目。内面楕円目。高台貼付。	接合14片
183- 3	須恵器 壺	底・(14.5)	底・(14.5)	選元。硬。灰褐7.5Y7/1.並。 黑円・灰円粒多、他鉱物合。	紐作り後楕円成形(右回転)。外面に回転窪削 目。内面楕円目。底は無か。	太田
353- 8	施釉陶器 甕	覆土 器部片	口・(17.6)	選元。緋。檢淡黃暗綠。胎土灰。 施釉淡黃灰。	高台低く古様。釉刷毛掛。内面底無釉。 外面に重ね焼色。	接合3片
183- 4	施釉陶器 甕	高・4.8	高・4.8	選元。緋。檢淡黃暗綠。胎土灰。 施釉淡黃灰。	紐作り後楕円成形(右回転)。外面に回転窪削 目。内面楕円目。高台貼付。	東海
353- 9	施釉陶器 甕	覆土 器部片	口・(16.0)	選~中性。緋。檢淡黃暗綠。胎土灰。 施釉淡黃灰。	内・外側に淡い釉刷毛掛。器内薄い。剥れ口 の消耗少なし。内面の使用痕痕少なし。	接合3片
353- 10	施釉陶器 灰灰甕	覆土 破片	最大径・(16.4)	選~中性。緋。檢淡黃暗綠(灰 釉)。胎土灰。	外面上方に楕円目。下方に回転窪削。内面楕 円目。外面施釉。内面自然釉。	東海灘入 地
353- 11	土師器 罐	覆土 円筒片	径・(27cm前後)	酸化。硬。褐7.5YR5/0.並。 やや重。白・褐粒合、他少。	朝顔形狀に外反して立ち上がる。	太田
353- 12	石製品 砥石	覆土 砥石	長・7.6巾・3.5 64	長・7.6巾・3.5 64	使用は表・裏、側部の4面、手前小口は磨理 面。奥の小口は削面か。	

第163号住居跡

博岡番号 団版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度量 (cm) 量目 (g)	焼附・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
354- 1	土師器 甕(平底)	床層 3/4	口・(12.6)	酸化。硬。褐7.5YR3/4.並。 輕。褐粒合、シルト質、鉱物少。	口縁部は内削する。型作り。底部は窪削り。 体部外側に指画痕。口縁部・内面は横削で。	接合3片
183- 6	土師器 甕(平底)	底・(8.5)	底・(8.5)	酸化。並。褐7.5YR6/8.粗。輕。 白・茶粒合、鉱物微。	口縁部に粘土帶。型作り。底部は窪削り、中 央に細砂。体部に型崩。口縁部・内面は横削。	
354- 2	土師器 甕(平底)	床直 3/4	口・12.5	酸化。並。褐7.5YR6/8.粗。輕。 白・茶粒合、鉱物微。	口縁部に粘土帶。型作り。底部は窪削り、中 央に細砂。体部に型崩。口縁部・内面は横削。	
183- 7	土師器 甕(平底)	底・(6.8)	底・(6.8)	酸化。並。褐7.5YR6/8.粗。輕。 白・茶粒合、鉱物微。	口縁部は窪削り、重削。体部に型崩。口縁部・内面は横削。	
354- 3	土師器 甕	床直 破片	口・(13.0) 高・3.0	酸化。並。にぶい赤褐5YR5/3. 3/4.並。やや輕。白・褐粒少、少側削。	底部は窪削り、重削。体部に型崩、小ハゼ。 口縁部・内面は横削で整形。	
354- 4	土師器 甕	床直 破片	底・(5.0)	酸化。並。褐7.5YR6/6.並。 やや輕。白・褐粒合、他鉱物合。	胴部片、器厚は薄い。器外側は継位方向の窪 削りを施す。表面被熱色斑。	接合2片
354- 5	須恵器 甕	覆土 銅部片	厚・1.0	選元。褐7.5Y5/1.密。重。 白粒・鉱物合、黒粒合。	紐作り後叩き整形。外側は平行叩き、内面窪 具は素文。外側は磨理あり。	太田か

第171号住居跡

埠固番号 国版番号	種 別 器 器	出土位置 遺 留 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼 色・色調・胎土 (石素材の度目)	形 状・技 法 等 の 特 徴	摘 要
355-1	土師器 环	覆土 破片	口・(13.1) 底・(6.4)	酸化。硬。橙7.5YR6/8。並。 やや重。白・褐粒合。他軸物合。	型作りか。体部外面下から底部は剥離り、 口縁部・器内面は横擦で。内面に研磨あり。	
355-2	須恵器 環	覆土 破片	径・(約20.0)	還元。緑。灰白 N7/0。密。重。 黒粒多。白軸物合。他少。	織籠成形。内面に接合面、織籠目。外面上方 織籠目と下方回転窪削。	東海沿入

第164号住居跡

埠固番号 国版番号	種 別 器 器	出土位置 遺 留 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼 色・色調・胎土 (石素材の度目)	形 状・技 法 等 の 特 徴	摘 要
356-1	施釉陶器 灰灰灰	瓶方 覆土 瓶部片	口・(12.2)	還元。緑。釉淡綠透明調。胎土 灰。	内・外面に刷毛塗らしき灰釉かかり、織籠目 あり。内面に部分のハゼ。底部接合面あり。	接合1片

第165号住居跡

埠固番号 国版番号	種 別 器 器	出土位置 遺 留 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼 色・色調・胎土 (石素材の度目)	形 状・技 法 等 の 特 徴	摘 要
357-1	土師器 环	覆土 破片	口・(16.0)	酸化。並。黄橙7.5YR7/8。	口縁部は外輪気味。口縁部・器内面は横擦で 整形。割れ口は消す。	
357-2	土師器 内黑 环	覆土 破片	口・(13.2)	酸化。並。にぶい褐7.5YR5/4。 並。金雲母、白・褐粒合、他少。	器内面に研磨。器外面には横擦、旋擦あり。 黒色化は外面にもおよぶ。	
357-3	土師器 要	覆土 破片	口・(12.8)	酸化。並。にぶい褐7.5YR5/4。 並。やや輕。白・褐粒合、他少。	「コ」の字状口縁。型作りか。器外面は薄削。 器内面は薄削で、瓶、口縁部は横擦で。	
357-4	土師器 梗	不明 底部片	厚・0.4	酸化。並。橙7.5YR6/6。 並。やや輕。白・褐粒合、他少。	底部片。器厚は薄い。器外面は薄削り。内面 に判読不明の墨字あり。	9°Cか 墨書-113
357-5	土師器 环	不明 底部片	厚・0.4	酸化。並。明赤褐7.5YR5/6。 並。やや重。金雲母合、他合。	底面に旋擦と旋擦あり。内面に判読不明の墨 字あり。9°C前半段のほか。	墨書-114
357-6	須恵器 环	電覆土 1/4	口・(13.6) 底・(7.2)	中性。軟。にぶい黄橙10YR6/3。 並。やや重。軸物合。	口縁部は外輪する。織籠成形(右回転)。底部 は回転削り。全体に消耗。	接合2片 笠無か
357-7	須恵器 环	電覆土 1/2	口・17.4 高・3.7	中性。並。にぶい黄6/3。密。 やや輕。白色粒・軸物微。	織籠成形。外側上部は右回転削り。端部 の尖り、にぶい。内面重ね燒高径10cm度。	接合2片 笠有・太か
357-8	石造品 電材	覆土	ディサイド質 凝灰岩 1630g	長・16.6 幅・15.2	自然石らしく、簡理の目あり。表・裏に崩り 目あり。酸化少しあり、全体に黄灰色。	在開油材 か

第166号住居跡

埠固番号 国版番号	種 別 器 器	出土位置 遺 留 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼 色・色調・胎土 (石素材の度目)	形 状・技 法 等 の 特 徴	摘 要
358-1	土師器 环(平底)	覆土 1/5	口・(13.0) 底・(7.6)	酸化。並。にぶい褐7.5YR6/4。 並。重。金雲母合、他軸物少。	口縁部は外傾。型作り。底部片は削り、体部 に指痕痕と無を残し。口縁部・内面は横擦。	
358-2	土師器 床直	口・(13.2) 底・(6.0)	酸化。並。にぶい褐7.5YR6/4。 並。やや重。白粒、軸物少。	型作りか。底部・体部下方は削り。底面中 央付砂差。兩側墨板	墨書-115	
358-3	土師器 台脚 脚部周辺	高・(6.1) 底・(7.0)	酸化。硬。にぶい褐7.5YR5/4。 粗。絆。白粒、灰軸物微。	脚部外面は薄削りと旋擦あり。内面旋擦。脚部 内・外側削微。		
358-4	須恵器 环	床直 1/2	底・5.8	中性。軟。にぶい黄2.5Y6/3。 並。輕。白粒、灰軸物、他合。	口縁部は欠損。織籠成形(右回転)。底部は回 転余切。内・外側被熱色変。全体に消耗大。	
359-1	土師器 小要	床直 1/4	口・(14.8) 最・(16.0)	酸化。硬。赤褐5YR4/6。 並。やや重。軸物少。	「コ」の字状口縁。型作りか。器外面は薄削、 器内面は薄削で、口縁部は横擦でを施す。	接合2片 笠無
359-2	土師器	床直 1/3	口・18.6 高・(12.9)	酸化。並。明赤褐5YR5/6。 並。やや重。金雲母合、赤帶軸物合。	「コ」の字状口縁。型作りか。器外面は薄削、 器内面は薄削で、口縁部は横擦でを施す。	接合3片
361-1	土師質土器 皿	覆土 口縁部分	口・(10.0)	酸化。並。にぶい黄10YR6/4。 粗。絆。白粒合、他少。	織籠成形。織籠の回転方向不明。特徴的に内 厚・削れ口の削れ少。	17~19°C 内
361-2	土師器 环	覆土+掘方 1/3	口・(13.0)	酸化。軟。明赤褐2.5YR5/6。	口縁部は外反氣味。型作り。底部は削、体部 に削崩。口縁部・内面は横擦でとハゼ。	
361-3	土師器 环	床直+掘方 破片	口・(9.6)	酸化。並。橙7YR6/8。	型作り。外側底部は削とハゼ。口縁部・内面 は横擦で整がる。全体消耗大。	接合6片
361-4	土師器 环	掘方+覆土 3/4	口・(16.1)	酸化。軟。にぶい赤褐4/3。 並。やや重。褐粒多、軸物合。	口縁部は内薄気味。底部は削離り、内・外側 ハゼ多く、表熱うけ、外側削あり。	接合7片
362-1	土師器 壺	床直 破片	口・(18.6)	酸化。並。赤褐2.5YR1.7。 並。やや輕。褐粒多、他軸物少。	脚部削。器厚はやや厚い。外面は壁位方向の 削離感の旋擦。底面も同様。外面吸張強い。	
362-2	紐作痕 壺	掘方	底・(7.5)	酸化。硬。赤褐2.5YR1.7。 並。白・褐粒合、他軸物少。		接合2片

第170号住居跡

探査番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目(cm) 量目(g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
364-1	土師器 环	車 1/4	口・(12.0) 高・2.9	酸化。硬。 金彩母、白・褐粒合、他少。	底部は簾割り・篦刷、「主」の墨字あり。口縁部・内面は横擦で。	墨書-116
364-2	須恵器 环	床直+覆土一 部欠損	口・12.2 底・(7.2)	還元。硬。 灰5Y6/1。密。やや重。	口縁部は外傾。輪轂成形(右回転)。底部は回転削り。外面底際挽出棱あり。	接合6片 笠懸か
364-3	須恵器 环	側方 1/2	口・(12.4) 底・(7.0)	還元。硬。 灰白5Y7/2。密。重。	口縁部は外傾。輪轂成形(右回転)。底部は回転糸切り後回転部分箆刷。外面部分被熱。	接合2片 笠懸
364-4	須恵器 环	覆土 1/2	口・(12.5) 底・(7.8)	中性。軟。 灰黄2.5Y6/2。並。	口縁部は外傾する。輪轂成形(右回転)。底部は回転糸切り後周辺を回転箆刷。	接合5片 笠か
364-5	須恵器 环	床唇 破片	口・(13.0) 底 (7.8) 高・3.7	還元。軟。 灰7.5Y6/1。並。輕。	口縁部は外傾する。輪轂成形(右回転)。底部は回転箆刷整形。不明墨字あり。	笠か
364-6	土師器 土口縁部片	覆土 破片	口・(20.0)	酸化。並。 にい・黄褐10YR5/4.	口縁部下外面に接合面あり。内面に箆刷。その割れに深い刷毛目。外縁保有。	墨書-117
364-7	須恵器 环	覆土 3/4	口・15.7 高・3.4	中-酸化。軟。 純黄2.5Y6/3. 並。やや重。	上半部は輪轂右回転箆刷り。下半部に輪轂目と不明墨字あり。端部尖る。	8C、笠か 墨書-118

第173号住居跡

探査番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目(cm) 量目(g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
366-1	須恵器 环	覆土 口縁部片	口・(14.0) 底 (7.6) 高・3.6	還元。軟。 暗灰黄2.5Y5/2.並。	口縁部は外傾する。輪轂成形(回転方向不明)。底部は消耗しため切り離し不明。	
366-2	石製品 砾石	床直	砥沢石 390	長・13.1 幅・6.2	使用は表・裏・側部の4面。奥の小口面は整形削除。手前小口は旧材面か人穴か不明。	
184-4						

第174号住居跡

探査番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目(cm) 量目(g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
367-1	土師器 要	覆土 口縁部片	口・(23.0)	酸化。硬。 にい・赤褐5YR5/4.	口縁部下外面に粘土接合あり。外面は箆刷り、 白・褐粒合、他物少。	
367-2	須恵器 环	床直 完形	口・12.4 底 7.9 高・3.8	還元。並。 灰5Y5/1。密。やや重。	底部は右回転糸切り後周辺を手押削。体部 外縁「主」墨字。口縁部、内面底研磨。	墨書-119
367-3	須恵器 环	床直 完形	口・12.9 底 7.0	中性。並。 にい・黄2.5Y6/3. 並。やや重。白粒少、他少。	口縁部は外傾する。輪轂成形(右回転)。底部 は回転糸切り、不明墨字あり。	接合3片 墨書-120
367-4	須恵器 盤高台付	床直+覆土/ 3	口・(20.2) 底 (13.4) 高・3.9	還元。硬。 灰5Y6/1.並。輕。	輪轂成形(右回転)。内面底は使用の研磨続 している。高台付け高台。底部回転調整。	接合12片 笠か
367-5	石製品 砾石	覆土 完形	砥沢石 140g	長・8.1 幅・3.75 厚・3.6	下砥として未完孔あり。使用は表・裏・側 部の4面。小口は旧材面	

第175号住居跡

探査番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目(cm) 量目(g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
368-1	須恵器 环	覆土 底部1/4	底・(9.0)	酸化。軟。 黄褐2.5YR5/3.密。	輪轂成形(右回転)。底部は箆刷整形。割れ口 消耗。	笠か
368-2	須恵器 环	覆土 円弧面 脚小片	厚・0.7	還元。硬。 灰N4/0.密。輕。	輪轂成形か。底外面に円形溝。2条の竪比線 あり。内面回転条痕。割れ口消耗少。	太田か
368-3	土師器 高环か	覆土 小片	厚・0.6	酸化。 明赤褐5YR5/6.並。	小片のため高环か後土師質脚付の破片か不 明。割れ口消耗大。	
368-4	須恵器 环	覆土 底部片	底・(8.0)	還元。軟。 灰オーラブ5Y6/2. 並。輕。白・黒粒合、他少。	底部は回転箆刷り、回転方向不明。内面底と 底に不明墨字あり。全体に消耗。	墨書-121

第176号住居跡

探査番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目(cm) 量目(g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
369-1	土師器 小豆	覆土+窓内他 2/3	口・(11.8) 底・5.6	酸化。美。 にい・椎5YR6/4. 並。白・褐粒合、他物少。	口縁部は横擦で。器外表面は大半を擦り整形、 下部に箆刷り様の痕跡。内面底耗大。被熱。	接合12片
369-2	土師器 小豆	床直+覆土 2/3	口・12.3 高・9.2	酸化。美。 明赤褐5YR5/6.並。	内面黒色化と窓研磨。外面上方に箆刷整形を 残す上方ハゼが、被熱剥落、斑斑痕見える。	接合13片
369-3	土師器 小豆	床直 ほほ完形	口・13.0 高・12.8	酸化。美。 椎5YR7/6.並。	口縁部は横擦で、器外表面は斜位の箆刷、ハゼ が多い。内面に窓作痕と指圧痕、ハゼ。	接合18片
184-9						

第176号住居跡

探査番号	種別	出土位置	度目(cm)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
四段番号	器種	遺存度	量目(g)	(石炭素の度目)		
369-4	土師器	床直	口・(12.0)	酸化。並。にぼい焼SYR5/4。	外側ハゼ剥落。内面丸窓。外側の剥落面上に	接合8片
184-14	小壺	1/4	高・(6.8)	並。輕。褐粒含。他軸物少。	研磨単位見える。全体に被熱色変。	
369-5	土師器	電覆土+床直	口・(14.4)	酸化。並。にぼい焼SYR6/4。	外側刷毛無。さらに全体に横撫か。外ハゼ	接合18片
184-15	小壺	1/2	底・6.6	並。輕。白・褐粒含。軸物少。	が剥落。被熱色変。内小ハゼ、欠損後も被熱。	
369-6	土師器	電覆土	口・16.9	酸化。並。にぼい焼SYR7/4。	口縁部は外反する。器外側は鋸削り、器内面	接合16片
184-10	壺	口縁部上半	高・(9.7)	並。輕。白・褐粒含。軸物少。	にハゼ多。口縁部は横撫で、外側塗付着。	
370-1	土師器	窓内他	底・7.1	酸化。並。燒SYR6/6。	外側は斜方の窓跡。内面は窓跡。底部は	接合10片
184-18	壺	脚〜底部	やや軽。	酸化。並。燒SYR6/6。軸物含。	窓跡形。内・外ともハゼが多い。欠損後被熱。	
370-2	土師器	床直	口・18.2	酸化。並。燒SYR6/6。	口縁部横撫で器内面は放射状暗紋状。内面底	接合6片
184-12	高环	脚部欠損環部	やや軽。	並。輕。褐粒多。他軸物含。	にハゼ、外側にもあ。窓内・外消耗気味。	
370-3	土師器	窓内	底・13.0	酸化。並。燒SYR6/6。並。輕。	脚部は絞り巻き上げ。外側に研磨。ハゼ横撫あり。内面に紐作る縫合面。ハゼあり。	接合6片
184-17	高环	脚部	やや軽。	燒SYR6/6。軸物少。	脚部は絞り上り。整形は刷毛目を研磨状に化し、	
370-4	土師器	覆土	底・(14.9)	酸化。並。燒SYR6/6。並。輕。	脚部は絞り上り。整形は刷毛目を研磨状に化し、	接合7片
184-16	高环	脚部1/2	白含褐粒多。軸物少。	脚部は絞り上り。底は粘土巻き上げ痕と吸収斑。		
370-5	石製品	覆土	デイサイト	長・10.5 幅・4.7	使用は表・裏、脚部の4面。奥小口は川原石	砥石
184-19	砾石	332			面。手前小口は旧時欠損。手持延。	砥石底か

第181号住居跡

探査番号	種別	出土位置	度目(cm)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
四段番号	器種	遺存度	量目(g)	(石炭素の度目)		
372-1	土師器	床直	口・19.2	酸化。硬。にぼい焼7.5YR5/4。	口縁部は外反する。器外側は窓跡。器内面は	接合5片
184-20	壺	口縁〜脚部	高・(10.4)	並。白色粒含。	窓跡で、口縁部は横撫でを施す。	粘

1号掘跡

探査番号	種別	出土位置	度目(cm)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要	
四段番号	器種	遺存度	量目(g)	(石炭素の度目)			
2-1	軟質陶器 手垢か 破片	旧河道	95G	口・(33.0)	酸化・硬。灰オリーブSY6/2。 並。やや軽。軸物粒。	内外間に研磨状の横縫右回転柔度、内外黒灰 色の横縫で割れ口は、芯黒色で5層気味。	17~19C 小屋か 火鉢
2-2	軟質陶器 鉢	旧河道	5-95G	口・(32.8)	還元・硬。灰7.5YR6/1。 密、重。白色粒含。他軸。	内面研磨あり。器内面には硬質。割れ口 少し消耗。割れ口に粗面。横縫右回転。	13~14C 郊外両国
2-3	陶器 瓶	旧河道	1号	厚・0.5	還元・縛。釉喰黄灰灰(灰物)。 胎土灰。	内面に横縫目。外側灰斑と削られ、回転窓扇 目あり。割れ口の消耗少。	東海潮入
2-4	陶器 瓶	旧河道	覆土	厚・0.5	中性・縛。釉淡黄灰灰(透明調)。 胎土灰。	形状は、端返り皿。外側に施釉あり。割 れ口少し消耗。	17C~潮 戸美濃か 火鉢
2-5	磁器 碗	旧河道	375G	厚・0.7	還元・縛。淡淡暗青緑(青磁物)。 胎土灰。	外面に施釉弁あり。内面墨界刻文一条。施釉 内外、賞入あり。割れ口消耗少。	13C 龍泉窯か 火鉢
2-6	土師器 壺(内黑) 1/3存	旧河道	6-315G	口・(13.0)	酸化・並。純焼7.5YR6/4。	口縁部は外反気味。底側は窓跡。口縁部 研磨整形。	接・4片
213-1	土師器 壺(内黑) 1/3存	1号掘	覆土	底・5	並。褐色粒含。軸物少。	内面黑色化外側口縁にもおよぶ。	
2-7	土師器 壺	1号掘	ほぼ完形	口・12.7	還元・硬。灰オリーブSY2/6。 密、重。軸物。	口縁外縁に重ね焼成。横縫成形(右回転)。底 部は回転糸切り後、窓跡形。内面に漆付着。	接・3片 笠・太田
2-8	須恵器 壺	5-155G	覆土	口・(13.0)	還元・軟。灰オリーブSY7/1。 粗、軽。白色・褐粒、軸物含。	口縁部は外傾する。底部は右回転糸切り、外 面被熱色変。全体消耗。	2片 粘
213-3	須恵器 壺	1/2	底・(6.4)				
2-9	須恵器 壺	Gトレ 内黑 輪1/3	口・一 底・7.1	酸化・並。純黄褐10YR5/4。 軸物粒少。	横縫成形(右回転)。内面に研磨を施す。高 台は付け高台と回転無整形。	接・2片	
213-4	須恵器 壺	旧河道	1号	厚・1.3	還元・硬。灰SY6/1。密、 やや軽。黒粒多、他少。	絞り後叩き整形。外面は平行叩き、内面当 具は素文氣味。割れ口の消耗少。	秋・栗 か
5-1	須恵器 壺	口縫破片	厚・1.3	還元・軟。灰SY6/1。密、 やや軽。黒粒多、他少。			
6-1	土師器 壺(平底) 1/3存	旧河道	P1-2	口・12.4	酸化・並。燒SYR7/6。 密、重。やや重。軸物粒含。	口縁部は外傾する。底部は窓跡り、外側は指 底圧底、窓跡あり。口縁部・器内面は横撫。	14層中 漆付着
213-5	土師器 壺(平底) 4/5	口縫破片	底・6.8				
6-2	土師器 壺(平底)	旧河道	P-1	口・12.2	酸化・並。純焼7.5YR7/4。 並、軽。白・褐粒、軸物含。	口縁部下粘土帶接合。型作り。底部難削り、 底部指圧底。口縁部・器内面に油煙痕跡。	燈火皿 シルト鍋
213-6	土師器 壺(平底)	4/5	底・6.8				
6-3	土師器 壺(平底)	旧河道	P-1	口・13.1	酸化・並。純焼7.5YR7/4。 並、軽。白・褐粒、軸物少。	口縁部は外反。底部は難削り、部体に型磨と 2段の接合面。口縁部・器内面は横撫で。	接・7片 14層中
213-7	土師器 壺(平底)	2/3存	底・7.8				
6-4	須恵器 壺	旧河道	294G他 1/4	口・(12.6)	還元・縛。灰SY5/5。並、 やや軽。白粒含。軸物含。	横縫成形(右回転)。内外ともに横縫目多い。 底部欠損のため切り離し技法不詳。	14層中 粘・胸
6-5	須恵器 壺	旧河道	6-245G 1/3存	口・(12.5)	酸化・並。淡赤褐2.5YR7/4。 白・褐粒、軸物多。	口縁部は外傾する。横縫成形(右回転)。底部 は欠損。被熱のためか變形。	接・5片 14層中
213-8	須恵器 壺	6-314G 2/3存	底・5.4	中性・並。純黃10YR7/2。 並、やや重。軸物少。	口縁部は外傾する。横縫成形(右回転)。底部 は回転糸切。外側窓跡あり。全体に少し消耗。	接・5片 14層中	
6-6	須恵器 壺	6-314G 2/3存					

1号断跡

埠番号	種別	出土位置	度目(cm)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
回数番号			遺存度	量目(g)		
6-7 213-10	須恵器 环	田河町 6-315G 1/2	口・13.4 底・6.2	還元・軟。灰白7.5Y8/2。 並。鉛物粒微。	口縁部は外傾する。織籠成形(右回転)。底部は回転余切り。内面摩耗あり。	笠・太田 笠
6-8 213-11	須恵器 环	D-D'トレンチ 底・(6.0) 1/4	口・(12.8) 底・(6.0)	還元・硬。灰N5/0。密、重。 白色鉛物合、他鉛物微。	口縁部は外傾する。織籠成形(右回転)。底部は回転余切り。体部の織籠目多い。	太田か 14層中
6-9 213-11	須恵器 环	田河町 6-314G 1/2	高・2.5 底・5.3	還元・並。灰白10Y8/1。 粗、やや輕。鉛物粒微。	口縁部は欠損のため不明。織籠成形(右回転)。底部は回転余切り。全体に韋特。	粘 14層中
6-10 213-15	須恵器 碗	田河町 6-295G 脚部周辺	高・2.45 底・8.8	酸化・硬。橙5Y8/6。 粗、やや輕。鉛物粒微。	上方欠損。織籠成形。高台付け高台。底部は回転余切り。柾毛ミ底。	粘 14層中
6-11 213-15	須恵器 碗	1号掘下面 1/4	最大 (13.9)	還元・硬。灰7.5Y5/1。密、 重。白色大粒合、他鉛物少。	組作り後織籠整形か(右回転)。体部の織籠目状況は、窓前後の整形。内面黒色付着	太田中 14層中
7-1 213-13	土器器 环(平底)	床面直上層 1/2	口・12.2 底・7.9	酸化・硬。橙5Y8/7/6。 密、やや重。鉛物粒合。	口縁部は外傾する。型作り。底部は窓削り、口縁部・器内面は横擦で。	接・3片 接
7-2 213-13	土器器 更	床面直上層 破片	口・(13.0)	酸化・硬。橙5Y8/6/8。 並、やや重。白色粒、鉛物合。	外面は窓削り、内面は擦で、接合痕、口縁部は横擦を施す。	接・2片 接
7-3 213-13	土器器 裏	床面直上層 底部片	底・(6.0)	酸化・硬。橙7.5Y7/4。 粗、軽。白色・陶粒合、他合。	外面に窓削、底面窓削。内面窓削あり。割れ口少し消耗。色調少し暗く氣味。	
7-4 213-13	土器器 裏	底面直上層 口縁部片	口・(22.0)	酸化・並。明黄褐10Y7/6。 粗、軽。鉛物合、他合。	「コ」の字状口縁。シルト質。器外は窓削、器内は窓削で横擦を施す。	
7-5 213-16	須恵器 碗	底面直上層 1/4	口・(13.3) 底・(8.9)	還元・軟。灰白7.5Y8/1。 並、粗。鉛物合。	付高台後、底部は回転窓削・窓擦形。底に「三」の墨字。筆写に勢いがあり「主」ではなさう。	粘 墨書き-1
7-6 213-16	須恵器 碗	底面直上層 1/3	口・(14.8) 底・10.0	還元・硬。灰7.5Y8/6/1。 密、重。白色粒合、鉛物少。	口縁部は外反。右回転織籠成形。付け高台。底部は回転整形、内面の使用摩耗顯著。	墨液なし
7-7 213-12	須恵器 碗	底面直上層 1/2	口・(13.4)	還元・並。橙5Y8/7/6。 粗、軽。鉛物合。	口縫再整形。織籠成形(左回転)。高台付け高台。底部は回転余切り後、窓整形。	接・2片 笠懸か
7-8 213-17	木製品 加工木	底面直上層 部分材	サクラ属	邊有長・56.0、巾・9.4 横幅の巾・3.3	丸木材の中心を竪位に縦に彫り込む。	
8-1 213-17	土器器 环	西斜面一括 1/4	口・(11.6)	酸化・並。橙Y6/6。粗、軽。 白色陶粒、他鉛物微。	口縁部は内汚氣味。型作り。底部は窓削り、体部に型崩。口縁部・器内面は横擦で整形。	
8-2 213-17	土器器 环	西斜面一括 1/4	口・(12.8)	酸化・並。橙5Y6/6。並、 やや軽。金雲母合、鉛物微。	口縁部は内汚氣味。型作り。底部は窓削り、体部に型崩。口縁部・器内面は横擦で整形。	接・2片 接
8-3 213-17	土器器 环	西斜面一括 破片	口・(13.0)	酸化・並。橙7.5Y6/6。 並、やや軽。海松合、他鉛物少。	口縁部は内汚氣味。型作り。底部は窓削り、体部に型崩。油煙付着。	
8-4 213-17	土器器 环	西斜面一括 破片	口・(13.2)	酸化・並。橙7.5Y6/6。並、 やや軽。金雲母合、鉛物微。	口縁部は内汚氣味。型作り。底部は窓削り、体部に型崩。口縁部・器内面は横擦で整形。	
8-5 213-17	土器器 环	西斜面一括 破片	口・(11.0)	酸化・硬。明黄褐7.5Y5/6。 並、やや軽。金雲母少、他鉛物微。	口縁部は内汚氣味。型作り。底部は窓削り、体部に型崩。口縁部・器内面は横擦で整形。	
8-6 213-17	土器器 环	西斜面一括 破片	口・(13.8) 底・(13.0)	酸化・並。純黃褐10Y6/4。 並、軽。金雲母・海松合、鉛物微。	口縁部は直口氣味。型作り。底座擦様の窓削。体部型崩。口縁部・器内面横擦整形。	接・2片 接
8-7 213-17	土器器 环	西斜面一括 破片	口・(12.2)	酸化・硬。橙7.5Y6/6。	口縁部は直口氣味。型作り。底座は窓削り、体部に型崩。口縁部・器内面は横擦で整形。	油煙付着
8-8 213-17	土器器 环	西斜面一括 破片	口・(12.6)	酸化・硬。橙7.5Y6/6。並、 やや軽。白色・陶粒合、他鉛物微。	口縁部は内汚氣味。型作り。底部は窓削、体部型崩。口縁部・器内面横擦整形。	
8-9 213-17	土器器 环	西斜面一括 1/4	口・(13.3)	酸化・並。橙7.5Y6/2。並、 軽。金雲母・陶粒合、鉛物微。	口縁部は内汚氣味。型作り。底部は窓削り、体部に型崩。口縁部・器内面は横擦整形。	接・2片 接
8-10 213-17	須恵器 环	西斜面一括 1/4	口・(11.5)	還元・硬。灰5Y5/1。密、 やや重。白色粒合、他鉛物微。	口縁部は外傾。織籠成形(右回転)。底部欠損、切り離し難技不詳、織籠目大まか。	接・2片 太・笠懸か
8-11 213-14	須恵器 环	西斜面一括 1/2	口・14.0 底・8.0	還元・並。灰白7.5Y7/2。 並。鉛物粒なし。	織籠成形(右回転)。底部は手持置削。外面底部に突出し後あり。	笠懸か

堅穴状遺構

第17号堅穴状遺構

埠番号	種別	出土位置	度目(cm)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
回数番号			遺存度	量目(g)		
373-1 186-9	土師土器 皿	No18 2/3	口・(9.8) 底・4.95	酸化・並。浅黄褐7.5Y8/4。 並、やや重。陶粒合、他鉛物少。	底部は右回転余切り。内・外間に浅い織籠目。口縁部に油煙斑。	接合4片 中世か
373-2 186-10	土師土器 皿	No32 1/2	口・(11.2) 底・5.6	酸化・並。浅黄褐7.5Y8/4。 並、やや重。陶粒合、他鉛物少。	織籠成形(左回転)。底部は回転余切り後、接合3片	中世か
373-3	軟質陶器 壺	土上 破片	厚・1.0 底・(21.8)	酸化・並。暗黄褐2.5Y5/2。粗、軽。 白色粒、黑陶粒合、他合。	内面に擦痕。底面滑らか。体部外縁あり。割れ口消耗大。	15・16C

第17号堅穴状遺構

探査番号	種 別	出土位置	度目 (cm)	焼調・色調・胎土 (石炭材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
回収番号	器 種	遺 存 度	量目 (g)			
373-4	石造品 擦石	床直 完存	粗粒輝石安山岩 6550 g	長・24.7巾・16.5厚・11.7	端部に集中打痕が認められる。平坦面が摩滅。	
373-5	石器 擦石	床直 1/2	粗粒輝石安山岩 1541 g	長・19.0巾・18.0厚・5.9	平坦面に集中打痕。片面の平坦面が摩滅。	
373-6	石器 凹石	床直 破片	粗粒輝石安山岩 5100 g	長・18.6巾・21.4厚・10.4	平坦面に集中打痕。片面の平坦面が摩滅。	

第3号堅穴状遺構

探査番号	種 別	出土位置	度目 (cm)	焼調・色調・胎土 (石炭材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
回収番号	器 種	遺 存 度	量目 (g)			
377	施釉陶器 大妻常滑	底面 一部欠損	口・(46.4) 底・14.6	酸化。緑。縫。による赤褐色5YR 4/4。白色鉱物粒 (石英)。	紐作後叩き整形。叩は5段に施す。内面当具 痕は墨文。口唇部は丸柱を帯びる。	常滑焼
185						

第8号堅穴状遺構

探査番号	種 別	出土位置	度目 (cm)	焼調・色調・胎土 (石炭材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
回収番号	器 種	遺 存 度	量目 (g)			
383-1	軽陶か 不明	覆土 破片	厚・1.2	還元へ酸化。緑。灰5Y6/1。密。 やや重。白・褐粒含、他少。	器體不明。内面に施整形痕。外面整形条痕あ るもの、消耗大で不明確。	陶か

第10号堅穴状遺構

探査番号	種 別	出土位置	度目 (cm)	焼調・色調・胎土 (石炭材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
回収番号	器 種	遺 存 度	量目 (g)			
384-1	須恵器 壺	覆土 底部1/4	底・(8.5)	酸化。並。による赤褐色5YR5/3. 密。やや重。白・褐粒含、他少。	酸化気味、焼し加わる。内面右回転擦縫目、 底面高台貼付後擦で整形。内面摩耗あり。	

第11号堅穴状遺構

探査番号	種 別	出土位置	度目 (cm)	焼調・色調・胎土 (石炭材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
回収番号	器 種	遺 存 度	量目 (g)			
385-1	土師器 壺	覆土 破片	口・(11.6)	酸化。並。による橙5YR7/4. 密。やや重。白・褐粒含、他少。	口縁部は外傾気味。体部は簾削り、体部上方 に崩れ。口縁部・内面は横擦で。	接合2片
385-2	須恵器 壺	No 2、覆土 ほぼ完形	口・12.1	中性。軟。による黄緑10YR6/3. 粗。輕。褐粒含、他少。	輪郭成形(右回転)。底部は手持籠削り。輪郭 目より異質。内・外面吸皮。	接合2片 粘
385-3	須恵器 壺 底	覆土	厚・0.7	還元。軟。灰オリーブY6/2. 密。やや輕。白黒粒含、他微少。	輪郭成形(右回転か)。底面系切痕と不明墨字。 粘剤より消耗。	墨書-122
386-1	土師器 壺	覆土 口縁部周辺	口・(18.7)	酸化。硬。並。灰5YR5/6. 密。やや重。白・白粒含、他微少。	口縁部は外反する。器外は簾削り、器内面 は直線で。口縁部は横擦でを施す。	接合2片
386-2	須恵器 壺	No 3 破片	厚・0.8	還元。並。灰 N4/0.密。やや重。 白・白粒含多。	紐作り後輪郭成形(右回転)。外側上方指爪痕、 下方輪郭削りと擦。内面指痕。ハゼ多、準純。	太田 下方輪郭削りと擦。内面指痕。ハゼ多、準純。
386-3	土製品 土錐	覆土 ほぼ完形	長・(5.2) 5.91 g	酸化。並。灰黄2.5Y7/2. 密。やや重。微少。	酸化熱くない。表面滑らか。上の小口小欠損 あり。穿孔形は近円形。	
386-4	土製品 土錐	No 4 ほぼ完形	長・4.7 5.60 g	酸化。並。橙7.5YR6/6. 密。やや重。微少。	酸化熱くない。表面滑らか。上の小口小欠損 あり。穿孔形は近円形。	
386-5	土製品 土錐	破片	長・1.5 0.79 g	酸化。並。橙5YR6/6. 密。やや重。微少。	両小口側は旧時欠損。表面滑らか。穿孔形は 近円形。器面消耗。	

第14号堅穴状遺構

探査番号	種 別	出土位置	度目 (cm)	焼調・色調・胎土 (石炭材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
回収番号	器 種	遺 存 度	量目 (g)			
388-1	施釉陶器 鉢	覆土 破片	厚・1.3	中性。緑。釉暗茶褐色(鐵釉によ る光沢)。胎土黃灰。	内・外面上に施釉。内面に剥し目。外面上に回転 窓削目あり。窓口の消耗少。	17~18C 美濃
388-2	石造品 石臼	覆土 破片	安山岩 180 g	遺存長・(23.0)	石質は硬く重い。石臼、茶臼形上白か。外 面整形は丁寧。上部の平部は平滑。	

第18号堅穴状遺構

探査番号	種 別	出土位置	度目 (cm)	焼調・色調・胎土 (石炭材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
回収番号	器 種	遺 存 度	量目 (g)			
391-1	土師質土器 皿	No 1 1/3	口・(10.6) 底・5.2	酸化。並。橙7.5YR7/6.粗。 粗。白・褐粒含、他微少。	輪郭成形(右回転)。底部は回転糸切り。内面 に不定方向の指痕。焼成3層気味。	14後~15 前C

第18号堅穴状通構

擇回番号	種 別	出土位置 固版番号	度目 遺 度	度目(cm) 量目(g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
391-2	土師實土器	No 2	底・(5.8)	厚・(5.8)	酸化。並。浅黄2.5Y7/3。並。 輕。白・褐粒合、藍物少。	輪轉成形。底部は回転糸切り痕と板状圧痕。 内面底に一方向の擦りあります。	接合3片
186-2	皿	1/4					
391-3	燒跡 甕	No 6	厚・1.2	厚・1.2	還~酸化。總。褐7.5YR4/4. 密。重。白藍物多。他合。	外面に自然欠少しかかる。内面に紐作痕と手 掌、指などの压痕、彫刻痕。割れ口消耗少。	常滑
391-4	石製品	No 4	粗粒輝石安山岩 般白、下 破片	高・(9.2)　巾・(27.0) 1830g	粗粒輝石安山岩 高・(9.2)　巾・(27.0)	上面は目なし。整形は裏面も整い別に使用摩 耗している。輪穴はわずか残存。割れ口旧欠。	

第22号堅穴状通構

擇回番号	種 別	出土位置 固版番号	度目 遺 度	度目(cm) 量目(g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
395-1	繩文土器	覆土 深鉢	厚・0.7 破片	厚・0.7	酸化。軟。浅黄2.5Y7/3 白色粒、白色物質。赤褐色粒	波狀口縫。縫帶間にLR原体を充填する。	
186-3							
395-2	繩文土器	覆土 深鉢	厚・1.0 破片	厚・1.0	酸化・硬。淡黄2.5Y8/3 黃褐色粒、角粒粗粒砂・白色粒	口唇直下に横線を施し直下に縫帶に条痕を 施文する。	
186-5							
396-1	繩文土器	覆土 深鉢	厚・0.9 破片	厚・0.9	酸化。軟。浅黄2.5Y7/3 白色粒子・粗粒砂	追「U」字の沈線文内にRL原体を縫帶施文す る。	
186-4							
396-2	石器	覆土 四石	溶結凝灰岩 破片	遺存長・10.0、幅・14.8、 5150g	厚・6.2。	平坦面に集中打撲。片面の平坦面が摩滅。	
186-11							

第23号堅穴状通構

擇回番号	種 別	出土位置 固版番号	度目 遺 度	度目(cm) 量目(g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
397-1	繩文土器	部分欠損 深鉢	床直	厚・1.1	酸化。並。褐7.5YR7/6。粗。 白色粒子・細砂粒	外反状に立ち上がる口縫にRL原体を施し、 脚中位に三角形縫帶文とキャビティ文を施文。	
186-14							
398-1	繩文土器	部分欠損 深鉢	床直	厚・0.7	酸化・並。淡黄7.5YR1/4 金雲母・細粒砂・赤褐色粒子	波狀口縫。口縫部区画文。体部に横状把手を 持ち、下半は對應文構成で上位は区画化する。	
186-12							
398-2	繩文土器	部分欠損 深鉢	床直	厚・0.8	酸化・並。淡黄褐7.5YR1/4 金雲母・細粒砂・赤褐色粒子	長脚状の体部形態。脚部は横位波状縫線。体 部は楕円区画文の多段構成。組み目判が治る。	
186-13							

掘立柱建物跡

第4号掘立柱建物跡

擇回番号	種 別	出土位置 固版番号	度目 遺 度	度目(cm) 量目(g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
437-1	土師器 壺か	(8区6ピット)	破片	厚・0.3	酸化。並。によく褐7.5YR5/4. 並。輕。白・褐粒合、他少。	傾き不明。底部は箆削り、内面擦り、割れ 口消耗少。	
437-2	土師器 壺	(8区23ピット)	厚・0.4	酸化。硬。明赤褐色SYR5/6。並。 輕。白・褐粒合、他少。		外表面に縫合痕、擦りあり。内面擦り。 割れ口消耗少。	
437-3	須恵器 壺	(8区5ピット)	厚・0.3	酸化。硬。によく褐7.5YR6/4. 並。輕。褐粒微、他少。		口縫部は外傾する。輪轉成形、内・外面回転 柔度。割れ口消耗少。	粘
437-4	須恵器 壺	覆土 破片	底・(8.0)	還元。並。淡黄2.5Y7/3。並。 黒粒合、他物合。		回転糸切り後輪轉右回転箆削りと「長」か の墨字。内面輪轉部と不明か「末」かの墨字。	粘か 墨書-123
437-5	須恵器 壺	(8区20ピット)	底・(7.9)	還元。並。灰オリーブ5Y6/2。 並。や重。白・褐少、他多。		輪轉部は旧時欠損する。輪轉成形。底部は回 転箆削り。内面準平。割れ口消耗。	
437-6	須恵器 壺	(8区23ピット)	厚・0.4	還元。硬。灰5Y6/1。並。輕。		輪轉部は大きく外傾する。輪轉成形。内・外 面に回転柔度。割れ口消耗。	粘
437-7	須恵器 壺蓋	(8区5ピット)	厚・0.5	還元。硬。灰オリーブ5Y6/2. 並。や重。白色粒合、他少。		輪轉成形。内・外面擦りあり。外表面は回転柔度。 割れ口消耗。	笠か 墨書-123
437-8	須恵器 壺蓋	(8区6ピット)	厚・0.7	酸化。並。明赤褐色SYR5/6。並。 輕。白・褐粒合、他少。		土師質。輪轉成形。上半部は回転箆削り。内 面回転柔度。内面に吸炭微。消耗少。	粘
437-9	須恵器 壺か	(8区12ピット)	厚・0.7	還元。硬。灰10Y5/1.並。 や重。白色粒合、他少。		内・外面回転柔度あり。端部少しあり。割れ 口の消耗大。	笠か
437-10	石製品	21P・覆土 紙石	デイサイト 完形	遺存長・5.6 幅・2.4 50g	使用は表・裏、左側部の3面。右側部、奥小 口未使用面であるか整形不明。手前小口旧欠。	使用は表・裏、左側部の3面。右側部、奥小 口未使用面であるか整形不明。手前小口旧欠。	中鉛錠

第6号掘立柱建物跡

擇回番号	種 別	出土位置 固版番号	度目 遺 度	度目(cm) 量目(g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
438-1	土師器 壺	覆土 破片	厚・0.4	酸化。並。褐7.5YR4/3。並。 輕。藍物微。		傾き不明。壺部片、器厚は薄い。器外表面は縱 方向の壓削りを施す。割れ口消耗少。	粘

第8号掘立柱建物跡

埠図番号 回版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
438-2 186-15	須恵器 鉢	覆土 1/4	口・(21.3) 底・(8.5)	酸～墨元。軟。黒褐10VR3/2。 粗。輕。褐粒合、藍物合。	口縁部は肥厚する。底部は右回転糸切り。全体に焼け、内面ハゼ、体部外側輪幅目多。	粘
438-3 438-4	須恵器 壺か 壺か	覆土 破片	厚・0.5	還元。硬。灰N5/5。密。やや重。 白色粒合、白藍物合、他少。	口縁部は外傾する。輪縁成形。内・外面に回転糸。割れ口消耗少。	笠、太田 笠か
438-4	須恵器 壺か	覆土 破片	厚・0.5	酸化。並。にぶい褐。5YR5/4。 並。やや紅。白色粒合、他少。	口縁部は外傾する。輪縁成形。内・外面に回転糸。割れ口の消耗あり。	笠か

第9号掘立柱建物跡

埠図番号 回版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
439-1	土師器 壺	破片	厚・0.6	酸化。並。橙5YR6/8。密。 やや輕。褐物合。	傾き不明。外面、擦痕。内面無底。割れ口の消耗あり。	
439-2	土師器 壺	破片	厚・0.4	酸化。並。橙7.5YR6/6。並。 やや重。褐粒合、他少。	口縁部は外傾気味。底部は薄削り、体部に型崩。内面は横握で。割れ口消耗あり。	

第10号掘立柱建物跡

埠図番号 回版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
440-1	土師器 壺	覆土 破片	厚・0.4	酸化。並。にぶい褐。5YR6/3。 並。やや紅。白・褐粒合、他少。	内面に無。外面に擦りと型崩。割れ口消耗大。	

第11号掘立柱建物跡

埠図番号 回版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
441-1	土師器 壺	(区III1ビット) 覆土 破片	厚・0.3	酸化。並。橙7.5YR6/6。並。 やや重。白・褐粒合。	内・外面に擦り。割れ口少し消耗。外面部色変あり。	
441-2	土師器 壺か	(区III18ビット) 覆土 破片	厚・0.8	酸化。硬。赤褐7.5R2/1。並。 やや重。白・褐粒合、他少。	外面、黒色吸塵あり。内側は欠。割れ口消耗大。ハゼ割れ片か。	
441-3	土師器 壺	(区III3ビット) 破片	厚・0.7	酸化。硬。灰褐5YR5/2。並。 やや重。褐粒多。白色粒合。	胴部片、器厚はやや厚い。外面は継ぎ方向の窪削り。割れ口消耗あり。	
441-1	須恵器 壺	(区III5ビット) 覆土 底部片	底・(7.7)	酸化。並。橙7.5YR6/6。並。 やや重。白・褐粒合、他合。	口縁部は旧時欠損。輪縁成形。内・外回転条直。底部は回転糸切。内・外吸張、割れ口消耗。	割れ口少し消耗。
441-5	須恵器 壺	(区III5ビット) 底部片	底・(7.2)	酸化。並。にぶい橙7.5YR6/4。 並。輕。白・褐粒合。	口縁部は旧時欠損する。輪縁成形。底部は回転糸切り。割れ口は少し消耗。	

第12号掘立柱建物跡

埠図番号 回版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
442-1	軟質陶器 内耳	覆土 口縁部片	厚・1.2	酸～墨元。硬。黒N2/0。 白、褐粒合、藍物少。	内面右端に耳部の末端あり。口縁部の内・外面部に擦痕。外面下方に押圧痕と擦付着。	接合3片 小泉か
442-2	施釉陶器 変形皿	覆土 破片	厚・0.5	還元。硬。釉透明調。胎土灰。	曲率が正円でなく変形皿。外面下方の露胎部を陰いで透明調物。割れ口消耗少。	18・19C 産不明

第13号掘立柱建物跡

埠図番号 回版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
443-1	須恵器 壺	(区204ビット) 口・(11.8) 破片	還元。硬。灰5Y6/1。並。輕。 白色粒合、他少。	口縁部は外傾する。輪縁成形。内・外に輪縁目あり、割れ口少し消耗。	粘	
443-2	須恵器 壺	(区205ビット) 覆土 底部片	厚・0.7	還元。硬。灰褐2.5Y4/1。並。 やや重。白・褐粒合、他少。	口縁部は旧時欠損する。輪縁成形。底部は輪縁右回転糸切り。消耗微。	笠
443-3	須恵器 壺	(区206ビット) 底・(8.0) 覆土 底部片	還元。硬。灰白5Y7/1。並。輕。 白・褐粒合、他多。	口縁部は旧時欠損する。底部は回転糸切り後、粘左回転難削。内面摩耗。割れ口消耗。	粘	

第14号掘立柱建物跡

埠図番号 回版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
444-1	土師器 高壺・瓶	覆土	厚・0.8	酸化。橙7.5YR6/6。	透し方があり、高壺・器台・壺など種不明。内面波状吸収。底面被熱少。消耗あり。	6C前半 か

第14号掘立柱建物跡

辨団番号 国版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
444-2	土師器 要	(区2119ピット) 覆土 口縁部片	厚・0.4	酸化。硬。明赤褐2.5YR5/6。 並。やや輕。金雲母合。	内・外面擦痕あり。外側下方に指圧痕あり。 割れ口消耗大。	
444-3	土師器 要	(区2119ピット) 覆土 破片	厚・0.2	酸化。硬。赤褐2.5YR4/6。 並。やや輕。金雲母粒合。	傾不規。肩部片、器厚は薄い。器外側は縦位 方向の擦削り、擦を施す。割れ口消耗大。	
444-4	土師器 要	(区2119ピット) 覆土 破片	厚・0.3	酸化。並。褐7.5YR4/4。 並。やや重。白・拘込合。	肩部外側削片、器厚は薄い。外側は縦位方 向のササラ様の擦削り。消耗あり。	
444-5	土師器 台付要	覆土 1/4	統・(9.0)	酸化。並。にびい赤褐2.5YR 5/4。並。白色粒合、鈍物合。	内・外面擦痕あり。外側少し被熱色皮し様さ れる。内・外面割れ口少し消耗。	接合3片
444-6	須恵器 环	覆土 口縁 5/1	口・(13.3)	還元。灰。灰 N6.0。密。 やや重。白色粒合、他少。	口縁部は外傾する。鍛錬成形。底部は欠損。 割れ口消耗少。	笠か 割れ口消耗少。
444-7	須恵器 环	NoII-8-237P 1/2	口・12.2 底・7.1	還元。硬。5Y 6/1。密。やや 軽。白・拘込合、他鈍物少。	底部は回転糸切り後鍛錬右回転削り。体部 外側に「主」の墨字あり。	笠か 墨書き-124
444-8	須恵器 环 底	覆土 1/4	底・(7.0)	還元。硬。灰5Y 5/1。密。やや重。	口縁部は欠損。鍛錬成形(右回転)。底部は回 転糸切り。内面使用摩耗。割れ口消耗。	笠
444-9	須恵器 境	覆土 破片	厚・0.8	酸化。軟。にびい黄褐10YR6/4。 並。やや重。白粒合、他微。	口縁部は欠損する鍛錬成形(右回転)。内面に 粘わずか鍛錬目。割れ口消耗大。	
444-10	須恵器 底	覆土 破片	厚・0.6	還元。紺。灰 N5/0。密。 やや重。白鈍物合。他少。	外側は平行叩き、内面当具は素文気味。割れ 口の消耗少。	太田

第15号掘立柱建物跡

辨団番号 国版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
445-1	土師器 环	(区2071ピット) 覆土 口縁部片	厚・0.4	酸化。並。橙5YR6/6。並。 やや軽。拘込合、他合。	口縁部は外傾氣味。体部に型磨削剝。口縁部・ 器内面は横擦で。	
445-2	土師器 台付要	(区2108ピット) 覆土 破片	厚・0.9	酸化。並。橙5YR7/6。並。粗。 鉄合、他少。	脚部片に見える。器内厚い。内面に擦あり。 外側は消耗のため整形不同。消耗大。	
445-3	土師器 台付要	(区2071ピット) 覆土 底部片	厚・0.6	酸化。並。にびい赤褐5YR5/4。 並。やや軽。白・拘込合、他少。	内面黑色。器内面擦痕。外側被熱色變 り。割れ口少し消耗。	
445-4	須恵器 环	(区2071ピット) 覆土 底部片	厚・0.7	酸化。硬。橙7.5YR6/6。並。 軽。拘込合、他少。	口縁部は旧時欠損する。底部は鍛錬右回転糸 切り。割れ口消耗あり。	

第16号掘立柱建物跡

辨団番号 国版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
446-1	土師器 环	(区3131土坑) 覆土 破片	厚・0.4	酸化。並。にびい褐7.5YR5/4。 並。軽。黒粒・鈍物合。	底面擦削あり。内面擦あり。割れ口の消耗大。	
446-2	土師器 要	(区3211土坑) 口縁部片	厚・0.6	酸化。並。明赤褐5YR5/6。並。 やや軽。白色粒合、他少。	「コ」の字状口縁。外側は擦削り目。器内面 は無で、口縁部は横擦。割れ口消耗あり。	
446-3	土師器 台付要	(区3211土坑) 覆土 破片	厚・0.4	酸化。並。にびい赤褐5YR4/4。 並。やや軽。鈍物少。	要部内面擦。脚部内面も擦無で、外側擦、黒 色吸染あり。割れ口少し消耗。	
446-4	須恵器 环	覆土 口縁部片	厚・0.3	還元。紺。灰5Y 5/1。密。重。 白色粒合、他少。	内・外面鍛錬目あり。口縁部周辺に重焼色変。 近接県から削れ口削少。	
446-5	須恵器 内里 壁 环	覆土 底・(6.8)	酸化。並。にびい黄2.5Y 6/3。	鍛錬成形(右回転)。器内面に研磨を施す。 底部は回転糸切り。		
446-6	須恵器 境	(区3241土坑) 覆土 底部片	底・(6.6)	還元。並。灰白5Y 7/2。並。紺。 白色粒合、他少。	口縁部は旧時欠損。鍛錬成形。高台付け高台。 粘削れ口の消耗。	
446-7	須恵器 境	(区4731土坑) 覆土 底部片	厚・0.9	還元。硬。浅黄2.5Y 7/3。並。 白・黑粒合。	口縁部は旧時欠損する。鍛錬成形。底部は黒 屏。内面摩耗。割れ口消耗。	
446-8	須恵器 环 内里	覆土 部体片	厚・0.6	酸化。軟。橙5YR6/6。並。軽。 白・拘込合、他合。	体部の外側に回転条痕。内面研磨と黒色処理。 割れ口消耗大。	

第17号掘立柱建物跡

辨団番号 国版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
447-1	土師器 要	(区3751土坑) 破片	厚・0.3	酸化。硬。黑褐5YR2/2。並。 軽。鈍物合。	傾き不明。脚部片、器厚は薄い。外側は縦位 方向の擦削り、吸染あり。割れ口の消耗あり。	
447-2	土師器 要	口縁部片	厚・0.4	酸化。軟。橙5YR6/8。並。軽。 白・拘込合、他微。	「コ」の字状口縁。内・外面擦痕。割れ口の 消耗あり。	9 C

第17号掘立柱建物跡

辨認番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目(cm) 量目(g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
447-3	土師器 壺	覆土 破片	厚・0.4	酸化。並。橙5YR6/6。並。輕。 白・褐粒合、他少。	外間に應ずて、工具無多痕。内面横擦あり。割 れ口少し消耗。	
447-4	須恵器 环	覆土 口縁部片	口・(12.0)	還元。灰N5/0。密。やや重。 白色粒合、白藍物合、他少。	口縁部は外傾する。鍛錬成形。口縁部付近に 重焼色吸収痕あり。割れ口消耗少。	太田か 巣書-125
447-5	須恵器 环	覆土 破片	口・(12.9)	還元。灰。灰白7.5Y7/1。並。 やや重。白・黒粒、シルト質。	口縁部は外傾する。鍛錬成形。内・外間に浅 い鍛錬目。割れ口消耗大。	粘
447-6	須恵器 环	覆土 破片	厚・0.4	還元。灰。灰黄2.5Y7/2。	口縁部は外反する。鍛錬成形。内・外間に鍛 錬目多い。外面に不明顯な。割れ口消耗少。	巣書-125
447-7	須恵器 环	覆土 破片	底・(8.1)	還元。灰。灰7.5Y6/1。密。 やや重。白色粒合、他物少。	鍛錬成形(右回転)。体部は回転糸切り後周辺 を削除。割れ口少し摩耗。	笠・太田 巣書-126
447-8	須恵器 环	覆土 体部片	底・(8.9)	還元。灰。灰5Y5/1。密。 やや重。白色粒合、他合。	口縁部は旧時欠損する。鍛錬成形。体部は回 転糸切り。割れ口消耗少。	太田か 巣書-126
447-9	須恵器 环	(9区382土坑) 覆土 底部片	厚・0.5	還元。灰。灰白5Y7/1。密。 やや重。白色粒合、他少。	口縁部は旧時欠損する。鍛錬成形。内面回転 糸。底部は回転糸削除。割れ口消耗。	笠か 巣書-126
447-10	須恵器 双耳环	覆土 破片	厚・0.4	還元。灰。灰10Y5/1。密。重。 白藍物合、他少。	内・外間に回転糸あり。外面に耳付着。底部回 転糸削除。割れ口少し消耗。	太田か 巣書-126

第18号掘立柱建物跡

辨認番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目(cm) 量目(g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
448-1	土師器 环	(9区346土坑) 口縁部片	厚・0.5	酸化。並。橙5YR7/6。並。輕。 白色粒合、他少。シルト質。	口縁部は外傾気味。体部に肩型。口縁部・内 面は横擦。割れ口消耗微。	
448-2	土師器 环(平底)	覆土 破片	底・(7.1)	酸化。灰。橙7.5YR7/6。並。 輕。白・褐粒合、他合。	底部は肩型で、内面に横擦痕。割れ口消耗。 内面は横擦で。	
448-3	土師器 壺	覆土 口縁部片	厚・0.6	酸化。並。明赤褐2.5YR5/6。 並。白・褐粒合、他少。	口縁部は外反する。外面に小いゼアリ。口縁 部は横擦を施す。消耗しあり。	
448-4	土師器 壺	覆土 口縁部片	厚・0.4	酸化。並。明赤褐5YR5/6。並。 やや輕。白・褐粒合、他少。	内・外間に横擦あり。外面中位に工具撫、下 方素形部あり。割れ口消耗。	
448-5	土師器 壺	9区178ビット 口縁部片	厚・0.5	酸化。並。橙5YR6/6。並。並。 輕。褐粒合、シルト質。	内・外間に横擦あり。割れ口少し消耗。酸化 味強い。	
448-6	須恵器 环	(9区156ビット) 覆土 口縁部片	厚・0.4	還元。灰。灰N5/0。密。重。 白色粒合、他少。	口縁部は外傾する。鍛錬成形。内・外間に鍛 錬目あり。割れ口少し消耗。	太田か 巣書-126
448-7	須恵器 环	(9区178ビット) 覆土 口縁部片	厚・0.4	還元。灰。灰黄2.5Y6/1。並。 輕。白色粒多、他少。	口縁部は外傾する。鍛錬成形。内・外間に鍛 錬目。割れ口消耗。	粘
448-8	須恵器 环	覆土 口縁部片	厚・0.4	還元。灰。灰SY5/1。並。輕。 白・黑粒合。	口縁部は外傾する。鍛錬成形。内・外間に鍛 錬目。割れ口消耗。	粘
448-9	須恵器 环	覆土 底部片	底・(7.0)	還元。灰。灰5Y5/1。密。 やや重。白色粒合、他少。	口縁部は旧時欠損する。底部は鍛錬右回転糸 切り。割れ口消耗少。	笠か 巣書-126
448-10	須恵器 环	(9区347土坑) 覆土 底部片	底・(7.7)	還元。灰。灰7.5Y6/1。密。 やや重。白藍物少。他少。	口縁部は旧時欠損する。鍛錬成形。内面鍛錬 目あり。底部は回転糸切り。消耗あり。	太田か 巣書-126
448-11	須恵器 壺	(9区347土坑) 覆土 口縁部片	厚・0.5	還元。灰。灰黄2.5Y7/2。密。 やや重。白色粒合、シルト質。	口縁部は旧時欠損する。鍛錬成形。底部は回 転糸切り。消耗大。	粘
448-12	須恵器 环	破片	厚・0.4	還元。並。灰5Y5/1。並。 やや重。白色粒少、藍物少。	内・外間に回転糸あり。割れ口の消耗あり。	粘

第19号掘立柱建物跡

辨認番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目(cm) 量目(g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
449-1	土師器 环(平底)	覆土 口・底部片	口・(10.2)	酸化。並。橙7.5YR6/6。並。 輕。白・褐粒合、他少。	口縁部は直立気味。塑作り。底部は握削り、 体部に型崩。割れ口少し消耗。	
449-2	土師器 小形壺	覆土 口縁部片	厚・0.5	酸化。並。橙7.5YR4/3。並。 やや重。白・褐粒合、他少。	「コ」の字状口縁。外面に吸収痕あり。器内面 は擦で。W少し消耗。	
449-3	土師器 台付壺	台くびれ部 覆土	厚・0.7	酸化。並。にぶい赤褐5YR4/4。 並。やや重。白色粒多。他少。	内・外間に残存少ない。澆あり。割れ口消耗 大。土製円盤に加工。	
449-4	須恵器 环	覆土 底部片	底・(8.6)	還元。並。灰灰2.5Y5/2。並。 輕。白色粒合、他少。	口縁部は欠損。鍛錬成形。外面下方は鍛錬右 回転の裏面。割れ口少し消耗。	粘
449-5	須恵器 壺	覆土 3/4	口・(14.3) 高・(4.1)	酸化。並。にぶい橙7.5YR6/4。 並。やや重。藍物少。	口縁部は外傾する。鍛錬成形。高台は欠損す る。(付け高台)。内面うるし付着。被熱。	欠損使用 粘・陶
186-22						

第19号掘立柱建物跡

辨認番号	種別	出土位置	度目(cm)	焼調・色調・土色	形状・技法等の特徴	摘要
国版番号	器種	遺存度	量目(g)			
449-6	須恵器 壇	No.1 1/2	口・15.2 底・8.3	還元。並。灰白5Y7/1。並。 白粒合、他鉢合少。	口縁部は外傾する。輪縁成形(右回転)。付け 高台。回転糸切り。底面に不明墨字あり。	墨書-127 笠か
449-7	須恵器 壇	覆土 3/4	底・8.5 高・5.7	還元。並。灰黄2.5Y7/2。並。 紅。金箔母合、白色粒合、他少。	口縁部は外傾する。輪縁成形(右回転)。付け 高台後撫整形。底部に「木」かの墨字。	接合2片 墨書-128
449-8	須恵器 壇	覆土 底部片	底・(5.8)	酸化。並。灰黄褐10YR4/2。 並。やや重。白・褐粒合、他少。	底面薙削。体部外側薙削様の削り。外面全体 に吸収。内面に施。割れ口消耗あり。	粘

第20号掘立柱建物跡

辨認番号	種別	出土位置	度目(cm)	焼調・色調・土色	形状・技法等の特徴	摘要
国版番号	器種	遺存度	量目(g)			
450-1	須恵器 壇	口・(11.0) 破片	還元。硬。灰7.5Y5/1。密。 やや重。白色粒合、他少。	口縁部は外傾する。輪縁成形。割れ口の消耗 少。	笠か	
450-2	須恵器 壇	口・(11.8) 破片	還元。硬。灰黄2.5Y5/2。密。 重。黒・白色粒合、他少。	器肉厚い。口縁部は少し外反する。輪縁成形。 隙接縁か 消耗微。		
450-3	須恵器 壇	口・(7.4) 破片	還元。並。灰黄2.5Y7/2。並。 やや重。白色粒合、他少。	外面下方輪縁上。上方輪縁右回転薙削。割れ 口の消耗あり。	笠か	

第21号掘立柱建物跡

辨認番号	種別	出土位置	度目(cm)	焼調・色調・土色	形状・技法等の特徴	摘要
国版番号	器種	遺存度	量目(g)			
451-1	須恵器 壇	(9区1801ピット) 覆土 口縁部片	厚・0.4	酸化。硬。明赤褐2.5YR5/6。 密。やや重。白粒合、他少。	口縁部は外傾する。輪縁成形。作調上手。割 れ口の消耗少。	県外搬入
451-2	須恵器 壇	(9区1801ピット) 覆土 口縁部片	厚・0.4	還元。並。灰SY5/3。並。粗。 白・褐色合、他少。	口縁部は外傾する。輪縁成形。内面滑らか。 粘	
451-3	須恵器 壇	(9区387土机) 覆土 破片	厚・0.3	還元。硬。灰 N5/0。密。 やや重。白色粒少、他強。	口縁部は旧時欠損する。輪縁成形。内・外面 に回転条板。割れ口消耗無。	西毛→塔 玉か
451-4	須恵器 壇	(9区1740ピット) 覆土 破片	厚・0.5	還元。硬。灰黄2.5Y6/2。 密。やや粗。白・褐色合、他少。	外面に回転薙削り、系切痕あり。さらに「主」 の墨字あり。割れ口消耗無。	粘、笠 墨書-129
451-5	須恵器 壇	(9区1562ピット) 底部片	底・(9.0)	還元。並。灰白5Y8/1。並。 やや粗。黒・白色粒合、他少。	口縁部は旧時欠損する。底部は高台貼付後右 回転薙削。割れ口消耗無。	粘
451-6	須恵器 壇	(9区1740ピット) 覆土 底部片	底・(9.8)	酸化。並。明赤褐2.5YR5/6。 褐色合、他少。	口縁部は旧時欠損する。底部は高台貼付後右 回転薙削。割れ口消耗少。	粘、陶 か
451-7	須恵器 壇	(9区391土机) 覆土 破片	厚・0.4	還元。硬。灰7.5Y4/1。並。 やや粗。白色粒強。	輪縁成形。内・外面に横擦痕あり。割れ口消 耗大。	粘
451-8	土師器 壇	(9区385土机) 覆土 底部片	底・(5.4)	酸。並。にぶい黄褐10YR4/4。 粗。紅。白色粒合、黑鉄物合。	輪縁成形。底部は回転糸切り。内面に浅い輪 縁。割れ口消耗大。	中世か

第23号掘立柱建物跡

辨認番号	種別	出土位置	度目(cm)	焼調・色調・土色	形状・技法等の特徴	摘要
国版番号	器種	遺存度	量目(g)			
452-1	土師器 甕	覆土 破片	厚・0.4	酸化。並。にぶい7.5YR6/6。 並。やや重。白・褐色合、他少。	内・外面に擦痕、外面下方に薙削目あり。割 れ口の消耗少ない。	接合2片
452-2	土師器 甕	(9区1589ピット) 破片	厚・0.4	酸化。並。浅黄2.5Y7/3。 並。紅。鉄物少。	陶器片。内・外面に擦痕あり。割れ口の消耗 大。外面被熱色変あり。	
452-3	炊貯器 焰か	(9区1832ピット) 覆土 破片	厚・0.6	酸化。並。にぶい7.5YR6/3。 並。紅。白・褐色合、他少。	内面擦痕、底面に石目状の膚あり。割れ口の 消耗少。	

第24号掘立柱建物跡

辨認番号	種別	出土位置	度目(cm)	焼調・色調・土色	形状・技法等の特徴	摘要
国版番号	器種	遺存度	量目(g)			
453-1	土師器 台付甕	(9区1333ピット) 破片	厚・0.6	酸化。硬。橙5YR6/6。並。紅。 白色粒合、他少。	内面擦。外面擦あり。割れ口の消耗あり。上 方は甕の接合部至近。	
453-2	土師器 台付甕	(9区1708ピット) 底・(10.0) 覆土 口縁部片	酸化。並。明赤褐2.5YR5/6。 並。紅。白・褐色合、他少。	内・外面擦痕、被熱色変の感あり。割れ口消 耗やあり。		
453-3	須恵器 壇蓋	(9区1337ピット) 柄み部	厚・1.0	還元。硬。灰5Y6/1。密。重。 白・褐色合、他合。	柄み部片。内面使用摩耗あり。周囲を打ち欠 き円盤利用か。	粘

第25号掘立柱建物跡

辨認番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目(cm) 量目(g)	焼調・色調・土	形状・技法等の特徴	摘要
454-1	須恵器 壺	覆土246G 破片	厚・0.5	酸化。並。にぶい赤褐色YSR5/4。 並。やや重。白・褐粒合、他少。	内面と外表面縁部付近に楕円回転刷。外面下 半窓削。割れ口消耗少。	粘
454-2	土師器 壺	覆土 破片	厚・0.2	酸化。並。にぶい褐7.5YRS/4. 並。やや重。白色粒合、他少。	体部厚。器厚は薄い。外面は斜位方向の楕円 刷。割れ口消耗。	
454-3	土師器 壺	覆土 破片	底・(4.6)	酸化。褐。褐7.5YR4/4。並。 やや重。白色合。	外面に窓削、吸炭あり。底面も窓削。内面窓 削あり。割れ口少し消耗。	
454-4	須恵器 壺	底部片	底・6.4	還元。並。灰5Y6/1。並。輕。 白色粒多、褐粒合、藍物合。	口縁部は欠損。楕円成形(右回転)。底部は回 転糸切り。内面は摩耗。割れ口消耗。	

第42号掘立柱建物跡

辨認番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目(cm) 量目(g)	焼調・色調・土	形状・技法等の特徴	摘要
455-1	土師器 壺	(9区158ビット) 口縁部片	厚・0.5	酸化。褐。赤灰2.5YRS/1。並。 やや重。白・褐粒合、他少。	内・外表面横擦あり。外面被熱色変あり。割 れ口消耗あり。	
455-2	土師器 壺	(9区402土坑) 底部破片	厚・0.6	酸化。褐。棕2.5YRS/6。並。 やや重。褐粒合、他少。	内・外表面あり。外面に工具による無痕。割 れ口の消耗大。	
455-3	土師器 壺	(9区171ビット) 覆土 破片	厚・0.3	酸化。褐。明赤褐2.5YRS/6。 並。輕。白・褐粒合、他少。	傾き不明。胴部片、器厚は厚い。外面は底位 方向の削削り。割れ口消耗少。	
455-4	土師器 壺	(9区402土坑) 覆土 破片	厚・0.3	酸化。褐。棕2.5YRS/6。並。 藍物合。	傾き不明。胴部片、器厚は厚い。外面は底位 方向の削削り。割れ口消耗大。	
455-5	土師器 壺	(9区170ビット) 破片	厚・0.4	酸化。褐。黒褐7.5YR2/2。並。 やや重。白・褐粒合、他少。	傾き不明。胴部片、器厚は薄い。器外面は底 位方向の削削り。外面煤付着。消耗大。	
455-6	粘土塗か 覆土	(9区171ビット) 厚・(2.6)	酸化。並。にぶい棕2.5YR6/4。 並。やや重。シルト質。	外面に凹状の整形面らしき痕所不分明。粘土 塊とした場合の程ね目も見えず。		

第27号掘立柱建物跡

辨認番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目(cm) 量目(g)	焼調・色調・土	形状・技法等の特徴	摘要
456-1	土師器 壺(平底)	覆土 口縁部片	口・(12.0)	酸化。褐。棕2.5YR6/8。並。 藍物合。少しシルト質。	口縁部は外彫する。底部は窓削。体部に型 崩。口縁部・内面は横擦で。割れ口消耗大。	
456-2	須恵器 壺	覆土 破片	底・(7.1)	還元。褐。にぶい黄褐10YR6/3。 並。白色粒合、他少。	口縁部は欠損する。底部は回転糸切り。内面 無縫あり。割れ口消耗。	粘
456-3	須恵器 壺	覆土 底部片	底・(7.0)	酸化。褐。にぶい棕2.5YR6/4。 並。やや重。褐粒合、他少。	楕円成形(右回転)。底部は回転糸切り後周辺 を回転削削。消耗あり。	笠
456-4	須恵器 壺	覆土 底部片	底・(9.05)	還元。褐。灰白5Y7/2。並。輕。 黒粒多、他少。	口縁部は凹状欠損する。付け高台。底部は回 転糸切り後整形。割れ口消耗。	粘

第28号掘立柱建物跡

辨認番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目(cm) 量目(g)	焼調・色調・土	形状・技法等の特徴	摘要
457-1	土師器 壺	9区206G-233土 破片	厚・1.8	酸化。褐。棕2.5YR7/6。並。 輕。白・褐粒合、他少。	一端に新しい焼成後の削りあり。調査時の削 りか。外面窓削。内面無。	
457-2	土師器 壺	(9区305土坑) 19號立底部片	底・(4.8)	酸化。並。にぶい赤褐5YRS/4. 並。重。藍物合。	外面に窓削。被熱吸炭。底面窓削。割れ口消 耗あり。	
457-3	須恵器 壺	(9区529土坑) 口縁部片	厚・0.4	還元。並。黄灰2.5Y6/1。並。 輕。藍物少。	楕円成形。外面に楕縫目あり。底部は回転糸 切り。割れ口消耗大。	粘
457-4	須恵器 壺	(9区307土坑)	厚・0.5	還元。褐。にぶい黄橙10YR6/3。 並。輕。藍物少。	楕縫部は外彫し、油煙付着、磨芯痕あり。楕 縫成形。割れ口消耗あり。	
457-5	須恵器 壺	(9区529土坑) 口・(18.0)	還元。褐。灰N4/0。重。 黒粒合、他藍物少。	楕縫成形(右回転)。内・外回転条板。可塑 性高い。割れ口消耗。		

第29号掘立柱建物跡

辨認番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目(cm) 量目(g)	焼調・色調・土	形状・技法等の特徴	摘要
458-1	須恵器 壺	覆土 破片	厚・0.4	還元。並。灰白6Y7/1。並。輕。	楕縫成形。外面に楕縫目あり。割れ口消耗少。 白・黒粒合。他少。	

第30号掘立柱建物跡

辨認番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 有 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘 要
459-1	土師器 壺	No 6、覆土 1/5	□・(12.0)	酸化。並。にぼい橙7.5YR6/4。 並。輕。褐粒合、鉄物少。	口縁部は直立気味。型作り。底部は荒削り。 体部に型崩。口縁部・器内面は横擦で整形。	
459-2	土師器 壺	覆土 破片	□・(12.2)	酸化。並。にぼい橙7.5YR6/4。 並。輕。褐粒合、鉄物少。	口縁部は内汚氣味。型作り。底部は荒削り。 体部に型崩。口縁部・器内面は横擦で整形。	接合 2片
459-3	土師器 壺	覆土 破片	□・(14.0)	酸化。並。橙7.5YR6/6。並。 やや輕。白・褐粒合、他含。	口縁部は内汚氣味。体部は直張、体部に型崩。 口縁部・内面は横擦で、消耗少。	
459-4	土師器 壺	覆土 破片	厚・0.5	酸化。並。橙7.5YR6/6。並。 やや輕。白・褐粒合、他含。	口縁部に横擦。口縁部至近と内面に横擦。底 部は荒削り、体部に型崩。割れ口消耗大。	
459-5	須恵器 壺	覆土 1/4	□・(11.3) 底・(6.5)	還元。並。灰白5Y7/2。並。 やや重。褐粒合、鉄物合。	織籠成形(右回転)。底部は織籠右回転還元。	
459-6	須恵器 壺	覆土 破片	□・(12.0) 底・(5.6)	還元。並。灰白5Y7/1。並。 白色粒合、他鉄物少。	織籠成形(右回転)。底部は織籠右回転還元。 内・外表面無目少い。	墨書き-130 點
459-7	須恵器 壺	覆土 破片	厚・0.5	還元。褐。褐灰10YR5/1。並。 やや重。白色粒多、他少。	織籠成形。外面に大きな織籠目一条。割れ口 粘耗れあり。	粘
459-8	土器品 土罐	覆土 完形	厚・4.7 横・ 1.6 1460 g	酸化。並。にぼい橙7.5YR6/4。 やや重。鉄物微。	外面滑か。部分的に吸炭あり。使用摩耗 あり。消耗少。	
460-1	須恵器 壺	No 1 破片	厚・0.7	還元。褐。褐灰10YR4/1。 密。重。片状物質多。白鉄物少。	焼き後叩き整形。外側は細かな平行叩き。 内面で具は素文。割れ口の消耗微。	北埼玉
460-2	土器品 土罐	覆土 完形	厚・7.1 横・6.7	還元。軟。灰黄2.5Y7/2。並。 やや重。白粒合、鉄物合。他少。	焼成用で脚部は研磨。内面側使用摩耗。底 笠か 右回転還元。	
186-17	紡錘車					

第31号掘立柱建物跡

辨認番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 有 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘 要
461-1	須恵器 壺	覆土 底 1/6	厚・0.5	還元。褐。褐灰10YR5/1。密。 やや輕。白色粒多、他少。	織籠成形(右回転)。底部は回転余切り後還元。 割れ口の消耗少。	粘

第32号掘立柱建物跡

辨認番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 有 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘 要
462-1	土師器 壺	覆土 口縁部片	□・(11.0)	酸化。並。橙7.5YR6/6。並。 やや輕。褐粒合、他少。	口縁部周辺内・外表面横擦。外側下半に型崩様 の凹み。割れ口少し消耗。	
462-2	土師器 壺	(9区20土坑) 覆土 破片	厚・0.4	酸化。褐。明赤褐2.5YR5/8。 並。輕。白・褐粒合、他少。	外表面黒褐色・削あり。内面擦あり。割れ口消耗 あり。	
462-3	土師器 壺	(9区218ピット) 覆土 破片	厚・0.3	酸化。褐。灰褐5YR5/2。並。 輕。白・褐粒合少、他少。	焼き不明。胴部片、器厚は薄い。外側は継位 方向の荒削り。消耗大。	
462-4	土筋器 壺	(9区18ビット) 覆土 破片	厚・0.6	酸化。並。にぼい橙7.5YR6/4。 並。輕。黑・褐粒合、他少。	内面黒褐色。外側黒褐色。割れ口消耗少。外側被 熱色斑。	
462-5	須恵器 壺	(9区5土坑) 覆土 口縁部片	厚・0.4	還元。褐。青灰5Y5/1。密。 やや重。白色粒合、他少。	口縁部は外傾する。織籠成形。口縁部の外側 下に重焼色斑あり。	
462-6	須恵器 壺	(9区11土坑) 覆土 破片	厚・0.4	酸化。褐。橙2.5YR6/6。並。 輕。里粒合、他少。	織籠成形(右回転)。内・外側に回転条痕あり。粘 割れ口少し消耗。	
462-7	須恵器 壺	(9区11土坑) 覆土 破片	厚・0.6	酸化。褐。黑7.5YR1.7/1。並。 やや輕。鉄物少。	織籠成形。内面研磨あり。部分的に酸化斑。 口縁部片面、回転条痕あり。消耗少。	粘
462-8	須恵器 壺	(9区218ピット) 覆土 破片	厚・0.5	還元。褐。灰7.5Y5/1。	織籠成形(右回転)。上半部は織籠右回転還元。 割れ口消耗大。	粘
462-9	須恵器 壺	(9区20土坑) 口・(16.2) 1/4	還元。褐。灰5YR5/1。並。 やや軽。白微粒合、鉄物合。	織籠成形(右回転)。上半部は回転還元。笠 部や丸い。	笠 陶	
462-10	須恵器 壺	(9区20土坑) 口・(18.0) 1/4	還元。褐。灰5Y6/1。密。 やや重。白微粒合、鉄物少。	織籠成形(右回転)。上半部は回転還元。笠 部や丸い。内・外側に重焼色斑あり。端部や丸い。	笠 陶 西毛	

第33号掘立柱建物跡

辨認番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 有 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘 要
463-1	土師器 壺	覆土 破片	厚・0.4	酸化。褐。にぼい赤褐5YR4/3。 並。輕。褐粒合、他少。	焼き不明。胴部片、器厚は薄い。外側は継位 方向の荒削り、内面擦。割れ口消耗少。	
463-2	土師器 壺	(9区30ピット) 底・(4.7)	酸化。並。橙5YR6/8。並。輕。 褐粒合、他少。	器内薄い。外側に薬剤、内面に擦あり。割 れ口の消耗大。		

第33号櫛立柱建物跡

探査番号	種 別	出土位置	度目 (cm)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
回版番号	器 種	遺 存 度	量目 (g)			
463-3	須恵器 壺蓋	(9区30ピット) 覆土 破片	厚・0.3	還元。硬。灰白SY7/2。並。 やや輕。黒粒合、他少。	織籠成形。端部やや尖る。内・外間に回転瓶。 割れ口の消耗少。	

第34号櫛立柱建物跡

探査番号	種 別	出土位置	度目 (cm)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
回版番号	器 種	遺 存 度	量目 (g)			
464-1	土師器 鉢	破片	厚・0.6	酸化。並。橙SYR6/6。並。 やや重。褐粒合、他少。	口縁部の内・外間に横溝あり。外面下方直削。 割れ口消耗少あり。	
464-2	土師器 壺	(9区32ピット) 覆土 口縁部片	厚・0.3	酸化。並。橙SYR6/6。並。 やや重。褐粒少、シルト質。	口縁部は外傾気味。底部は斬削り、体部に型崩。 口縁部・内面は横溝。消耗あり。	
464-3	土師器 壺	(9区13ピット) 覆土 破片	厚・0.2	酸化。硬。にい黄褐色SYR5/3。 並。やや重。白・褐粒合。	傾き不明。胴部片、器厚は薄い。器外表面は縱 位方向の直削り。内面無。割れ口消耗少。	

第35号櫛立柱建物跡

探査番号	種 別	出土位置	度目 (cm)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
回版番号	器 種	遺 存 度	量目 (g)			
465-1	須恵器 壺	覆土 1/4	口・(12.5) 底・(7.0)	還元。軟。淡黃SY8/3。並。 鈍物少。	口縁部は外傾する。織籠成形(右回転)。底部 は回転直削。口縁部に直削り吸収あり。	墨書-131 笠か

第37号櫛立柱建物跡

探査番号	種 別	出土位置	度目 (cm)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
回版番号	器 種	遺 存 度	量目 (g)			
466-1	土師器 壺	(9区1705ピット) 覆土 口縁部片	口・(11.0)	酸化。並。橙7.5YR6/6。並。 紅。白・鈍物合。他少。	内・外表面の口縁部に横溝あり。外面に型崩。 直削りあり。割れ口少し消耗。	
466-2	土師器 壺	1534G 破片	厚・0.3	酸化。並。橙7.5YR6/6。並。 やや輕。白色粒合、他合。	外表面に横溝、直削りあり。内面に擦。割れ口 消耗大。	

第38号櫛立柱建物跡

探査番号	種 別	出土位置	度目 (cm)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
回版番号	器 種	遺 存 度	量目 (g)			
467-1	土師器 壺	覆土 口 破片	厚・0.4	酸化。並。橙7.5YR6/6。並。 紅。鈍物微、シルト質。	口縁部は外傾。型作りか。体部は直削り。口 縁部・内面は横溝で整形。割れ口消耗。	
467-2	土師器 壺	覆土 破片	厚・0.4	酸化。並。明褐色7.5YR5/6。並。 やや重。白・黒粒、他合。	外表面サササ状の直削り。削り口少し消耗。	
467-3	土師器 壺	覆土 破片	厚・0.5	酸化。並。橙7.5YR6/6。並。 やや輕。白色粒合、他少。	口縁部で薄作り。内・外表面横溝。削れ口 消耗大。	
467-4	須恵器 壺	覆土 破片	厚・0.4	還元。灰。黃灰2.5Y5/1。並。 やや重。白色粒・白鈍物合。	口縁部は外傾気味。織籠成形。内・外表面横溝 目あり。割れ口消耗。	
467-5	須恵器 高壺・盤	覆土 破片	厚・0.4	還元。並。黃灰2.5YR6/1。並。 やや重。白・黒粒合、他少。	器種不明瞭。内・外に回転条痕。削れ口消耗 少。織籠成形(右回転)。底部は回転余切り。	笠・太田
467-6	陶器 壺	覆土 体部片	厚・0.5	中性。灰白10YR8/1。並。 やや輕。白色粒。	内・外表面透明調の釉あり。買入あり。削れ口 消耗少。	美濃 18C

第41号櫛立柱建物跡

探査番号	種 別	出土位置	度目 (cm)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
回版番号	器 種	遺 存 度	量目 (g)			
468-1	須恵器 内黑 直	覆土 破片	厚・0.7	酸化。並。明赤褐色5YR5/6。並。 やや輕。白色粒合、他少。	外表面回転瓶。内面黑色化と研磨あり、削れ口 消耗あり。	

地下式土坑

第1号地下式土坑

探査番号	種 別	出土位置	度目 (cm)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
回版番号	器 種	遺 存 度	量目 (g)			
469-1	石器	覆土	砥沢石	長・9.0+α 厚・3.1	使用は表・裏・右側部。手前は旧欠。奥小口 は削り面。被熱のためか部分的に黒い。	
187-2	砾石		160g	幅・3.4		
469-2	焼却陶器 火壺	覆土 体部片	厚・1.4	還元・酸化。にい黄褐色SYR 5/3。密。重。白鈍物多、他合。	外表面に工具擦痕、叩あり。内面に紐作痕と指 印痕。回転条痕あり。消耗少ない。	常滑 13・14C
187-1						

第2号地下式土坑

辨認番号	種 固版番号	別 器 種	出土位置 底 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・触土	形状・技法等の特徴	攝 要
470-1	土器質土器	No.38	口・8.0 底・4.1	酸化。並。にぶい黄橙10YR6/3。 粗。金雲母、褐粒、鉱物合。	底部は左回転系切り。全体被熱吸歛し、焼火黒面か 粘。		
187-3	土器質土器	完形				内面円形工具状凹み。	
470-2	土器質土器	No.17	口・9.0 底・5.2	酸化。並。にぶい橙7.5YR6/4。 金雲母、褐粒合、鉱物少。	焼成形(左回転)。底部は左回転系切り。内 石円形工具状凹み。内面に酸化色火漆一条。	中世 粘	
187-4	土器質土器	完形					
470-3	土器質土器	No.10	口・10.4 底・4.8	酸化。並。橙7.5YR6/4。粗。 白褐粒合、鉱物少。	焼成形(左回転)。底部は回転系切り。内面 に不定方向の指擦。黄斑あり。底肉厚。	中世 粘	
187-5	土器質土器	2/3					
471-1	土器質土器	No.27	口・10.6 底・5.8	酸化。並。にぶい橙7.5YR6/4。 粗。輕。白・褐粒合、鉱物少。	底部は左回転系切り。内面底に円形工具状の 凹みあり。黄斑あり。	中世 粘	
187-6	土器質土器	一部欠損					
471-2	土器質土器	No.7	口・(10.6) 底・(5.6)	酸化。並。橙7.5YR6/4。並。 やや重。白・褐粒合、鉱物合。	底部は左回転系切り後乾燥時の板状圧痕。内 面に不定方向の擦。	中世 粘	
187-7	土器質土器	2/3					
471-3	土器質土器	No.26	口・10.6 底・5.8	酸化。並。橙7.5YR7/4。粗。 金雲母、白・褐粒合、鉱物少。	底部は左回転系切りと乾燥時の板状圧痕らし き条線。	中世 粘	
187-8	土器質土器	完形					
471-4	土器質土器	No.8	口・(10.8) 底・(4.8)	酸化。並。にぶい黄橙10YR7/4。 粗。輕。褐粒合、鉱物少。	底部は右回転系切り。内・外面黄斑、外側 黒斑あり。自青に近い。	粘。中世 焼成	
187-9	土器質土器	1/2					
471-5	土器質土器	No.9・12・13	口・11.1 底・5.2	酸化。並。橙7.5YR6/6。粗。 金雲母、褐粒合、鉱物合。	底部は左回転系切り後、乾燥時の板状圧痕。	接合3片 粘	中世
187-10	土器質土器	ほぼ完形					
471-6	土器質土器	No.1	口・(11.2) 底・(5.4)	酸化。並。橙7.5YR6/8。並。 やや重。褐粒合、鉱物多。	底部は左回転系切り後、乾燥時の板状圧痕。 内面に不定方向の指擦。	中世 粘	
187-11	土器質土器	3/4					
471-7	土器質土器	No.37	口・(11.2) 底・(6.0)	酸化。並。灰黄2.5YR6/2。粗。 金雲母、褐粒合、鉱物合。	底部は左回転系切り。内面底に円形工具状凹 み。内・外面少し消耗気味。	中世 粘	
187-12	土器質土器	3/4					
471-8	土器質土器	一括 破片	口・(11.0)	酸化。並。淡橙5YR8/4。 輕。金雲母、褐粒合、鉱物合。	焼成形(右回転)。内・外面に焼成目。黄斑 あり。	中世	
471-9	土器質土器	一括 破片	口・(11.2)	酸化。硬。にぶい橙7.5YR7/4e 粗。輕。白・褐粒合、他鉱物。	焼成形(左回転)。外表面焼成目は工具様。 割れ口は少し消耗。	接合2片 中・近世	
471-10	土器質土器	No.30	口・11.3 底・5.0	酸化。並。明黄褐10YR6/6。 並。やや重。白・褐粒合、鉱物微。	底部は左回転系切り。内面に不回転指擦。	中世 粘	
187-13	土器質土器	ほぼ完形					
471-11	土器質土器	No.6	口・(11.4) 底・(5.0)	酸化。並。橙5YR6/8。並。 白・褐粒合、鉱物多。	底部は回転系切り後乾燥時の板状圧痕。内 面に指の一方指向。	接合5片 中世、粘	
187-14	土器質土器	2/3					
471-12	土器質土器	地下坑一括	口・(11.5) 底・5.3	酸化。並。にぶい橙、5YR7/4e 褐粒合、他鉱物微。	焼成形(左回転)。底部は回転系切り。内面 に不定方向の擦あり。体部外表面焼成目。	接合3片 中・近世	
187-15	土器質土器	1/2					
471-13	土器質土器	地下坑一括	口・(11.6) 底・(6.0)	酸化。並。にぶい橙7.5YR7/4e 並。白・褐粒合、鉱物少。	焼成形。底部は回転系切り。内・外の焼成 目浅い。割れ口旧欠。	接合3片 中・近世	
187-16	土器質土器	1/3					
471-14	土器質土器	No.9	口・(11.6) 底・5.5	酸化。並。橙7.5YR6/6。粗。 輕。白・褐粒合、鉱物多。	焼成形(左回転)。底部は回転系切り後、乾 燥時の板状圧痕。内面底に一方指向。	中世 粘	
187-17	土器質土器	3/4					
472-1	土器質土器	No.3	口・(11.6) 底・5.4	酸化。並。橙5YR6/6。粗。 輕。白・褐粒合、鉱物多。	底部は左回転系切り後の乾燥時の板状圧痕。	中世 粘	
187-18	土器質土器	3/4					
472-2	土器質土器	一括 No.2	口・(11.8) 底・6.6	酸化。並。にぶい黄橙10YR7/4e 並。白・褐粒合、鉱物少。	焼成形(右回転)。底部は回転系切り。内面 に不定方向の擦。肌色味強い。	接合8片 近世か	
187-19	土器質土器	ほぼ完形					
472-3	土器質土器	No.24	口・(11.8) 底・(6.0)	酸化。並。橙7.5YR7/6。並。 やや重。白・褐粒合、鉱物微。	底部は左回転系切りか。さらに板状圧痕が密 に付着。内面底の擦見れる。	接合3片 近世か	
187-20	土器質土器	2/3					
472-4	土器質土器	No.29	口・11.9 底・5.6	酸化。並。明黄褐10YR6/6。 並。白・褐粒合、鉱物微。	底部は左回転系切り後、乾燥時の板状圧痕。 内面に不定方向指。	中世 シルト質	
187-21	土器質土器	ほぼ完形					
472-5	土器質土器	No.34	口・12.0 底・6.5	酸化。並。にぶい橙7.5YR7/4e。 白・褐粒合、鉱物少。	底部は左回転系切り。内面に不定方向の擦。 擦成色差あり。	接合3片 中世	
187-22	土器質土器	ほぼ完形					
472-6	土器質土器	No.15	口・12.2 底・6.1	酸化。硬。橙5YR6/6。並。 やや重。白・褐粒微、鉱物少。	底部は右回転系切り。黄斑あり。全体的に燒 成目多い。板状圧痕不明。	接合2片 中世、粘	
187-23	土器質土器	完形					
472-7	土器質土器	一括	口・(12.2) 底・(6.6)	酸化。並。明赤褐5YR6/6。粗。 輕。白・褐粒合、鉱物多。	体部に燒成左回転。内面底は不定方向の指擦。 割れ口消耗。	接合2片 中世、粘	
187-24	土器質土器	1/4					
472-8	土器質土器	No.18	口・12.2 底・6.0	酸化。硬。橙5YR6/6。並。 やや重。白・褐粒、鉱物少。	底部は右回転系切り。黄斑あり。燒成目多い。 底の板状圧痕不明瞭。	中世 粘	
187-25	土器質土器	ほぼ完形					
472-9	土器質土器	No.24	口・(12.5) 底・(7.7)	酸化。並。淡黄褐7.5YR8/4e。 粗。輕。鉱物少。	焼成形(左回転)。底部は回転系切り。黄斑 あり。内・外表面焼成目あり。	15C か 中世	
187-26	土器質土器	2/3					
472-10	土器質土器	一括 底部片	口・(5.0)	酸化。並。橙5YR6/6。粗。 輕。金雲母合、他鉱物少。	焼成形(右回転)。底部は回転系切り。内面 に「」墨字あり。割れ口少し消耗。	墨書-132 中世	
187-27	土器質土器	底部片					
472-11	土器質土器	No.23	底・(5.0) 1/2	酸化。並。にぶい橙7.5YR6/4e。 並。金雲母、褐粒、鉱物合。	底部は左回転系切り後板状圧痕らし條線あり。 内面円形工具状の凹みあり。	中世 粘	
187-28	土器質土器	1/2					
472-12	土器質土器	一括	底・(5.4) 1/4	酸化。並。橙5YR6/6。粗。 輕。金雲母、白・褐、鉱物合。	焼成形(左回転)。底部は回転系切り。欠損 少少。割れ口少し消耗。	中世 粘	
187-29	土器質土器	1/4					

第2号地下式土坑

探査番号	種 別 器 種	出土位置 回収番号	度目 (cm) 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・釉土	形状・技法等の特徴	概 要
472-13	土師質土器 鉢	No35	厚・1.4	還元。並。黄褐色2.5YS/3。並。 やや重。褐粒多。他少。	内・外ともに小ハゼあり。内面に押し目と 使用摩耗あり。焼成5層気味。	16・17C 在地	
472-14	軟質陶器 内耳焰培	一括	厚・1.3	還元。並。暗灰褐色2.5Y5/2。粗。 外側に横擦、指圧痕、爆付着。内面擦、内耳 貼付の凹み。割れ口消耗。焼成芯黒3層気味。	18~20C 小泉か		
472-15	軟質陶器 内耳	一括	厚・1.3	還元。硬。黄褐色2.5Y4/1。並。 軽。白・褐粒含。他少。	外側に縱擦痕。石目状の型崩。縁。内面に横 擦。焼成は3層気味。	18・20C 小泉燒か	
473-1	軟質陶器 内耳焰培	一括 口縁部片	厚・1.3	酸化。並。によい橙7.5YR7/4。 粗。軽。白・褐粒含。他少。	内丸の残存なし。外側に横擦で。石目状の型 崩。底面に統く。器肉厚い。外側少し縁。	17・18C 小泉燒か	
473-2	軟質陶器 内耳焰培	No40 破片	口・(33.0) 厚・0.9	還元。並。オリーブ黒5Y3/1。 並。軽。白・褐合。他少。	外側に指圧痕、石目状の型崩。内面に撫痕。 割れ口。器面消耗。	17・18C 小泉燒か	
473-3	軟質陶器 焰培	No25 破片	口・(34.2) 底・(31.6)	還元。硬。黄褐色2.5Y4/1。並。 軽。白・褐粒含。他少。	内面に回転条板。外側に指圧痕、工具整形痕。 底面石目状の型崩。焼成3層気味。	小泉燒か	
473-4	軟質陶器 内耳鍋	一括	口・(35.8) 底・(31.0)	酸化。並。橙7.5YR7/5。並。 やや軽。白・褐粒含。他少。	底面と。体部外側下方に石目状の型崩あり。 外側口縁部下に接合板。外側少し縁付着。	接合 7 片 17C か	
473-5	軟質陶器 内耳焰培	一括	口・(37.10)	酸化。並。黄褐色2.5YR1/4。並。 白・褐粒含。他少。	外側に指圧痕。口縁部と内側横擦。底面の石目 状型崩不明瞭。外側爆付着。	接合 3 片 小泉燒か	
473-6	軟質陶器 内耳焰培	No31 破片	口・(37.0) 底・(34.5)	酸化。並。灰褐色7.5YR4/2。並。 軽。白色粒含。他少。	内耳2つある。外側に粘土帶の横擦面。外側 に爆付着。内耳の耳小口。口縁付近横擦。	17・18C 小泉燒か	
474-1	軟質陶器 内耳焰培	No32	口・(37.6)	中~還元。並。黒褐色2.5Y3/2。 並。やや軽。白・褐粒含。他少。	内耳あり。外側に接合面、横擦、型崩様の凹 曲あり。外側に爆付着。焼成の様は浅い。	小泉燒か	
474-2	軟質陶器 内耳焰培	No28 破片	長・13.8	中性。並。黄2.5Y5/6。並。 やや軽。白・白色粒。他少。	内面上方側に爆付着。底に石目状の型崩。	在地か	
474-3	軟質陶器 火入れ	No28 1/2か			内面底刷毛目。口縁部使用消耗。焼成3層。	粘	

第3号地下式土坑

探査番号	種 別 器 種	出土位置 回収番号	度目 (cm) 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・釉土	形状・技法等の特徴	概 要
475-1	軟質陶器 壺	覆土 鉢部片	厚・0.9	還元。並。によい黄2.5Y6/3。 並。軽。白・黒粒。他少。	外側に縱方向の全面研磨。内面に横擦左回転 の擦痕目あり。胎土中筋物角筋。消耗少。	粘 14C	
475-2	施釉陶器 鉢	覆土 破片	厚・0.5	中性。緑。釉物荷 (鉄錆色)。 並。やや重。褐粒物。	内・外側に緋色の鉄錆。口縁部は使用摩耗が あり。軽剥離する。内面の筋物頭著でない。	17・18C 美濃	

第6号地下式土坑

探査番号	種 別 器 種	出土位置 回収番号	度目 (cm) 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・釉土	形状・技法等の特徴	概 要
479-1	土師質土器 皿	覆土 破片	厚・0.6	酸化。並。浅黄褐色7.5YR8/4。 粗。軽。他少。	横擦成形 (左回転)。底部は回転条切り。		
479-2	石器 砾石	覆土 破片	厚・0.5	中性。緑。釉物荷 (鉄錆色)。 並。やや重。褐粒物。	使用面は表・裏・両側部の4面。奥小口は削 面、手前は旧時の欠損。		
479-3	石器 砾石	覆土 砾石	長・10.1+α 幅・2.5 100 g	酸化。灰褐色7.5YR4/2。 粗。やや軽。白・褐粒含。他少。	使用面は表・裏と両側部の4面。手前の小口 は削り面。奥の小口は旧消耗のため整形不明。		

第8号地下式土坑

探査番号	種 別 器 種	出土位置 回収番号	度目 (cm) 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・釉土	形状・技法等の特徴	概 要
481-1	土師質土器 皿	覆土 ほぼ完形	口・10.8 底・(6.2)	酸化。並。によい黄褐色10YR7/4。 粗。軽。白・褐粒含。他少。	底部は右回転条切りと板状の底版あり。外側 に火燐様の剥落痕あり。内面に指擦。	中・近世 粘	
481-2	土師質土器 皿	No17 一部欠損	口・10.9 底・5.2	酸化。並。によい黄褐色6/3。 粗。軽。白・褐粒含。他少。	底部は右回転条切りと板状底版あり。内面一 方向の指擦。擦色斑文あり。削れ口消耗。	中世 粘	
481-3	土師質土器 皿	No15 2/3	口・(11.2) 底・(6.2)	酸化。並。によい黄褐色7.5YR5/4。 並。白・褐粒含。他少。	底部は左回転条切りと底面に板状底版。内面 底一方向の指擦。削れ口少し消耗。	中世 粘	
481-4	軟質陶器 鉢	覆土 口縁部片	口・(30.5)	還元。軽。黄褐色2.5Y4/1。粗。 やや重。白・褐粒含。他少。	内面ハゼ剥落多。外側もハゼ多い。内面の節 目不明瞭。削れ口消耗あり。		
481-5	軟質陶器 鉢	覆土 口縁部片	口・(32.0)	酸化。灰褐色7.5YR4/2。粗。 やや軽。白・褐粒含。他少。	内面ハゼ剥落多。節目条痕。摩耗不明。外側 は口縁部周辺のみハゼ。縁。削れ口消耗。	16・17C 16~18C 地方產	
481-6	軟質陶器 内耳焰培	覆土 口縁片	厚・1.2	酸化。並。褐褐色10YR4/4。粗。軽。 褐粒多。他少。	外側に横擦。口縁部粘土帶の横擦面、縁かか る。内面に横擦。		
481-7	軟質陶器 内耳焰培	No13 破片	口・(37.4) 底・(33.0)	中~酸。並。暗灰褐色2.5YR5/2。 並。褐粒微。他少。	内耳貼付至近。底と体部外側下半に石目状の 型崩。外側中位から口縁内外横擦。焼成3層。	17~19C 小泉燒か	
488-4							

第8号地下式土坑

辨認番号 同版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目(cm) 量目(g)	焼調・色調・土	形状・技法等の特徴	摘要
481-8	軟質陶器 内耳盤形 鋸腹片	覆土 裏部片	厚・0.9	酸~還。並。によい黄2.5Y6/3。 粗。軽。白・褐粒合、他鉱物合。	外面に指痕、上方に横擦、下方に回転削面。 内面有跡、横擦。外面に擦かれる。	17・18C 小泉か
481-9	陶器 瓶	覆土 体部下半片	厚・0.7	還。緑。釉暗茶褐色(鉄物光沢あり)。胎土淡灰。	外側に上方と内面に光沢透明感があり、茶味がある施釉あり。	17・18C 瀬戸か
481-10	石製品 鏡白(下)	粗粒輝石安山岩 2450g	口・(27.4) 底・(27.9)	口・(27.4) 底・(27.9)	焼目は大まかな溝らしいが使用摩耗のため目無しに近い。裏面は溝状の整型。割れ凹欠。	
482-1	石製品 鏡白(上)	粗粒輝石安山岩 8100g	口・27.0 底・25.4	物くぼり孔、挽手穴、輪穴あり。目無し白となる。側部上部に削り工具痕。		
482-2	石製品 砾石	粗粒輝石安山岩 1500g	長・19.0 巾・7.0	石臼の転用か不明。使用面は左・左側部のみ。荒砥両小口とも旧欠面。荒砥で主体は金属。	荒砥	

第10号地下式土坑

辨認番号 同版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目(cm) 量目(g)	焼調・色調・土	形状・技法等の特徴	摘要
483-1	土師質土器 皿	覆土 2/3	口・12.1 底・5.3	酸化。後。滑5Y7R/6。粗。軽。 白・褐粒合、鉱物少。	織籠成形(右回転)。底部は回転糸切り。内面に一向向擦。黄斑あり。口継ぎ時削目。	接合4片 中世
483-2	軟質陶器 香炉	覆土 口縁部片	口・(9.8)	酸。軟。によい黄10Y7R/4。 粗。金青母、他鉱物合。	外面に雷文印文あり。頸部接合面綻い。内面放巣。口継部平縫。	15~17C か
483-3	軟質陶器 香炉	覆土 破片	厚・0.7	還。並。褐色10Y5R/1。粗。 軽。白・黒・褐粒合、他鉱。	外側に横擦。接合直、内面に回転条痕、口縁部内側小当たり。割れ口消粋少。	接合2片 中世
483-4	軟質陶器 焰塔	覆土 破片	厚・0.8	還~中性。硬。によい黄橙7.5Y3R/6。並。 褐粒合、鉱物少。	外側に接合面、内外横擦。焼成は、内外に僅かより灰色で3層気味。	17~19C 小泉か
483-5	軟質陶器 鉢	覆土 口縁片	厚・1.3	中性。硬。浅黄2.5Y8/3。粗。 軽。鉱物少。シルト質。	内面に少し摩耗の感あり。さらに全体も消耗。内外横擦目。	15Cか
484-1	軟質陶器 内耳鍋	覆土 破片	口・(33.2) 底・(30.8)	還~中性。硬。によい黄橙10YR 6/3。並。褐粒合、鉱物少。	外側下方から裏面にかけ石臼状の型崩あり。外側に指痕、横擦、煤付着。	小泉焼か
484-2	軟質陶器 内耳焰塔	覆土 底・(31.0)	口・(36.2)	中~酸。によい黄橙10YR6/3。 粗。金青母、鉱物合。	外側から体部下半にかけ石臼状の型崩。外側に位置の当り跡、口継部内外横擦。	17~19C 小泉焼か
484-3	軟質陶器 内耳 堀	覆土 内耳 堀 破片	口・(37.8)	還~中。硬。によい黄橙10YR 6/3。粗。軽。金青母、他鉱物合。	外側に煤付着。外側下方に石臼状の型崩。口継部下内側面擦。外側に焼。焼3層気味。	小泉焼か
484-4	軟質陶器 内耳 堀	覆土 内耳 堀 破片	口・(35.5) 底・(28.6)	還~酸。並。黒褐7.5Y3R/1。 並。やや重。鉱物多。	耳部に近か重む。口縁部付近から内側横擦。外側指痕張、煤付着。最下部窓回転横擦。貼	接合2片 中世
484-5	軟質陶器 堀	覆土 1/2	口・28.8	酸~還元。並。灰7.5Y7/1。 並。褐粒合、鉱物合。	紐作り。頸部に接合面。口縁部の内外横擦。	接合7片 中世
485-1	軟質陶器 堀	覆土 破片	口・(34.0)	酸~還。硬。明黄褐10YR6/6。 並。重。灰・褐・黒・鉱物合。他鉱物合。	内面に2つの内耳あり。割れ口に絞り紙。外側に横擦、指など圧痕、回転削。内面回転擦。	接合2片 16~17C
485-2	燒結陶器 鉢	覆土 体部片	厚・1.1	還。褐。灰白5Y7/1。密。重。 白鉱物多。多少。	外側に織籠目。下方窓削加わる。内面滑らか、自然剥離。割れ口消耗少。	13~15C 常滑
485-3	燒結陶器 更	覆土 破片	厚・0.9	酸化。褐。によい赤褐2.5YR 5/3。密。重。白色粒多。他少。	外側に凹目あり。内面に紐作痕と擦跡あり。割れ口に絞り紙。割れ口の消耗微。	常滑 14~16C
485-4	燒結陶器 匙形	覆土 破片	厚・0.8	還。褐。釉赤褐色(鉄物光沢有)。 鉄土灰。	外側鉄軸織籠。内面コテ織籠目。割れ口消耗微。	19~20C 産不明
485-5	石製品 砾石	覆土 デイサイト 一部欠損	直径・5.5 巾・2.8 25g	還元。硬。暗灰黄2.5Y5/2。並。 粗。軽。白・褐粒合、他合。	使用は表裏と左側部。裏面の使用が最も顯著。全体形状は、釋か利用確か。	

第9号地下式土坑

辨認番号 同版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目(cm) 量目(g)	焼調・色調・土	形状・技法等の特徴	摘要
486-1	土師質土器 皿	No 2 覆土 完形	口・7.4 底・3.8	酸化。硬。によい滑5Y6/4。 並。やや軽。白・褐粒合、鉱物微。	底部は左回転糸切り。板状底見えず。内面指痕。焼き割れ内外完通。	中世 粘
486-2	土師質土器 皿	覆土 ほぼ完形	口・7.4 底・3.8	酸化。硬。滑5Y6/6。粗。軽。 白・褐粒合、鉱物微。	底部は左回転糸切り。板状底見えず。内面織籠目。赤味が強い。	中世 粘
486-3	土師質土器 皿	覆土? 3/4	口・(9.8) 底・(4.6)	酸。並。によい黄橙10YR7/3。 粗。軽。白・褐粒合、鉱物少。	底部は右回転糸切り。板状底。内面に一方の指痕。黄褐色斑あり。割れ口消耗少。	中世 粘
486-4	軟質陶器 内耳鍋	No 3 覆土 口縁片	口・(29.0)	還。並。暗褐10YR3/3。粗。 やや軽。白・褐粒入、他合。	内面に内耳付唇、下方少し摩耗。外側に指痕、横擦、煤付着。割れ口消粋。焼3層。	接合2片 15~16C
488-1	燒結陶器 更	覆土 底部片	厚・1.2	還元。硬。暗灰黄2.5Y5/2。並。 軽。やや重。白・褐粒合、他合。	35~40cm幅の要か。外側窓削後、撫。内面扭作後の指などの痕跡と撫。	常滑か 常滑

第9号地下式土坑

辨認番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目(cm) 量目(g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
488-2	石製品 石斧	粗粒輝石安山岩	長・13.8 505 g		割れ口は旧欠で消耗している。内部使用摩耗。 底も摩耗あり。側面整形が不明瞭。	

第11号地下式土坑

辨認番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目(cm) 量目(g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
489-1	土筋質土器 皿	覆土 口縁片	口・(8.2) 底・(5.0)	酸化。緑。明赤2.5Y5V8/8。粗。 輕。白・褐粒合、他微。	輪縁形成。内面は少し摩耗。外面の輪縁目立 接合2片 中世か。	
489-2	土筋質土器 皿	覆土 1/4	口・(8.4) 底・(4.8)	酸化。並。明赤2.5YR5/6. 粗。紅。褐粒合、他微物少。	底部は回転糸切りがあり、さらに板状圧縮。 割れ口消耗気味。	接合3片 15・16C
489-3	土筋質土器 皿	覆土 1/4	口・(11.8) 底・6.8	酸化。並。褐5YR6/6. 粗。褐粒多、金雲母合、他微物少。	底部は回転糸切り。内面平滑。割れ口消耗。 内外とも輪縁目立ず。	接合4片 16~17C
489-4	土筋質土器 皿	覆土 1/3	口・(12.4) 底・(6.8)	酸化。並。褐5YR7/6. 粗。白・褐粒合、他微物少。	輪縁形成。底部は左回転糸切り。内面底に工具の輪縁目立。黄斑あり。	接合3片 中世
489-5	欽賀陶器 内耳鉢形 破片	口・(35.2) 底・(26.0)	焼～中。並。にぶい黄2.5Y6/3. 並。他微物少。	口縁部の内外面横擦。外面下方指の压痕。割 れ口圧痕。底面何かの压痕。焼成3層。	接合3片 16・18C 在地か	
489-6	欽賀陶器 火鉢	No 2・覆土 破片	高・(10.7)	還。並。にぶい黄2.5Y6/3. 並。他微物少。	底面に粘土時のヒビあり。外面部格子目難書。 やや重。白・黒・褐粒、他微物少。	接合3片 16~17C
489-7	陶器 鉢	覆土 鉢体部片	厚・0.8	還～中。緑。釉茶褐(鉄光釉 弱)。褐色斑。	外面輪縁目と工具条板あり。内外鉄釉。内面 凹目。割れ口消耗少ない。	16・17C 美濃
490-1	粗粒輝石安山岩	巾・28.6 高・19.3				
188-20	加工材	12300 g				

井戸跡

2区第2号井戸跡

辨認番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目(cm) 量目(g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
493-1	磁器 壇	埋土 口縁部片	口・(13.6)	還元。緑。釉明銀灰5G7/1(青 磁物)。胎土白	内・外面粘手の背屈軸施釉、買入あり。口縁 部肥厚する。上手の製品。	龍泉 14Cか
493-2	欽賀陶器 壇耳片	埋土 口縁部片	厚・0.8	還元。硬。黒褐2.5Y3/1。粗。 輕。白色粘合、青丹粒合	内・外面横擦。外面吸抜。焼成吸抜様様、割 れ口灰色で3層。	16~17C
493-3	欽賀陶器 鉢	埋土 口縁部片	厚・0.8	還元。硬。灰5Y6/1。粗。 輕。白色粘合、他微物少。	片口部あり。内面に小ハゼがあり、下方に使 用摩耗あり。割れ口消耗。	接合2片 14・15C
493-4	欽賀陶器 鉢	埋土 破片	口・(30.0)	中～還。硬。褐褐10YR5/1。 粗。輕。白色粘合、他微物少。	口縁部の内・外表面ハゼあり。外面、内面に横 擦あり。内面摩耗少しあり。内・外面少し焼。	15Cか
493-5	欽賀陶器 内耳 破片	埋土 底・(30.4)	口・(34.4)	還元。硬。オリーブ黒7.5Y2/2. 粗。輕。白粘合、黑磁物合、他少。	口縁部粘土帶接合部。下方から裏面に右目状 の堅膜。外面上手から内面横擦。焼5層。	18・19C 小京焼か
494-1	石造品 鏡白(下)	埋土 1/2	粗粒輝石安山岩 6900 g	径・28.6 高・10.9	硬く重みあり。表面に左回転推定6分割の目 あり。穴六あり。裏面裏面は荒い。	
494-2	石製品 四門	埋土 破片	粗粒輝石安山岩 1290 g	口・(21.8) 底・18.3	石白の転用で表面に刻み。輪穴見えず。大き さも変改か。凹面は荒い摩耗。側部整形良。	石臼転用
494-3	石造品 石跡	埋土 破片	粗粒輝石安山岩 580 g	底の厚さ・6.8	石質は硬く、重い。内面の摩耗少ない。底面 の整形不明瞭。割れは旧欠。	

3区第1号井戸跡

辨認番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目(cm) 量目(g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
497-1	土筋質土器 皿	埋土?	口・(8.4) 底・(5.6)	酸化。並。にぶい黄褐10YR6/3. 粗。金雲母、他微物合。	底部は左回転糸切り。内面一度方向の指標。 口縁部の先尖る。	中世 點
497-2	土筋質土器 皿	埋土?	口・(9.4) 底・(5.6)	酸化。並。褐7.5YR6/6. 粗。白・褐粒合、他微物少。	輪縁形成(左回転)。回転糸切り。底部の割れ 方は底面側からの打力で穿孔が不明。	粘
497-3	土筋質土器 皿	埋土? 完形	口・9.6 底・6.0	酸化。並。にぶい黄褐10YR 6/3.並。白・褐粒合、他微物少。	底部は左回転糸切り。底面に焼成後穿孔3 穴あり。中央に古跡ビビリ。	粘
497-4	土筋質土器 皿	埋土? 完形	口・9.9 底・6.2	酸化。並。にぶい黄褐7.5YR6/4. 粗。白・褐粒合、他微物少。	底部は左回転糸切り。内面にシャープな輪縁 目。底部2カ所に焼成前穿孔あり。	近世以降
497-5	土筋質土器 皿	埋土 底部片	底・5.4	酸化。並。にぶい褐5YR7/4. 粗。やや紅。白・褐粒合、他合。	輪縁形成(右回転)。底部は回転糸切り。内面 に一方向の撫あり。割れ口消耗大。	
497-6	土筋質土器 皿	埋土 1/2	底・6.2	酸化。硬。褐5YR6/8. 粗。白・褐粒合、他少。	輪縁形成(右回転)。底部は回転糸切り後、乾 燥時の板状圧痕あり。焼成黄斑あり。	接合2片 14Cか

3区第1号井戸跡

辨認番号	種別	出土位置	度目(cm)	地質(目)(g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
497-7	歎貫陶器 火鉢角形	口縁部片	厚・1.3	酸化。並。明治7.5YR5/6。並。 や粗。白・黒粒含。他含。	角形の接合部あり。内面に擦痕。外面上に隠帶 2条。雷文印文あり。割れ口の消耗。	粘	
497-8	土薪土器 皿	埋土 底 1/3	口・(11.2) 底・(5.2)	酸化。並。にぼい煙7.5YR6/4。 並。少し重。白・褐粒、鉄物多。	輪轂成形(左回転)。底部は回転糸切り。内面 に工具様の機械目あり。胎土荒い。	接合2片 16~19cm	
497-9	無釉陶器 塊	埋土	口・(11.9) 底・5.8	還元。緑。輪轂相(濃い胎土)。 胎土灰。	外面下方の露頭的な個所で深い鉄粒を施 す。ほか内・外間に鉄粒。口輪付近青灰の鉄物。	18C 瀬戸か 美濃	
497-10	施釉陶器 塊	埋土	底・5.4	中性。緑。釉無褐、淡褐。胎土 淡青灰。	体部外面下方から高台全体に淡褐色か。全体 は黒褐。部分的に白がかかる釉の釉調。	18C 美濃	
497-11	施釉陶器 塊	高台僅 底部片	5.3	中性。緑。釉淡黄灰で透明調。 胎土淡黄灰。	高台端部を除き施釉。釉は薄く細見入り。 高台は貼付か。	18C 京焼系	
497-12	燒結陶器 盤	埋土 破片	厚・0.9	還~酸。綠。明赤褐色5YR5/6。 並。重。白色氣孔多。他含。	内面に凹目あり。外面に輪轂目あり。内面磨 耗少しあり。割れ口消耗少。	信楽	
497-13	施釉陶器 皿	埋土 破片	底・(16.0)	中性。緑。輪轂灰、暗褐(鉄粒)。 緑(網目)。胎土黃灰。	内・外間に地状色の釉。内面に鉄粒と網目あ り。外面上半のみ露胎となり。削目あり。	18C 瀬戸美濃	
497-14	歎貫陶器 火鉢	埋土 口縁部片	厚・1.3	還元。並。灰5Y5/1。粗。粗。 鉄物微。	外面に研磨あり。口縁部の縁部は、摩耗。内 面に輪轂目あり。焼成は芯黒色で5層気味。	小泉焼か る	
498-1	歎貫陶器 内耳	埋土 破片	口・(30.0) 底・(27.3)	還元。並。灰5Y4/1。粗。粗。 白色粒少。他鉄物微。	底部に石目状の型窯。内・外間に回転窯あり。 焼成は芯黒色で外面に焼あり。5層気味。	17~19C 小泉焼か る	
498-2	歎貫陶器 内耳	口・(32.3) 底・(28.6)	中~還。並。灰10YR2/1。粗。 粗。白・黒粒含。他鉄物少。	外腹下方から底部に石目状の型窯あり。外腹 上方へ口縁部。内面に横施。	18~19C 小泉焼か る		
498-3	歎貫陶器 火鉢	口・(38.8)	酸化。硬。にぼい赤褐色5YR5/4。 並。や粗。鉄物含。	外腹窯あり。内面に回転窯の輪轂目。口縁部 の上面焼・燃焼。	接合3片		
498-4	石製品 砥石	埋土 1/2	砥沢石 95 g	長・5.5 厚・3.5	使用面は奥口と両表面のみ。3面削整形面。 手前小口は旧欠面。使用は浅い。	接合2片	
498-5	瓦 瓦瓦	埋土 破片	厚・1.4	酸化。並。にぼい煙7.5YR7/4。 並。や粗。白・黒粒含。他少。	全体に消耗。表面に擦らしき痕跡あり。側部 は残るによる面取り。裏面整形不明。	粘・陶	
498-6	木製品 189-1+2+3 椀	1/2	ブナ属 径・13.5	口縁周辺。高台部欠損。欠損は 調査時が多い。	器面に黒漆下地。上面に朱漆。部分的に黒漆 斑が浮き出る。椀の腰部に浅い模様。		
498-7	木製品 189-10+12 椀	欠損大	ブナ属 径・12.0	多くが昭時の欠損。高台部端側 も全部欠損している。	外腹面に下地黒漆。上面赤漆の塗りあり。外 腹腰部に模様。高台はさらに延びる。		
498-8	木製品 189-11+2 椀	欠損大	ブナ属 径・(11.25)	全体に消耗大。	器面の下地に黒漆。上面に赤漆を塗る。腰部 に模様。全体に薄作り。		
498-9	木製品 189-13 熊材	埋土 残片	マダケ 長・14.0	端部は調査時以降の欠損。	端部。断面形状から齧と推定される。マダケ 様の凸状を見る。		
498-10	木製品 189-12+2 網板	ヒノキ 巾・2.85	全体に少し消耗。	全体に曲物としての曲り残る。平底下端に小 孔2あり。側部は直立してあり。			
498-11	木製品 189-14 加工木	埋土 小欠あり	広葉樹 長・7.2	調査時以前の小欠が小口に、傷 が側部にあり。	年輪は良く見えないが、10本以下。小口は切 削法不明瞭。表面樹皮下。		
499-1	石造品 石林	埋土 破片	粗粒輝石安山岩 170 g	口・(29.0)	内面摩耗。口縁著しく摩耗。外腹整形痕不明 瞭。割れ口旧時欠損。		
499-2	石造品 石林	埋土 破片	粗粒輝石安山岩 170 g	石質重く硬い。内面に使用摩耗あり。割れは 古欠。底面も旧時消耗あり。	14~16C か		
499-3	石造品 石林	埋土 小片	粗粒輝石安山岩 400 g	内面の摩耗大。古欠。割れ口は古いらしく、 摩耗大。石質は重く重い。			
499-4	石造品 石林	埋土 破片	粗粒輝石安山岩 360 g	内面に摩耗と叩打痕あり。底面は平らでなく 傷状の段あり。器面整形痕不明瞭。	中世か 後世		
499-5	石製品 茶臼(上)	埋土	粗粒輝石安山岩 1440 g	欠損は旧欠で、消耗あり。目の条は太く大ま か。石質は硬く重い。			
499-6	石製品 茶臼(下)	埋土 破片	粗粒輝石安山岩 310 g	石材硬質、重い。内面に口縁部摩耗。割れ口 古欠、被熱、吸波あり。			
499-7	石製品 茶臼(下)	埋土 破片	粗粒輝石安山岩 240 g	はんぎり部。縁の作形は端正。内面に使用摩 耗あり。整形丁寧。石質は硬質、重い。			
499-8	石製品 茶臼(上)	埋土	粗粒輝石安山岩 1890 g	外腹に挽手穴。上面に物くばり孔。裏面に挽 き溝あり。石質は重く硬い。			
499-9	石製品 石臼	埋土	粗粒輝石安山岩 1480 g	挽手穴、物くばり孔らしき穴あり。挽手穴は 大まかで浅い。石質硬く重い。古欠。			
499-10	石製品 穀臼(上)	埋土 小片	粗粒輝石安山岩 630 g	物くばり孔あり。割れ口古欠、消耗あり。石 材は硬く、重い。			

3区第1号井戸跡

陶器番号	種 別 器 標	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形狀・技法等の特徴	摘要
499-11	石製品 鉢口(上)	埋土 破片	粗粒輝石安山岩 700 g	長・(33.8) 厚・6.0	挽手穴あり。挽目見えず。整形は整う。おそらく厚きが消耗し、使用不能か。	
499-12	石製品 鉢口(下)	埋土	粗粒輝石安山岩 4700 g	径・(28.8)	挽目 6 分割か。輪受け穴あり。割れ口旧欠。石質硬質で重い。外面被熱割れか。	

3区第2号井戸跡

陶器番号	種 別 器 標	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形狀・技法等の特徴	摘要
500-1	軟質陶器 鉢	體部片	厚・1.6	還元。並。灰 N5/0。並。 やや黒。白・黒混合、他少。	内面に使用による摩耗痕、擦合痕あり。外面は滑らか。割れ紐作痕と消耗あり。	笠・太田 中世

6区第1号井戸跡

陶器番号	種 別 器 標	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形狀・技法等の特徴	摘要
506-1	軟質陶器 手培	埋土 口縁部片	口・(21.4) 底・(15.6)	還元。軟。灰 7.5Y4/1。粗。紅。 白色粒合、他含。	内面に織籠目あり。外面に絃状條の施文あり。接合2片 焼成は外間に僅かから3層気味。	小量か
506-2	軟質陶器 火鉢	埋土 口縁部片	口・(29.0)	酸化。硬。灰。にぶい燈5YR7/4。 粗。紅。黒混物合、他少。	口縁部内面に焼付着。外面に沈縫2条による 小泉焼か れ目。黒混物合、他少。	
506-3	軟質陶器 瓦盤	埋土 体部片	厚・1.4	還元。並。灰 N4/0。粗。紅。 白色粒合、黒混物合、他少。	内面に粗作底、織籠目。外面に研磨。透しあ り。焼成は表面少し煙、墨黒で5層気味。	小泉焼か れ目
506-4	軟質陶器 瓦盤	埋土 底部片	底・(21.0)	還元。並。灰 N4/0。粗。紅。 白色粒、黒混物合、他少。	内面に粗作底、織籠目、算則、外面に研磨。 焼成外縁側で墨黒く、5層気味。少し消耗。	小泉焼か れ目
506-5	施釉陶器 盃	完形	直徑・7.5	中性。暗。釉透明調。胎土灰白。 2.5Y8/1。	茶入の蓋か。外面と内面上天部のみ施釉。釉 は細入があり。胎土輕い。	京焼系か 東洋焼
506-6	施釉陶器	埋土 塊	口・(11.2) 高・7.4	中性。暗。釉淡褐(淡泊釉調)。 胎土黃灰。	外附下方が露窓。それを除き施釉。口縁部下 内・外面に白青灰の施釉あり。	18C 美濃
506-7	施釉陶器 灰塗	埋土 底	4.4	中-酸。紅。釉掛分鉄錆(鉄錆)、 淡黄灰(透明)。胎土灰。	内・外面に掛分による施釉あり。高台端部は 外附下面が露窓。それを除き施釉。口縁部下 内・外面に掛分による施釉あり。高台端部は 伊万里系	18C 伊万里系
506-8	施釉陶器	埋土 灰塗	底・(5.2)	中性。暗。釉外面茶褐色(胎-鉄 錆)。内面透明調。胎土灰。	外附下面が露窓。それを除き施釉。口縁部下 内・外面に掛分による施釉あり。	18C 美濃
189-16	施釉陶器 香炉	1/3	中性。暗。釉褐色(淡明な鉄錆 調)。	内面に印文があり、上段は刻文様、下段は 鉄錆。内面に透明調あり。	18C 唐津系	
506-9	施釉陶器 香炉	埋土 1/2	口・(10.8)	中性。暗。釉褐色(淡明な鉄錆 調)。	内面に印文があり、上段は刻文様、下段は 鉄錆。内面に透明調あり。	18C 美濃
189-17	施釉陶器 香炉	1/2	底・(9.0)	中性。暗。釉褐色(淡明な鉄錆 調)。	内面に印文があり、上段は刻文様、下段は 鉄錆。内面に透明調あり。	18C 唐津系
506-10	施釉陶器 皿	埋土 破片	口・(27.3)	酸化。暗。釉白土様。胎土にぼ い赤褐色2.5YR4/3。	内面に印文があり、上段は刻文様、下段は 鉄錆。内面に透明調あり。	18C 美濃
506-11	軟質陶器 壺	埋土 破片	口・(32.4)	中性。暗。釉茶褐(鉄錆)。胎土 黃灰。	内・外間に鉄錆。外附上方織籠目。下方に右 回転の露窓。内面12条単位の割れ。少し摩耗。	17・18C 瀬戸美濃
506-12	磁器 塊	埋土 破片	口・(12.0) 底・(6.0)	還元。暗。釉(染付)、白磁物 淡青。胎土白。	外附に細かな連続半円形の型紙印押あり。内 面にも瓈磨跡あり。	明治 伊万里系
506-13	磁器 塊	埋土 3/4	口・(11.2) 底・(6.0)	還元。暗。釉(染付)、白磁物 青白。胎土白。	広東焼。外面に界線区分による唐草文、内面 に花文・團扇模様。高台端部を除き白磁物。	19C 初か 伊万里系
507-1	瓦 十能瓦	埋土 破片	厚・1.0	酸化。暗。にぶい燈5YR7/4。 粗。紅。白・黒粒合、黒混物合。	表面には石目状の型溝あり。型溝は小口下半におよぶ。	18C 以降 小泉焼か れ目
507-2	石製品 砥石	埋土 3/4	砥沢石 240g	長・14.0 橫・3.3	表面は表・裏のみ、右側部織籠目、左側部削 り。形状不明。形状は刃付砥。	
507-3	石製品 砥石	埋土 2/3	砥沢石 120g	長・8.7 厚・2.6	刃付砥。使用面は表・裏のみ。側部に織籠状 のナラシ跡あり。小口は旧小欠あり。	
507-4	木製品 桶 側板	埋土 自然消耗少	ヒノキ属	圓平衡調が表面で、裏側が平滑 である。自然消耗。	外附下方に施跡一致の傷あり。それより上方 に摩耗あり。	
189-19-1	木製品 桶 側板	埋土 完形	ヒノキ 長・19.8	表面は消耗あり。内面は滑らか。 自然消耗少ない。	表面に2条の織籠しき痕跡あり。右上に持 手穴あり。全体に下半の方が黒づむ。	
507-6	木製品 桶 側板	埋土 小欠あり	ヒノキ属 長・20.0	表面荒れ、内面滑らか。調査欠 損あり。その中の遺存はよい。	表面側に2条、織籠しき痕跡あり。それを 除き摩耗あり。	
507-7	木製品 桶 側板	埋土 小欠あり	ヒノキ 長・20.0	調査時以降の欠損が右下にあ り、全体に自然消耗少。	表面に荒れ多く内面に少ない。表面2条に痕 跡があり、それを除いて摩耗あり。	
189-19-12	木製品 桶 側板	埋土 自然消耗少	ヒノキ 長・19.8	部分的に調査時以降の欠損あ り。表面荒れ、内面滑らか。	表面側に織籠しき痕跡が2条あり。それを 除く側部の荒れあり。表面に刃削傷条あり。	
508-1	木製品 桶 側板	埋土 小欠あり	ヒノキ属 長・19.8	調査時欠損小破あり。表面荒れ 多く、内面滑らか。	表面に織籠しき個所が上方に1カ所あ り、それを除いて摩耗の感あり。	
189-19-12						

6区第1号井戸跡

埠図番号	種別	出土位置	度目(cm)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
回収番号	器種	遺存度	量目(g)			
508-2	木製品	埋土 側板	ヒノキ 完形	ヒノキ 長・19.8	外面荒れ、内面滑らか。自然消耗少。	表面に筋の脈跡らしき色の変化2単位あり。 それを除き表面は摩耗の感あり。
508-3	木製品	埋土 側板	ヒノキ 小欠あり	ヒノキ 長・17.9	虫歴は旧時。右側が裏面でやや荒れている。	寄木の底板の一単位で、釘留あり。釘は竹か不明。厚手の底版。
508-4	木製品	埋土 底板	スギ 自然消耗有	スギ 直径・18.6	縁部は自然消耗あり。表面荒れ少なく、裏面の荒れ多い。	柄底板の一部で寄木の釘2本あり。竹か他材か釘種不明。
508-5	木製品	埋土 底板	ヒノキ 小欠あり	ヒノキ 径・19.6	表面の荒れ少なく、裏面の荒れ多い。裏面に調査傷と割れ口。	表面は面として平滑であるが旧時の虫歴多め、さらに背面に2条の円凹痕あり。
509-1	木製品			ヒノキ 径・19.2	近完存で、周囲表・裏面は少し消耗気味。	内・外に切削傷板あり。木取りは板、年輪は1568前後。
509-2	木製品	埋土 底板	ヒノキ属 欠損少	ヒノキ属 径・21.5	調査時欠損少ない。木目込み、年輪358本。	表・裏面に薄らしき付着物あり。表面に刃物傷多く俎板用か。本来櫛小形か。裏に櫛穴。

6区第2号井戸跡

埠図番号	種別	出土位置	度目(cm)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
回収番号	器種	遺存度	量目(g)			
510-1	木製品	埋土 側板	ヒノキ 完存	ヒノキ 長・21.2	外面側荒れ、内面滑らか。自然消耗少。	外面に筋を思わせる2条の色変あり。持手材受け柄穴の裏面に円形断面の持手の消耗あり。
510-2	木製品	埋土 側板	ヒノキ 完存	ヒノキ 長・18.9	両小口少し消耗。	最下部と、上方にタガ痕らしき色変と消耗の少ない個所あり。その他少し荒れあり。
510-3	木製品	埋土 側板	ヒノキ 2/3	ヒノキ 長・17.0	外面側荒れ、内面滑らか。自然消耗少。欠損は調査時。	下方に筋を思わせる色変あり、それを除く個所との摩耗差は少ない。釘穴は内に細くなる。
510-4	木製品	埋土 側板	ヒノキ 小欠あり	ヒノキ 長・16.6	外面側荒れ、内面滑らか。自然消耗少。小欠は調査時。	外面に筋を思わせる2条の色変と、それを除く個所に摩耗あり。釘穴は外から内に細い。
510-5	木製品	埋土 側板	スギ 小欠あり	スギ 長・15.9	外面側荒れ、内面滑らか。自然消耗少。小欠は調査時。	外面に筋を思わせる色変2条あり。それを除く個所の摩耗あり。釘穴は外から内へ細い。
510-6	木製品	埋土 側板	スギ 上方欠損	スギ 長・17.7+α	外面側荒れ、内面滑らか。自然消耗少。上方調査時欠損。	上方が内厚となり1.1cmを測る。年輪は大まか。上方に節目あり。
510-7	木製品	埋土 側板	スギ 小欠あり	スギ 長・17.0	外面側荒れ、内面滑らか。自然消耗やや多。欠損は調欠・旧欠。	筋の色変不明瞭。外面は特に荒れ。年輪浮き出す。
510-8	木製品	埋土 側板	スギ 完存	スギ 長・16.6	外面側荒れ、内面滑らか。自然消耗少。	外面に筋を思わせる色変2条あり。それを除く個所は消耗あり。
510-9	木製品	埋土 側板	ヒノキ 小欠あり	ヒノキ 長・17.4	外面側荒れ、内面滑らか。自然消耗少。欠損は調査時。	外面に筋を思わせる色変2条あり。それを除く個所に摩耗あり。
510-10	木製品	埋土 側板	ヒノキ属 半欠	ヒノキ属 長・16.3	外面側荒れ、内面滑らか。自然消耗少。	外面に筋を思わせる色変2条あり。それを除く個所でも摩耗少。
510-11	木製品	埋土 側板	スギ 側半欠	スギ 長・16.9	外面側荒れ、内面滑らか。自然消耗少。	欠損しているのは不明確。表に2条の筋跡あり、それを除く表面は摩耗気味。
510-12	木製品	埋土 側板	スギ 完存	スギ 長・17.1	外面側荒れ、内面滑らか。自然消耗少。	外面に筋を思わせる色変の変化あり。側板の単位とすれば狭いが側板は旧材面。
510-13	木製品	埋土 側板	スギ 完存	スギ 長・17.2	外面側荒れ、内面滑らか。自然消耗少。	外面に筋を思わせる色変2条あり。幅の狭い材であるが、欠損ではない。
511-1	木製品	埋土 製作台	アカマツ 完存	アカマツ 長・23.1	全体に旧態をとどめる。図奥小口は剥皮の痕跡なし。	製作台であったらしく表面に細・太の刃傷、裏面に叩きの凹凸のような痕跡あり。
511-2	木製品	埋土 箱材	サワラ 半欠か	サワラ 長・45.2	全体に消耗あり。時に右側部は自然消耗少。	横などの箱材か。下小口、左側部に鉄釘あり。下小口は受けの板厚を示唆。
511-3	木製品	埋土 板状	ケヤキ 半欠か	ケヤキ 長・47.1	全体に消耗あり。下方は旧態。表面に摩耗あり。	年輪の目つむ。上方右端部に使用摩耗が不明の消耗あり。右端中央に削込み、下方削目。
512-1	木製	埋土 小欠あり	広葉樹 小欠あり	広葉樹 長・84.0+α	上方の少部分は調査時欠損。樹皮は旧時に削られ、削痕がある。	丸木状であるが削目が各所にあり、下方に削穴が丁寧に設けられ、小口に受け削込みあり。建築材か
190-6						
512-2	木製	埋土 部分材	広葉樹 部分欠損	広葉樹 長・23.5	上・下に調査時欠損あり。約半分に黒色変化あり。自然消耗少。	樹皮は旧時に削られ、部分的に削目あり。多くに使用摩耗があり、日常的な個所の部材か
192-9	建築材					
512-3	木製品	埋土 底板	針葉樹 1/4	針葉樹 長・28.6	全体に消耗大。木理は浮き出る。向小口は旧状態上に丸い。	木理浮き出る。小口の一部に削目あり。年輪は5条前後。
192-4-12						
513-1	木製品	埋土 先端欠損	クリ 長・25.4	クリ 長・25.4	上部は新古の欠損か不明。全体に消耗少。	梢平部中央に小部分炭化あり。軸部には削面らしき痕跡あり。やや墨水を思わせる。
191-5-12	木材					
513-2	竹籠	埋土 部分材	マダケ 部分材	マダケ 部分残存	出土時は編まれた側所を認め、まとまっていたといふ。	513-4図と同じ

6区第2号井戸跡

探査番号	種別 固版番号	出土位置 遺存度	度目(cm) 量目(g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
513-3	竹 籠	埋土 部分材	マダケか 部分残存	出土時は編まれた個所を認め、 まとまっていたという。	513-4 団と同じ	
513-4	竹 籠	埋土 部分材	マダケか 部分残存	出土時は編まれた個所を認め、 まとまっていたという。	団は、最長材と籠材最端部を選択。一部籠材 端部は、黒味強く、製作時の熱処理か。	
193-4	竹 籠	埋土 部分材	マダケか 部分残存	出土時は編まれた個所を認め、 まとまっていたという。	513-4 団と同じ	
513-5	竹 籠	埋土 部分材	マダケか 部分残存	出土時は編まれた個所を認め、 まとまっていたという。	513-4 団と同じ	
513-6	竹 籠	埋土 部分材	マダケか 部分残存	出土時は編まれた個所を認め、 まとまっていたという。	513-4 団と同じ	
193-3	竹 籠	埋土 部分材	マダケか 部分残存	出土時は編まれた個所を認め、 まとまっていたという。	513-4 団と同じ	
513-7	竹 タガ	埋土 部分材	竹 長・18.2	節 1 カ所。出土時は編まれてい たという。	端部は炭化し尖る。横断面形楕円状をなす。 表皮しっかり残存。	
193-8	竹 籠	埋土 部分材	マダケか 部分残存	出土時は編まれた個所を認め、 まとまっていたという。	513-4 団と同じ	
513-9	竹 籠	埋土 部分材	マダケか 部分残存	出土時は編まれた個所を認め、 まとまっていたという。	513-4 団と同じ	
513-10	木製品 底板	埋土 1/3	ヒノキ 長・26.7	器面、全体消耗大。両小口は旧 状以上に丸みびびる。	両側部に木か竹状の釘痕あり。器表面の残存 状態不良。表面の状態や良。	
192-4-1-2	木製品	埋土 破片	カヤ 長・11.8	全体に消耗。下部は大きく欠損。 上方に 2 つ釘穴あり。木取りは表・裏とも平 らで木理は伝統。	上方に 2 つ釘穴あり。木取りは表・裏とも平 らで木理は伝統。	
192-2-1-2	木製品 側板	埋土 破片	カヤ 長・12.9+α	周囲上方は旧時欠損。全体に消 耗嚴重。	外側部ともに削り落す。左側部のみ底状側 部を残し、右側は欠損面。	
513-12	木製品 側板	埋土 破片	カヤ 長・12.9+α	周囲上方は旧時欠損。全体に消 耗嚴重。	周囲上方に削り込み様の剥みあり。便宜的に 利用の材か。	
513-13	木製品 加工木	埋土 上下欠損	クリ 長・12.3+α	上下端調査時以降欠損。部分的 に樹皮残存。	周囲上方に削り込み様の剥みあり。便宜的に 利用の材か。	
513-14	木製品 加工木	埋土 破片	スギ 長・15.0	周平面側に樹皮の残存なし。両 小口端部で調査時欠損か。	周平面側はやや新鮮。	
513-15	木製品 側板	埋土 破片	ヒノキ 長・13.05+α	全体に大きく消耗あり。	外表面中央より上方に消耗の凹みがあり、周 囲は旧時欠損。	
513-16	木製品 側板	埋土 下端欠損	ヒノキ 長・19.5+α	下方新しい欠損で調査時欠損 か。	外表面中程より上方に 1 カ所、最下方にタガ底 様の色変あり。木理は細かい。	
192-4-1-2	木製品	埋土 部分残存	ブナ属 小口	器面、全体消耗大。両小口は旧 状以上に丸みびびる。	全面に朱漆を塗布。外表面底部に「花」の墨書き の文字を施す。	
514-1	木製品 椀	埋土 部分残存	ブナ属 小口	ブナ属 小口	全面に朱漆を塗布。外表面底部に「花」の墨書き の文字を施す。	
514-2	竹製 筒	埋土 筒	竹 長・6.4	竹か縦竹か不明。両小口は旧状。 発掘後の乾燥とビ内面にあり。	筒状をなし箇所に 13 点の同類があり、おそらく 同一個体で筒状をなしていたか。	
514-3	竹	埋土 筒	竹 長・8.6	筒状の部材片。側部、両小口際 人為摩耗。	内面側、側部に人為による削り目あり。旧形 筒で、削って再使用の可能性あり。	
514-4	木製 筒状	埋土 筒	ハチクか 小穴あり 長・5.5	2 つに分かれ、半欠品。	中央部に摩耗あり。器内は少しそがれている。	
192-5-1-2	木製 筒状	埋土 筒	ハチクか 小穴あり 長・5.5	ハチクか 小穴あり 長・5.5	中央部に摩耗あり。器内は少しそがれている。	
514-5	木製 筒状	埋土 筒	ハチクか 小穴あり 長・5.5	8 個に割れ、接着に小穴あり。	上方に方形の削り込みあり。中央に摩耗部あり。 器内は少しそがれている。	
514-6	木製品 火鉢	埋土 旧小穴	サツラ 長・7.4	大きく旧時に削れた小片で、部 分調査時欠損あり。	側部・小口・表・裏は旧状面。側部・表・裏 面は極めて平坦。	

6区第3号井戸跡

探査番号	種別 固版番号	出土位置 底深	度目(cm) 量目(g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
515-1	軟質陶器 手筋	埋土 1/4	口・(36.2) 底・(35.8)	酸化。並。にぶい黄橙 10YR6/4。 白色粘合。	内耳付着。内面無地。口縁部周辺擦り。底面 石目状の型削。底煤なし。	19・20 C 小泉燒か
193-9	軟質陶器 手筋	底部 1/2				
516-1	軟質陶器 火鉢	埋土 破片	口・(22.0)	還元。並。黒 7.5Y2/1。並。 やや粗。鉛物合。	各面に印文(絵条か)あり。内面輪郭目。口 縁部研磨。全体に黑色焼かかり。焼成 3 層。	破片 小泉燒か
516-2	軟質陶器 手筋	埋土 底深 1/2	口・(16.4)	還元。並。灰 黑 2.5Y7/2。並。 粗。白・褐粘合、鉛物少。	内面に輪郭右回転の輪郭目あり。外面上に印文 (絵条か)。糞削り底。内・外黒色焼、焼 3 層。	接合 4 片 小泉燒か
193-10	軟質陶器 手筋	底部 1/2				
516-3	軟質陶器 手筋	埋土 底部 1/4	口・(16.0)	還元。並。黄赤 2.5Y4/1。並。 やや粗。黒褐粘。白粘合、鉛物少。	内面に輪郭目あり。底面に石目状の型削あり。 全体外面上に略状模様の施文あり。内・外焼。	小泉燒か
193-8	軟質陶器 手筋	底部 1/4				
516-4	軟質陶器 こね跡か	埋土 1/4	口・(35.2)	酸～還。並。黒褐 10YR3/1。 並。やや粗。鉛物合。	黒色塗が内面～口縁にあり。内面研磨。輪郭 の回転方向左あり。焼成 5 層気味。焼付着。	接合 6 片 小泉燒か
193-12	軟質陶器 火鉢	埋土 破片	底・(23.4)			
517-1	軟質陶器 火鉢	口・(38.0)		酸化。並。黄赤 2.5Y3/1。並。 やや粗。白・褐粘合、鉛物少。	口縁～内面黒色。内面研磨あり。外側周辺横擦。 輪郭右回転。焼成 5 層。	破片 小泉燒か
517-2	軟質陶器 火鉢	埋土 破片	口・(40.4)	酸化。並。黄赤 2.5Y4/1。並。 やや粗。白・褐粘合、鉛物少。	内面上方～口縁外面ハゼ。内面下方研磨痕と 黒色吸染。外側下方輪郭右回転。焼成 5 層。	粘。2 片 小泉燒か

6区第3号井戸跡

埠頭番号 回収番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
517-3 193-13	軟質陶器 火鉢	口縁部片	口・(46.0) 底・(36.0)	還~酸。硬。 並。やや重。白色粒・鉄物微。	輪轍左回転か。外面下方石目状。口縁部周辺 回転研削・黒漆塗。焼成5層で外面焼強い。	取和初か 小泉焼か
517-4 193-11	軟質陶器 火鉢台付		底・(31.0)	還。並。暗オリーブ灰2.5GY 3/1。	底面に石目状の型崩。台部の接合は体部側に 同心円溝を3条刻む。脚部外表面研磨。全体焼か	接合2片 小泉焼か
518-1 194-1	軟質陶器 火鉢	埋土 底・脚部	底・35.2	還~酸。並。オリーブ灰5Y3/2 並。やや重。鉄物含。	内面に●の符号押印。裏面は石目状の型崩。 高台外表面研磨。焼成5層。外面光沢焼。	接合15片 小泉焼か
519-1 519-2	軟質陶器 茎輪	径・(32.8) 高・3.6	還元。並。炭灰2.5YR5/2. 相。輕。白・褐粒合。他鉄物少。	外面上に輪轍・單付着。平縁に押印「小林」。割れ 口にも保有着し、破損後も使用。	小泉焼か 19・20°C	
519-2 519-3	軟質陶器 茎輪	径・(34.8) 高・3.2	還元。並。橙5YR7/6。並。 並。やや重。鉄物少。	内面にやや黒化あり。それを除え全体に煤付 着。割れ口にも保有。破損後も使用。	小泉焼か 19・20°C	
519-3 519-4	軟質陶器 茎輪	径・(34.8) 高・4.1	還元。並。褐灰10YR6/1。並。 並。やや重。白色粒合。鉄物少。	全面に保有者。焼成は胎土側が3層気味で表 面に煤。焼あり。	小泉焼か 19・20°C	
519-4 519-5	軟質陶器 茎輪	径・(35.4) 高・3.0	還元。並。炭灰荷10YR6/2. 並。やや重。白・褐粒合。他少。	内面と平部に煤付着。焼成は、外側の煤と焼 付を加え、芯黑色。その外側無化となる。	小泉焼か 19・20°C	
519-5 519-6	軟質陶器 茎輪大形	径・(36.6) 高・3.4	還元。並。にい青10YR7/4. 相。輕。同粒合。他少。	内面、平部に單付着。破損後も使用。割れ口 に煤付着。	小泉焼か 19・20°C	
520-1 193-7	軟質陶器 壇火鉢	埋土 破片	口・8.7 底・3.9	酸化。輕。透明調。胎土灰黄 2.5YR7/2。	内面と外部近に透明調輪。外側下半から 底面輪轍右回転の質剝。	18°C以降 発明不確
520-2 520-3	磁器 香炉	埋土 破片	口・(7.0)	還元。矮。釉淡青(ペロ藍調)。 胎土白。	内面釉焼、足底状に発色。ルリ釉調は厚く生 掛りにじむ。外表面端など釉厚で明暗あり。	中国・國 美濃不確
520-3 520-4	陶器 瓶	底部	底・(7.2)	中。矮。釉淡青(ペロ藍)。淡黄 灰(透明調)。胎土褐灰。	内面に梅花文の染付あり。透明調の胎は内面 のみ。外面無釉。外面被熱吸成。	19・20°C 地方窯
520-4 520-5	施釉陶器 瓶	埋土 底部片	口・(15.0)	酸化。經。釉茶褐(鉢光沢)。 胎土灰黄。	内・外面に鉢光。体部上方に輪轍目あり。2 単位の黒輪轍掛あり。内面トチ痕。	18~20°C 美濃か
520-5 520-6	施釉陶器 鉢	口・(32.8)	還元。矮。釉淡褐(灰白5Y7/2)。 淡青綠(開口)。胎土灰。	外面に淡青釉輪の掛け流し、内・外面の地は 淡褐焼。内・外輪轍目。片口部分は見えない。	接合2片 18~20°C	
520-6 520-7	施釉陶器 鉢	埋土 底部片	底・(15.5)	中性。矮。釉茶褐。胎土灰黄。	胎か瓶か。外面下方と高台部を除き施釉。高 台は貼付。	18~20°C 美濃
520-7 520-8	施釉陶器 灰灰釉	埋土 破片	高・(6.6) 底・(9.7)	中性。經。釉茶褐(鉢)・黑。 胎土黄灰。	高台付近に輪轍を施釉。茶褐色中に黒色胎の胎 流あり。高台貼付。	18~20°C 美濃
520-8 194-2	陶器 灰釉	埋土 底・(8.8)	口・(16.0) 底・(8.8)	酸化。經。釉透明調。胎土黄灰。	藍受け、外側下の方~底を除き輪轍。露胎部煤 付着。持手は空洞。割れは旧欠。	18~19°C 美濃か
520-9 193-6	施釉陶器 鉢	埋土 底・(15.0)	最大・19.0 高・(15.0)	還~中。經。釉淡青茶緑(鉢輪 調)。胎土淡黄灰。	胎面を欠くが、意識的かは不明。体部に輪轍 目発達している。天井に把手あり。	18~19°C 美濃か
521-1 194-3	磁器 壺	埋土 1/4	口・(6.4) 底・(3.0)	還元。矮。釉白磁物のみ淡々青 緑。胎土白。	外面に小輪轍あり。高台端部を除き白磁物。 盤か挽物か不明。	19~20°C 伊万里系
521-2 194-3	磁器 壺	埋土 1/4	口・(6.4) 底・(2.7)	還元。矮。釉外青磁物(クロム か)・黑(鉢)、内白磁。	胎土白色。外面に文字を黒、地は青磁物。内 面に白磁物。高台端部は無釉。	19~20°C 伊万里系
521-3 194-4	磁器 壺	埋土 ほぼ完形	口・6.7 底・3.2	還元。矮。釉濃紺(染付)。 白磁透明。	外部は部分的に6面取りあり。染付はペロ藍。 高台端部を除き基盤。	19~20°C 伊万里系
521-4 194-4	磁器 壺	埋土 箱口	口・(7.0)	還元。矮。釉淡緑(青磁物か)、 暗緑、黑。胎土白。	外面に梅花模様を磁土で、葉文を暗緑で、他に 暗黒を用い、外面に青磁物、内面に白磁物。	20°C 伊万里系
521-5 194-5	磁器 壺	埋土 1/2	口・(7.0) 底・(2.7)	還元。矮。釉淡青・白磁色淡 青白。胎土白。	外面に染付施釉あり。白磁物は高台端部を除き 施釉。	19°C 伊万里系
521-6 194-7	磁器 壺	埋土 2/3	底・3.2 口・(7.8)	還元。矮。釉淡緑(クロームか)。 胎土白。	高台端部を除き青磁物。外面に飛揚ナラ様の彫 り込み施文あり。胎は厚みあり。	19~20°C 伊万里系
521-7 194-8	磁器 小碗	埋土 1/2	口・7.3 底・3.6	還元。矮。染付淡青・白磁色 白灰。胎土灰灰。	外面に菊花・星文、内面に斜格子ほか染付施 文。白磁物は高台端部を除く。	18~19°C 瀬戸か
521-8 194-9	磁器 小碗	埋土 1/2	口・9.0 底・3.2	還元。矮。釉朱(赤鉢)、空、黒、 黄以上上繪。胎土白。	外面に赤絵を中心4色の色絵が施される。 内面赤1条。高台端部を除き白磁物施される。	18~19°C 伊万里系
521-9 194-10	磁器 染付	埋土 1/2	口・11.0 底・3.5	還元。矮。釉染付濃紺、白磁物 白。胎土白淡灰。	内・外面上に墨印判による染付刷絵あり。高 台端部を除き白磁物。	明治 瀬戸か
521-10 194-11	磁器 皿	埋土 2/3	口・11.8 底・4.1	還元。矮。釉染付濃紺、白磁色 白。胎土白。	外面に唐草・雷文など、内面に桜花の型押印 判刷絵あり。白磁物は高台端部を除く。	伊万里系
521-11 194-12	磁器 水桶	埋土 破片	長・4.3+α	還元。矮。釉淡青(染付)、透明。 胎土白。	裏面に細かい布目付着し、型押か。表面に型 押文あり。内面無釉。表面に染付。	国産か 16°C以降

6区第3号井戸跡

博団番号 固版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目(cm) 量目(g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
521-12	施釉陶器 鉢	埋土 破片	厚・0.8	還元。硬。釉茶褐(光沢のある 鉄釉)。胎土灰白Y7/2。	底面に布目付着し、型物。内面に鉄釉かかる。 平線は滑削で部分的に鉄釉(布目)。	19・20C 産不明
521-13	磁器	埋土 1/3	口・(12.1) 底・(7.5)	還元。緑。釉染付濃赤、白磁釉 白。胎土白。	内面に施釉斑を染付。外面上文字ほかの染付 あり。高台端部を斑き白磁釉を施す。	大正 伊万里系
521-14	磁器	埋土 1/4	口・15.5 底・8.5	還元。緑。染濃赤、白磁釉淡青 白。胎土白。	内・外面上に型紙印判染付あり。白磁釉は高台 端部、高台内面側を除き施す。	明治 伊万里系
521-15	磁器	埋土 2/3	口・14.9 底・9.6	還元。緑。釉染付濃赤、白磁色淡 黄灰。胎土白。	内面三友・加輪ほか、外面上宝尽の型紙印刷 染付あり。高台内面蛇目。	明治 伊万里系
521-16	磁器	埋土 3/4	口・13.8 底・9.0	還元。緑。釉染付淡青、白磁釉 青白。胎土白。	内面に花ほか加輪、外面上草葉を染付施す。 底面は蛇目。内面に使用傷多い。	18C 伊万里系
521-17	磁器	埋土 3/4	口・14.6 底・8.5	還元。緑。釉濃赤、白磁釉青白。 胎土白。	内面に櫻瓣底を染付。ロ縁部に口銘あり。 高台端部から底う内面無輪、口縁菊花様。	19・20C 伊万里系
522-1	磁器	埋土 栗子重 小片	径・(16.0)	還元。緑。釉淡青(栗子、ベロ 藍)、白磁釉白。胎土白。	内・外面上白磁釉。外面上濃青色の染付あり。 割れ口消済。	19・20C 伊万里系
522-2	磁器	埋土 盒合子 ほぼ完形	口・15.3 底・14.3	還元。緑。釉濃赤、白磁釉淡青白。 胎土白。	外面上に扁文を中心として染付施す。口縁端部、下 方端部を除いて白磁釉施す。	明治 伊万里系
522-3	磁器	埋土 セリモ	高・(16.3) 底・10.0	還元。緑。釉淡濃赤、白磁釉淡青白。 胎土淡灰。	内面に草花を染付。内面・高台端部を除 いて施す。内面上の輪目は右回転。	19C 撇口か
522-4	磁器	埋土 口折深皿 1/6	口・24.0 底・11.7	還元。緑。釉染付濃赤、白磁釉 白。胎土白。	内・外面上に型紙印刷染付による染付施すあり。明治 高台端部と高台裏面目部を除き無輪。	明治 伊万里系
522-5	瓦	埋土 枝軒瓦 ほぼ完形	長・29.2	還元。硬。灰5Y4/1。並。やや重。 白・磯粒合、他軸少。	瓦表面に雲母状の光沢あり。他はなし。内・ 外面上に僅かかかる。裏面は型状のざらつき。	深谷か 深谷か
522-6	瓦	埋土 瓦当部 枝軒瓦	径・7.2	還元。並。灰4Y0R4/1。並。 やや重。磯円粒合。	雲母状の光沢材附り。外面上僅少しり、 瓦底部とのつき合わせはカキヤブリ。	20Cか 深谷か
522-7	施釉陶器 皿	埋土 ほぼ完形	口・12.9 底・4.0	酸化。緑。黒墨(鉄鉱)、暗灰(長 石)。胎土暗赤。	高台表面に4カ所の目印あり。内面上に蝶文らしき 施すほか鐵鉱。外面上下方へ高台裏まで瀝す。	16後~17 C。屏津
523-1	瓦	埋土 枝瓦 1/2	幅・26.3+α	還元。並。灰 N4/0。並。やや重。 灰粒合、他軸少。	表面は雲母状の光沢あり。裏面に型痕様の压 板。焼成は僅がき、5層気味。	19・20C 深谷か
523-2	瓦	埋土 枝瓦 1/2	幅・21.2+α	還元。並。灰7.5Y4/1。並。 やや重。黑褐色粒、軸物合。	表面に雲母状の光沢あり。裏面型様に少し凹 凸、押しつどりあり。黑色焼かかかる。	19・20C 深谷か
523-3	瓦	埋土 枝瓦 1/2	厚・1.3	還元。並。灰 N4/0。並。白軸、 白軸物合、他少。	表面に雲母状光沢と研磨光沢あり。裏面にざ らつきと焼あり。全体に黒色焼。	深谷か
524-1	瓦	埋土 枝瓦 1/2	厚・1.4	還元。並。灰 N4/0。粗。やや重。 白色粒、黒軸物合。	表面雲母帶付し、滑らか。裏面ざらつき、 施成志黒色、表面焼で5層気味。	小京焼か 深谷か
524-2	瓦	埋土 枝瓦 1/2	幅・23.2	還元。並。灰7.5Y5/1。並。 中重。灰粒合、軸物少。	黑色焼瓦が、二次原因により灰色に。表面す こし消済。裏面に水アカ様。	19・20C 深谷か
524-3	瓦	埋土 枝瓦 1/3	幅・24.8	還。並。暗オリーブ灰2.5G3/L。 並。やや重。白・灰粒合、軸物少。	四面は雲母状の光沢あり。裏面に型痕らしき 施す。焼成は僅かに5層気味。	19・20C 深谷か
525-1	瓦	埋土 枝瓦 1/2	長・23.3+α	還元。並。灰7.5Y6/1。並。粗。 黑粒、軸物多。	種化粧瓦か。凹面面筋とその下に型痕状。	19・20C 深谷か
525-2	瓦	埋土 枝瓦 1/3	長・28.4	還元。並。明7.5Y5R/8。並。 粗。黑粒合、軸物少。	種化粧瓦か。土管や。凹面面筋条痕。凸面尻 に重ね突。突起接合面見え。裏面焼成い研磨。	19・20C 深谷か
526-1	瓦	埋土 種不明 1/2か	長・30.7	還元。粗。灰4Y0R4/1。粗。 粗。角閃石、軸物合。	焼成は外面焼成で割れ口は5層。凸面は石目 型の型痕あり。調は焼成前の穿孔あり。	19・20C 小京焼か
526-2	瓦	埋土 種不明 1/2	長・30.2	還元。並。オーリーブ灰2.5Y3/L。 並。やや粗。白・褐粒、軸物合。	大焼飾り瓦か。隅に、焼成前孔1。裏面に石 目状の型痕、砂付着。焼成表面焼で5層状。	19・20C 小京焼
527-1	瓦	埋土 十能瓦 3/4	厚・27.0 幅・30.8	還~中。並。にぶい黄2.5Y6/3。 粗。粗。白・褐粒合、軸物合。	裏面に石目状の型痕。表面に撒痕。側部・ 小口は横擦整形。焼成は芯黒色3層気味。	接合16片 小京焼
527-2	瓦	埋土 十能瓦 3/4	厚・27.2 幅・(29.9)	還~中。並。にぶい黄2.5Y6/3。 粗。粗。白・褐粒合、軸物合。	裏面に石目状の型痕。表面に撒痕。側部・ 小口は横擦整形。焼成は芯黒色3層気味。	接合8層 小京焼
528-1	瓦	埋土 十能瓦 2/3	厚・28.3 幅・31.8	還~中。並。灰2.5Y6/2。粗。 粗。白・褐粒合、軸物合。	裏面に石目状の型痕。表面に撒痕。側部・ 小口は横擦整形。焼成は芯黒色3層気味。	接合9片 小京焼
528-2	瓦	埋土 十能瓦 1/2	厚・27.2	還元。並。灰2.5Y7/2。並。 やや粗。白・褐粒合、軸物合。	四面は撒痕。裏面に石目状の型痕と離れ砂付 着。焼成は芯が黒色気味で、表面灰色の3層。	19・20C 小京焼
529-1	瓦	埋土 十能瓦 3/4	厚・27.1 幅・23.5+α	還~中。並。黄2.5Y5/3。 粗。白・褐粒合、軸物合。	裏面に石目状の型痕。表面に撒痕。側部・ 小口は横擦整形。焼成は芯黒色3層気味。	接合5片 小京焼
529-2	瓦	埋土 十能瓦 1/2	長・26.7	還元。並。灰2.5Y7/2。並。 粗。白・褐粒合、軸物合。	四面は撒痕。裏面に石目状の型痕と離れ砂付 着。焼成は芯黒色で3層気味。	19・20C 十能瓦

6区第3号井戸跡

埠団番号	種別	出土位置	度目(cm)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
四番号	器種	遺存度	量目(g)			
529-3	瓦	埋土	長・27.7	選元。赤、黒N2%。並。絆。	凹面は凝縮。裏面に石目状の型崩と離れ砂付着。	19・20C 十能瓦
198-4-1+	十能瓦	1/3		白色絆・鉛物合。	焼成は櫻強く、5層気味。	
529-4	瓦	埋土	長・14.5	選元。赤。灰質2.5Y7/2。並。	表面に凝縮。裏面に石目状の型崩と離れ砂付着。	19・20C 十能瓦
十能瓦		1/4		絆。白・黒粒、鉛物合。	焼成は、芯黒色気味で3層。	
530-1	石器	埋土	凝灰質灰岩	長・9.0 横・6.5 厚・2.5	底部の多く旧欠。	残存部には墨痕多く付着。
195-2-1+	楕	1/2	140g		底部中央に墨痕の凹部生じる。	裏面平手。
530-2	石器	シルト岩	長・7.6 厚・1.8			
195-4-1+	楕	1/2	130g			
530-3	石器	埋土	砂岩	選存長・12.9 幅・9.1		
195-6	砥石	一部欠損	1930g	厚・10.75	使用は、表・裏の2面。両小口と側面の整形	丸砥 転用材か
					は異なり、その際右側部が削り込み面。	
530-4	石製品	埋土	溶結凝灰岩	徑・32.0	挽手穴あり。裏面に目跡あり。大きな挽目で	
石臼 上臼		1/4	3960+α		分割少か。割れ口は消耗大である。	挽手穴
530-5	石製品	埋土	溶結凝灰岩	徑・36.4	物くばり。挽手穴、輪受けの凹み、周縁な	
石臼 上臼		1/2	6040+α		どあり、目なし気味。割れ口大きく消耗。	挽手穴
531-1	石造品	角閃石	安山岩	選存長・19.35 幅・20.1	石割り荒く、下方と裏面に残存。上面に回転	
五輪 地輪			13709g	厚・17.0	石面あり。整形側面・上面が整い裏面荒い。	
531-2	石造品	埋土	粗粒輝石安山岩	叢・21.5 横・21.5 高・16.6	表面は摩耗あり。裏面使用。裏面荒い形で他の	角閃石多 硬 粗
五輪 地輪			1400g	5面はナラシの整形。表面削れあり。		
532-1	石造品	埋土	粗粒輝石安山岩	長・20.5 厚・18.3	基面は粗加工のままで。その他4面はナラシの	風化不明
五輪 地輪	近完存		10680g	整形・上面が最も整う。小欠は製作時か不明。		
532-2	石造品	埋土	粗粒輝石安山岩	長・21.4 幅・20.8	角閃石を多く含み、硬質、重い。	
五輪 地輪	1/3		7150g	高・12.5+α	基面を除き4面は整形あり、基面やや凹み。	
533-1	石造品	埋土	粗粒輝石安山岩	選存長・21.5 幅・21.3	裏面整形最も荒く、上面は研磨の形跡があり、	
五輪 地輪	ほぼ完形		14900g	厚・16.9	旧時転用か。裏面の一部にも研磨跡。	
533-2	石造品	埋土	粗粒輝石安山岩	叢・23.0 横・23.2 高・18.3	底面の粗整形を除く5面は整形。底部に小	
五輪 地輪	完存		20560g	欠損あり。少し風化削れを感じる。		
534-1	石造品	埋土	粗粒輝石安山岩	長・23.2 幅・23.0 高・18.5	硬質、重い。基面を除き5面に整形あり。基	
五輪 地輪	完存		20550g	面はやや中凹み。上面はいく分使用摩耗あり。		
534-2	石造品	埋土	溶結凝灰岩	長・25.2 厚・14.5	2次転用されおり、旧材面の選存部は少な	
五輪 地輪	2/3		13110g	い裏は浅い凹溝状を呈するが転用機能不		
535-1	石造品	覆土	粗粒輝石安山岩	最長・41.7 厚・12.2	い。側面は六面体になし、各面に梵字を刻む。面	
195-8	打窓台	近完形	22800g	整形は裏面が5面粗。作調は端正。		
536-1	木製品	埋土	アカマツ	各面とも旧状。木理細かい。	片小口は側面目跡あり。片面に樹皮の残存なく、割れ目先端。	
196-3-1~3	木端		幅・8.6			
536-2	木製品	埋土	スギ	乾燥剤は、調査時以降。そのほか丸みは自然消耗。	旧材は建築材らしく釘穴様の小穴あり。組木	
196-9-1~2	木端		長・10.2	状の作り出しが人為。裏面は平滑。		
536-3	木製品	埋土	スギ	端部は自然消耗。木目浮き出す。	旧状が製品から不明。針葉樹材のため剥げた。	
196-5-1~2	木端	近完存	長・5.2	厚さは、旧材か板状であったかもしない。		
536-4	木製品	埋土	アカマツ	全体の自然消耗は少ないものの、裏面節端が切断面か不明。	表面の節理部は、刃物切断面。全体的には節部の抜け落とし材のようである。	
196-7	木端	完存	長・5.7			
536-5	木製品	埋土	針葉樹	全体に消耗少ない。木理部材残存。	天小口は削り面をなす。下部の尖部の削り目	
196-8	棒状		長・18.2		は不明瞭。樹皮剥離なし。	
536-6	木製品	埋土	スギ	欠損小口は旧欠消耗。小口は虫喰い跡。表面荒少。	片小口、両側部残存。薄板で製品部材の可能	
196-10-1~2	板状		長・21.0+α		性あり。	
536-7	木製品	埋土	マツ	マツ属複数種混生	旧材は胚目の板材であった可能性があるが、	
197-2-1~2	板状	自然消耗	亞里	長・27.8	自然消耗に見える状態のため旧状不明。	
536-8	木製品	ヒノキ	旧状とどめる。	表面が外観。外	寄せ木で合せ目と木か竹釘あり。木理は平面	
198-5	底板	近完存	径・20.1	面は木端浮き出す。	上は板目。裏側に近心部の板目あり。	

6区第4号井戸跡

埠団番号	種別	出土位置	度目(cm)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
四番号	器種	遺存度	量目(g)			
537-1	無釉陶器	埋土	底・(23.3)	選元。釉暗赤褐(鉄釉)。胎土白色。	内面にトンボ模様あり。外面部と体部底下端を	19・20C 痕不明
199-1	甕か鉢	底1/2			削り施す。内面部部、外面部部無釉多。	
537-2	石造品	埋土	粗粒輝石安山岩	口・26.2 高・8.4	溝不明瞭。各面の整形違う。輪穴あり。割れ	
稻穀(上)	破片		1770g		口旧欠。石質はそう重くなく、硬くもない。	
537-3	木製品	埋土	スギ	全體に消耗少なく、摩耗状態明確。	内面側持手孔の摩耗顕著。外面部下方には、箇の痕跡が摩耗部との差で2条みえる。	
199-5-1~2	楕 側板	完存	長・22.6			

6区第4号井戸跡

博団番号 回収番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目(cm) 量目(g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
537-4 199-2-1-2	木製品 輪状	埋土 近完存	ウツギ 長・9.4	小口に調査時以降の小欠があるが ほぼ完存。幼年。	輪状で横断面円形。小口部挽目、円孔は、中 途で完せず。わずか削目あり。機能不明。	
537-5 199-3	木製品 木端	埋土 完存	トキリコ属 長・12.3	新しい欠損は少ない。目的約ん だ材質のため消耗も少ない。	表面面側は割れた側面。天側の小口は挽目 らしき条痕あり。	
537-6 199-4-1-2	木製品 桶 傾倒	埋土 小欠り	ヒノキ 長・13.8	全体に消耗少ない。裏面の方が やや消耗。外面は下方遺存良。	外面下方に筋跡に見える色の黒味と木目遺存 良の状態あり。年輪21本。	
537-7 199-6-1-2	木製品 桶 傾倒	埋土 小欠り	スギ 長・13.7	圓平面右下は調査時欠損。全体 に消耗し、遺存悪い。	圓平面表面側で裏面より消耗多い。下端は田 部で小口部に見え、浅い桶用の底板か。	
537-8 199-8-1-2	木製品 桶 傾倒	埋土 針葉樹	5.6+α	全体に消耗の跡あり。裏面は荒 れています。年輪は4本以上。	底板なら寄木の一単位相当であるが溝過ぎ る。側部、小口は旧状の面。	
537-9 199-9-1-2	木製品 桶 傾倒	埋土 多く欠失	長・5.2+α	調査以降の欠損を除き、旧状。 裏面は荒れ、消耗多い。	底板とすれば寄木材であるが釘穴見ええ。厚 さも薄手である。	
538-1 199-7-1-2	木製品 容器か	埋土 欠損微良好	モミ属 長・11.0	表面は乾燥時の木質に被われ る。部分的に、その割れがあり。	空洞部を利用した要らしさ。加工側面は明 瞭でない。	

6区第12号井戸跡

博団番号 回収番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目(cm) 量目(g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
542-1 土器質部 皿	埋土 口縁部片	口・(10.4) 底・(5.3)	酸化。硬。 褐・2.5Y7/6、粗。紅。 褐鉄、鈷物合。	輪形容成。底部は回転糸切り。体部外間に輪 縁目立す。黃斑あり。割れ口消耗。	17~19C	
542-2 軟質陶器 鉢か	埋土 口縁部片	厚・1.0	酸化。硬。 褐・2.5Y6/6、粗。紅。 褐鉄。	内部下方摩擦。外面に輪縁目。指圧痕。口縁 部周辺横擦あり。焼成は芯黒色の3層気泡。	15~18C	
542-3 軟質陶器 火鉢	埋土 口縁部片	口・(38.2) 底・(29.2)	還元。硬。灰5Y4/1。並。やや重。 白・黒粒合。他少。	内面と外面上方に研磨。外面の中央へ下方に輪 縁目。底成芯黒色。表面難で5層気泡。	18~19C 小泉窯	
542-4 陶器 香炉	埋土 底部片	底・(11.0)	中性。輕。輪黄褐。胎黄灰。	底面に足が1つ残る。底面は回転範囲。体部 内・外面と内面間に施釉あり。	18C前 瀬戸美濃	
542-5 施釉陶器 皿	埋土 底下部	底・6.2	酸化気味。輕。白釉土、黄灰透 明調。胎土黄灰	内面に白土の波状文（象嵌不規）と外間に薄 い透明調輪。蛇口内はベンガラで唐津写し。	17~18C 美濃	
542-6 陶器 鉢	破片	底・(12.0)	酸化。輕。白釉土象嵌。透明輪。 綠（網鉄）。胎土赤褐色。	内面に波状の標識を白土象嵌し、埋藏され きらに、綠と透けの輪流れあり。	17~18C 府津系	
542-7 磁器 塊	埋土 口縁部片	口・(11.3)	還元。輕。輪淡青（染付）。白釉 輪淡青々。胎土白。	外面草花文の輪付施文あり。白磁輪はやや青 みを及び、光沢によい。	18C 伊万里系	
542-8 磁器 塊	口縁部片	口・(12.0)	還元。輕。輪淡青（染付）、白磁輪。 白乳濁。胎土淡灰。	外面に淡青の鳥頭を用いた海鳥様の施文あり 。白磁輪によい光沢。	18C 伊万里系	
542-9 石製品 茶臼(上)	埋土 破片	粗粒輝石安山岩 70g	口・(18.0)	各面の整形は丁寧。割れ口は旧欠。表面が盛っ ているのは茶臼のためか。		
542-10 石製品 段鉢	埋土 破片	粗粒輝石安山岩 850g	口・(26.8) 底・(24.5) 高・(8.9)	石質は重く硬い。溝は見えず目撃。周縁少 し摩耗。割れ口は旧欠。		
542-11 石造品 火輪	埋土 完形	粗粒輝石安山岩 1636g	徑・25.7 高・18.3	硬質安山岩で煮る。白味の強い色調。整形は、 裏面がやや荒く、他は整う。		
543-1 石造品 板碑	埋土 左側部片	緑色片岩 1250g	長・29.6 厚・2.0	表面に蓮台、以下に正和□6月□日とあり、 蓮台の彫りは浅いU字状。割れ口凹、尖る。		
543-2 石造品 板碑	埋土 左側部片	緑色片岩 985g	長・19.9 厚・1.9	脛持の彫り込みあり。梵字の彫りはU字状。 割れ口は旧剥離、少し消耗。背面に焼付着。		

6区第14号井戸跡

博団番号 回収番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目(cm) 量目(g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
544-1 土船器 座	埋土 口縁部片	口・(21.0)	酸化。硬。明赤褐2.5YR5/8。	瓶部に接合面あり。器外表面は擦削り、内面は 擦痕で、口縁部は横擦でを施す。	接合3片	
544-2 石造品 石臼	埋土 破片	粗粒輝石安山岩 3865g	底径・26.5 高・15.5	硬質、重く、角内石入る。欠損旧時で割れ口 少し消耗。挽き溝端正さり。		
544-3 石造品 石臼の転用	埋土 破片	粗粒輝石安山岩 2790g	遺存長・23.5 幅・12.0	中世般白に見える下臼の転用で、用途不明。 裏面に再加工部、割れ口に旧打ち欠き。		
544-4 石 加工石材	埋土 一部欠損	溶結凝灰岩 26600g	遺存長・46.8 幅・27.5 厚・4.3	硬質の石材で、片口を除き整削。一部を歯 張り埋入。赤色調があり、石室石材転用か。		

6区第15号井戸跡

探査番号	種 别	出土位置	度目 (cm)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘 要	
回収番号		遺 存 度	量目 (g)				
545-1	土師質土器	埋土	口・10.7 底・5.9	酸化。並。にぶい黄褐色10YR7/4。 粗。輕。褐粒合、鉱物多。	輪軸成形(右回転)。底部は回転糸切り後、板状圧痕。内・外・面黃斑あり。	粘 中世	
200-2	土師質土器	埋土	口・(11.0) 底・(5.8)	酸化。並。にぶい橙10YR6/4。 粗。輕。白・褐粒合、鉱物少。	底部は左回転糸切り後板状圧痕。内面に一方向の指撫。	接合2片 粘 中世	
545-3	土師質土器	埋土	口・11.1 底・6.4	酸化。硬。橙5YR6/6。並。	底部は左回転糸切り。内・外・面底輪轍 目あり。	粘	
200-3	土師質土器	埋土	3/4	酸化。並。にぶい黄褐色10YR7/3。 粗。輕。白・褐粒合、鉱物多。	底部は左回転糸切り後、全体に厚手の作り。鉱物多く粗様。	接合2片 粘	
545-4	土師質土器	埋土	口・(11.2) 底・(6.4)	酸。並。にぶい黄褐色10YR7/3。 粗。輕。白・褐粒合、鉱物多。	輪軸成形。底部は左回転糸切り。全体に厚手の作り。鉱物多く粗様。	接合2片 粘	
200-6	土師質土器	埋土	3/4	酸化。並。橙7.5YR6/6。粗。 輕。白・褐粒合、鉱物少。	底部は左回転糸切りで、板状圧痕あり。内面底に指による一方向の撫。	粘 中世	
545-5	土師質土器	埋土	口・(11.4) 底・(5.4)	酸化。並。橙7.5YR6/6。粗。 輕。白・褐粒合、鉱物少。	輪軸成形(左回転)。底部は回転糸切り。内面底に指による一方向の撫。	粘 中世	
200-7	土師質土器	埋土	1/2	酸。並。にぶい黄褐色10YR6/4。 粗。輕。白・白色粒合、鉱物少。	輪軸成形(左回転)。底部は回転糸切り。内面底に少し纏かかる。	粘	
545-6	土師質土器	埋土	口・12.6 底・6.5	酸。並。にぶい黄褐色10YR6/4。 粗。輕。白・白色粒合、鉱物少。	輪軸成形(左回転)。底部は回転糸切り。内面底に少し纏かかる。	粘	
200-9	土師質土器	一部欠損	口・12.4 底・6.0	酸。並。にぶい黄褐色10YR7/2。 粗。輕。白・褐粒合、鉱物多。	底部は右回転糸切り後板状圧痕。内面輪轍の指撫あり。内面底一方向指撫。	接合3片 粘 中世	
545-7	土師質土器	埋土	口・12.4 底・6.0	酸。並。にぶい黄褐色10YR7/2。 粗。輕。白・褐粒合、鉱物多。	底部は左回転糸切り後、乾燥時の板状圧痕。内面底一方向指撫。	接合3片 粘 中世	
200-12	土師質土器	一部欠損	口・12.4 底・6.0	酸。並。にぶい黄褐色10YR7/2。 粗。輕。白・褐粒合、鉱物多。	底部は左回転糸切り後、乾燥時の板状圧痕。内面底一方向指撫。	接合3片 粘 中世	
545-8	土師質土器	埋土	口・(12.0) 底・(5.7)	酸。並。にぶい橙7.5YR6/4。並。 やや重。白・褐粒合、鉱物少。	底部は左回転糸切り後、乾燥時の板状圧痕。内面底一方向指撫。	粘	
200-11	土師質土器	埋土	1/2	酸。並。にぶい橙7.5YR6/4。並。 やや重。白・褐粒合、鉱物少。	底部は左回転糸切り後、乾燥時の板状圧痕。内面底一方向指撫。	粘	
545-9	軟質陶器 鋤鉢	埋土	口・29.2 底・12.2	軟。鐵。橙5YR6/8。密。 重。白色粒、鉱物多。	内面に波状文・御目、使用の頗るな摩耗、ハビテーションあり。底面穿孔、切離法不明。	16Cか 粘・陶	
200-14	軟質陶器 鋤鉢	埋土	厚・1.2	還元。鐵。灰7.5Y5/1。密。 やや重。白・褐粒・鉱物合。	内面にハゼ、下方に摩耗。口縁部の内・外面横擦、外面部中位以下、無と指圧痕。	14・15C 粘	
545-10	軟質陶器 鉢	埋土	口縁部片	厚・1.3	酸化。硬。黑褐色2.5Y3/1。粗。 輕。黑褐色合、鉱物少。	外面部ハゼ、横擦、指圧痕あり。内面回転条痕あり。燃成内・外焼の芯黒色で5層構造。	16Cか 粘
545-11	軟質陶器 焰壺	埋土	口縁部片	厚・1.3	酸化。硬。黑褐色2.5Y3/1。粗。 輕。黑褐色合、鉱物少。	外面部ハゼ、横擦、指圧痕あり。内面回転条痕あり。燃成内・外焼の芯黒色で5層構造。	16Cか 粘
546-1	軟質陶器 鉢	埋土	口・28.0 底・底部欠損	酸。軟。にぶい黄褐色10YR6/3。 粗。輕。白・白粒・鉱物合。	片口残存。内面使用摩耗顯著。ハゼ剥落も多。口部は指による押印。焼は外面部少焼。窓内産か。	接合10片 粘	
200-13	軟質陶器 鉢	埋土	口・28.0 底・底部欠損	酸。軟。にぶい黄褐色10YR6/3。 粗。輕。白・白粒・鉱物合。	片口部は指による押印。焼は外面部少焼。窓内産か。	接合10片 粘	
546-2	軟質陶器 鉢	埋土	口・(29.2) 口縁部1/2	酸化。軟。橙5YR6/6。並。輕。 褐色小粒・鉱物合。	内・外面ハゼ剥落多。内面使用摩耗。外面上方に旧状態残存。外面少し焼。片口一部あり。県内産か。	接合3片 粘	
200-10	軟質陶器 鉢	埋土	口・(30.4)	還元。鐵。灰10Y7/6。粗。 白色粒、黒鉱物合、他合。	窓閉口縁を回転、口縁付近内面までハゼ剥落。内面6+a 条半御目。外面部指圧痕。	接合2片 16C	
546-3	軟質陶器 鉢	埋土	底・(15.0)	還元。鐵。にぶい褐色7.5Y5/1。粗。 やや重。褐・黒鉱物合。	内面に7+a 条の御目あり。使用摩耗顯著。内面に7+a 条多く、指圧痕。無あり。通財。	15・16C 粘	
546-4	軟質陶器 鉢	埋土	底・底片	還元。鐵。にぶい褐色7.5Y5/1。粗。 やや重。褐・黒鉱物合。	内面に7+a 条の御目あり。使用摩耗顯著。内面に7+a 条多く、指圧痕。無あり。通財。	15・16C 粘	
546-5	施釉陶器 仏花瓶	埋土	最大径・4.7 1/3	還元。鐵。釉物で少し焼化。 胎土黃褐色。重。	仏花瓶の転用で、下の欠損を部分的に研磨。内面削痕、外面いく分分化と窓目あり。	14C 瀬戸美濃	
200-15	施釉陶器 壺	埋土	口・(13.4) 底・(5.2)	還元。鐵。釉黒少し茶がかる。 (鉄釉)。胎土黃褐色~灰。	外面上方と内面に鉄釉。外面上方に輪軸目標以下横擦右回転の施削痕あり。	18C前 瀬戸美濃	
546-6	石製品 鏡	埋土	口・27.6 高・10.5 4500 g	石質は重く、硬い。割れ口は粗欠。胎穴あり。溝は6分割らしい目と旧溝あり。煤付着。	石質は重く、硬い。割れ口は粗欠。胎穴あり。溝は6分割らしい目と旧溝あり。煤付着。		
546-7	石製品 鏡	埋土	口・1.3	酸化。硬。明黄褐色10Y6/6。粗。 やや重。褐粒合、他少。	全体の削痕大。外面部突起、ハゼ、繊細毛目。内面削痕などによる整形瓶。		
546-8	輪滑 輪形陶形か 破片	埋土	厚・1.4	酸化。硬。明黄褐色10Y6/6。粗。 やや重。褐粒合、他少。	内面各面に削目と窓目あり。六部内面黑色化状に窓目と光沢あり。		
546-9	木製品 加工木	木片	アカマツ 長・6.4	欠損は新古欠か不明。蓄菌の瓦 れ少し多い。	内面側に引込みと思われる面状態あり。さら に円弧状をなす。		
200-16-1+2	木製品 加工木	小片	アカマツ 長・7.2	内外面の荒れ少ない。欠損の新 古不明。	内面側に引込みと思われる面状態あり。さら に円弧状をなす。		
546-10	木製品 削物	埋土	クマノミズキ葉 長・8.7	部分的に調査時の小傷あるもの の、樹皮全周残存し、遺存良。	上方は、状に尖るが、小口部の端部は、極 めて丁寧に平らに削られ、何かの道具か。		
200-17-1+2	木製品 削物	埋土	クマノミズキ葉 長・8.7	上方は、状に尖るが、小口部の端部は、極 めて丁寧に平らに削られ、何かの道具か。			
546-11	木製品 加工木	埋土	クマノミズキ葉 長・8.7	上方は、状に尖るが、小口部の端部は、極 めて丁寧に平らに削られ、何かの道具か。			

6区第17号井戸跡

探査番号	種 別	出土位置	度目 (cm)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘 要
回収番号		遺 存 度	量目 (g)			
547-1	軟質陶器 鉢	埋土 1/4	口・(28.8) 底・ (12.2) 高・10.6	中性。軟。浅黄褐色2.5Y7/3。粗。 鉱物少、シルト質。	外面上方に輪軸目、下方に指圧痕と渦状。底面に輪軸右回転糸切痕。内面に摩耗痕と煤。	14C 市付近
547-2	軟質陶器 鉢	埋土	口・(29.4)	還元。鐵。灰7.5Y6/1。密。 やや重。石英(白)、鉱物少。	窓内やや厚。内面下方摩耗痕、上方擦。外面上方に摩耗痕、下方研磨状の擦。	太田市付 近隣
547-3	軟質陶器 鉢	埋土	口・(30.4)	還元。鐵。灰5Y6/1。並。 やや重。黒粒、鉱物合。	外面上部周辺回転横擦、下方擦。内面上方横擦、下方指擦か、さらに摩耗痕。外面部。	粘
547-4	軟質陶器 鉢	埋土 口縁部片	厚・1.4	酸・還元。鐵。灰7.5Y5/1。 やや重。白・褐粒合。	内面の摩耗痕。外面部輪轍目。片口部は内面側指・本・外面部指2本で曲げか。	片口部 粘
547-5	軟質陶器 鉢	埋土 口縁部片	厚・1.4	還元。鐵。灰7.5Y5/1。粗。輕。 白・灰鉱物合、他鉱物合。	片口部外側から内面にかけ横擦。内面摩耗目立ず。	14C 粘

6区第17号井戸跡

探査番号	種別	出土位置	度目(cm)	焼調・色調・土色	形状・技法等の特徴	摘要
回収番号	器種	遺存度	量目(g)			
547-6	軟質陶器 鉢	埋土	厚・1.4	還元。硬。灰7.5Y5/1。並。やや重。黒粒多。他合。	内面使用摩耗顯著。外面組作痕、撫整形痕。割れ口消耗微。	
547-7	軟質陶器 鉢	埋土	底・(13.0)	還元。硬。灰7.5Y5/1。並。差。やや重。白・黒粒、他合。	内面使用摩耗。外面工具擦痕、擦痕。底面切り離し不明。割れ口少し消耗。	
547-8	軟質陶器 焰壺	埋土	底・(32.0)	酸化。硬。にぼい黄7.5YR6/4。並。輕。白色粒合、鉱物合。	内面は撫整形、外側下端を除き上方に爆付着。底面は何かの圧痕、撫整形様あり。	小泉焼か

6区第18号井戸跡

探査番号	種別	出土位置	度目(cm)	焼調・色調・土色	形状・技法等の特徴	摘要
回収番号	器種	遺存度	量目(g)			
548-1 200-19	土師質土器 皿	埋土 2/3	口・(10.0) 底・(5.2)	酸。並。にぼい黄橙10YR7/3。 粗。輕。褐粒合、鉱物少。	底部は左回転系切り。内面底一方向の指痕。内・外面爆付着。	粘 中世
548-2	土師質土器 皿	埋土 口縁部片	口・(11.2)	酸化。並。にぼい黄橙10Y7/4。 粗。輕。白・褐粒合。	輪轉成形(左回転)。底部は回転系切り。燒成上黄斑あり。割れ口消耗。	15Cか
548-3	軟質陶器 底部片	埋土	底・(14.0)	酸化。軟。にぼい褐7.5YS/4。 並。やや重。白・褐粒合。多。	外側かから黒褐色、擦あり。内面摩耗あり。	粘
548-4	軟質陶器 内耳焰壺 破片	埋土	口・(36.0)	還~中性。硬。黒10YR2/1。 並。やや重。黒粒物多。	内・外面横撫。口縁部付近に接合痕は疑問。外面に擦。焼成は芯が黒く4層状。	16・17C
548-5	軟質陶器 内耳	埋土 破片	厚・0.6	還~中。硬。黒2.5Y3/1。 並。やや重。白色粒合、黒粒物多。	口縁部の内・外面横撫。外面下方指圧痕。割れ口接合痕。焼成外側焼、芯色で4層状。	粘 16・17C
548-6 200-21	軟質陶器 内耳焰壺 破片	埋土 底・(33.4)	口・(39.0) 底・(33.4)	酸~還元。並。黄褐2.5Y6/1。 並。重。金雲母粒合、鉱物少。	内面に横撫、指圧痕、窪窪、型崩あり。内面刷毛目、横撫、外側焼。焼成は5層気味。	接合3片 小泉焼か
548-7 200-20	軟質陶器 内耳	底・(29.8)	還元。硬。黒褐5YR2/1。粗。 輕。白・黑粒合、黒粒物合。	内面に内耳、撫整形あり。外面に爆付着し、擦、指圧痕。底部の石目状の型崩不明確。		
549-1 201-1	石造品 板碑	埋土 1/2	緑色片岩 4550g	長・45.5+α 幅・21.7	表面にキリーカ、蓮台、以下3行に直角、□年か、二月刻銘あり。裏面消耗大。	
549-2 201-2	石造品 板碑	埋土 破片	緑色片岩 3400g	長・35.3+α 幅・25.75	小形の一郎、両側部の一部残存。表面にキリーカしき刻みあり。全体に消耗顯著。	
549-3	石造品 板碑	埋土 破片	緑色片岩 1250g	継・24.0 厚・2.5 横・10.0	部分的に側部遺存、表・裏は風化剥落気味。片側の側部は再加工かもしれない。	
549-4 201-4	石造品 板碑	埋土 破片	緑色片岩 2120g	長・35.7	四平面左端は旧側部らしい。表・裏とも消耗。色調変化があり、被熱らしい。	

7区第3号井戸跡

探査番号	種別	出土位置	度目(cm)	焼調・色調・土色	形状・技法等の特徴	摘要
回収番号	器種	遺存度	量目(g)			
551-1 201-4	土師質土器 皿	埋土 一部欠損	口・10.2 底・5.7	酸化。橙7.5YR7/6。並。鉱物多。	輪轉成形(左回転)。底部は回転系切り。内面に一方向の擦がわざかに見られる。	粘
551-2	軟質陶器 堀か	埋土 小片	底・(20.5)	酸化。並。にぼい褐7.5YR5/3。 粗。やや輕。褐粒合。	内面に輪轉成形、内面摩耗顯著あり。外側爆付着。焼成は爆付着。内耳鍋かは不明。	15~18C
551-3 201-5	軟質陶器 鉢	埋土 1/2	底・(14.2)	還元。並。褐灰10YR5/1。 並。やや重。鉱物合。	使用摩耗顯著。外側接合痕。外側焼かかるが、割れ口の色は焼5層状態。切離し、丸削り。	接合2片 底不明
552-1 201-6	軟質陶器 内耳焰壺	埋土 1/3	口・(35.2) 底・(32.8)	還~酸。並。にぼい褐7.5YR5/1。 5/3。並。やや輕。金雲母、鉱物少。	底面から側部外側下方に石目状の型崩あり。口縁部粘土帯接合痕、内面摩耗。焼成5層。	接合10片 小泉焼か
553-1	軟質陶器 内耳焰壺	体部片	口・(35.0)	酸化。並。にぼい褐7.5YR6/4。 粗。輕。白・褐粒合、鉱物少。	底~体部外側下方にかけ型崩あり。同上方に爆付着。外側下方に指圧痕。	19~20C 小泉焼か
553-2	燒結陶器 堀か	埋土 体部片	厚・0.9	中~酸。褐。褐10YR4/4。密。 重。白・黒粒物合。	内面に自然釉に見える光沢。内面に組作痕と指などの圧痕あり。	中世 常滑
553-3	陶器 檜鉢	埋土 破片	厚・1.5	中性。褐。褐灰10YR5/1。 並。やや重。鉱物少。	内面に節目があり、少し使用摩耗。外面輪轉目あり。割れ口消耗あり。	美濃 17. 18C
553-4	施釉陶器 檜鉢	埋土 底部片	底・(10.4)	酸化。経。浅黄褐7.5YR8/4。 並。やや輕。白粒合、鉱物少。	内・外底面に施釉。底面に余切あり。内面に使用は青削痕。手前小口は旧底欠損。	美濃
553-5	石器 砥石	1/2	砥鉢石 250g	長・10.5 厚・3.0	使用は、表・裏・右側部の3回。奥小口と左側部は青削痕。手前小口は旧底欠損。	
554-1	石造品 蓮台	埋土 破片	粗粒輝石安山岩 18200g	宝鏡印塔、灯籠部材か。側部のみ荒い研磨あり。上面や粗、さらには裏・背面は粗整形。	硬 重	

8区第1号井戸跡

探査番号 回収番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目(cm) 量目(g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
555-1	土師器 壺	埋土 小片	口・(20.4)	酸化。並。によい橙5YR6/4。 並。やや輕。白・褐粒合、他少。	底部に接合面。外表面は直削り、器内面は撫で、 口縁部は横撫でを施す。外側に少し彫。	
555-2	土師器 壺	埋土 破片	厚・0.4	酸化。並。によい橙7.5YR7/3。 並。輕。白褐粒合、他少。	口縁部は内窓気味。底部に壓痕、指圧痕。口 縁部・器内面は横撫で。削れ口消耗。	

8区第2号井戸跡

探査番号 回収番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目(cm) 量目(g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
555-3	須恵器 壺	埋土 破片	厚・0.3	酸化。軟。橙7.5YR6/6。並。 並。やや輕。白・褐粒合、他少。	口縁部は外傾する。輪轍成形。切り離し技法 不詳。削れ口消耗あり。	
555-4	施釉陶器 壺	埋土 破片	厚・0.4	還元。緑。灰白2.5Y8/1。密。 重。藍物見えず。	内面に灰釉施釉。外側に工具後の輪轍目。削 れ口消耗。	東夷搬入

8区第3号井戸跡

探査番号 回収番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目(cm) 量目(g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
555-5	須恵器 小壺	埋土 破片	底・(6.8)	還元。緑。灰7Y5/1。密。 やや重。白藍物合、他少。	口縁部は外傾する。輪轍成形(右回転)。高台 笠懸か付け高台。底部は回転壓整形。	

9区第1号井戸跡

探査番号 回収番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目(cm) 量目(g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要	
557-1	土師器 壺	埋土 破片	厚・0.3	酸化。並。橙7.5YR7/6。並。 並。やや輕。白・褐粒合、他少。	口縁部は外傾。底部は直削り、体部に壓痕。 口縁部・内面は横撫で。消耗あり。		
557-2	土師器 壺	埋土 口縁部片	厚・0.6	酸化。並。橙7.5YR7/6。粗。紅。 並。馬粒合、他少。	口縁部は外反する。極めて軽い胎土。口縁部 は横撫でを施す。削れ口消耗大。		
557-3	須恵器 壺	埋土 破片	還元。並。灰黄2.5YR7/2。並。 並。白・褐粒合、他少。シルト質。	部分被熱か色変化あり。底面回転窓。体 部外面輪轍目あり。消耗大。	粘		
557-4	須恵器 内丸大壺	埋土 破片	厚・0.9	酸化。並。によい橙7.5YR7/4。 並。紅。白・褐粒合、他合。	鉢か大形壺。質は土師器に近い。輪轍成形。 底面内面に研磨を施す。外側回転窓。細砂合。	粘	
557-5	須恵器 壺	埋土 口縁部片	厚・0.5	還元。軟。灰7.5YR6/1。並。 並。白・褐粒合、他少。	期窓やや尖り。内面に輪轍目。外側に上方回 転窓削り。削れ口消耗少。	粘	

9区第2号井戸跡

探査番号 回収番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目(cm) 量目(g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要	
557-6	土師器 壺	埋土 破片	厚・0.5	酸化。硬。によい橙7.5YR5/4。 軟。白色粒合、藍物少。	「コ」の字状口縁。器外側は直削り粗圧痕。 器内面は横撫で、口縁部は横撫でを施す。		
557-7	須恵器 壺	埋土 1/2	底・5.3	還元。軟。灰7Y6/1。粗。紅。 白色粒微。	口縁部は欠損する。輪轍成形。底部は右回転 斜切。少し消耗気味。	接合3片 粘	
557-8	須恵器 壺	埋土 底面部片	底・6.6	還元。並。黃褐2.5Y5/3。粗。 紅。白・褐粒合。	内面ハゼ剥落。底面に輪轍右回転の糸切痕 あり。全体に消耗大。外側削り。	粘	
557-9	須恵器 壺	埋土 底部	底・(8.5)	還元。並。灰7.5YR6/1。並。 並。白・褐粒合、他少。	高台は旧時に削落。削れ口消耗大。底面に輪 轍右回転の糸切痕あり。	粘	
557-10	須恵器 壺	埋土 底部片	高・(3.6) 底・7.9	還元。硬。灰褐10YR5/2。 並。白色粒多。	輪轍成形(右回転)。高台付け高台。底部は右 回転斜切後回転窓整形。	粘	
557-11	須恵器 大壺	埋土 破片	厚・1.4	還元。緑。灰N6/0。密。重。 白藍物多、黑粒合。	内面に叩目あり。内面に回転窓痕あり。外側 に自然削り。	西毛～県 外	
557-12	須恵器 壺	埋土	厚・1.3	還元。緑。灰SY6/1。密。重。 白藍物多、黑粒合。	外側に自然削り。削れ口に紐作痕、消耗あり。 内面直削り、回転窓。	捷	

9区第3号井戸跡

探査番号 回収番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目(cm) 量目(g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要	
557-13	土師器 壺	埋土 破片	厚・0.5	酸化。並。によい赤褐5YR5/4。 並。口縁部は外傾気味。底部は直削り、体部に壓 痕。口縁部・器内面は横撫で整形。	口縁部は外傾気味。底部は直削り、体部に壓 痕。口縁部・器内面は横撫で整形。		
557-14	須恵器 壺	埋土 1/2	口・(10.8) 底・(7.7)	還元。硬。灰SY5/1。密。重。 白色粒合。	口縁部は外傾する。輪轍成形(右回転)。高台 付け高台。底部は回転窓削り。	接合2片 捷・太か	
201-9							

9区第3号井戸跡

辨認番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目(cm) 量目(g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
557-15	土器 壺	埋土 破片	厚・0.5	酸化。並。檢7.5YR6/5。並。 輕。褐粒合、他少。	質は土器類に近い。高台附付後内面側回転無。内面滑らか。割れ口消耗大。	粘
557-16	須恵器 内黑 环	埋土 底部片	底・(8.0)	酸化。並。にぶい赤7.5YR4/4。 並。やや重。白・褐粒合、他少。	輪郭成形（左回転）。器内面に研磨を施す。底部は回転糸切り後周辺回転無削。	笠懸周辺 粘
557-17	須恵器 鉢	埋土 内黑	口・(25.4)	酸化。並。檢5YR6/6。並。輕。 金雲母、褐粒、砂粒合。	細かな砂粒の尖錐目立つ。外側は鋸削にて伴う工具痕。内面に研磨は横方向主。	粘

9区第4号井戸跡

辨認番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目(cm) 量目(g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
558-1	施釉陶器 擂鉢	埋土 破片	口・(32.0)	酸～中。縁。胎にいき黄10YR 7/2。(鉄釉)、胎土黃灰。	内・外側にいき黄の光沢あり。内面に少 し即日が見える。割れ口新鮮。	17-18C 美濃
558-2	施釉陶器 壺	覆土 1/4	底・15.0	酸化。縁。胎・暗茶(鉄釉)、燒 緋色様。胎・灰白鈍物少。	56-1に同。双方での接合。	17C 常滑か
558-3	竹 竿状	兩小口欠損	裏竹か 長・55.0+α	小口欠損の薪古欠損は不明。節 2条あり。	中央部に使用摩耗があり、少し細く、表皮 はがれる。底部近部に色変2カ所あり。	
559-1	施釉陶器 瓶	埋土 破片	底・(8.4)	中性。縁。胎土黃灰(外)、失透質 (内)。胎土黃灰。	外側の下方を除き施釉。外側回転無。内面 工具の繊維目と旧内容物付着。	18-19C 瀬戸美濃
559-2	施釉陶器 香炉	埋土 破片	高台径・6.3	縁。胎白黒、胎土黃灰、酸化。	三足の香炉で内面無釉。外側下方に露胎部あ り。内面に墨書きあるが字不明。	18C瀬戸 美濃か
201-10						
559-3	施釉陶器 壺	埋土 口縁部片	口・(12.6)	還元。縁。胎茶褐色(鉄)。胎土灰 色で重。	外側に釉掛に見える鉄物あり。胎土酸化の強 い陶土。底部紹作痕。	16-17C 底不明
559-4	石 不詳		二ツ岳輕石 重・102	長・8.0	卵形は円形・穿孔の道具かもしれない。裏面・ 側面滑らか。割れ口も摩耗、研磨あり。	
559-5	石道具 砥石	埋土 小欠あり	砥鉢石 112g	長・9.5+α 幅・4.0	使用面は表・裏、側部の4面。形状は小口側 が薄くなり、片側は刃付歯か。欠損時。	
559-6	木製品 枕か		アカマツ 欠損あり。	樹皮一部残存。放射組織も残存 長・24.1	三分一截され、尖部に削目あり。削り木は人 為による。削り口シャープ。	

9区第5号井戸跡

辨認番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目(cm) 量目(g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
559-7	土器 壺	埋土 破片	厚・0.5	酸化。並。檢7.5YR6/6。並。 やや重。白・白粒、鈍物合。	「コ」の字型頸部か。内面整形成は器面荒れ。 割れ口少し消耗。	
559-8	須恵器 壺	埋土 破片	厚・0.9	還元。縁。褐鉢10YR5/1。密。	頸き不明。外面平行叩き。内面當目あり。同 重。白鈍物・黒粒合、他少。	太田か

9区第9号井戸跡

辨認番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目(cm) 量目(g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
559-9	土器 壺	埋土 完形	口・10.0 底・6.2	酸化。硬。檢5YR7/6。密。重。 鈍物微。	輪郭成形(左回転)。底部は回転糸切り。内面 に輪郭目あり。	粘
559-10	土器 壺	埋土 小形更 1/2	口・9.0	酸化。硬。にぶい赤褐5YR5/4。 並。白色粒合。	外側下位に窓削後施痕。口縁部周辺無痕。 接合17片 内面粗作痕。	
201-13						
559-11	土器 壺	埋土 脚部片	脚・3.5	酸化。硬。明赤褐2.5YR5/6。 密。重。鈍物合。	脚部外側に研磨あり。その上方は施整形され、 無不明顯となる。内面無痕と下方に接合。	
201-13						
559-12	土器 壺	埋土 脚部片	脚幅・4.7	酸化。硬。明赤褐2.5YR5/6。 密。重。鈍物微。	脚部外側に研磨あり。内面に工具による絞り 目と下方に接合痕あり。	
201-14						
559-13	土器 壺	埋土 小形更 底部片	最大・15.0 底・7.7	酸化。硬。明赤褐5YR5/6。並。 重。鈍物合。	外側窓削り、直あり。内面無地で整形、ハゼ剥 落多く。底面窓削り整形。	
201-18						
559-14	土器 壺	埋土 小形更 底部片	底・6.0	酸化。硬。にぶい赤褐5YR5/4。 密。重。鈍物微。	外側は窓削り、施整形。内面無痕とその当り 側。底面は無痕。	
201-17						
559-15	土器 壺	No 1 底部周辺 小形更	底・6.5 7/3	酸化。硬。にぶい黄10YR 7/3。並。鈍物合。	内面ほとんどハゼている。外側窓削り、一部 ハゼている。底面窓削。	接合2片
201-16						
560-1	土器 壺	埋土 ほぼ完形	口・9.7 底・7.2	酸化。並。檢2.5YR7/6。並。 やや重。褐粒、鈍物合。	口縁部は「く」の字状、口縁・側部に研磨を 施し、接合痕。作調丁寧。遺存良。近未使用。	
202-1						
560-2	土器 壺	No 3 ほぼ完形	口・14.6 底・7.1	酸化。並。檢2.5YR7/8。粗。 軽。赤褐微粒、鈍物少。	脚部に接合。口縁下脚部に研磨を施し接合 痕。内面窓削。作調丁寧。遺存良。近未使用。	
202-2						

9区第9号井戸跡

探査番号	種別	出土位置	度目(cm)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
回版番号	器種	遺存度	量目(g)			
560-3	土師器	No 4 口唇部欠損 壺	最・19.4 底・5.0	酸化。並。焼7.5YR8/4。粗。茶褐色粒合、鉛物多。	口縁部は「く」の字状。胴不定気味の無整形。口縁部は凹ながら、使用。外画下方小ハゼか。	内面近赤使用。
202-3						
560-4	土師器	埋土 壺	口・15.9 口縁・肩部 高・(8.4)	酸化。並。にぼい焼7.5YR5/4。 並。白色粒合。	口縁部は外反する。器外面は窓削り、内面は窓削で、ハゼ多い。口縁部は横彫。	接合9片粘
202-4						
560-5	土師器	埋土 壺	最大径・(30.0) 破片	酸化。並。にぼい赤褐7.5YR5/4。 並。重。白色粒合、鉛物少。	器は厚い。内・外面は継ぎ方の崩毛目。頂部内・外面横彫。内面粗作底。	接合3片 黒斑あり
202-5						
560-6	土師器	埋土 大形壺	口・(26.6) 破片	酸化。硬。にぼい赤褐7.5YR5/4。 並。やや重。白色粒、鉛物合。	割肉厚く直であるか不明。内・外面暗文状研磨。内面側に入念な刺突状の凹みの接合面。	
202-6						

9区第10号井戸跡

探査番号	種別	出土位置	度目(cm)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
回版番号	器種	遺存度	量目(g)			
565-1	土師器	No 3 口(平底) 3/4	口・12.3 底・8.0	酸化。硬。にぼい赤褐7.5YR4/4。 並。やや重。白・薄粒合。	型作り。底部は窓削り、体部型崩病。口縁部・内面は横彫で、外画被熱色変。内外小ハゼ。	内面黒褐化謎様?
202-6						
565-2	土師器 台付壺	埋土 口縁部	口・(11.0)	酸化。並。暗赤褐7.5YR3/2。 並。やや重。金青母、白粒合、他少。	口縁部の内・外横彫。外面は窓削。内・外彫。接合2片外而被熱と小ハゼ。内面削。割れ口消粋。	
202-7						
565-3	土師器	埋土 脚のみ	底・(9.2)	酸化。硬。明赤褐7.5YR5/8。 並。金青母、白粒、白灰土物合。	割れ口消粋。内・外面横彫。内面に窓削痕。	
202-8						
565-4	土師器	埋土 壺 No 1 1/3	口・(20.5) 高・23.0	酸化。並。にぼい赤7.5YR5/3。 並。やや重。金青母、鉛物合。	口縁部粘土帶、型作り。胴部は窓削り、口縁部は横彫で。	接合14片
202-9						
565-5	土師器	埋土 壺 破片	口・(21.0)	酸化。並。にぼい赤7.5YR5/4。 並。白・薄粒合、鉛物少。	側面外に接合痕と指痕。型作りか。外面は窓削り、内面は窓削で、口縁部は横彫。	接合2片
202-10						
565-6	土師器	埋土 壺 口縁部	口・(22.0)	酸化。軟。明褐7.5YR5/6。 並。白・薄粒合、鉛物少。	型作りか。外面は窓削り、内面は窓削で、口縁部は横彫で。口縁部粘土帶接合面あり。	
202-11						
565-7	須恵器	埋土 壺	口・(12.0) 底・(6.0)	還元。緑。灰7.5Y4/1。 白色粒微、黒粒合、鉛物微。	底は回転糸切り。側面目条数少なく、良土。	接合2片 太田か
202-12						
565-8	須恵器	埋土 壺 3/4	口・(12.5) 底・(5.5)	還元。硬。灰10Y6/1。 並。白・黑粒合、鉛物少。	口縁部は外傾する。底部は右回転糸切り。外画に「路」の墨字あり。	太田か 墨書-134
202-13						
565-9	須恵器	埋土 壺 1/2	口・(12.6) 底・(5.0)	還元。緑。灰7.5Y4/1。 並。白・粒微、鉛物少。	輪轉成形(右回転)。底部は回転糸切り。	太田か
202-14						
565-10	須恵器	埋土 壺 一部欠損 1/2	口・(13.0) 底・(5.7)	還元。緑。灰7.5Y4/1。 黒・白・黒粒合、鉛物合。	少し燒歪む。輪轉成形(右回転)。底部は回転糸切り。外面輪轉目多い。	太田か 火神瓶
202-15						
565-11	須恵器	埋土 壺 1/3	口・(13.3) 底・(7.1)	還元。並。灰白7.5Y1/1。 並。やや輕。	輪轉成形(右回転)。底部は回転糸切り。内面使用摩耗あり。	粘
202-16						
565-12	須恵器	埋土 壺 破片	口・(13.4) 底・(7.0)	還元。硬。灰5Y6/1。 並。やや重。白色粒合、鉛物少。	輪轉成形(右回転)。底部は回転糸切り。外画に判読不明の墨字あり。内面使用摩耗。	墨書-135 點・陶
202-17						
565-13	須恵器	埋土 壺 3/4	口・(13.4) 底・(6.4)	還元。並。灰オリーブ7.5Y5/2。 並。輕滑粒多、鉛物少。	口縁部は大きく述べ。底部は右回転糸切り。内・外面輪轉目多い。	粘
202-18						
565-14	須恵器	埋土 壺 2/3	口・(13.6) 底・(6.6)	酸化。軟。にぼい黄橙10YR6/4。 並。白色粒多、鉛物多。	底部は右回転糸切り。内・外面ハゼあり。全体に被熱色変あり。	太田か
202-19						
565-15	須恵器	埋土 壺 2/3	口・(13.6) 底・(6.4)	還元。硬。灰10Y6/1。 並。やや重。白色粒合、鉛物少。	輪轉成形(右回転)。底部は回転糸切り。体部外に「一王」か、「主」の墨字あり。	太田か 墨書-136 點・陶
202-20						
565-16	須恵器	埋土 壺 破片	厚・0.7	中性。軟。浅黄2.5Y5/3。 並。白色粒合、鉛物少。	底部は回転糸切り後、回転直彫形と判読不明の墨字あり。	粘 墨書-137
202-21						
566-1	須恵器	埋土 壺 内黒 底部1/4	底・(10.0)	酸化。並。にぼい焼7.5YR6/4。 並。白色粒多、鉛物多。	輪轉成形(右回転)。器内面に研磨を施す。外画に回転直彫形。ハゼ。内面に内黒と研磨。	
202-22						
566-2	軟質陶器	埋土 壺 底部1/2	底・(14.6)	酸化。並。梅7.5YR4/6。 並。白・白粒微、鉛物少。	底部輪轉直彫形切。内・外面輪轉目あり。外画の一部に輪轉目あり。内面説少し旧摩耗。	14C 陶 市付近
202-23						
566-3	須恵器	埋土 壺 口縁部	口・(10.2)	還元。緑。灰 N6/0。密。重。 白・白粒微、鉛物少。	底部輪轉直彫形切。内・外面に暗緑色の自然釉あり。内・外面輪轉目多い。作調上手。割れ口消粋。	東海搬入
202-24						
566-4	須恵器	埋土 壺 破片	厚・1.0	還元。硬。灰 N5/0。密。 やや重。白鉛物少、他少。	外画に糊、下方に回転直彫形。内面に磁作板、指印あり。割れ口の消粋。	太田か
202-25						
566-5	須恵器	埋土 壺 最大径・(30.5) 破片	還元。緑。灰 N5/0。密。重。 白鉛物少。	組作り後押き形。外画は平行印き自然釉。内面当て具擦り。割れ口消粋。	接合2片 太田	
202-26						
567-1	須恵器	埋土 壺 体部片	厚・0.9	還元。硬。灰 10Y5/0。並。重。 白鉛物合。他少。	組作り後外面に格子目印。内面に當て具擦り消し。割れ口消粋。	太田
202-27						
567-2	須恵器	埋土 壺 破片	厚・1.0	還元。硬。灰 7.5Y6/1。密。 やや重。透明鉛物合。他少。	外画に平行印。内面に素文の當て具組作り。内面久後使用摩耗あり。消粋少。	
202-28						

9区第10号井戸跡

探査番号 回収番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	概 要
567-3	須恵器 甕	埋土 破片	厚・0.9	還元。硬。灰7.5Y5/1。底。 やや重。白磁物含。他少。	外側に平行印、回転施削目。内面米文当て目。太田か 田久後使用摩耗。消耗少。	太田か 田久後使用摩耗。消耗少。

9区第11号井戸跡

探査番号 回収番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	概 要
568-1	軟質陶器 内耳網	埋土 破片	厚・1.0	還元。黄灰2.5Y4/1。並。 やや重。透明・黑磁物含。灰物。	透明粒・黑色磁物含。作調も少し異質。底へ外 面方に石目状の型削あり。上方に接合面。	窓外搬入 か
568-2	軟質陶器 焰培内耳	埋土 破片	厚・0.8	酸化。硬。黒褐7.5YR3/1。粗。 輕。白色粒含。他灰物微。	底面に石目状の型削。外面上に接合着。口縁部 周辺内・外に横擦。	19・20C 小泉焼か
568-3	軟質陶器 笠輪	埋土 破片	口・(38.0) 底・(33.6)	酸。硬。に付い黄橙10TR6/3。 並。白色粒含。灰物少。	内・外面に、輪廻回転条痕あり。上面の平部 は製作時の滑落さあり。	粘 小泉焼か
569-1	須恵器 羽茎か	口縁部片	口・(22.5)	還元。硬。灰オリーブ3Y6/2。 並。灰物含。	内・外面ハザド落多い。外間に突帯あり。燒 成は底黒く。外面部黃灰色3層気味。	小泉焼か 18~20C
569-2	軟質陶器 甕	埋土 破片	厚・1.0	還元。硬。黒5Y2/1。並。 やや重。黒粒含。他灰物多。	外間に直削あり。さらに丸い研磨あり。内面 に斜面後回転擦整形。削れ少しお耗。	小泉焼か 18~20C
569-3	軟質陶器 火入か	埋土	底・(13.0)	還元。並。灰5Y4/1。並。輕。	外面上に斜状施文様模様あり。底面余切、足貼 付。内面輪廻目。内・外縫かかる。	19・20C 小泉焼か
569-4	軟質陶器 手焙	埋土 底部片	底・(20.4)	酸化。並。黄褐10YR5/6。粗。 輕。灰物微。	内面輪廻形。外面上石目状凹凸。底部3側の 半円形の足付着。焼成3層気味。小泉焼か。	接合2片 18・19C
569-5	軟質陶器 手焙	脚部1/3	底・(18.8)	還元。硬。黒5Y4/1。並。 やや輕。白色粒・灰物少。	輪廻使用。底部粘土板。脚部付。底面に板 状研磨。内面輪廻目。焼成5層気味。	接合1片 18・19C
569-6	軟質陶器 火鉢か	底・(36.6)	還元。硬。黒2.5Y2/1。並。 やや輕。灰物微。	内面研磨あり。外面上接合面あり。内・外黒色 燒成。底面石目状の型削あり。	接合3片 18・19C	
570-1	軟質陶器 火入	横・21.0 高・9.5	還元。並。灰5Y4/1。目。 やや輕。白色粒少。他灰物少。	底面に石目状の型削。足貼付。内面輪廻。外側 部に研磨。燒成底黒く、外縫で5層気味。	接合5片 18・19C	
570-2	施釉陶器 鉢	埋土	口・(19.0)	還元。緑。釉淡褐(鉢物)。胎土 高・11.0	外面上方と高台裏を除き、内・外施釉。本 體は片口鉢か。内面に目跡。外面右回転削。	瀬戸美濃 18・19C
570-3	施釉陶器 片口	口縁部片	口・(22.0)	中。緑。釉淡灰透明調。淡黄 綠(刷)。胎土黄灰。	内・外面に施釉。外面上方に淡黄緑の釉斑文 あり。下方は露胎となる。削れ少しお耗。	18C 美濃
570-4	施釉陶器 鉢	底・(16.3)	還・16.3	還・16.3。緑。釉茶褐(鉢)、黒(鉢) 胎土灰。	内・外面施釉。底面に「〇〇〇〇〇」の墨字あり。 内面底にトランク4カ所あり。	墨書-138 18・19C
570-5	陶器 鐵軸土壙	口・(15.0)	還・16.3	還・16.3。緑。釉茶褐(鉢物)。胎 土貴灰。	内面にやや赤味の施釉。外面上部の強い施釉 かかり飛び施文様の施文。把手内輪廻目。	19・20C 産不明
570-6	施釉陶器 瓶	埋土 底部片	底・(6.4)	還元。緑。釉淡灰透明調。胎土 灰。	胎部上方と内面施釉。窯胎部に煤付着。外側 は○○底氣味。	19・20C 地方窯か
570-7	施釉陶器 大鉢	埋土 破片	底・(17.0)	還元。緑。釉淡貴灰(透明調)。胎 土貴灰。	内に目跡3カ所あり。輪は内面と外側高台 間に上方向にかけ。底面は輪廻右回転削。	18・19C 美濃
571-1	施釉陶器 皿	口縁部片	口・(38.0)	還元。緑。釉暗貴灰透明調。胎 土貴灰。	内・外面施釉。外面上に大きな輪廻目、内面滑 らか。使用擦り傷微。削れ少しお耗。	18C 美濃
571-2	施釉陶器 葉巻か	埋土	最大径・12.2 高・25.0	酸化。緑。釉茶褐(鉢物)。光沢 あり。胎土灰。	外面上右上りの輪廻目あり。下半は窯削か もしれない。	19C 産地不詳
571-3	施釉陶器 焼鉢	埋土 2/3	口・(29.2) 高・11.0 4/8)	酸化。緑。釉茶褐(鉢物)。光沢 あり。胎土灰。	17・8状を単位とする御目(金属工具)か あり。底面に郭内銘「大平產」。外施釉。	19C 大平製
571-4	施釉陶器 焼鉢	埋土 破片	厚・1.2	酸化。緑。釉茶褐(鉢物)。胎土 赤褐。	内面に御目、少し摩耗。外面回転削。施釉 割れ少しお耗。	17・18C
571-5	磁器 小塊	埋土 底部片	高台・2.3	還元。緑。白磁色白。胎土白。	高台端部を餘き施釉。白磁部分の残存しかな いが本來は染付か。	20C
571-6	磁器 塊	埋土 1/2	口・(10.5) 高・5.5	還元。緑。染付青、白磁色淡青 白。	外面上連弁とその間弁を染付。内面中央に施 文あり。高台端部を餘き施釉。	19C
571-7	磁器 塊	埋土 口縁部片	口・(10.7) 底・(3.8)	還元。緑。染付青、白磁色淡青 白。胎土白。	外面上連弁など、内面に加飾の染付あり。白 磁軸は端部を餘き施される。	19・20C 伊万里系
571-8	磁器 塊	埋土 1/3	口・(11.0) 高・5.7	還元。緑。染付青、白磁色淡青 白。胎土白。	内面に花文、丸文、加飾文など、内面に見込 み中央の施文、加飾など染付。	19・20C 伊万里系
571-9	磁器 塊	埋土 破片	底・(4.0)	還元。緑。釉濃紺(染付、ペロ 藍)、白磁白。胎土白。	外面上染付手などを染付。高台端部を餘き白 磁軸。釉の光沢強い。	昭和 伊万里系
572-1	施釉陶器 急須	埋土 口縁部片	口・(7.6)	還元。緑。染付青、白土、透明 調。胎土灰。	陶胎染付。外面上に梅花文あり。花弁白、同輪 郭、枝は染付。耳部欠。内面無釉。	19・20C 地方窯か

9区第11号井戸跡

機械番号 回収番号	種別 種類	出土位置 遺存度	度量 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
572-2	磁器 徳利	埋土 底部片	底・(6.8)	還元。緑。染付淡青、白磁色青 白、胎土白。	内面、側面目発達。高台端部を除き施釉。染付は山呂須様。	18C 伊万里系
572-3	瓦 十輪軒瓦		厚・1.2	還元。並。灰5Y6/1。粗。輕。 黒鉛物多。他含。	瓦当面に唐草文。表・裏は石目状の型崩あり。各部割離あり。焼きは表面のみ焼れる。	小泉焼か 20C
572-4	瓦	埋土 破片	幅・11.0+α 長・13.8+α	中性。並。灰2.5Y7/2。並。 やや輕。黒・褐粒含。他鉛物含。	裏面に石目状の型崩あり。表面に燒け目。燒成は、部分的に燒痕あるが芯は表面と同じ。	小泉焼か
572-5	石器 砥石	埋土	埋質粘板岩 30 g	遺存長・8.4 幅・5.0 厚・0.55	合せ目。割れ口は旧欠で少し消耗気味。側部に磨耗。奥小口少し挽目あり。表面平滑。	再生の砥 石か
572-6	石製品 鏡白上白	埋土 1/5	滑結凝灰岩 2400 g	径・(33.5)	表に縦、裏面に大まかな挽き溝。表導入の溝が刻まれ。石質は硬く重い。	
572-7	石製品 鏡白上白		滑結凝灰岩 4250 g	口・32.9 高・11.0 底・33.6	裏面に大まかな挽目があるものの消耗。中央に軸穴、側部に挽手穴あり。	
572-8	石製品 鏡白上白	埋土 破片	角閃石 安山岩 1160 g	口・34.0 高・8.5 底・32.6	石材は硬く重い。やや大まかな挽目あり、少し消耗。側部整形丁寧。供給孔あり。	
572-9	石製品 鏡白上白		滑結凝灰岩 2420 g	径・34.2	整形やや充てん。挽き目大顔。割れ口旧時欠損。挽き目目耗。石質は硬質、重い。	
573-1	石製品 鏡白下白	埋土 破片	滑結凝灰岩 1630 g	径・(35.0)	挽き溝は充てん。大まか。挽手穴あり。石質は硬く重い。整形は整う。	
573-2	石製品 鏡白下白	埋土 1/2	粗粒輝石安山岩 4400 g	径・22.5	表面に荒い挽目あり。中央に軸穴あり。裏面に粗整形あり。側部精整形。割れ口旧欠。	
573-3	石製品 鏡白下白		粗粒輝石安山岩 2320 g	口・27.0 高・7.85 底・26.0	裏面に荒い塊状整形模様あり。軸穴あり。挽目消耗目なし。側部整形少し荒い。	
573-4	石製品 石臼下白	埋土 1/2	角閃石 安山岩 6500 g	径・28.2	挽き溝は充てん。消耗。裏面の周辺に研磨痕。軸穴あり。石質は重く硬い。割れ口旧。	
573-5	石製品 鏡白下白	埋土 1/4	粗粒輝石安山岩 2750 g	口・30.0 高・7.2 底・31.0	裏面拂拭の整形あり。表面に大まかな挽目。消耗気味。中央は軸穴か不明。	
573-6	石造品 敷石か	埋土 破片	粗粒輝石安山岩 2360 g	遺存長・16.0 幅・13.35 厚・8.45	因平面に旧時摩耗あり。側部、小口面の一部が残存。裏面含め整形は大まかで基盤石か。	
574-1	石器 砥石	No15 一部欠損	3950 g	遺存長・26.6 幅10.3 厚・8.25	荒砥級であるが、その中でも細かい目。使用面、表・裏と右側部。被熱爆付着。	夷蹴・圓砾
574-2	木製品 輪	欠損大	モクレン属 径・10.6	欠損の大半は旧時のようにある。	全体に黒漆付着。少し茶味おびる。裏面薄作り。腰部外面に縫あり。	
574-3	竹 籠	近完存	竹 長・12.7	欠損ほとんどなし。表皮残存。	先端削り。裏面尖端面使用摩耗あり。削り目消耗のため不明瞭。	
574-4	竹 筒か	欠損大	竹	欠損は昭次。	3カ所に穿孔。葛巻など加飾痕なし。上方に筋あるが剥がれています。孔に大小巻があり。	
574-5	木製品 側板	欠損あり	スギ 長・10.8	旧時欠損。	両端部と下方口がやっと判別できる。内面側の残存の方が良い。	
574-6	木製品 板	小穴あり	ヒノキ 長・20.4	全体に消耗大。裏面木目浮き立つ。	木取り紐。裏面に刃傷あり。年輪は大まか。側部に釘穴見えず。	
574-7	木製品 側板	欠損多	スギ 長・15.5	側部残存するが旧欠大。小口欠損。消耗も旧時。	木理流れる木目で材は小径。裏面は少し厚い。因平面は底面。	
575-1	木製品 角棒	欠損大。	ヒノキ属 長・13.5+α	上方は旧時欠損。年輪はつま細かい。裏面の消耗大。	下方に方形気味の釘穴あり。各面の削り目残存不明瞭。	
575-2	竹 加工材	小穴あり	竹 長・5.4+α	下方は旧時欠損。	天小口に削目。側部は削り込み後削りを加える。未成と思われる。	
575-3	竹 加工材	欠損あり	竹 長・5.5	表皮残存。欠損旧時。	側部に削り込みと面加工あり。裏面は削り込み面として残存。	
575-4~5	竹 加工材	欠損あり	竹 長・10.1と8.7	2片とも端部は旧時欠損。表皮残存。	側部は削り込みのままで-4は裏面にまで削れおよぶ。	
575-6	竹 加工材	欠損あり	竹 長・5.2+α	上下端とも旧時欠損。表皮消耗あり。	側部に削り痕と面加工あり。表皮の消耗は使用の摩耗か。	
575-7	竹 加工材	欠損あり	竹 長・8.8+α	両端部は旧時欠損。表皮の消耗あり。	側部に削り痕と面加工あり。中央部の表皮はあり。	
575-8	木製品 針状	完存	竹 長・14.4	節に高い特色あり。調欠なし。表皮残存。枝材か。	端面を尖らせ、端部黒づむ。針先状に加工された道具か。	
575-9	竹 籠	小欠損	竹 長・11.4	天小口旧欠。下方尖部の新古欠損不明。表皮残存。	尖部は削りによる。側部にも削り跡と削り目あり。尖部切様は道具籠を思わせる。	
204-1~2						